

実践女子大学図書館蔵

山岸徳平文庫目録

下卷

—  
国書  
—



実践女子大学図書館蔵 山岸徳平文庫目録 下巻

— 国書 —



文久雜話 存卷二

釋龍禪編

文久二年（一八六二）十二月自跋寫 外寸「三・三×一六糎」  
（書名は封面による。九行。漢字片假名。四〇丁。朱筆の書き入れあり）

三一九四

一册

蘇漢雜笈或問即水戸珍書考三卷

鶴飼信興答

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一八・九糎」 印記「山田之印」  
（書外題「水戸史館珍書考」 九行。一卷二四丁二卷二〇丁三卷二〇丁）

三一九五

三册

怪異辯斷前集四卷後集四卷

西川忠英（如見）編

江府 古川進七・洛陽 古川三郎兵衛 正徳四年九月至正徳五年（一七一五）五月刊 外寸「二二・七×一五・九糎」  
印記「垣屋重衛」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八×一二・六糎」 前集一卷三四丁二卷三八丁三卷三三丁四卷三二丁。後集一卷三〇丁二卷三七丁三卷二七丁四卷二九丁）

三一九六

八册

學山錄六卷

中村明遠（蘭林）著

〔寛延三年（一七五〇）一月序〕刊 外寸「二六・一×一七・二糎」 印記「古家藏書」「淺井文庫」「要古堂藏書籍之袖印」  
（四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「二〇×一三・二糎」 漢字訓點付。一卷二二丁二卷二三丁三卷五一丁四卷四二丁五卷二八丁六卷二五丁。後表紙裏に「寛延四年辛未五月穀旦江戸書林吉文字屋次郎兵衛・西村源六・小川彦九郎全梓 卷末ニコノ刊記アリ」と墨書あり）

三一九七

二册

雅遊漫録七卷

大枝流芳著

浪花 大賀惣兵衛・澁川清右衛門 寶曆十三年(一七六三)九月刊 外寸「三・一×一六・一糶」 印記「直堂藏書」  
谷寛「加賀金澤真宗本淨寺藏書印」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・二×一三・五糶」 繪入。一卷一六丁二卷一六  
丁三卷一四丁四卷三七丁五卷二五丁六卷一五丁七卷一八丁)

三一  
九八  
七册

### 南嶺遺稿四卷

多田義俊(桂秋齋)著 細谷文卿校

京都 芳野屋八郎兵衛・大坂 芳野屋十郎兵衛 寶曆七年(一七五七)九月刊 外寸「二五・八×一七・五糶」 印記「重  
松藏書」  
宗高島「明治二十七年十月六日楠園」(墨書) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・四×一四・三糶」 一  
卷一三丁二卷二七丁三卷二五丁四卷二四丁)

三一  
九九  
二册

### 過庭紀談五卷

原瑜(雙桂)著

江戸 和泉屋庄次郎等 天保五年(一八三四)刊 外寸「二五・七×一七・八糶」 印記「榮郭齋藏」(筒井喜一郎) (單  
邊。無界。一一行。内匡郭「七・四×一二・二糶」 漢字片假名頭注付。一卷二四丁二卷三二丁三卷三〇丁四卷三四  
丁五卷三〇丁。朱筆の書き入れあり)

三二  
〇〇  
五册

### 本朝俗說辨七卷

井澤長秀(蟠龍)編

〔京都〕 柳枝軒茨木多左衛門 寶永四年(一七〇七)刊 外寸「三一・六×一四・八糶」 印記「蕉雨園藏書」志田商店  
之章」 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・六×一一・九糶」 一卷二四丁二卷一八丁三卷一五丁四卷二〇丁五卷  
一七丁六卷一二丁七卷一五丁)

三一  
〇一  
三册

### 續本朝俗說辨三卷

井澤長秀(蟠龍)編

三一  
〇一  
②

京都 柳枝軒茨木多左衛門 寶永五年(一七〇八)刊 外寸「二二・六×二四・八糎」 印記「蕉雨園藏書」「北武」「青雲堂」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二九・六×二二・九糎」 上二七丁中一五丁下一九丁)

### 俗說贅辨續編二卷

谷重遠(泰山)著

京都 茨城多左衛門 享保三年(一七一八)六月刊 外寸「二二・五×一五糎」 印記「藤田文庫藏書」(單邊。無界。九行。内匡郭「一九×二二・二糎」 上二五丁下一五丁)

### 續本朝俗說辨三卷

井澤長秀(蟠龍)編

寛政元年(一七八九)五月信陽新町邑保御獄寫 外寸「二七・二×一七・九糎」 印記「濤齋圖書」(二二行。上一〇丁 中一〇丁下一二丁。底本「寶永五年茨木多左衛門刊本」 朱筆の書き入れあり)

### 衝口發

藤原貞幹著

紀州若山 総田屋平右衛門等 文政四年(一八二二)五月刊 外寸「二六×一八・三糎」 印記「月冷藏書之印」「月冷」「月冷舎文庫」(藏書票) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・八×一四・二糎」 漢字片假名。三一丁)

### 過庭餘聞

楠木正脩著

東京 文成社 昭和八年(一九三三)一月活版 外寸「二五・七×一五・四糎」(五一丁)

### 鐵研餘滴甲集四卷

齋藤徳藏著

大阪 河内屋茂兵衛等 嘉永七年(一八五四)刊 外寸「二五・八×一八糎」 印記「敬業堂」(左右雙邊。有界。一〇

一册

三三〇二

二册

三三〇三

一册

三三〇四

一册

三三〇五

一册

三三〇六

一册

行。内匡郭「一八・九×一三・三糎」 一卷二二丁二卷二二丁三卷二二丁四卷二四丁。奥付に發兌書林として「江戸須原屋茂兵衛・津 本屋佐兵衛・大坂 藤屋禹三郎」の三書肆名あり)

## 問合早學問二卷

大江資衡(玄圃)著

京都 武村嘉兵衛・河南四郎右衛門 明和三年(一七六六)十月刊 外寸「二・八×一五・九糎」 印記「越後吉田大黒屋」山岸藏書 「弘化五申大黒屋惣五郎」山岸氏「墨書」 (單邊。無界。一一行。内匡郭「二八・一×一二・九糎」上一五丁下一六至三三丁。「大江玄圃先生著述目錄 京都書林 武村嘉兵衛二丁」)

## 學翼二卷

大江資衡(玄圃)著 近藤正信(國寶)校 圓山應舉訂

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正八年(一九一九)五月活版 外寸「一九×一二・四糎」 (七九頁。表紙に山岸氏識語「間に合はせ早學問の補遺也」)

## 天保佳話

丈我老圃著

天保八年(一八三七)十月序刊 外寸「二・五×一四・七糎」 印記「信中塩里兩籟書閣原氏書畫金石之記」(大原堂印) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一五・七×一〇・八糎」 漢字片假名。三三丁)

## 日用鄙事二卷

小澤新兵衛(精庵・斑美)編

〔昭和期〕寫 外寸「二六・四×一八・三糎」 (九行。漢字片假名。一卷三七丁二卷三八丁。底本「嘉永三年困學堂藍本」)

## 嚶々筆語

野之口隆正等著

三三〇七

一册

三三〇八

一册

三三〇九

一册

三三一〇

一册

三三一一

一册



京都 弘文堂近江屋佐太郎 天保十三年(一八四二)六月刊 外寸「二五・二×一七・八糎」 印記「門外不出足助書藏」  
(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・二×一二・八糎」 四五丁)

### 學庭辨疑問答 卷第一

村山義行・荒野文雄編

東京 萬字堂淺井重光 明治十五年(一八八二)五月活版 外寸「一八・二×一四糎」 (七四丁)

### 佛語より出でたる俗語の解

衣笠宗元編

京都 貝葉書院 明治三十五年(一九〇二)六月活版 外寸「一八・八×一三糎」 (八〇頁)

### 續無名抄三卷

岡西惟中著

文政八年(一八二五)高木翼土寫 外寸「三・五×一七・五糎」 印記「高木左源次藏書」 (一〇行。上二六丁中二四丁下二二丁。底本「延寶八年八月書林愚常刊本」)

### 閑居草二卷

黒岩慈庵著

〔江戸後期〕村山氏寫 外寸「二五・五×一九・五糎」 印記「蔦能屋」 (二二行。上三四丁下三三丁)

### 藝苑日涉十二卷

村瀬之熙(榜亭)著 石川之襲重校

〔文化四年十二月江戸北澤伊八等刊〕文政二年(一八一九)後印 外寸「二六×一八糎」 印記「有竹印」 (左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・六×一二・七糎」 一卷四五丁二卷四二丁三卷三〇丁四卷三三丁五卷三八丁六卷二八丁七卷二五丁八卷三四丁九卷三四丁一〇卷二九丁一一卷三六丁一二卷三八丁)

一册

三三二二

一册

三三二二

一册

三三二四

一册

三三二五

一册

三三二六

一二册

### 瓦礫雜考二卷

喜多村節信(筠庭)著

江戸 松屋要助・須原屋善五郎 文化十五年(一八一八)刊 外寸「二五・九×一七・八糎」印記「東尾文庫」榮郭齋藏「筒井喜一郎」岩井「中川氏藏書」(單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・八×一三・八糎」繪入。一卷三四丁二卷三七丁)

三三二七

二册

### 松屋外集三卷

小山田與清著 牟田部寛徳校

天保十四年(一八四三)自序刊 外寸「二六×一八・二糎」印記「子孫永寶」平戸藩藏書「樂成堂圖書記」(松浦靜山)(四周雙邊。無界。七行。内匡郭「二〇・五×一四・五糎」一卷上二四丁下二五至六六丁。二卷二九丁三卷四一丁)

三三二八

四册

### 文教温故二卷

山崎美成著

東都 慶元堂和泉屋庄次郎 文政十一年(一八二八)刊 外寸「二七×一七・八糎」(四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・七×一三・六糎」上四〇丁下三九丁。「慶元堂藏板目錄 淺草新寺町 和泉屋庄次郎」七丁。朱筆の書き入れあり)

三三二九

二册

### 述齋偶筆

林衡(述齋)著

〔東京〕 養徳會 明治二十四年(一八九一)三月活版 外寸「一八×二・四糎」(三〇頁)

三三三〇

一册

### 事物原始備考二卷

小澤新兵衛(精庵・斑美)編

明治十八年(一八八五)二月越後田子了愍寫 闕卷下 外寸「三三・九×一六・五糎」(二二行。上三三丁中二五丁)

三三三一

二册

## 愚雜俎二卷

田宮仲宣著

京都 細栴文英堂〔文政五年序京都本屋重右衛門刊〕文政八年（一八二五）一月後印 外寸「二五・五×一八・一糶」  
（無匡郭。一〇行。一卷二二丁二卷一五丁）

三三三

二册

## 檀園隨筆二卷

中島廣足著

大阪 秋田屋太右衛門等 嘉永七年（一八五四）刊 外寸「二五・六×一八・二糶」〔永田直行藏本（墨書）（無匡郭）  
一行。上五一丁下四六丁。〕「檀園大人著述目錄」一丁。奥付に弘所書林として「大阪 敦賀屋九兵衛・廣嶋 世並  
伊兵衛・井筒屋忠八郎」の三書肆名あり）

二册

三三三

## 梅園日記五卷

北嶺信（靜慮）著

江戸 萬笈堂英大助・北林堂西宮彌兵衛 弘化二年（一八四五）七月刊 外寸「二六・四×一八・一糶」 印記「生養館  
藥室記」「川又三藏」「關氏藏書之記」〔單邊。無界。一行。内匡郭「一九・七×一四・三糶」 一卷四二丁二卷四一丁  
三卷四二丁四卷四五丁五卷四三丁〕

五册

三三四

## 櫻陰腐談二卷

釋梅國著

華雒 林正五郎 正徳二年（一七二二）五月刊 外寸「二五・八×一八・六糶」〔單邊。無界。一行。内匡郭「二〇・六  
×一四・八糶」 一卷五一丁二卷四七丁〕

一册

三三五

## 櫛齋雜攷二卷

木村正辭著

三三六

東京 光風館書店 明治四十二年(一九〇九)十二月刊 櫛齋藏版 外寸「三・四×一六・二糎」(四周雙邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二六・五×一一・九糎」(一卷三七丁二卷三五丁)

二册

### 語園二卷

一條兼良(桃華老人)著

寛永四年(一六二七)七月刊 外寸「二五×一六・四糎」 印記「横槩賦記」「紀晋」他 (四周雙邊。無界。一〇行。小黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二八×一三・一糎」 漢字片假名。上三六丁下三九丁)

三三二七

一册

### 語園五卷

〔京都〕 野田彌兵衛 明曆四年(一六五八)一月刊 外寸「二四・三×一六・四糎」 印記「松坂中町伊豆田屋」(書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。白口。線魚尾。内匡郭「二〇・九×一四・九糎」 繪入。一卷二五丁二卷二六丁上二七丁中二九丁下二七丁。山岸氏識語「卷三以下一條兼良之語園寛永刊本同焉」)

三三二八  
五册

### 本朝語園十卷

孤山居士著

〔京都〕 出雲寺和泉掾 寶永三年(一七〇六)二月刊 外寸「二五・八×一八・三糎」 印記「桂氏藏書(桂譽正)」(單邊。無界。一一行。内匡郭「二九・七×一四・四糎」 漢字片假名。一卷三二丁二卷二〇丁三卷三五丁四卷二四丁五卷二六丁六卷三四丁七卷三四丁八卷二八丁九卷三四丁一〇卷四八丁)

三三二九

一〇册

### 新語園十卷

淺井了意著

〔京都〕 梅花堂小佐治忠治・梶川常政・小佐治宗貞 天和二年(一六八二)刊 外寸「二五・四×一七・五糎」 印記「奈良氏文庫印」(單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・六×一五・五糎」 漢字片假名。一卷四〇丁二卷三二丁三卷三四丁四卷三四丁五卷三八丁六卷三六丁七卷三六丁八卷三二丁九卷三四丁一〇卷三六丁)

三三三〇  
五册

## 漢土語園五卷

〔京都〕寺町通蛸藥師下ル 伏見屋半三郎 〔江戸中期刊〕後印 外寸「二五・八×一八糎」 印記「勘」 〔書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。白口。單線魚尾。内匡郭「二・二×一四・八糎」 繪入。一卷二七丁二卷二九丁三卷二七丁四卷二五丁五卷二六丁。卷一至卷三は明曆四年野田彌兵衛刊「語園」上中下卷（與三二八番同版）の後印、但し卷下の末尾七行及び刊記を削去。卷四卷五は同「語園」卷一巻二の後印、版元名を入木）

三三三二  
五册

## 和漢故事談五卷

舉扇堂靜榮著

京城 岡權兵衛 〔寶永元年序刊〕寛延元年（二七四八）十一月後印 外寸「三二・七×一六糎」 印記「中田」 〔松尾氏〕〔墨書〕 〔單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・六×一四・二糎」 一卷三二丁二卷二四丁三卷二四丁四卷二四丁五卷二六丁）

三三三一  
五册（合綴一册）

## 和漢群玉故事八卷

部遊燕編

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・二×一八・六糎」 印記「ミノ正」他 〔題簽〕和漢故事文選 單邊。無界。九行。白口。單魚尾。内匡郭「二八×一三・八糎」 漢字片假名。一卷三三丁二卷一五丁三卷一六丁四卷一九丁五卷二〇丁六卷二二丁七卷一七丁八卷一一丁）

三三三三  
八册

## 膾餘雜錄五卷

釋道慶（永田善齋）著

承應二年（一六五三）刊 外寸「二六・七×一八・八糎」 印記「中山氏藏書之記」〔中山久四郎〕〔内藤止叟〕 〔文波山人滿彌藏〕〔墨書〕 〔四周雙邊。無界。一〇行。白口。單花口魚尾。内匡郭「二〇・七×一四・四糎」 一卷三七丁二卷四一丁三卷四〇丁四卷三九丁五卷四四丁。付、樋口昇氏書信に「永田善齋關連資料」五枚あり）

三三三四  
五册

新續著聞集 存卷一巻二

文化三年(一八〇六)東隨舍自序寫 外寸「二六・六×一九・一厘」 印記「櫻」「三益」 (一〇行。一巻一九丁二卷三九丁)

本朝虞初新誌三卷

菊池純(三溪)著 依田百川(學海)點

東京 文玉圃吉川半七 明治十六年(一八八三)十月刊 外寸「一八・五×二二・一厘」 印記「山崖十茂能藏書」「友之助醒」(角書「奇文觀止」 單邊。有界。一〇行。内匡郭「一五・二×八・七厘」 漢字頭注訓點付。上四一丁中四〇丁 下三八丁)

日本智囊 存卷一至巻四

中村和周(字臧・栗園)著 男中村彝(鼎五)校

東京 中島精一 明治十八年(一八八五)八月刊 外寸「三二・九×一五厘」 印記「安藤文庫」「藤井藏書」(四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・九×一一・八厘」 漢字頭注訓點付。一巻三〇丁二巻二九丁三巻一〇丁四巻二二丁。 總目は十巻まであり)

諸雜記

〔江戸末〕寫 外寸「三二・五×一六厘」 (書名は目次首による。一一行。五三丁)

無底抄

〔江戸末〕寫 「三三×一六・八厘」 (書名は書外題による。一一行。九六丁)

和漢三才事始問答三卷

三三三五  
二册

三三三六  
三册

三三三七  
三册

三三三八  
一册

三三三九  
一册

大筋室主人著

江戸 太保堂奥村喜兵衛 安永三年(一七七四)八月刊 外寸「二六・五×一七・五糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・八×一四・四糎」漢字訓點付。一卷三〇丁二卷三二丁三卷三八丁。「太保堂藏板目錄 江戸芝神明前奥村喜兵衛板」三丁。朱筆の書き入れあり)

### 古代見聞考集 見留邊誌

安政二年(一八五五)寫 外寸「二五×一七糎」(書名は書外題による。假綴。八行。五九丁)

### 拾玉新智恵海三卷

藤井政武編

〔江戸中期〕刊 外寸「二二・五×一五・五糎」〔羽陽産人庭師久助主〕(墨書) (單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・五×一三糎」 上三二丁中三三丁下七丁)

### 増補國華集二卷

江戸 野田太兵衛・京都 野田彌兵衛 元祿五年(一六九二)一月刊 外寸「二二・五×一六糎」 印記「大橋藏書」(單邊。無界。一一行。白口。雙魚尾。内匡郭「一六・五×一七糎」 上二五丁下一一六丁至二四九丁)

### 略年山紀聞拾遺

〔江戸末〕寫 外寸「二四・五×一七・五糎」 印記「紅梅文庫」(前田善子) (書名は書外題による。假綴。八行。三三丁。山岸氏識語「年山紀聞抄出ナリ」 朱筆の書き入れあり)

### (校訂)翁草二百卷首一卷

神澤貞幹(杜口・其甥)編 池邊義象校  
京都 五車樓書店 明治三十八年六月至明治三十九年(一九〇六)五月活版 外寸「二二・六×一五・三糎」

三二四〇

三册

三二四一

一册

三二四二

一册

三二四三

二册

三二四四

一册

三二四五

二册

### たけとり物語二卷

〔京都〕 柳枝軒茨城氏小川多左衛門 〔江戸中期〕刊 外寸「二七・九×一八・八糎」 印記「十湖藏書」「エンシユウ中ゼンチ松源」 「康子」〔墨書〕 〔單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇×一四・四糎」 繪入。上「三丁下「一九丁〕

### 竹取物語いよめ言

狛諸成著

昭和五年（一九三〇）六月寫 外寸「二七・九×一九・二糎」 〔書名は序文首による。一〇行。四三丁。山岸氏識語「竹取物語伊左々米言一卷狛諸成作也。以圖書寮本詠人書寫畢」〕

### 伊勢物語

東京 古典保存會事務所 昭和六年（一九三一）十月影印 外寸「二五・九×一五・三糎」 〔書名は題簽による。一二行。漢字片假名。六七丁。底本「最明寺所藏古寫本」 附録「最明寺藏時頼本伊勢物語解説」橋本進吉著。六頁〕

### 異本伊勢物語

東京 岩波書店 昭和七年（一九三二）二月複製 外寸「一五・三×一四・四糎」 〔書名は箱書による。列帖裝。九行。七四枚。底本「大島雅太郎所藏鎌倉期寫本」〕

又

〔書名は解説による。列帖裝。九行。七四枚。底本「大島雅太郎所藏鎌倉期寫本」 別冊「異本伊勢物語解説」佐佐木信綱著。六頁。與「三二四九番同版」〕

### 伊勢物語

〔東京〕 芦澤新二 昭和四十三年（一九六八）五月影印 外寸「一七・五×一六・二糎」 〔書名は題簽による。八行。五三枚。制作「築地書館」 底本「鐵心齋文庫所藏鎌倉期寫本」 別冊「鐵心齋文庫藏伊勢物語通具本解説」山田清市著。六一頁〕

三三四六

二册

三二四七

一册

三二四八

一册

三二四九

一册

三二五〇

一册・別冊解説一册

三二五一

一册・別冊解説一册



## 伊勢物語

東京 大塚巧藝社内古文學祕籍複製會 昭和九年(一九三四)八月複製 外寸「二七・二×一八・八糎」(書名は書外題による。大和綴。一〇行。六三丁。底本「大島雅太郎所藏不忍文庫舊藏古寫本」別冊「塗籠本伊勢物語解説」池田龜鑑著。六頁)

三三五二

一冊・別冊解説一冊

## 伊勢物語

昭和二十七年(一九五二)七月寫 外寸「二七×一九・七糎」(書名は書外題による。九行。四五丁。山岸氏識語「伊勢物語狩使本実践女大黒川家旧藏本也爲參考書写者也」)

三三五三

一冊

## 伊勢物語髓腦

昭和六年(一九三二)十月寫 外寸「二七・三×一九・四糎」(一〇行。一三三丁。奥書「天明三年卯臘月中旬書写了洛東隱士村井古巖」山岸氏識語「伊勢物語髓腦」一卷神宮文庫本也以宮田氏本轉写了村井本与内閣文庫本同者也」)

三三五四

一冊

## 伊勢物語髓腦

昭和六年(一九三二)十月寫 外寸「二七・三×一九・五糎」(書名は書外題による。一一行。二二丁。識語「右一册者爲諸願成就令奉納之所也願主河野源右衛門尉千時承應貳癸巳曆極月吉日 正利」山岸氏識語「伊勢物語髓腦」一卷以神宮本之轉写本書写畢承應二年本与刈谷文庫本同者也」)

三三五五

一冊

## 伊勢物語知顯 卷一

昭和十五年(一九四〇)十一月山岸德平寫 外寸「二七・一×一九・五糎」(書名は書外題による。一一行。三二丁。山岸氏識語「和語知顯集」一卷欠本也鎌倉期写本也以松田氏轉写本書写矣」)

三三五六

一冊

## 神風知顯正義集 存卷下

田山信郎・松田武夫校訂  
桑名 竹内文平 昭和十六年(一九四二)五月活版 印刷「京都便利堂」 外寸「一五・八×一六・四糎」(八〇頁。「神

三三五七

一冊

風知顯正義集解題「松田武夫。八一至八九頁」

## 大倭物語二卷

〔昭和期〕景照 外寸「二・八×一六・二浬」(書名は表紙による。一〇行。上五二枚下四四枚。底本「名古屋市蓬左文庫所藏室町後期寫本」 山岸氏識語「蓬左文庫本」)

三二五八  
一册

## 大和物語二卷

東京 大塚巧藝社内古文書祕籍複製會 昭和八年(一九三三)九月複製 外寸「一四・七×一四・五浬」(古文書祕籍叢刊之一。書名は題簽による。列帖裝。一一行。上五〇枚下八二枚。底本「三條西伯爵家所藏古寫本」 別冊「傳爲氏筆大和物語解説」池田龜鑑著。一六頁)

三二五九  
二册・別冊解説一册

## 大和物語

東京 育徳財團 昭和十一年(一九三六)十二月複製 外寸「三三×一四・五浬」(尊經閣叢刊之一。書名は封面による。列帖裝。一〇行。一五四枚。底本「前田家所藏傳藤原爲家筆古寫本」 別冊「大和物語解説、爲家自筆本文校異」池田龜鑑稿。六五丁)

三二六〇  
一册・別冊解説・校異一册

## 大和物語別勘

北村季吟著

昭和十一年(一九三六)五月片寄正義寫 外寸「二七・五×一九・五浬」 印記「片寄藏書」(片寄正義) (書名は書外題による。一〇行。三五丁。片寄氏識語「大和物語別勘一册松井先生御所藏本也借覽之序爲後日書寫者也 正義識」山岸氏識語「片寄氏記念本也」)

三二六一  
一册

## 平仲物語

東京 靜嘉堂文庫 昭和十一年(一九三六)十二月複製 外寸「二七×一六浬」(靜嘉堂稀觀書之一。書名は書外題による。列帖裝。一一行。六一枚。底本「靜嘉堂文庫所藏傳藤原爲相筆古寫本」 別冊「平仲物語解説」四頁)

三二六二  
一册・別冊解説一册

## 平仲物語

昭和五年（一九三〇）一月山岸徳平寫 外寸「二七・五×一九・八糎」〔書名は書外題による。一一行。六二丁。山岸氏識語「平仲物語傳冷泉爲相筆粘葉六半本一帖靜嘉堂文庫祕本也」朱筆の書き入れあり〕

## おちくほ物語四卷

〔昭和期〕山岸徳平寫 外寸「二七・八×一九・八糎」〔書名は書外題による。一二行。一册四一丁二册四〇丁三册二八丁四册三〇丁。山岸氏識語「落窪物語四卷以圖書寮本書寫畢以縣居大人校訂本之転写本書寫焉」朱筆の書き入れあり〕

## 落くほ物語 存卷一之上下

〔江戸後期〕刊 外寸「二六・二×一八糎」 印記「菅園藏記」〔書名は題簽による。無匡郭。一〇行。一卷上三二丁一卷下二九丁。墨筆朱筆の書き入れあり〕

## 落くほもの語系圖傳

昭和三十二年（一九五七）八月山岸氏家中寫 外寸「二七・一×一九・八糎」〔二二行。一八丁。山岸氏識語「落窪物語系圖傳一册以黒川眞頼本書寫了」朱筆の書き入れあり〕

## かやくき物語二卷

昭和三十三年（一九五八）十一月山岸氏家中寫 外寸「二七・七×一九・七糎」〔書名は書外題による。一〇行。上七四丁下九八丁。山岸氏識語「かやくき物語下卷奥書無之半紙本二册黒川眞頼旧藏本云宇都保物語國讓卷也」〕

## 空穂物語新治十卷

巨勢利和著

〔昭和期〕ペン寫 外寸「二八・五×二〇・五糎」〔一三行。一卷四五丁二卷四九丁三卷三六丁四卷五七丁五卷四三丁六卷三九丁七卷五〇丁八卷四五丁九卷六一丁一〇卷三九丁。朱筆の書き入れあり〕

三二六三

一册

三二六四

四册

三二六五

二册

三二六六

一册

三二六七

二册

三二六八

五册

詞華堂雜筆一卷宇都保年立一卷

細井貞憶(詞華堂)著

昭和三十一年(一九五六)山岸氏家中寫 外寸「二四・五×一六・八糎」(書名は書外題による。九行。詞三五丁宇一七丁。山岸氏識語「熱海紀」行其外細井貞憶自筆本也昨秋借覽高橋氏本写了昭子写也今仮題詞華堂雜筆「宇都保物語年立在紙背有之解綴而写之了云云」朱筆の書き入れあり)

三二六九

一册

源氏物語 桐壺卷

昭和三十三年(一九五八)景照 外寸「一八・五×一三・三糎」(書名は書外題による。一〇行。五枚。底本「名古屋市蓬左文庫所藏紹巴筆寫本」 山岸氏識語「桐壺卷蓬左文庫本也」)

三二七〇

洋裝一册

〔源氏物語〕 槇はしら

京都 京都帝國大學文學部 大正十年(一九二二)三月影印 外寸「一五・四×一五・三糎」(京都帝國大學文學部叢書第五。列帖裝。九行。五六枚。底本「平瀨三七雄所藏古寫本」 別册「平瀨本源氏物語解説」八丁)

三二七一

一册・別册解説一册

〔源氏物語〕 桐壺・槇はしら

京都 京都帝國大學文學部 大正十年(一九二二)三月影印 外寸「一五・四×一五・三糎」(京都帝國大學文學部叢書第五。列帖裝。九行。桐壺四九枚槇はしら五六枚。底本「平瀨三七雄所藏古寫本」 別册「平瀨本源氏物語解説」八丁。與三二七一番槇はしら同版)

三二七二

二册・別册解説一册

〔源氏物語〕 きりつぼ

〔昭和期〕寫 外寸「二七・三×一九・一糎」(書名は書外題による。一一行。三六丁。山岸氏識語「桐壺一卷石井庄司氏知人藏本也…鎌倉初期写本爲家様有之文字達者云云」)

三二七三

一册

源氏物語 桐壺・澪標

昭和十七年(一九四二)七月菊池洩治寫 外寸「二四・四×一六・八糎」(書名は書外題による。一〇行。桐壺三〇丁)

三二七四

濬標三六丁。山岸氏識語「菊池氏本源氏物語菊池氏寄贈」

源氏物語 蓬生・關屋・薄雲

昭和六年（一九三二）五月寫 外寸「二六・二×一九・二糎」〔書名は封面による。一一行。蓬生三三丁關屋六丁薄雲

三〇丁。山岸氏識語「光源氏物語曼殊院本三卷借覽宮田氏写本詛人書写者也」墨筆鉛筆による書き入れあり

〔源氏物語〕 松風

昭和二十五年（一九五〇）六月山岸德平寫 外寸「二七・五×一九・三糎」〔書名は書外題による。九行。四四丁。山

岸氏識語「松風卷一卷伝越部尼筆尾州徳川家藏本也」

源氏物語 蜻蛉卷

昭和二年（一九二七）六月寫 外寸「二七・三×一九・三糎」〔書名は書外題による。九行。六五丁。表紙に「畊雲本

旧上野圖書館本」とある。識語「昭和二年六月十七日以帝國圖書館藏本書写之」山岸氏識語「蜻蛉卷一册上野圖書館藏

本者高松宮家藏本再轉写之本也」

源氏物語抄寫本

昭和六年（一九三二）五月山岸德平寫 外寸「三二・一×二五・八糎」〔書名は封面による。一一行。四〇丁。山岸氏

識語「光源氏物語抄寫本一卷京大本也今以京大轉写本写置者也」

〔源氏物語〕五十四帖源氏爪印七卷山路之露一卷源氏系圖一卷源氏物語引哥一卷

〔江戸後期〕刊 闕帖「三三至三五帖爪印卷」一卷 外寸「二四・五×二一・三糎」〔單邊。無界。一一行。白口。單魚尾。

内匡郭「一一・四×八・五糎」 繪入

源氏物語古註

東京 大塚巧藝社 〔昭和期〕複製 外寸「三二糎」〔書名は解説による。底本「七海兵吉所藏鎌倉期古写本」 別冊

一册

三二七五

一册

三二七六

一册

三二七七

一册

三二七八

一册

三二七九

二八册

三二八〇

「源氏物語古註解説」池田龜鑑著。一五頁

冊 卷子本一卷・別冊解説一

### 源氏釋

世尊寺伊行著

昭和三年(一九二八)二月山岸徳平寫 外寸「二四×一六・四糎」(題簽「源氏物語釋」一〇行。五二丁。山岸氏識語

三二八一  
一冊

「源氏物語釋寫本一卷圖書寮本也歛本。欠濬標之卷以下矣前田侯爵家藏源氏積一本矣他日須補缺書写校合也」

### 源氏物語奥入

藤原定家著

昭和四年(一九二九)四月寫 外寸「二七・四×一九・九糎」(一二行。四〇丁。底本「神宮文庫(林崎文庫)藏天明四年

三二八二  
一冊

八月写本」 山岸氏識語「昭和龍輯己巳四年四月上澁起毫同中浣以後囁高師研究科卒業生書写畢」 朱筆の書き入れあり

### 源氏古鈔

昭和三年(一九二八)十一月山岸徳平寫 外寸「三一・九×二三・五糎」(書名は書外題による。一二行。五五丁。山

三二八三  
一冊

岸氏識語「源氏物語古鈔古写本一卷神宮文庫祕本也：原本逸題簽後人漫題曰源語古鈔非原名也不知源氏物語奥入者  
也一村翁記源氏古鈔只以源語爲源氏而已」 朱筆の書き入れあり

### 源氏物語抄

田山信郎校訂

東京 牧田清之助 昭和十六年(一九四一)十月活版 京都便利堂印刷 外寸「一八・二×一二・六糎」(一二行。

三二八四  
一冊

六三頁。「源氏物語抄解題」松田武夫著。六五至七八頁

### 紫明鈔

釋素寂著

昭和七年（一九三二）五月寫 闕卷第一冊 外寸「二七×一九・四糎」（書名は書外題による。卷頭「光源氏物語抄」一三行。山岸氏識語「紫明鈔五卷圖書寮藏本也異本詔人書寫畢」）

### 紫明抄 存卷六卷九

釋素寂著

昭和三年（一九二八）三月寫 外寸「二七・四×一九・六糎」（九行。六卷二六丁九卷四三丁。山岸氏識語「紫明抄南葵文庫本也」）

### 原中最祕鈔二卷

釋行阿著

昭和二年（一九二七）八月山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一九・六糎」（一〇行。上五一丁下六〇丁。山岸氏識語「原中最祕鈔上卷以前田家本之傳寫本書寫畢」原中最祕抄下卷如所言于前卷矣」）

### 原中最祕鈔二卷

釋行阿著

昭和五年（一九三〇）八月複寫 外寸「二七・三×一九・七糎」（書名は書外題による。一三行。上四〇丁下五一丁。山岸氏識語「原中最祕鈔上下二卷一冊阿波文庫藏本也借得宮田氏寫本而以感光昏映写者也卷首一枚缺矣」別紙に本奥書の寫あり）

### 仙源鈔

長慶天皇著

昭和三年（一九二八）八月寫 外寸「二七・三×一九・九糎」（書名は書外題による。一八行。四一丁。奥書「元和四戊午歲正月廿三日寫之 持主葛山彌三郎」 底本「東京高等師範學校藏寫本」）

三二八五

四冊

三二八六

一冊

三二八七

二冊

三二八八

一冊

三二八九

一冊

珊瑚秘抄

昭和十一年(一九三六)七月寫 外寸「二七・五×一九・四糎」(二二行。二二丁。山岸氏識語「珊瑚秘抄」一卷三條西伯家藏本也)

三二九〇  
一册

種玉編次抄

宗祇著  
昭和三年(一九二八)二月山岸氏家中寫 外寸「二六・六×一八・九糎」(書名は書外題による。八行。二二丁。山岸氏識語「種玉編次抄」寫本一卷宮内省圖書寮藏本也令家中女子書写已)

三二九一  
一册

種玉編次抄

宗祇著  
昭和十五年(一九四〇)七月寫 外寸「二七・二×一九・三糎」(書名は書外題による。一〇行。一七丁。山岸氏識語「種玉編次抄」一卷榊原子爵家藏本也…今茲夷則七月借覽榊原家本之序囑人書写畢)

三二九二  
一册

源氏物語不審抄

宗祇著  
昭和六年(一九三二)十月寫 外寸「二七・一×一九・四糎」(二二行。五五丁。山岸氏識語「源氏物語不審抄」一卷東北帝大本書写者也)

三二九三  
一册

紫塵愚抄二卷

宗長著  
昭和三十一年(一九五六)十一月山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・七糎」(書名は書外題による。九行。一卷六六丁二卷六九丁。山岸氏識語「紫塵愚抄」二卷國學院大學国文研究室本也…宗長作也) 朱筆の書き入れあり

三二九四  
二册

源氏男女装束抄



釋宗碩撰 壺井義知補

昭和三年(一九二八)三月寫 外寸「二六・七×一八・九糎」(八行。二九丁。山岸氏識語「以西下經一氏寫本書寫焉」)

### 深窓祕抄一卷裝束着様一卷源氏物語男女裝束抄一卷

深藤原公任撰 源釋宗碩撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一九・二糎」(一一至一二行。深窓一二丁裝束五丁源氏一七丁。山岸氏識語「合本一

冊源氏物語男女裝束抄良本也」朱筆の書き入れあり)

### 山下水三卷

三條西實枝著

昭和十八年(一九四三)一月寫 外寸「横本一七・九×一九・六糎」(書名は書外題による。一六行。一卷七〇丁二卷

三九丁三卷三二丁。底本「宮内省書陵部藏慶長十四年至十五年寫本」朱筆の書き入れあり)

### 水滴色葉類聚抄

三條西實澄著

昭和四年(一九二九)十一月山岸徳平寫 外寸「二七・二×一九・四糎」(一二行。一一二丁。山岸氏識語「水滴色葉類

聚抄一卷予嘗見三条西家藏本矣今以宮内省本書寫畢」)

### 源氏之註一卷

昭和九年(一九三四)六月寫 外寸「二七・二×一九・八糎」(書名は書外題による。八行。五九丁。山岸氏識語「源氏

物語之註也無題名矣以高野斑山博士藏本書寫。旧梶井宮本而出於朝香宮者也：初音以下欠者歟」)

### 〔源氏物語之註解〕 存七卷

昭和十九年(一九四四)寫 外寸「二七・二×一九・三糎」(書名は識語による。九行。うつせみ二七丁夕かほ八〇丁

わか紫七八丁すえつむ花七〇丁紅葉賀六〇丁花のえん二五丁花ちるさと九丁。山岸氏識語「わか紫卷末」源氏物語

三二九五

一冊

三二九六

一冊

三二九七

三冊

三二九八

一冊

三二九九

一冊

三三〇〇

六冊

之註解不知書名作者」(花のえん花ちる里巻末)「今在天理圖書館：故写五册供參考而已」)

湖月抄五十四卷 附湖月鈔發端 一卷源氏物語系圖 一卷表白 一卷雲隱說 一卷源氏物語諸卷年立二卷

北村季吟著

〔京都〕 村上勘左衛門等 延寶元年(一六七三)跋刊 外寸「二七・三×一九・二糶」(書名は題簽による。單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・一×一七・二糶」 頭注句點付。奥付の書林「林和泉・村上勘兵衛・八尾甚四郎・村上勘左衛門」 吉澤氏識語「東山御文庫御整理ノ砌門人數人ノ助力ヲ得テ御文庫本ニ對校セシム 義則」山岸氏識語「以吉澤氏校訂東山文庫本對校了」 藍筆朱筆の書き入れあり

三三〇一  
六〇册

湖月抄五十四卷 附湖月鈔發端 一卷源氏物語系圖 一卷表白 一卷源氏物語諸卷年立 一卷雲隱 一卷

北村季吟著

〔京都〕 村上勘左衛門等 〔延寶元年(一六七三)跋刊〕後印 外寸「二八×一九・六糶」 印記「中村記圖書」(書名は題簽による。單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・一×一七・二糶」 頭注句點付。奥付の書林「林和泉・村上勘兵衛・吉田四郎右衛門・村上勘左衛門」 本居氏識語「寶曆十三年癸未二月十七日一本校合終業ノ明和九年壬辰五月十六日又本頭書本校合終以朱識別之 本居宣長(花押)」山岸氏識語「本居翁校訂本」 墨筆朱筆の書き入れ、貼紙あり

三三〇二  
二六册

湖月抄五十四卷 附湖月鈔發端 一卷源氏物語系圖 一卷表白 一卷雲隱說 一卷源氏物語諸卷年立二卷

北村季吟著

〔京都〕 村上勘左衛門等 〔延寶元年(一六七三)跋刊〕後印 關卷紅梅 外寸「二七×一九糶」 印記「關自庵」(書名は題簽による。單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・一×一七・二糶」 頭注句點付。奥付の書林「林

三三〇三  
六〇册

和泉・村上勘兵衛・吉田四郎右衛門・村上勘左衛門」山岸氏識語(螢の巻の表紙裏)「本居宣長校訂書入本此書入即爲玉小櫛之根源也」墨筆朱筆の書き入れ、貼紙あり)

又

延寶元年(一六七三)跋刊 外寸「二七・二×一九・三糎」 印記「稜威廼舍藏書(倉澤清也)「倉澤」(書名は題簽による。與三三〇一番同版)

湖月抄五十四卷 湖月鈔發端一卷 源氏物語系圖一卷 表白一卷 雲隱說一卷 源氏物語諸卷年立二卷

北村季吟著

〔京都〕 村上勘左衛門等 (延寶元年(一六七三)跋刊)後印 闕卷一桐壺至卷十一花散里 外寸「二四・九×一八・八糎」 印記「從繩書室圖書記(徳川勝慶) (書名は題簽による。單邊。無界。二二行。白口。無魚尾。内匡郭「三三・一×一七・二糎」 頭注句點付。奥付の書林「林和泉・村上勘兵衛・吉田四郎右衛門・村上勘左衛門」 山岸氏識語」以京都粟田口青蓮院本校訂以三條西公條本校了」 高橋貞一・土岐武治・永善宏・竹鼻績・小林芳規・山岸・築島裕各氏の校合識語あり。與三三〇二番同版。墨朱藍茶の鉛筆による書き入れあり)

源氏物あらそひ

〔昭和期〕影印 外寸「一五・五糎」 (書名は題簽による。底本奥書「于時應永廿二年七月一日書之 龜若丸」)

〔源氏物語〕忍草二卷

北村湖春著

〔大正期〕寫 外寸「二〇・九×一三・四糎」 「此主文字」(鶴忠氏)(墨書) (書名は識語による。一三行。上六一丁下六七丁。見返の識語「此本ハ忍草也大正五年示佐々醒雪翁翁曰不明書。後知忍草也源氏物語弁の事在東海談云云」)

三三〇四  
六〇册

三三〇五  
四九册

三三〇六  
卷子本一卷

三三〇七  
二册

### 源氏物語新釋總考

加茂眞淵著

大坂 奈良屋長兵衛等 文化十三年(一八一六)十二月刊 外寸「一八・三×二二・二糎」 印記「嚴之眞屋」 (單邊) 無界。一〇行。内匡郭「四・六×九・五糎」 二二丁。朱點あり)

三三〇八

一册

### 〔狭衣〕二卷

東京 高橋寫眞マイクロ寫眞部 (昭和期)景照 外寸「横本一四・四×二〇・九糎」 (書名は箱書による。一三行。一卷一七五枚二卷一九八枚。底本「宮内廳書陵部所藏古寫本」)

三三〇九

写真製本四册

### さころも三卷

〔昭和期〕寫 關卷三 外寸「横本一六・六×一八・五糎」 (書名は書外題による。一〇行。一卷一二二丁二卷一二七丁。山岸氏識語「兼載書狭衣抄摘出流布本狭之書入者也兼書書入本池田氏藏之其轉寫本爲佐々木信綱氏之藏矣。奥云延寶六年五月十三日一校合書人：」)

三三一〇

二册

### 狭衣四卷

〔昭和二十五年八月至昭和二十七年(一九五二)三月〕寫 外寸「二七・二×一九・八糎」 (書名は書外題による。一一行。一卷八四丁二卷九一丁三卷一一七丁四卷一二二丁。卷一末の山岸氏識語「狭衣物語卷一内閣文庫本也以片寄氏寫本…書寫了」)

三三一

四册

### さころも四卷

昭和八年(一九三三)十一月山岸氏家中寫 原闕卷四 外寸「二七・七×一九・二糎」 (書名は書外題による。一三行。一卷首尾三丁二卷首尾三丁三卷八二丁。山岸氏識語「狭衣物語三册松井博士藏本也卷四缺本」 朱筆の書き入れあり)

三三一二

一册

### 狭衣下紐四卷

里村紹巴著

三三二三

昭和四年（一九二九）十月山岸德平寫 外寸「二七・六×一九・八糎」（一〇行。一卷四二丁二卷一九丁三卷二丁四卷一五丁。山岸氏識語「狭衣下紐四卷上下二策以法橋紹巴自筆本書寫畢皇太后宮大夫入江朝臣之本也」 朱引きあり）

### 〔狭衣〕下紐

里村紹巴著

昭和五年（一九三〇）六月寫 外寸「二七・二×一九・三糎」（書名は書外題による。一二行。八七丁。山岸氏識語「狭衣下紐一卷宗具筆慶長年次己亥寫本也神宮文庫藏焉」）

### たむの岑の少將

昭和二十七年（一九五二）十二月山岸德平寫 外寸「横本一七・八×一九・六糎」（書名は書外題による。一〇行。三五丁。山岸氏識語「多武岑少將物語一卷旧若狭小浜領主酒井伯爵家世襲什物也據飯島氏周旋借覽調査之際影写者也」）

### 濱松中納言五卷

昭和六年（一九三二）十二月寫 外寸「二二×一四・五糎」（書外題「濱松物語」 一〇行。一卷六〇丁二卷四八丁三卷五七丁四卷六二丁五卷五〇丁。山岸氏識語「濱松中納言物語五卷以尾上柴舟博士本書写者也尾上本卷四奥云万治三二月云云蓋尾上本万治本之轉写本欵」 朱筆の書き入れあり）

### 濱松中納言四卷

昭和九年（一九三四）八月山岸氏家中寫 外寸「二七・五×一九・五糎」（一〇行。一卷七七丁二卷六六丁三卷八〇丁四卷七四丁。山岸氏識語「濱松中納言物語四卷以圖書寮本書寫畢」）

### 濱松中納言 卷六

〔昭和十六年（一九四一）八月〕複寫 外寸「二五・五×一九糎」（書外題「濱松中納言卷六淺野本」 一〇行。五四丁。表紙に「淺野本」と墨書あり。山岸氏識語「濱松中納言物語六一册與尾上本同卷也同物語者從來無卷六只尾上本與淺野本有之而已」）

二册

三三二四

一册

三三二五

一册

三三二六

五册

三三二七

四册

三三二八

一册

### 濱松中納言物語四卷

昭和四十六年(一九七二)複製 外寸「二六・七×一八・五糎」(一一行。一卷四六丁二卷三六丁三卷四七丁四卷五二丁。山岸氏識語「濱松中納言物語四册神戸女子高校藏本也…介紫藤氏借覽而今茲複製者也」)

三三一九  
四册

### 夜半の寢覺

東京 大和繪同好會 大正八年(一九一九)四月複製 外寸「二六・一糎」(書名は箱書による。底本「原富太郎所藏鎌倉期寫本」)

三三二〇  
卷子本一卷

### 寢覺三卷

東京 育徳財團 昭和八年(一九三三)八月複製 外寸「二二・八×一六・九糎」(尊經閣叢刊之一。書名は書外題による。一一行。上一六〇丁中一二五丁下一〇三丁。底本「前田家所藏江戸初期寫本」 別册「前田本寢覺解説」四丁)

三三二一  
三册・別册解説一册

### 夜乃寢覺五卷

昭和五年(一九三〇)七月寫 外寸「二六・五×一九・五糎」(二二行。一ノ上六一丁一ノ下四九丁二ノ上六一丁二ノ下五四丁五卷七〇丁。山岸氏識語「夜廻寢覺五卷東北帝大藏狩野氏旧本也」)

三三二二  
五册

### 夜乃寢覺 卷一之下

昭和五年(一九三〇)八月複製 外寸「二八×一九・五糎」(書名は書外題による。一二行。四九丁。底本「東北大学狩野文庫所藏寫本」 山岸氏識語「夜の寢覺一之下二册東北帝大藏本五册之内以陽面感光紙映写畢」)

三三二三  
一册

### 唐物語

昭和七年(一九三二)八月寫 外寸「二七×一九・三糎」(書名は書外題による。一〇行。九三丁。山岸氏識語「唐物語一卷以神宮文庫本書寫焉同文庫特殊本也」)

三三二四  
一册

### 堤中納言

大正十四年(一九二五)三月高野孫二郎寫 外寸「二七・七×一九・七糎」(一〇行。八三丁。山岸氏識語「異本堤中納物語寫本一卷旧清水濱臣藏本也藏于宮内省圖書寮」書き入れあり)

### 松浦宮物語三卷

昭和五年(一九三〇)寫 外寸「二七・四×一九・九糎」(書名は書外題による。一〇行。上三五丁中四六丁下三一丁。山岸氏識語「松浦宮物語三冊以圖書寮本書寫畢」)

### さよころも三卷

昭和五年(一九三〇)三月寫 外寸「二七・五×一九・九糎」(書名は書外題による。九行。上七六丁中七七丁下八八丁。山岸氏識語「さ夜衣三冊以宮内省本書寫畢藤波家舊藏本也古寫」)

### とりかへはや物語四卷

昭和十年(一九三五)八月寫 外寸「二六・八×一九・四糎」(九行。一卷首尾三丁二卷四七丁三卷首尾三丁四卷首尾三丁。山岸氏識語「取替婆也物語四冊以影写卷二之序寫他卷首尾各一葉爲參攷者也」(卷二末)「取替婆耶卷二吉澤本也」家藏本缺卷二故今書写以補缺」 墨筆朱筆の書き入れあり)

### 〔雫に濁る物語〕

〔室町初期〕寫 外寸「一四・八×一五・二糎」(書名は轉寫本識語による。列帖裝。一一行。三四枚。識語「近衛殿前久號龍山公極札添云佐藤□□教忠記之」凡享和頃迄二三百三四拾年餘成力」(別紙貼付)

### 〔古物語斷簡〕雫に濁る物語

昭和十一年(一九三六)三月寫 外寸「二六・九×一九・四糎」(書名は書外題による。一一行。三四丁。山岸氏識語「物語斷簡一卷淺倉書肆持參于文理大國文學研究室予借覽之序令影寫也不詳書名後日須究明者也」雫に濁る物語ナリキ」三三二九番①の轉寫本)

三三二五

一冊

三三二六

三冊

三三二七

三冊

三三二八

一冊

三三二九①

一冊(貴重書庫室)

三三二九②

一冊

### こけ衣四巻

東京 育徳財團 昭和十四年(一九三九)二月複製 外寸「三三・五×一六・七糎」(尊經閣叢刊之一。書名は題簽による。列帖装。一〇行。春六九枚夏七〇枚秋八七枚冬一〇五枚。底本「前田家所藏江戸初期寫本」別冊「前田本苔衣解説」三〇頁)

三三三三〇

四冊・別冊解説一冊

### こけ衣 卷一

大正十四年(一九二五)十月高野孫二郎寫 外寸「二四・六×一六・七糎」(書名は書外題による。一〇行。五八丁。山岸氏識語「苔衣四巻本書第一巻也」「原本宮内省圖書寮藏寫本也」朱筆の書き入れあり)

三三三三一

一冊

### 苔の衣四巻

〔昭和期〕山岸徳平寫 外寸「二七・四×一九・六糎」(書名は書外題による。一〇行。春五六丁夏四九丁秋六五丁冬七六丁。山岸氏識語「苔乃衣四巻以東京文理大藏本令書寫畢」)

三三三三二

四冊

### こけ衣 春

〔昭和期〕油印本 外寸「二四・九×一七糎」(書名は表紙による。假綴。一〇行。四七丁。山岸氏識語「こけ衣春一冊安田文庫本橋氏借覽臨講時印刷云云回顧十數年前也」昭和三十六年大呂)

三三三三三

一冊

### むくら 卷二

東京 宮内庁書陵部 昭和三十二年(一九五七)三月複製 印刷「京都便利堂」 外寸「一六・六×一五・九糎」(書名は書外題による。列帖装。一一行。三五枚。底本「宮内庁書陵部所藏鎌倉期寫本」別冊「むくら三解題・釋文」三三頁)

三三三三四

一冊・別冊解題・釋文一冊

### いはてしのぶ

東京 宮内庁書陵部 昭和三十二年(一九五七)三月複製 印刷「京都便利堂」 外寸「二二・二×一三・八糎」(書名は解題による。列帖装。一一行。六五枚。底本「宮内庁書陵部所藏南北朝期寫本」別冊「いはてしのぶ解題」九頁)

三三三三五

一冊・別冊解題一冊



いわてしのふ

昭和五年（一九三〇）六月寫 外寸「二七・四×一九・八糎」 （書名は書外題による。九行。一〇七丁。山岸氏識語「言はでしのぶ一巻京大藏本也」 書き入れあり）

三三三六  
一册

海人のかる藻四卷

昭和四年（一九二九）十二月寫 外寸「二七・×一九・三糎」 （書名は書外題による。一四行。一卷二七丁二卷二七丁三卷二二丁四卷二六丁。山岸氏識語「海人の刈藻四卷以宮内省圖書寮本書寫者也寮本四卷二册也」 朱筆の書き入れあり）

三三三七  
一册

阿萬乃刈藻 卷四

昭和八年（一九三三）六月山岸徳平寫 外寸「二六・八×一九・一糎」 （書名は書外題による。一〇行。三六丁。山岸氏識語「蟹の刈藻卷四一册以高師本書寫者也」）

三三三八  
一册

住吉物かたり二卷

昭和五年（一九三〇）四月山岸徳平寫 外寸「二九・六×二二・四糎」 （書名は書外題による。一一行。上二八丁下四二丁。山岸氏識語「住吉物語上下一册以伊勢神宮文庫本書寫焉大型古寫本也」）

三三三九  
一册

住吉物語二卷

昭和六年（一九三一）七月寫 外寸「二六・八×一九・三糎」 （一〇行。上五六丁下四五丁。山岸氏識語「住吉物語二册以讃岐綾歌郡白峯寺本書寫畢」）

三三四〇  
一册

すみよし物語二卷

昭和六年（一九三一）九月寫 外寸「二七・二×一九・三糎」 （書名は書外題による。八行。上三五丁下三八丁。山岸氏識語「住吉物語二卷清水氏藏本也該本永正本轉寫本也」）

三三四一  
一册

### 住吉物語二卷

昭和六年(一九三二)九月寫 外寸「二七・三×一九・四糎」(書名は書外題による。一〇行。上四〇丁下二五丁。山岸氏識語「住吉物語」卷藤井紫影博士藏本也以清水氏轉寫本書寫畢)

三三四二  
一册

### 住吉物語

昭和七年(一九三二)七月寫 外寸「横本一九・四×二六・七糎」(書名は書外題による。一三行。七九丁。山岸氏識語「住吉物語」卷三州西尾文庫本也以高木氏寫本轉寫畢)

三三四三  
一册

### 住吉物語三卷

昭和七年(一九三二)十二月寫 外寸「横本一九・三×二七・七糎」(書名は書外題による。封面「すみよし」一四行。略繪入。上二五丁中二四丁下二三丁。山岸氏識語「住吉物語」三卷枕本也信濃長野市大字西尾張郡光蓮寺什也)

三三四四  
一册

### 住吉物語二卷

昭和八年(一九三三)十月山岸氏家中寫 外寸「二七・六×一九・八糎」(書名は下巻頭による。一〇行。上三二丁下二三丁。山岸氏識語「住吉物語」二卷以香取神社本書寫焉) 朱筆の書き入れあり)

三三四五  
一册

### すみよし物語

昭和八年(一九三三)十一月山岸氏家中寫 外寸「二二・五×一九・七糎」(書名は書外題による。一〇行。七四丁。山岸氏識語「住吉物語」一卷以住吉神社文庫本轉写者也列帖裝本而書写十行木活字本者歟今年仲夏借覽宮田氏写本之序書写於家中焉)

三三四六  
一册

### 住吉物語

昭和十一年(一九三六)十二月片寄正義寫 外寸「二三・四×一九・八糎」(書名は書外題による。一一行。五四丁。山岸氏識語「住吉物語」一卷御巫氏本也今茲夏借覽焉片寄氏書写贈一本于余之机上者也)

三三四七  
一册

## 住吉物語

〔昭和十九年（一九四四）複寫 外寸「二四・九×一八・九糎」〕（書名は表紙による。一一行。四八丁。山岸氏識語）  
住吉物語一卷廣島淺野家圖書館藏本也松永氏謄寫爲余所贈者也

三三四八

一册

## 芥川草紙

昭和六年（一九三二）十月山岸徳平寫 外寸「二七・六×一九・五糎」〕（書名は書外題による。九行。八丁。山岸氏識語）  
芥川草紙一册以史料編纂掛藏本轉寫畢 朱筆の書き入れあり

三三四九

一册

## 吉備大臣物語

昭和五年（一九三〇）五月山岸徳平寫 外寸「二七・四×一九・六糎」〕（一〇行。漢字片假名。五丁。山岸氏識語）  
大臣物語一卷以宮内省本書寫畢

三三五〇

一册

## 草野物語

昭和五年（一九三〇）四月山岸徳平寫 外寸「二七・七×一九・五糎」〕（書名は書外題による。八行。三七丁。山岸氏識語）  
草野物語一卷神宮文庫本也

三三五一

一册

## 鳴門中將物語考證

岸本由豆流著

〔江戸〕〔萬笈堂英遵〕 文化十四年（一八一七）序刊 外寸「二六・七×一八・二糎」〕 印記「宮光園」「河野藏弁」〕（書名は序文首による。卷頭「鳴門中將物語」 單邊。無界。一一行。内匡郭「二四・一×一五・一糎」 頭注付。八丁。萬笈堂英遵藏板目錄「九丁」）

三三五二

一册

## 鳴門中將物語考證

〔文化十四年（一八一七）序刊〕後印 外寸「二六・七×一八・二糎」〕（書名は序文首による。卷頭「鳴門中將物語」 單邊。無界。一一行。八丁。卷末に「京都御幸町御池南書林菱屋孫兵衛」の朱印あり。與三三五二番同版。但し藏

三三五三

一册

板目録闕)

### 兵部卿物語

昭和三十年(一九五五)山岸徳平寫 外寸「二七・三×一八・九糎」(書名は書外題による。一二行。四七丁。山岸氏識語「兵部卿物語黒川本現實踐女大藏本」 墨筆朱筆の書き入れあり)

三三五四  
一册

### 松蔭中納言五卷

昭和五年(一九三〇)六月寫 闕卷第二 外寸「二六・五×一九・三糎」(書外題「松蔭中納言物語」 九行。一卷三〇丁三卷四七丁四卷三〇丁五卷四二丁。山岸氏識語「松蔭中納言物語五卷之中第二卷欵如焉合四册也以名古屋圖書館藏本誂人書写畢」 書き入れあり)

三三五五  
四册

### 松蔭中納言五卷

昭和六年(一九三一)一月寫 外寸「二七・四×一九・六糎」(書外題「松蔭中納言物語」 九行。一卷二六丁二卷三〇丁三卷四一丁四卷二七丁五卷三六丁。山岸氏識語「松蔭中納言物語五卷一册以東北帝大藏本書写畢矣」 朱筆の書き入れあり)

三三五六  
一册

### 山路の露

(明治期)寫 外寸「二五・八×一九・五糎」 印記「熊本市上通二丁目河嶋書店」(書名は書外題による。一二行。三三丁。書き入れあり)

三三五七  
一册

### かせに紅葉一卷春日山一卷

昭和八年(一九三三)一月寫 外寸「二七・四×一九・四糎」(二四行。かせ三三丁春日三四丁。山岸氏識語「か勢に紅葉一卷以圖書寮藏本書寫者也古物語逸文而佚題名矣取卷首之文題焉仮稱風尔紅葉也」)

三三五八  
一册

### 夢通路物語六卷

昭和五年、昭和二十五年（一九五〇）五月寫 外寸「二七・五×一九・四糎」（書名は書外題による。一一行。一卷六八丁二卷五〇丁三卷一〇四丁四卷二五丁五卷七〇丁六卷七二丁。山岸氏識語「夢の通路物語六册尾州家本也」墨筆朱筆の書き入れあり）

### 秋月物語六卷

昭和六年（一九三二）五月寫 原闕卷二卷三卷六 外寸「二六・六×一八・九糎」（書名は書外題による。一〇行。繪入。一卷三五丁四卷三八丁五卷四二丁。山岸氏識語「秋月物語三册卷一、四、五、卷二、三、六、欲畫圖土佐筆保科先生藏本也」）

### あこぎのさうし

多田義俊著

昭和二年（一九二七）八月寫 外寸「二七・八×一九・八糎」（七行。六丁。識語「：余在神宮文庫而倉卒影寫焉」）

### いつくしま三卷

昭和七年（一九三二）四月高橋貞一寫 外寸「二六・九×一九・七糎」（書名は書外題による。六行。上三五丁中三九丁下三四丁。山岸氏識語「嚴島乃本地三卷讚岐白峰寺藏也高橋氏影寫者也受寄贈」）

### 岩屋乃草子

昭和七年（一九三二）五月高木三吉寫 外寸「二七・三×一九・三糎」（書名は書外題による。一〇行。五〇丁。山岸氏識語「岩屋草子一卷爲高木君所贈焉右一卷錯入於住吉物語中者也」）

### 於地久保草紙 異本

昭和十年（一九三五）十一月寫 外寸「二六・二×一八・五糎」（書名は書外題による。八行。四三丁。山岸氏識語「於ち久保草紙一册芝山家本也從粟田口信豊君借覽而令書写者也」）

三三五九

六册

三三六〇

三册

三三六一

一册

三三六二

一册

三三六三

一册

三三六四

一册

荳菴物語

明治十二年(一八七九)六月春雷翁寫 外寸「二七・八×二〇・三糎」(書名は書外題による。一〇行。三九丁)

三三六五  
一册

きりきりすの物語一卷たまむし乃物語一卷若草物語一卷

昭和三十二年六月至三十三年(一九五八)一月山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一九・八糎」(一〇行。きり九丁たま  
一〇丁若草三五丁。山岸氏識語「葚物語玉虫物語一册以黒川本書写者也」「若草物語一册黒川本也」朱筆の書き入れ  
あり)

三三六六  
一册

草木のさうし

昭和五年(一九三〇)二月寫 外寸「横本一五・四×二三・六糎」(書名は封面による。一五行。六三丁。山岸氏識語「草  
木草紙一卷写本三河國刈谷圖書館本也」)

三三六七  
一册

熊野御本地

昭和五年(一九三〇)五月山岸徳平寫 外寸「二七・七×一九・二糎」(書名は書外題による。封面副題「勸化伍衰殿」  
九行。四四丁。山岸氏識語「熊野御本地一卷以京都小川氏藏本書写了」朱筆の書き入れあり)

三三六八  
一册

源藏人物語

昭和七年(一九三二)八月山岸徳平寫 外寸「二七・六×一九・八糎」(書名は書外題による。一三行。一二二丁。山岸  
氏識語「源藏人物語異本以斑山文庫本書写焉原本逸題簽書名不明也乃因源藏人之名今仮名焉乎」書き入れあり)

三三六九  
一册

嵯峨物語

昭和三十年(一九五五)五月山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一八・九糎」(二一行。一五丁。山岸氏識語「嵯峨物語一  
册以黒川本書寫了」昭子影写也)朱筆の書き入れあり)

三三七〇  
一册

## さゝやき竹

昭和九年（一九三四）十一月寫 外寸「二七・七×一九・八糎」（書名は書外題による。封面「橋姫物語」 六行。二三丁。  
山岸氏識語「橋姫物語」一卷岩瀬文庫藏本也囁文庫之人書寫者也橋姫物語實囁竹也誤題書橋姫歟さゝやき竹草子傳本  
不甚多者也（云云）

三三七一

一册

## 七夕の由來

〔東京〕 珍書同好會 〔昭和期〕油印本 外寸「二四×一六・七糎」 印記「大島氏圖書」（大島雅太郎）（書名は題簽に  
よる。封面「牽牛由來記」 九行。三九丁。卷頭に「七夕の由來解説」高野辰之著。三丁）

三三七二

一册

## 志くれ三卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二五・三×一七・五糎」（無匡郭。一〇行。繪入。上一九丁中一九丁下二三丁）

三三七三

一册

## 時雨物語

昭和七年（一九三二）八月寫 外寸「二九・八×二二・二糎」（書名は書外題による。一三行。五二丁。山岸氏識語「志  
くれ」一卷以久原文庫本写畢」 朱筆の書き入れあり）

三三七四

一册

## しやかの御本地 卷下

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・八×一六・一糎」（書外題「釋迦の御本地」 一四行。九丁）

三三七五

一册

## 釋迦の本地 卷二

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・六×二〇・二糎」（書名は書外題による。一〇行。彩色繪入。四六丁）

三三七六

一册

### 酒呑童子

昭和十七年（一九四二）一月寫 外寸「二七・一×一九・五糎」（書名は書外題による。八行。三八丁。山岸氏識語「酒呑童子」一卷未欠者也雖所々有繪拙劣不足見故今略冲森本一覽之序囑人書寫焉）

### 酒巖童子物語

昭和十一年（一九三六）山岸徳平寫 外寸「二六・八×一七・九糎」（八行。六〇丁。山岸氏識語「酒巖童子物語」一卷松井博士藏本也）朱筆の書き入れあり

### 酒呑童子記

明治十八年（一八八五）五月東谷上村梶山新太郎寫 外寸「二七・七×一九・四糎」（書名は書外題による。九行。三三丁）

### 〔葉月物語〕一卷酒呑童子繪卷物考一卷

葉月昭和二十八年（一九五三）十月寫酒呑（大正十五年（一九二六）頃）寫 外寸「二七・一×一九・五糎」（書名は書外題による。八行。葉月一〇丁酒呑四丁。山岸氏識語「葉月物語無名物語」一軸學習院藏轉写本也昔混入隆能源氏繪卷中者也今朝書写了徳川義宣氏此物語葉月物語ト題セラレタリ」酒呑童子繪卷物考 本書影写年次不詳案大正十五年秋頃歟）

### 續落くほものかたり

昭和三年（一九二八）七月寫 外寸「二七・二×一九・八糎」（二〇行。四一丁。山岸氏識語「續落窪物語」一卷伊勢神宮文庫藏本也）書き入れあり

### 續落くほものかたり

昭和五年（一九三〇）五月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」（封面副題「蓬廬襍鈔第三十三」 一〇行。二五丁。山岸氏識語「蓬廬襍鈔所收續落窪物語」一卷村上忠順自筆也參州刈谷文庫圖書館藏本也爲比較神宮文庫本書寫焉）「蓬廬村

三三七七  
一册

三三七八  
一册

三三七九  
一册

三三八〇  
一册

三三八一  
一册

三三八二  
一册



上忠順也襍鈔一百二十册在刈谷文庫矣」

### 玉つくり物語十五卷

昭和六年（一九三二）八月寫 外寸「二七×一九・三糎」〔書名は書外題による。八行。一卷一七丁二卷一〇丁三卷二八丁四卷一八丁五卷四七丁六卷二五丁七卷一四丁八卷一六丁九卷二二丁一〇卷二二丁一一卷一二丁一二卷一四丁一三卷一五丁一四卷二五丁一五卷一六丁。山岸氏識語「玉造物語十五卷近衛公陽明文庫本也今在京大寄託本中以清水氏写本轉写者也」〕

三三八三  
三册

### 大納言物語一卷芥川草子一卷

大納言昭和十四年（一九三九）九月寫芥川〔昭和初期〕山岸氏家中寫 外寸「二七・二×一九・二糎」〔大納言一〇行芥川九行。大納言一八丁芥川八丁。山岸氏識語「大納言物語一卷三谷氏藏本也」芥川草子一卷史料編纂掛藏本也先年後藤氏書写一本而寄贈于余者也〕 朱筆の書き入れあり〕

三三八四  
一册

### たまも

〔江戸後期〕寫 外寸「二八・八×二三糎」〔書名は書外題による。一二行。二六丁。山岸氏識語「狐草子（玉藻前物語）絵巻二卷松浦家賣立之日有之試對校之處多漢語矣云云昭和九年十一月七日」〕

三三八五  
一册

### 月かけ六卷

昭和八年（一九三三）八月寫 外寸「横本一九・五×二七・二糎」〔書名は書外題による。一二行。一卷一二丁二卷一四丁三卷一九丁四卷一五丁五卷二三丁六卷一四丁。山岸氏識語「月かけ六卷合綴一册住吉文庫藏本也以宮田氏写本書写畢者也」〕

三三八六  
一册

### 袋法師繪詞

昭和二年（一九二七）九月山岸徳平寫 外寸「二七×一九・八糎」〔書名は書外題による。八行。六丁。山岸氏識語「袋法師繪詞一卷以圖書寮藏本書写畢」〕

三三八七  
一册

佛鬼軍

東京 嶋屋平七等 (文政六年(一八二三)八月跋刊)明治期後印 外寸「二六・三×一八・三厘」印記「小山藏書」  
(書名は題簽による。單邊。無界。八行。内匡郭「二・七×一五・五厘」繪入。二八丁)

文正草子

〔明治期〕寫 外寸「二四×一六・八厘」(書名は書外題による。九行。六一丁)

ぶんしやう物語二卷

昭和八年(一九三三)三月寫 外寸「二七・六×一九・三厘」(單邊。無界。一五行。繪入。上一五丁下一七丁。底本「寛  
文十一年大簇吉且松會開板本」 山岸氏識語「文正物語」二册以松井博士藏刊本書寫畢)

堀江物語三卷

昭和十七年(一九四二)七月寫 外寸「二七×一九厘」(二〇行。繪入。上一五丁中一七丁下一四丁。山岸氏識語「堀  
江物語」一册岡見氏寫本借覽之序書寫者也)

堀江物語

昭和三十三年(一九五八)二月山岸氏家中寫 外寸「二七・一×一九・八厘」(書名は書外題による。九行。六六丁。  
山岸氏識語「堀江物語」一册以黒川本影寫了。昭子寫之也) 朱筆の書き入れあり)

波尔布乃物語

昭和五年(一九三〇)三月寫 外寸「二六・七×一九・三厘」(書名は書外題による。一四行。四四丁。山岸氏識語「波  
尔布乃物語」一卷參州刈谷圖書館本也丹生物語一卷内題ハニフ物語前田家藏本有焉) 朱筆の書き入れあり)

虫草子一卷十本あふき一卷

三三八八  
一册

三三八九  
一册

三三九〇  
一册

三三九一  
一册

三三九二  
一册

三三九三  
一册

昭和十一年(一九三六)四月片寄正義寫 外寸「横本一九・五×二七・五糎」 印記「片寄藏書」(一二行。虫草子五丁十本一六丁。片寄氏識語「虫草子假綴本一册松井先生御所藏本也」右十本あふぎ寫本一册松井先生御所藏本借覽之序爲後日影寫畢尙聊加私考者也)

### もろこし物語三卷

昭和五年(一九三〇)八月寫 關卷上 外寸「横本一六・五×二四・三糎」(書名は書外題による。一三行。(中)二五丁(下)二三丁。山岸氏識語「唐土物語二册刈谷圖書館本也中下也卷上欠也」もろこし物語即嚴島御本地也)

### よみかへりのさう紙

昭和五年(一九三〇)一月山岸徳平寫 外寸「二七・五×一九糎」(八行。四六丁。山岸氏識語「甦草昏一軸二重箱入古寫大阪市住吉區平野新町五丁目長寶寺什物也永正十年八月之写也」朱筆鉛筆の書き入れあり)

### 本草物語 卷夏

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・一×一九・三糎」(七行。五九丁。山岸氏識語「本草物語四卷之中夏卷也春秋冬三卷可補写者也」)

### 本草物語四卷

昭和五年(一九三〇)三月山岸徳平寫 原關夏 外寸「二七・四×一九・八糎」(七行。春四三丁秋六一丁冬七三丁。山岸氏識語「本草物語四册春夏秋冬也夏卷藏之既久矣未得他三卷及以内閣文庫本与池田本補而爲完本畢」)

### はしへんけい

大正七年(一九一八)十一月寫 外寸「横本一六・五×二三・九糎」(書名は書外題による。一三行。一八丁。山岸氏識語「橋弁慶一卷藤井乙男博士藏本也」朱筆の書き入れあり)

### 猿蟹合戦

三三九四

一册

三三九五

一册

三三九六

一册

三三九七①

一册

三三九七②

三册

三三九八

一册

ダビッド・タムソン譯述 鮮齋永濯畫

東京 弘文社 明治十八年(一八八五)八月活版 外寸「一八・五×一二・七糎」(書名は見返による。巻首題

「BATTLE OF THE MANKEY & THE CRAB」 假綴。英語。八丁。ちりめん本)

### 一休はなし三卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二三×一六・五糎」 印記「五明文庫」「山尾喜八」(墨書) 一・二行。繪入。上三三丁中二五丁

下二四丁。底本「京菊屋七郎兵衛元祿十三年三月刊本」 匡郭のみ印刷)

### 一休諸國物語 卷五

昭和四十八年(一九七三)二月山岸氏家中寫 外寸「二八×二〇・五糎」(書名は目次首による。假綴。一四行。二〇

丁。底本「京菊屋長兵衛刊本」 山岸氏識語〔繪入一休諸國物語卷五駒澤大學圖書館本也〕 書き入れあり)

### 清水物語 卷下

洛陽 敦賀屋久兵衛 寛永十五年(一六三八)十月刊 外寸「二七・三×一八糎」(無匡郭。一一行。三四丁)

### 念佛草紙二卷

京都 向松堂めとぎや宗八 〔江戸後期〕刊 外寸「二六×一八・九糎」(無匡郭。一三行。繪入。上二四丁下一五丁。

〔向松堂藏板書目 京都寺町三條下ル町 書林めとぎや宗八〕二丁)

### 夢遊集三卷

〔京都〕 水田甚左衛門 慶安三年(一六五〇)刊 外寸「二六・五×一八・三糎」(四周雙邊。無界。一一行。中黒口。

雙花口魚尾。内匡郭「二〇・五×一五・六糎」 上三三丁中一九丁下三二丁)

### 藻屑物語

三三九

一册

三四〇

三册

三四〇

一册

三四〇

一册

三四〇

一册

三四〇

一册

淺野良應編

東京 淺野良應 明治二十九年（一八九六）一月活版 外寸「一八・五×二・五糎」（大和綴。四二頁）

### 兼好法師一代記五卷

八文字自笑・江島其磧作 石川豐信筆

東京 豐文社 大正五年（一九一六）四月活版 外寸「二八・八×二・七糎」（題簽「江戸時代艶文學兼好法師一代記」一三三頁）

### 多滿寸太禮七卷

辻堂兆風子著

〔京都〕 杉生五郎左衛門・文臺屋次郎兵衛・中村孫兵衛 元祿十七年（一七〇四）一月刊 外寸「二・三×一六・一糎」（單邊。無界。一二行。白口。單魚尾。内匡郭「一九・九×二四・八糎」繪入。一卷二二丁二卷二〇丁三卷二二丁四卷二二丁五卷二〇丁六卷二二丁七卷二二丁）

### 山東滑稽文選

山東京傳著

江戸 青雲堂英文藏 寛政二年（一七九〇）自序刊 外寸「一八・二×二・一糎」（書名は題簽による。單邊。無界。八行。内匡郭「二四・二×九・九糎」四八丁）

### 狂訓彙軌本紀

島田金谷編 出鳳臺校

天明四年（一七八四）一月自序刊 外寸「二五・九×二・一糎」（左右雙邊。有界。内匡郭「一〇・九×七・九糎」二〇丁半）

### 不埒物語七卷

三四〇五

一册

三四〇六

洋裝一册

三四〇七

三册

三四〇八

一册

三四〇九

一册

南啓堂梅翁著

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・三×一七・四糎」(書名は目次首による。九行。一卷二一丁二至三卷一三丁四卷八丁五卷八丁六至七卷一六丁)

三四一〇

一册

### 世の中善惡鑑

平賀源内(風來山人)著

東都横山町三丁目 和泉屋金右衛門等 〔江戸後期〕刊 外寸「一七・九×二二・二糎」印記「浦田」(單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一三・三×一〇・六糎」二八丁。藏版目録「書林江戸人形町通り松島町 若林喜兵衛藏板」半丁)

三四一一

一册

### 古今奇談英草紙五卷

近路行者著 千里浪子正

大坂 河内屋八兵衛・柏原屋清右衛門・江戸 西村源六 寛延二年(一七四九)九月刊 外寸「三二・二×一五・六糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二九・二×一三・八糎」繪入。一卷一六丁二卷二六丁三卷二二丁四卷三三丁五卷一七丁)

三四一二

一册

### 繪本菅原實記六卷

法橋巨勢秀信作・畫 松川半山補畫

大阪 播磨屋五郎兵衛等 天保十三年(一八四二)刊 外寸「二五・三×一八・一糎」印記「美濃庄」「美善」(單邊。無界。一一行。内匡郭「二二・二×一五・四糎」繪入。一卷二六丁二卷三九丁三卷三二丁四卷二六丁五卷三二丁六卷三五丁)

三四一三

六册

### 安倍野仲磨入唐記四卷

釋誓譽著

江戸 奥村喜兵衛・京 梅村判兵衛 〔寶曆七年刊〕寶曆十年(一七六〇)十月序印 外寸「二六・二×一七・九糎」印記「霽祐之印」「好譽」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二〇・五×一三・五糎」漢字片假名。一卷一八丁二卷一五丁)

三四一四

一册

三卷一六丁四卷一五丁)

### 安部野仲麿入唐記五卷

釋誓譽著

嘉永四年(一八五二)五月釋大巖寫 外寸「二六・三×一五・二糎」(八行。漢字片假名。一卷一九丁二卷二〇丁三卷一七丁四卷一四丁五卷一七丁)

三四一五

一册

### 梅かえ物語

石川雅望(六樹園飯盛)著

江戸 葛屋重三郎 文化七年(一八一〇)一月跋刊 外寸「二五・五×一七・六糎」 印記「知新文庫」 「榑崎氏」(墨書) (書名は題簽による。無匡郭。一一行。一二丁)

三四一六

一册

### 笑堂福聚

山本北山(奚疑塾主人)著 佐羽芳(蘭卿)校

〔江戸〕 文刻堂西村源六・玩月堂堀野屋仁兵衛 享和四年(一八〇四)刊 外寸「二六×一六・六糎」(左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一七・一×一二・八糎」 二五丁。書き入れあり)

三四一七

一册

### 金毘羅大權現加護物語

文久二年(一八六二)八月松尾義納寫 外寸「二四・三×一八・二糎」(書名は序文首による。第一册書外題「金毘羅加護物語」 一〇行。一册三九丁二册三四丁)

三四一八、三四一九

二册

### 可笑記五卷

如儡子著

〔昭和期〕複寫 外寸「二七・一×一九糎」(二二行。一卷四九丁二卷五三丁三卷四九丁四卷五四丁五卷七八丁。底本「寛永十三年跋寛永十九年秋刊本」)

三四二〇

五册

夢の浮橋

菊池壽人著

東京 菊池壽人 昭和十一年(一九三六)四月影印 外寸「二四・四×一七糎」(大和綴。一二行。一〇丁)

又

(與三四二二番同版)

日本國現報善惡靈異記 卷下

釋景戒著

東京 育徳財團 昭和六年(一九三一)複製 外寸「二六・一×一六・五糎」(尊經閣叢刊之一。表紙「日本國靈異記」  
列帖裝。七行。五五枚。底本「前田家所藏嘉禎二年禪惠寫本」 別冊「前田本日本靈異記解説」一六頁)

日本國現報善惡靈異記 卷上

釋景戒著

京都 便利堂 昭和九年(一九三四)三月影印 外寸「三三・四×二八・三糎」(一四行。一八丁半。底本「興福寺所藏  
古寫本」 附録「興福寺本日本國現報善惡靈異記解説」大屋徳城著。八頁)

日本感靈錄

釋義昭著

昭和十年(一九三五)十月片寄正義寫 外寸「三〇・八×二六・七糎」 印記「片寄藏書」(書名は書外題による。一〇  
行。一三丁。片寄氏識語「日本感靈錄」卷高山寺旧藏本今大和國龍門文庫所藏也右本依山岸先生御好意借覽序爲後  
日影寫畢」 山岸氏識語「余之写本燒盡；昭和廿一年八月片寄未亡人寄贈爲故人追念也」)

日本感靈錄

三四二二

一冊

三四二二

一冊

三四二三

一冊・別冊解説一冊

三四二四

一冊

三四二五

一冊



釋義昭著

奈良縣吉野町 阪本千代龍門文庫 昭和三十三年(一九五八)十一月複製 外寸「二八・九×二四・九糎」(阪本龍門文庫複製叢刊之壹。書名は表紙による。一〇行。一三丁。底本「龍門文庫所藏久安三年寫本」別冊「久安三年寫本日本感靈錄(抄)解説并釋文」川瀬一馬稿。一二二頁)

### 三寶繪 卷中

源爲憲著

〔昭和期〕景照 外寸「二・二×一六・四糎」(單邊。有界。一四行。八一枚。底本「關戸守彦氏所藏保安元年寫本」)

### 三寶繪詞三卷

源爲憲著

東京 高瀬承嚴 昭和七年(一九三二)十一月活版 外寸「二・七×一五・一糎」(書名は題簽による。卷頭「三寶繪」一一九頁。奥付に發賣所として「東京 森江書店」あり)

### 三寶繪詞三卷

源爲憲著

昭和八年(一九三三)五月寫 外寸「二七・六×一九・三糎」(書名は書外題による。卷頭「三寶繪」八行。漢字片假名。上四三丁中五六丁下七二丁。山岸氏識語「三寶繪詞三卷以京大國文研究室本書寫畢原本國寶也」朱筆の書き入れあり)

### 三寶繪三卷

源爲憲著

東京 育徳財團 (昭和十年(一九三五)複製 外寸「三三・二×二三・八糎」(尊經閣叢刊之一。一一行。上一九丁中一七丁下二九丁。底本「前田家所藏正徳五年以寛喜二年叡賢本影寫本」別冊「前田本三寶繪解説」池田龜鑑稿。二八頁)

三四二六

一冊・別冊解説・釋文一冊

三四二七

一袋

三四二八

一冊

三四二九

三冊

三四三〇

三冊・別冊解説一冊

今昔物語集部類

昭和三十年(一九五五)山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一八・八糎」(二二行。六六丁。山岸氏識語「今昔物語集部類一卷旧黒川本也今秋借覽之序合書写者也昭子写」)

發心集五卷

鴨長明著

昭和二十二年(一九四七)四月山岸德平・四戸氏寫 外寸「二六・六×一九糎」(九行。漢字片假名。一卷二六丁二卷三三丁三卷三〇丁四卷三九丁五卷三七丁。山岸氏識語「發心集五卷神宮文庫本也異本」)

寶物集

平康賴著

〔昭和期〕景照 外寸「一六・五×一二糎」(外袋書外題「本能寺本寶物集」一二行。六二枚。底本「本能寺所藏寛政三年材木屋茂兵衛寄進寫本」)

寶物集 卷一

平康賴著

〔昭和期〕景照 外寸「二五・九×一八・五糎」(二〇行。漢字片假名。五六枚。山岸氏識語「寶物集一以下欠本沼津市外光長寺什物也弘安十年寫本云云此一巻先年石崎石造氏撮影焉」)

寶物集二卷

平康賴著

昭和二十七年(一九五二)三月寫 外寸「二七・六×一九・六糎」(二二行。上七丁下七丁。山岸氏識語「寶物集上下二巻上野圖書館藏本也今合綴爲一卷者也本書元來圖書寮本而題簽靈元帝自筆也」)

寶物集拔書七卷

三四三二

一册

三四三二

五册

三四三三

一袋

三四三四

洋裝一册

三四三五

一册

昭和三十一年(一九五六)六月山岸徳平寫 外寸「二七・三×一九・二糶」(一〇行。漢字片假名。一卷二二丁二卷三二丁三卷一六丁四卷一五丁五卷二一丁六卷二六丁七卷二二丁。山岸氏識語「寶物集抄本身延山久遠寺藏本也以石崎氏轉写本写了」)

三四三六

二册

## 沙石集十卷

釋無住道曉著

昭和二十八年(一九五三)六月至十月山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一九・五糶」(書名は序文首による。一八行。漢字片假名。一卷二五丁二卷三四丁三卷二八丁四卷二四丁五卷二六丁六卷二五丁七卷二七丁八卷二六丁九卷三四丁一〇卷二八丁。山岸氏識語「沙石集五册十卷略本也吉川泰雄氏藏本也」)

三四三七

五册

## 沙石集 存卷第一第七

釋無住道曉著

昭和三十二年(一九五七)一月山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一九・七糶」(書名は目次首による。一〇行。漢字片假名。一卷三四丁七卷三八丁。山岸氏識語「砂石集第一第七二册穂久迺文庫祕本也鎌倉中期写綴帖装与佐佐木本同卷中之二册也」)

三四三八

二册

## 砂石集 卷十

釋無住道曉著

昭和十九年(一九四四)七月寫 外寸「二七・三×二〇糶」(書名は書外題による。九行。漢字片假名。四三丁。山岸氏識語「砂石集卷十 一册佐佐木信綱博士藏本也…本書与穂久迺文庫同類之古写也鎌倉期写本云云」)

三四三九

一册

## 宇治大納言物語異本二卷

昭和七年(一九三二)八月寫 外寸「二七・二×一九・三糶」(書名は書外題による。一〇行。上三五丁下二二丁。山岸氏識語「宇治大納言物語異本以神宮文庫本書寫」)

三四四〇

一册

### 大鏡三卷

昭和五年(一九三〇)五月山岸徳平寫 外寸「二七・二×一九・六糎」(書名は書外題による。一二行。上六五丁中七〇丁下六九丁。山岸氏識語「大鏡三卷以京都帝大藏本平松家旧藏本書写者也古本也」)

三四四一  
三册

### 大鏡三卷

昭和十年(一九三五)十一月寫 外寸「二六・三×一九・三糎」(書名は書外題による。一〇行。上一二二丁中一二二丁下九九丁。山岸氏識語「大鏡古本裏書分注本也姫路松本侯旧藏本現在吉田(澄夫)氏者也」)

三四四二  
三册

### 大鏡 卷中

昭和十二年(一九三七)六月寫 外寸「二七・三×一九・三糎」(書名は書外題による。一〇行。一四六丁。山岸氏識語「大鏡中卷豊田氏藏本也江戸初期写也三卷本而上下欠本」)

三四四三  
一册

### 今鏡(畠山本)二卷

藤原爲經著 和田英松校訂  
東京 大塚巧藝社 昭和十三年(一九三八)十月活版 外寸「二二・七×一五・五糎」(書名は目次首による。上一〇二頁下二〇三至四〇二頁。)

三四四四  
二册

### 今鏡

藤原爲經著

東京 侯爵前田家育徳財團 昭和十四年(一九三九)十二月複製 外寸「一五・六×一五・四糎」(尊經閣叢刊之一。書名は解説による。列帖装。一〇行。一〇三枚。底本「前田家所藏鎌倉期寫本」別册「前田本今鏡解説」池田龜鑑稿。五八頁)

三四四五  
一册・別册解説一册

### 増か、み十七卷

〔江戸前期〕寫 外寸「横本一三・七×一八・六糎」印記「万里小路睦子」(書名は書外題による。一七行。一卷二〇

三四四六

丁二卷一八丁三卷一二丁四卷七丁五卷二四丁六卷九丁七卷一二丁八卷九丁九卷一〇丁一一卷一九丁一一卷二二丁  
一二卷二六丁一三卷二九丁一四卷三四丁一五卷二〇丁一六卷二二丁一七卷九丁。朱筆の書き入れあり)

三册

## 増鏡十九卷

寶曆六年(一七五六)六月村田橋彦寫 外寸「二・八×一六・三糎」印記「淵玉」巖松堂古典部波多替斯書(波多野重太郎) (書名は書外題による。一二行。一卷二六丁二卷一六丁三卷一〇丁四卷六丁五卷二二丁六卷八丁七卷一〇丁八卷九丁九卷一〇丁一〇卷一六丁一一卷一一丁一二卷二二丁一三卷二六丁一四卷六丁一五卷一五丁一六卷一〇丁一七卷)一八丁一八卷二二丁一九卷九丁。但し第一七卷以後の三卷は卷首において「第十五第十六第十七」と表記する。上册表紙右肩に「流布本」と墨書あり)

三四四七  
三册

## 増鏡 存卷一至卷十

〔江戸前期〕寫 外寸「二・四・八×一八糎」(書名は見返貼紙による。山水圖入藍色表紙。列帖装。一一行。一卷一九枚二卷一八枚三卷一一枚四卷七枚五卷一四枚六卷一〇枚七卷一一枚八卷二一枚九卷二一枚一〇卷八枚。別紙山岸氏識語「古本増鏡上卷中巻老の波前半まで下巻欠。右を一卷とし列帳に装幀す昭和廿年十二月十日」)

三四四八  
一册

## 増鏡十九卷

西京 丁子屋榮助 明治三年(一八七〇)九月刊 外寸「二・六×一八・七糎」(書名は題簽による。無匡郭。一一行。山岸氏識語「流布本也十九卷本ノ中第十五第十六兩卷ヲ繰返シテ古本ノ如ク十七卷本ニ擬ス」)

三四四九  
五册

## 秋津嶋物語 卷第一

大正十四年(一九二五)六月寫 外寸「二・七・六×一九・七糎」(一一行。四九丁。山岸氏識語「秋津嶋物語一卷模写桂宮本也此書疑一卷而已歟恐未葉二三脱落歟」朱筆の書き入れあり)

三四五〇  
一册

## 五代帝王物語

〔江戸後期〕寫 外寸「二・七・七×二〇糎」印記「野宮書印」(野宮家)「渡邊千秋藏書」「渡邊千秋清観」(書名は書外題)

三四五一

による。大和綴。一一行。三六丁。奥書「以清家本令書写之：寛永第八十月十八日拾遺平時判」

### 唐鏡 存卷第一至第六

藤原茂範著

昭和八年（一九三三）原田毅穂寫 外寸「二七・三×一九・七糎」（二二行。漢字片假名。一卷一四丁二卷一九丁三卷一八丁四卷一五丁五卷一四丁六卷一六丁。原田氏識語「昭和八癸酉歲子夏依彰考館本寫焉」墨筆朱筆の書き入れあり）

### 唐鑑 存卷第一至第五

昭和六年（一九三二）一月山岸徳平寫 外寸「二六・七×一九・九糎」（書名は書外題による。卷頭「唐鏡」一三行。一卷一四丁二卷一八丁三卷一九丁四卷一六丁五卷二三丁。山岸氏識語「唐鑑乾坤二卷以神宮文庫本書写者也」書き入れあり）

### 唐鏡 存卷第四

昭和六年（一九三二）二月山岸徳平寫 外寸「二七・三×一九・三糎」（題簽「唐鏡 爲氏卿眞蹟摸本 文宣王略記」八行。四二丁。山岸氏識語「唐鏡一卷鈔書以神宮文庫藏本書写焉与爲氏卿眞蹟摸本合綴矣」書き入れあり）

### 保元物語三卷

昭和五年（一九三〇）寫 外寸「二七・三×一九・五糎」（九行。上五七丁中七七丁下五五丁。山岸氏識語「保元物語三卷九條家旧藏本也」朱引朱點あり）

### 保元物語三卷

〔昭和期〕寫 外寸「二六・八×一九・一糎」（一〇行。上五七丁中七二丁下四六丁。山岸氏識語「塙本（和學講談所本而松井先生旧藏本轉写也）」鉛筆の書き入れあり）

一册

三四五二

一册

三四五三

一册

三四五四

一册

三四五五

三册

三四五六

三册

## 保元物語二卷

〔昭和期〕寫 外寸「二六・八×一九糎」(九行。上九三丁下一二二丁。山岸氏識語「保元物語京師本与以等覺院本校訂焉文保本彰考館藏中卷与半井本彰考館藏同一本也」朱點あり)

三四五七  
一册

## 平治物語三卷

明治三年(一八七〇)二月小川権乃屋達道寫 外寸「二二・七×一五・九糎」〔高野斑山珍藏〕〔墨書〕(四周雙邊。有界。一〇行。漢字片假名。上三三丁中二七丁下二二丁。識語「右平治物語一部以三山氏藏本書寫」)

三四五八  
一册

## 平治物語三卷

〔昭和期〕寫 外寸「二六・九×一九・一糎」(一〇行。上四四丁中四二丁下四七丁。山岸氏識語「和學講談所本三册以松井先生旧藏書影写者也」書き入れあり)

三四五九  
三册

## 平治物語三卷

〔昭和期〕寫 外寸「二六・九×一九糎」(八行。上七〇丁中七一丁下四五丁。山岸氏識語「以松井先生旧藏本影写者也乙類本也」)

三四六〇  
三册

## 平治物語三卷

昭和五年(一九三〇)三月寫 外寸「二七・四×一九・三糎」(九行。上四六丁中五五丁下五〇丁。表紙に「學習院本」と墨書あり。山岸氏識語「平治物語三册九條公爵家旧藏本也不分区節事項簡少又一異本也」保元、平治物語 琴平神社藏本六册与本書同系也)

三四六一  
三册

## 平家物語十二卷

〔寛永頃〕刊 外寸「二八×一九・三糎」印記「紀」(四周雙邊。無界。一二行。大黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二二・六×一六・六糎」漢字片假名。一卷四二丁二卷四七丁三卷四二丁四卷四一丁五卷三七丁六卷三〇丁七卷三九丁八卷三三丁九卷五〇丁一〇卷四三丁一一卷四七丁一二卷四二丁。山岸氏識語「平家物語十二卷寛永版本也」)

三四六二  
一二册

### 平家物語十二卷

東京 侯爵前田家育徳財團 昭和十六年(一九四二)一月影印 外寸「二七・八×二〇・二糎」(尊經閣叢刊之一。七行。漢字片假名。底本「前田家所藏那須資禮舊藏室町期寫本」別冊「眞字熱田本平家物語解説」玉井幸助稿。三九頁)

三四六三

一二册・別冊解説一册

### 太平記四十卷目錄一卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・八×一九・八糎」 印記「河内柘圖書記」(四周雙邊。無界。一二行。半黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・二×一六・四糎」 漢字片假名。山岸氏識語「片假名整版無刊記本寛永八年刊本アリ此版亦寛永中之版本歟」)

三四六四①

二一册

### 太平記四十卷目錄一卷

〔慶長十年(一六〇五)古活字印本 外寸「二八・五×二〇・七糎」 印記「湖東山田最明寺」(四周雙邊。無界。一二行。半黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・七×一六・四糎」 漢字片假名。卷二補写卷三九補入あり。山岸氏識語「コノ本ハ慶長十年版(別紙) 朱筆の書き入れあり」)

三四六四②

二一册(貴重書庫室)

### 太平記四十卷

〔江戸初期〕寫 關卷一至卷五 外寸「三三・六×一七・六糎」(列帖裝。紺地金泥草木繪表紙。一〇行。振假名付)

三四六五

三五册

### 難太平記二卷

今川貞世(了俊)著

江都 富野治右衛門・京師 柳枝軒茨木多左衛門 貞享三年(一六八六)刊 外寸「二六・五×一八・五糎」(單邊。無界。八行。白口。單魚尾。内匡郭「二九・五×二三糎」 漢字片假名。上二丁下二六丁。「柳枝軒藏書目錄 六角 通御幸西入町 小川多左衛門」四丁)

二册

三四六六

### 太平記四十卷



寛文十二年(一六七二)刊 外寸「二六・五×一九・二糎」 印記「上州吾妻郡草津橋屋」「上州草津橋屋」「狩野」「柏清」  
(柏原屋清右衛門) (單邊。無界。一二行。白口。單線魚尾。内匡郭「二・五×二六・七糎」 漢字片假名)

三四六七  
三八册

### 參考太平記四十卷首一卷

今井弘濟(將興)考訂 内藤貞顯(仲微)重校  
京兆 柳枝軒茨城多左衛門・武江 富野治右衛門 (元祿二年跋)元祿四年(一六九二)二月刊 外寸「二五・三×一八・四糎」 印記「彰考館」 (四周雙邊。無界。九行。注文雙行。白口。單線魚尾。内匡郭「二〇・六×一四・八糎」 漢字片假名。卷三至卷五卷二・卷三・卷四至卷三・卷四〇の八册は補配本、外寸「二六・三×一八・九糎」。「柳枝軒藏書目録 六角通御幸西へ入町 小川多左衛門」(四丁)

三四六八  
四一册

### 太平記 劔卷

〔江戸初期〕刊 外寸「二七・二×一九・二糎」 「正徳三年七月吉日井上氏八右衛門」(墨書) (四周雙邊。無界。一二行。半黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇・七×一六・八糎」 漢字片假名。摺目一六丁劔卷(五丁)

三四六九①  
一册

### 太平記四十卷

〔江戸前期〕刊 關卷第一六 外寸「二七・二×二〇糎」 印記「飯島政輝」「本庄」「玉林」「山佐」「松濤」「野口」「八丁堀永嶋町和漢軍書貸本伊勢屋宗吉」 (單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・八×一七・七糎」 繪入)

三四六九②  
三九册

### 太平記綱目四十卷劔卷一卷

原友軒著  
寛文十二年(一六七二)三月跋刊 外寸「二七・九×一九・七糎」 (單邊。無界。一六行。白口。單線魚尾。内匡郭「三・五×一七糎」 漢字片假名)

三四七〇  
六〇册

### ほう官物語 存卷一卷二

昭和七年(一九三二)六月寫 外寸「二九・八×二二・二糎」 (書名は書外題による。一一行。一卷五三丁二卷六四丁)

三四七一

山岸氏識語「判官物語卷二二兩卷西尾氏岩瀬文庫本也今以宮脇氏写本轉写畢…同文庫本者卷三以下缺矣」朱筆の書き入れあり

### 義經記八卷

昭和十年(一九三五)一月山岸德平寫 外寸「二六・四×一九・四糎」(二二行。一卷二〇丁。二卷上三三丁下三三丁。三卷三〇丁四卷四四丁。五卷上三三丁下二九丁。六卷上二九丁下三三丁。七卷上三六丁下一八丁。八卷三五丁。山岸氏識語「義經記芳野本八册松井博士藏本也」書き入れあり

### 義經記八卷

東京 三教書院 昭和十年(一九三五)八月活版 外寸「一八・八×一二・九糎」 印記「松島」(いてふ本之一。三〇二頁)

### 曾我物語十二卷

昭和六年(一九三一)五月寫 原闕卷四至卷六 外寸「三〇×二三・一糎」(二一行。一卷四八丁二卷三〇丁三卷三〇丁七卷二九丁八卷三七丁九卷三〇丁一〇卷三二丁一一卷二九丁一二卷三二丁。山岸氏識語「曾我物語松井本甲十二卷之内卷四、卷五、卷六以上三卷欠本也岸本由豆流旧藏本也」)

### 曾我物語十卷

〔昭和六年頃〕寫 外寸「二六・五×一九糎」(八行。訓點付。一卷二七丁二卷二八丁三卷三〇丁四卷二四丁五卷二七丁六卷二九丁七卷二九丁八卷二九丁九卷三四丁一〇卷三六丁。山岸氏識語「曾我物語十卷日向飢肥藩主伊東子爵家藏本也元來妙本寺什物後伊東家之有」)

### 曾我物語十二卷

昭和八年(一九三三)寫 原闕卷六卷七 外寸「二七・二×一九・七糎」(二二行。一卷六一丁二卷三六丁三卷三六丁四卷四四丁五卷三六丁八卷四四丁九卷二五丁一〇卷一九丁一一卷二二丁一二卷二五丁。表紙に「圓成寺本」と墨書あり)

二册

三四七二  
四册

三四七三  
一册

三四七四  
五册

三四七五  
五册

三四七六  
六册

り。山岸氏識語「曾我物語十二卷内卷六、七両卷元來歛之都合十册以和田氏本書写者也」

### 曾我物語 卷第十一

京都 鴨長明學會 昭和十六年(一九四二)十一月影印 外寸「二七・二〇・七糎」(二一行。一六丁。底本「戸川濱男所藏寫本十二卷ノ内古本系寫本」 別册「戸川本曾我物語解説」小川壽一著。三二頁)

### 曾我物語十二卷

昭和十八年(一九四三)七月寫 原闕卷十一 外寸「二七・二〇・九糎」(二一行。一卷四六丁二卷二八丁三卷二五丁四卷二九丁五卷三四丁六卷一八丁七卷二六丁八卷三二丁九卷二六丁一〇卷一八丁一二卷一六丁。山岸氏識語「曾我物語十一册省略卷十一戸川本也」卷十一 一册複製本有之故不書写焉)

### 曾我物語二卷

〔昭和期〕山岸德平寫 原闕卷天 外寸「二七・一〇・九糎」(書名は書外題による。九行。漢字片假名。九四丁。山岸氏識語「曾我物語地一卷戸川氏本也…本書元來天卷無之云云」 朱筆の書き入れあり)

### 枕草子四册〔枕草子〕殘歛本一册

東京 育徳財團 昭和二年(一九二七)複製 外寸「三三・七・一五糎」(尊經閣叢刊之一。書名は解説による。一列帖裝。九行。一册四四枚二册七四枚三册八〇枚四册七四枚殘歛三五丁。底本「前田家所藏貞享四年寫本」 別册「前田本枕草子解説」三四頁)

### 清少納言枕草子三卷

昭和八年(一九三三)四月寫 外寸「二七・一〇・九糎」(書名は書外題による。九行。上一四一丁中七四丁下七七丁。山岸氏識語「枕草子三卷以久原文庫本書写者也」 朱筆の書き入れあり)

### 枕草紙 塚本

三四七七

一册・別册解説一册

三四七八

五册

三四七九

一册

三四八〇

四册線裝一册・別册解説

一册

三四八一

三册

昭和十一年(一九三六)一月寫 外寸「二六・三×一八・五糎」(書名は書外題による。一一行。上一〇六丁下八八丁。山岸氏識語「枕草子二册鈴鹿三上氏藏本也」)

### 清少納言枕草紙二卷

昭和十一年(一九三六)六月寫 外寸「二六・九×一九・二糎」(書名は書外題による。一一行。上九九丁下一二二丁。山岸氏識語「枕草紙二卷三條西家藏能因本也」)

### 枕草子

昭和二十七年(一九五二)四月寫 外寸「二七・四×一九・七糎」(書名は書外題による。一〇行。一册八九丁二册六九丁三册八八丁四册九九丁。山岸氏識語「枕草子能因本二册今分册爲四册吉田幸一氏藏本也旧富岡鐵齋翁藏本矣室町期写本也」)

### 枕草子春曙抄十二册

北村季吟著  
延寶二年(一六七四)七月自跋刊 外寸「二七・一×一九・三糎」(吉岡山下紫々乃舍藏本)(墨書) (書名は題簽による。單邊。無界。一二行。白口。單線魚尾。内匡郭「二・四×一七・五糎」 一册二六丁二册二八丁三册三一丁四册三二丁五册二八丁六册二四丁七册二八丁八册二六丁九册三〇丁一〇册二八丁一一册二六丁一二册二四丁。識語「春曙抄十二册初刷本也」)

### 清少納言旁註十一卷

岡西惟中著  
〔江戸前期〕刊 外寸「二六・八×一八・七糎」 印記「小林氏藏書記」「時田圖書」(無匡郭。一〇行。一卷二七丁二卷三三丁三卷三四丁四卷三八丁五卷三〇丁六卷三七丁七卷四四丁八卷三二丁九卷三三丁一〇卷三三丁一一卷一七丁。朱筆の書き入れあり)

三四八二  
二册

三四八三  
二册

三四八四  
四册

三四八五  
一二册

三四八六  
五册

## 清少納言枕草紙裝束撮要抄

壺井義知著 多田義俊校

京都 上坂勘兵衛 享保十四年(一七二九)四月刊 外寸「二七・三×一九・二糎」(單邊。無界。二二行。内匡郭「二二×一七・二糎」一六丁)

## 清少納言枕草紙原稿

〔昭和期〕景照 外寸「二五・三×一六・二糎」(書名は袋の書外題による。第一册四綴第二册五綴第三册六綴第四册六綴)

## 方丈記

鴨長明著

東京 育徳財團 昭和十三年(一九三八)八月複製 外寸「一五・二×一五・二糎」(尊經閣叢刊之一。書名は題簽による。列帖裝。九行。三六枚。底本「前田家所藏鎌倉期寫本」別册「前田本方丈記解説」二三頁)

## 鴨長明方丈記

鴨長明著

京都 鴨長明學會 昭和十四年(一九三九)九月油印本 外寸「二四・三×一五・九糎」〔鈴木藏(墨書)〕(八行。二九丁。底本「市立名古屋圖書館所藏鈴木朗舊藏慶長七年奥書寫本」別册「原形本方丈記解説」小川壽一識。二三頁)〔對校原形本方丈記「二七丁」〕

## 鴨之長嘯方丈之記一卷解脫上人之語一卷法然上人之語一卷傳大師之語一卷

昭和四年(一九二九)六月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(二一行。鴨之九丁解脫三丁法然三丁傳大師二丁。山岸氏識語「方丈記等一卷、久留米花畑之人中原(武次)氏藏略本也」朱筆の書き入れあり)

## 方丈記

三四八七

一册

三四八八

二一袋

三四八九

一册・別册解説一册

三四九〇

一册・別册解説二册

三四九一

一册

鴨長明著

昭和五年(一九三〇)三月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(書名は書外題による。一二行。一〇丁。山岸氏識語「方丈記略本一册以小川氏藏本書写者也」)

三四九二

一册

### 異本方丈記

鴨長明著

昭和四年(一九二九)十月寫 外寸「二七・三×一九・五糎」(二二行。七丁。山岸氏識語「異本方丈記一卷旧森氏本而國文研究室本也」)

三四九三

一册

### 異本方丈記

鴨長明著

大正十三年(一九二四)五月山岸徳平寫 外寸「二七・五×一九・八糎」(二二行。七丁。山岸氏識語「異本方丈記一册珍書同好會謄寫刷ヲ書寫ス大正九年七月橋本進吉氏以右爲底本更校水戸彰考館藏本而書加異同終矣」)

三四九四

一册

### 異本方丈記

鴨長明著

昭和四年(一九二九)七月山岸氏家中寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(書名は書外題による。八行。一一丁。表紙に「略本、國語研究室本(延徳本)」と墨書あり。山岸氏識語「右一卷異本方丈記東大文科大學國語研究室旧藏本也大正大震災之日東大齋舎盡燬于烏有而典籍擧爲灰燼矣 明治四十四年十月下浣長氏書写斯卷僅止原型者也 余借覽斯卷于松浦氏得閑一讀遂令家中少女影写者也 昭和四年夷則九霖雨霽後夜」)

三四九五

一册

### 方丈記一卷鴨長明方丈記一卷異本方丈記一卷

鴨長明著

昭和三年(一九二八)七月寫 外寸「二七・三×一九・八糎」(八行。方丈五丁鴨長二九丁異本五丁。朱筆の書き入れあり)

三四九六

一册

## 校註異本方丈記

鴨長明著 龍谷大學國文學會編輯部編

京都 龍谷大學國文學會 昭和四年(一九二九)十月活版 外寸「一八・八×一二・七糎」(一一頁)

## 延徳校本異本方丈記

鴨長明著 小川壽一校

京都 龍谷大學國文學會 昭和三年(一九二八)十月活版 外寸「一八・五×一三・糎」(龍谷大學國文學會出版叢書第五編。一二頁)

## 方丈記捷解

井上喜文譯

東京 杉本書店 明治二十七(一八九四)二月活版 外寸「三・五×一五・七糎」 印記「真齋藏書」(四二頁)

## 閑居友二卷

東京 侯爵前田家育徳財團 昭和十五年(一九四〇)四月複製 外寸「三・七×一五・三糎」(尊經閣叢刊之一。列帖裝。八行。上三八枚下二七枚。底本「前田家所藏傳藤原爲相筆鎌倉期寫本」別冊「前田本閑居友解説」池田龜鑑稿「閑居友校異表」二〇七頁)

## 閑居友二卷

昭和十九年(一九四四)六月寫 外寸「二・七・四×二・〇糎」(八行。上六六丁下四八丁。山岸氏識語「閑居友二卷前田侯藏本伝爲相筆 右本昭和十五年四月複製今以複製本書寫畢」)

## つれづれ種二卷

吉田兼好著 (國立國會圖書館支部靜嘉堂文庫)編

〔東京〕〔國立國會圖書館〕〔昭和二十六年(一九五二)複製 外寸「二・六・二×二・二糎」(書名は題簽による。)

三四九七

洋裝一册

三四九八

洋裝一册

三四九九

一册

三五〇〇

二册・別冊解説一册

三五〇一

二册

三五〇二

二册・別冊解説一册

一五行。上五七丁下四九丁。底本「静嘉堂文庫所藏永享三年釋正徹手寫本」 別冊「正徹本つれつれ種について」米山寅太郎著。一二頁

## 土佐日記

紀貫之著

東京 育徳財團 昭和三年(一九二八)七月複製 外寸「二五・九×一五・七糎」(尊經閣叢刊之一。書名は解説による。列帖装。九行。四五枚。底本「前田家所藏文暦二年藤原定家手寫本」 別冊「定家本土佐日記解説」一九頁)

## 蜻蛉日記三卷

藤原道綱母著

昭和四年(一九二九)五月寫 外寸「二七・五×一九・八糎」(二一行。上五四丁中七七丁下八六丁。山岸氏識語「右蜻蛉日記三卷神宮文庫藏本也」 朱筆の書き入れあり)

## 蜻蛉日記三卷

藤原道綱母著

昭和六年(一九三一)十月寫 外寸「二七・二×一九・四糎」(書名は書外題による。一三行。上四五丁中五八丁下五八丁。山岸氏識語「蜻蛉日記三卷以學習院本書写者也」 朱筆の書き入れあり)

## 蜻蛉日記三卷

藤原道綱母著

昭和八年(一九三三)七月寫 外寸「二八・一×一九・六糎」(書名は書外題による。一〇行。上六四丁中一〇七丁下九一丁。山岸氏識語「萩野本三册契冲手校以前形態也」)

## (應永本影寫)和泉式部日記

京都 趣味講座出版部 昭和十二年(一九三七)一月影印 外寸「二七×一九・五糎」(原題簽「和泉式部物語」九

三五〇三

一册・別冊解説一册

三五〇四

三册

三五〇五

三册

三五〇六

三册

三五〇七



行。六四丁。底本「京都帝國大學文學部研究室所藏應永二十一年寫本」

### 和泉式部物語

昭和二十七年（一九五二）六月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」（書名は書外題による。九行。六五丁。山岸氏識語「和泉式部物語」一卷京大研究室本也奥云応永廿一年云云以小川氏模贍写本書写者也）

### 和泉式部物語

昭和二十七年（一九五二）五月山岸氏家中寫 外寸「二七・五×一九・七糎」（書名は書外題による。一〇行。五二丁。山岸氏識語「和泉式部物語」旧榊原子爵家藏本也後轉紅梅文庫今爲吉田氏祕襲本也）

### 紫式部日記繪卷

東京 大塚巧藝社 昭和八年（一九三三）十二月複製 外寸「二〇・八糎」（底本「蜂須賀侯爵家所藏鎌倉前期寫本」表紙に「高松宮家本」とある。別冊「蜂須賀家本紫式部日記繪卷解説」二四頁）

### 更級日記

菅原孝標女著

東京 佐佐木信綱・玉井幸助 大正十四年（一九二五）五月複製 外寸「二六×一五糎」（書名は解説による。一〇行。九六丁。底本「宮内省所藏藤原定家手寫本」 別冊「御物本更級日記解説」佐佐木信綱・玉井幸助著。一四丁）

### 更級日記 御物

菅原孝標女著

東京 笠間書院 昭和四十六年（一九七一）四月複製 外寸「一五・六×一四・一糎」（書名は題簽による。一〇行。九六丁。底本「宮内廳書陵部所藏藤原定家手寫本」 別冊「御物更級日記藤原定家筆」橋本不美男編。二四頁）

一册

三五〇八

一册

三五〇九

一册

三五一〇

卷子本一卷・別冊解説一册

三五一一

一册・別冊解説一册

三五一二

一册・別冊解説一册

## 更級日記 御物本

菅原孝標女著

東京 武藏野書院 昭和三十年(一九五五)九月影印 外寸「二〇・三×一七・五糎」(書名は題簽による。奥付題「御物本更級日記」一〇行。一九一頁。底本「宮内廳書陵部所藏藤原定家手寫本」 附録「藤原定家卿略傳・解説」松尾聰著。三頁)

三五二三

洋裝一册

## たまきはる

建春門院中納言(藤原俊成女)著

〔昭和期〕複製 外寸「三・二×一四・五糎」(書名は表紙による。列帖裝。一〇行。七三枚。底本「宮内省圖書寮所藏金澤文庫舊藏乾元二年二月貞顯筆寫本」)

三五一四

一册

## たまきはる

建春門院中納言(藤原俊成女)著

昭和六年(一九三一)七月寫 外寸「二六・九×一九・二糎」(書名は書外題による。一〇行。七五丁。山岸氏識語「たまきはる写本一卷以圖書寮本書写畢」)

三五一五

一册

## とほすかたり五卷

後深草院二條著

昭和十四年(一九三九)十一月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(書名は書外題による。一一行。一卷五五丁二卷四三丁三卷四八丁四卷三七丁五卷三二丁。山岸氏識語「とほすかたり五册圖書寮本也題簽靈元天皇御宸筆云云」 墨筆朱筆の書き入れあり)

三五一六

三册

## うたゝね

大正十三年(一九二四)十二月山岸徳平寫 外寸「二七・七×一九・七糎」(二二行。二〇丁。山岸氏識語「右者前田侯

三五一七

所藏字多々祢一帖之寫也

### 飛鳥井雅有卿之記

飛鳥井雅有著

昭和八年（一九三三）八月寫 外寸「二七・八×一九・七糎」（書名は書外題による。一一行。三七丁。山岸氏識語「雅有卿記佐々木信綱博士藏也」朱筆の書き入れあり）

### 梅松明鑑前篇二卷後篇二卷

〔明治期〕寫 外寸「三・四×一六・三糎」（書外題「須磨記」 八行。前篇上三七丁下三九丁後篇上五三丁下五四丁）

### 菅家須磨記

昭和四十五年（一九七〇）三月複寫 外寸「二・三×一八・四糎」（書名は書外題による。七行。一四丁）

### 菅家須磨記

〔昭和期〕複寫 外寸「二・四×一八・三糎」（書名は書外題による。七行。一四丁。底本は與三五二〇番同一。山岸氏識語「此須磨記雖寄贈之記不知何人何時之寄贈也故不明所有者：昭和五十年十月」）

### 松島日記

大正十五年（一九二六）六月寫 外寸「二七・七×一九・八糎」（書名は封面による。一二行。七丁半。識語「宮内省圖書寮本松島日記一册九行二十五字許之本墨付八枚半別在奥書」）

### 熊野道之間愚記

藤原定家著

一册	三五二八
一册	三五一九
四册	三五二〇
一册	三五二一
一册	三五二二
一册	三五二三

東京 尙古會 昭和三年(一九二八)十一月複製 外寸「三・二・一糎」(底本「三井家所藏建仁元年十月五日至廿七日藤原定家自筆寫本」別冊「熊野行幸記釋文」二四頁)

### 不知夜記

阿佛尼著

〔江戸前期〕寫 外寸「二七・四×二〇糎」(書名は書外題による。一〇行。三二丁。奥書「不知夜記阿佛房鎌倉記行也」延寶五年冬後十二月十一日右近衛權少將藤原判) 山岸氏識語「不知夜記一冊三條西家旧藏本也偶入余手中者也」

### 阿佛吾妻くたり

大正十五年(一九二六)七月山岸德平寫 外寸「二七・七×一九・八糎」(書名は書外題による。一二行。二三丁。奥書「右阿佛東下日記一卷屋代弘賢祕本」天保六年三月下旬大進匡聘) 山岸氏識語「阿佛吾妻下一冊」卷末有考證不知大進匡聘何人矣 右藏于圖書寮有松岡本之標) 朱筆の書き入れあり

### 阿ふつの道の記

阿佛尼著

昭和五年(一九三〇)十二月山岸德平寫 外寸「二六・八×一九・三糎」(一〇行。四四丁。山岸氏識語「阿佛道の記」卷正親町家旧藏本也借覽於倉野氏之序書写者也)

### 異本十六夜日記

昭和六年(一九三二)十二月寫 外寸「二六・八×一九・三糎」(書名は書外題による。九行。二六丁。奥書「右一卷書写之令□□引諸藉所附考之趣也 大進匡聘」 山岸氏識語「異本十六夜日記」卷川瀬氏藏本也逸題簽又有翠麓叢書之貼紙焉)

### 長明記

冊 卷子本一卷・別冊釋文一

三五二四

一冊

三五二五

一冊

三五二六

一冊

三五二七

一冊

木下勝俊(長嘯子)著

〔江戸中期〕寫 外寸「二九・四×二二糎」(二〇行。二五丁。奥書「右此寫本者木下勝俊長嘯之御本致色々懇望して外見馳草筆写之訖」)

### 關東往還記 附關東往還記前記影本

釋叡尊著 關靖編

京都 便利堂 昭和九年(一九三四)八月活版 外寸「二〇・四×一三・七糎」(七五頁)

### 回國雜記標註二卷

關岡野洲良著

〔江戸〕〔青雲堂英文藏〕 文政八年(一八二五)九月序刊 外寸「二六・九×一八糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二三・八×一五・一糎」 頭注付。上五六丁下五四丁。〔江戸下谷御成道青雲堂英文藏歌書目錄〕二丁。上卷末識語「天保九戊戌年夏六月廿二日夜讀了間宮叔芳」)

### 紹巴道乃記

里村紹巴著

〔昭和四年(一九二九)六月山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・八糎」(書名は書外題による。九行。一五丁。山岸氏識語「不慮之外見紹巴自筆本而西園寺家本也：不堪感興自馳秃毫書寫之昨今二ヶ夜終功」 墨筆朱筆の書き入れあり)

### 讚岐下水くらけ一巻句集一巻

西山宗因著

昭和二十五年(一九五〇)五月山岸氏家中寫 外寸「二六・七×一九・三糎」(二〇行。讚岐二〇丁句集四四丁。山岸氏識語「讚岐下り水くらけ句集合二冊上野圖書館藏本也」 附別冊「法政大學國文學誌要」昭和九年六月刊 二四頁)

三五二八

一冊

三五二九

洋裝二冊

三五三〇

二冊

三五三一

一冊

三五三二

一冊・別冊二冊

## 飛鳥川

西山宗因著

東京 審美書院 昭和八年(一九三三)五月影印 外寸「二四・五×一一・五糎」(書名は箱書による。列帖装。一〇行。二六枚。底本「青山文庫所藏西山宗因自筆寫本」 別冊「宗因の『飛鳥川』に就いて」小宮豊隆著。六四頁)

## 奥の細道

松尾宗房(芭蕉)著

京都 靖文社 昭和二十三年(一九四八)九月複製 外寸「一六・八×一四・五糎」(書名は刊記による。八行。五四丁。底本「西村家所藏元祿七年素龍筆寫本」 別冊「芭蕉所持素龍眞蹟本奥の細道解説」額原浪藏著。一〇二頁)

## 更科紀行 一卷三冬紀行 一卷

三井武勝著 似雲注

昭和六年(一九三二)十二月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(九行。更科二六丁三冬一五丁。山岸氏識語「更科紀行三冬紀行 一卷信州小諸在金臺寺什物也三冬紀行金臺寺住職文阿上人自筆云云」)

## をしまのとまや二卷

細井徳民(平洲)著

天保二年(一八三二)十一月刊 嚶鳴館藏版 外寸「二六・七×一八・二糎」 印記「金城清香堂記」「藤浪氏藏」(藤浪剛一)「乾々齋書屋」(藤波剛一藏書票) (無匡郭。一〇行。上二六丁下三五丁。下卷第二丁裏、二三丁表の頭注に墨格あり。山岸氏識語「藤浪剛一医博旧藏本也」)

## をしまのとまや二卷

細井徳民(平洲)著

愛知縣半田町 嚶鳴館遺稿發行所 「天保二年刊」明治三十三年(一九〇〇)三月後印 外寸「二五・八×一八糎」(無

三五三三

一冊・別冊解説一冊

三五三四

一冊・別冊解説一冊

三五三五

一冊

三五三六

一冊

三五三七

二冊

匡郭。大和綴。一〇行。上二六丁下三五丁。下卷第二丁裏、二三丁表の頭注に墨格あり。與三五三六番同版。

### 白雲日記二卷

八田知紀著

名古屋 永樂屋片野東四郎等 明治二年（一八六九）跋刊 外寸「二七・八×一一・九糎」 印記「邊見」（單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二四・三×九・一糎」 上二二丁下二〇丁）

三五三八

二册

### 八洲文藻前編 存卷第八至第十五

徳川齊昭編

〔明治期〕寫 外寸「二五・五×一八・七糎」 印記「小林氏珍玩」（七行。八卷三二丁九卷三二丁一〇卷三六丁一一卷  
三五丁一二卷三八丁一三卷三五丁一四卷三七丁一五卷三七丁。山岸氏識語「彰考館圖書目錄巳部和文中八洲文藻源  
齊昭撰天保七年八六册有之 八洲文藻後編草稿 同上八七册有之」 朱筆の片假名旁訓あり）

四册

三五三九

### 曲亭馬琴戲作序文集

渡部温（白鷗）編

東京 渡部温 明治十一年（一八七八）刊 外寸「二二・二×一四・八糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一六・八×  
一一糎」 四二丁。賣弘書肆「東京 稻田佐兵衛」）

三五四〇

一册

### 弘化奇話初篇二卷

何毛吳館内著

〔江戸末〕刊 闕卷下 外寸「二九・七×一二糎」（角書「才子必讀」 單邊。無界。八行。白口。無魚尾。内匡郭「二四・三  
×九・七糎」 繪入。二三丁）

三五四一

一册

### 諸名家戲文集前編

打越光亨編

三五四二

東京 打越光亨 明治十二年(一八七九)十一月刊 外寸「三・五×一・五糎」 印記「鈴木」(四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「一五×一〇・五糎」 三八丁)

### 柳北遺稿二卷

成島柳北著 男成島復三郎編

東京 博文館 明治二十五年(一八九二)九月至十月活版 外寸「一五・二×一・一・三糎」 印記「旭香軒圖書印」(寸珍百種第五編第六編。上二四〇頁下二三五頁)

### 東京今話 存卷第一

明治十一年(一八七八)三月序活版 外寸「二七・六×一・一・三糎」(一〇丁。下象鼻に「月旦社」とある)

### 猶賢社文鈔三卷

町井治編

伊賀上野 豊住伊兵衛 明治十一年(一八七八)十月刊 桂雲書屋藏版 外寸「二一・五×一・四・二糎」 印記「磯野員全」  
「樂山文庫」(四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「二五×一〇・五糎」 漢字片假名。一卷三八丁二卷四四丁三卷四一丁。朱注あり)

### 新從吾所好 花街篇

石川巖編

東京 從吾所好社 大正七年(一九一八)十二月活版 外寸「一九×一・三・五糎」 印記「小林□」 「SASAFUNE」(藏書票) (書名は標題紙による。三〇六頁)  
内容 「ぬれほとけ」「桃源集」「まさりくさ」「大坂新町古今若女郎衆」「洞房語園集三卷」

### 弘洲雨屋虫干集一卷弘洲雨屋虫干集外篇一卷梅月遺影一卷附録梅月遺稿

一册

三五四三

洋装二册

三五四四

一册

三五四五

三册

三五四六

洋装一册



小鷹狩元凱著

〔昭和五年（一九三〇）活版 外寸「二・三×一四・四糎」〕（弘洲一〇六頁外篇六二頁梅月二四頁附一五頁）

### 古謠集

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和五年（一九三〇）四月複製 外寸「二八・五糎」〔箱書〕承德本古謠集〕 底本「近衛公爵家所藏承德三年三月寫本」 別冊「承德本古謠集解說」佐々木信綱著。二二頁）

### 熱田神宮踏歌

名古屋 名古屋史談會事務所 昭和二年（一九二七）九月影印 外寸「一九糎」〔書名は題簽による。底本「熱田神宮所藏文永七年十二月寫本」 附録「解説」名古屋史談會幹事誌）

### 紀記歌集二卷

林諸鳥編

江戸 上總屋利兵衛 〔天明八年十二月東都南總館刊〕寛政十年（一七九八）三月以降後印 外寸「二五・四×一七・九糎」 印記「京佐藤藏書印」「佐藤信藏之印」「藤原のまこと藏書」〔書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・三×一三・八糎」 乾五〇丁坤二六丁）

### 佔畢波及五卷

熊野崖（弘毅）著

和歌山 加勢田屋庄助・加勢田屋平右衛門 天明二年（一七八二）五月跋刊 外寸「二六・二×一八・二糎」 印記「藩文堂鶴渚堂」〔四周雙邊。無界。八行。内匡郭「二〇・六×一四・九糎」 一卷三二丁二卷二八丁三卷二八丁四卷三五丁五卷三五丁。奥付丁に「熊野先生著述篇目」あり）

### 古訓抄五卷

三五四七  
洋裝一冊

三五四八  
卷子本一卷・別冊解説一冊

三五四九  
卷子本一卷

三五五〇  
二冊

三五五一  
五冊

熊野崖(弘毅)著

和歌山 総田屋平右衛門等 (天明二年五月跋刊)文化二年(一八〇五)補刻 市隱洞藏版 外寸「二五・八×一八・三  
糰」印記「山崖十茂能藏書」(第五卷末)「佔畢波及第五終」 四周雙邊。無界。八行。内匡郭「二〇・六×一四・九  
糰」 一卷三二丁二卷二八丁三卷二八丁四卷三五丁五卷三五丁。「大坂書林森本文金堂和書藏板目録 心齋橋通唐物  
町 河内屋太助」(二丁)

三五五二  
五册

### 稜威言別十卷目安一卷

橘守部著

東京 椎本吟社 明治二十四年至二十七年(一八九四)六月刊 外寸「二六・三×一八・七糰」 印記「流香」熊本上通  
二丁目書舖川口屋又次郎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・七×一五・二糰」 一卷六二丁二卷四八丁三卷五二  
丁四卷六九丁五卷六二丁六卷六六丁七卷五四丁八卷七七丁九卷五七丁一〇卷七〇丁目安三四丁。奥付に大取次書肆  
として「吉川半七」あり)

三五五三  
一册

### 槻乃落葉

荒木田久老著

大阪 播磨屋新兵衛 文政二年(一八一九)三月刊 外寸「二五・七×一八糰」 印記「別當富嗣」「富嗣」「齋部」(中西  
富嗣)「平野文庫」(平野神社) (副題「續日本後紀第十九」 題簽「續日本後紀歌解」 單邊。無界。一〇行。内匡郭  
「二〇・五×一五・三糰」 頭注付。三八丁)

三五五四  
一册

### 萬葉集二十卷

大阪 朝日新聞社 昭和三年六月至昭和四年(一九二九)一月複製 原闕卷第三第五第八第一五第一六 外寸  
「二四・六×一六・七糰」 (外箱「元曆萬葉集」 七行。底本「古河家・高松宮家所藏元曆校合本」 別册「元曆本萬葉集  
解説」佐佐木信綱・武田祐吉著。四四頁 「元曆本萬葉集附卷」佐佐木信綱著。二八頁 「元曆本萬葉集附録自第一至  
第四」全三三頁)

三五五五  
一五册・別册解説等三册

## 萬葉集二十卷

名古屋 後藤安報恩會 昭和十六年(一九四一)八月複製 外寸「二一・八×一四・四糎」(包背裝。八行。底本「後藤幸三所藏紀州徳川家舊藏鎌倉末至室町初期寫本」 別冊「紀州本萬葉集解說」佐佐木信綱著。二二頁)

## 萬葉集二十卷

東京 竹柏會 昭和八年(一九三三)三月至十月複製 外寸「二七・四×二二・二糎」(列帖裝。八行。底本「竹柏園所藏西本願寺舊藏鎌倉後期寫本」 別冊「西本願寺本萬葉集解說」佐佐木信綱・武田祐吉著。一四頁 「西本願寺本萬葉集月報」佐佐木信綱博士還曆記念論文集日本文學論纂「一二頁」)

## 萬葉集 卷第十三

東京 竹柏會 大正十五年(一九二六)四月複製 外寸「二七・五糎」(表紙に「天治本萬葉」と墨書あり。底本「福井家所藏平安期寫本」 別冊「天治本萬葉集解說」佐佐木信綱識。八頁)

## 萬葉集 卷第九

東京 瑞穗會 昭和十八年(一九四三)十一月複製 外寸「二六・三糎」(書名は題簽による。底本「原富太郎所藏會津家舊藏平安期寫本」 別冊「藍紙萬葉集解說」佐々木信綱著。一二頁)

## 萬葉集 卷第四

東京 尙古會 昭和三年(一九二八)十一月複製 外寸「二六・六糎」(箱書「桂本萬葉集」 底本「宮内省所藏桂宮家舊藏平安期寫本」)

## 桂之落葉

〔東京〕〔竹柏會〕〔昭和六年(一九三一)二月〕複製 外寸「二八・五糎」(書名は題簽による。底本「竹柏園他所藏

三五五六

二〇冊・別冊解說一冊

三五五七

二〇冊・別冊解說等三冊

三五五八

冊 卷子本一卷・別冊解說一冊

三五五九

冊 卷子本一卷・別冊解說一冊

三五六〇

卷子本一卷

三五六一

古寫本斷簡」別冊「桂之落葉解説」佐佐木信綱著。八頁)

### 奈良之落葉

〔東京〕〔竹柏會〕〔昭和十六年(一九四二)八月〕影印 外寸「二九・七糎」(書名は題簽による。底本「齋藤宗續他所藏古寫本斷簡」別冊「奈良之落葉解説」佐佐木信綱識。一六頁)

卷子本一卷・別冊解説一册

### 萬葉集 卷第十六

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和七年(一九三二)十一月複製 外寸「二五・三×一四・三糎」(列帖裝。七行。三七枚。底本「鎌倉中期以前寫本」別冊「尼崎本萬葉集解説」澤瀉久孝著。八頁)

三五六一  
卷子本一卷・別冊解説一册

### 萬葉集 卷第十一

〔東京〕〔竹柏會〕 昭和十六年(一九四二)影印 外寸「二三×一五・六糎」(列帖裝。九行。九〇枚。底本「中山侯爵家所藏鎌倉期寫本」附録「嘉曆傳承本萬葉集解説」佐佐木信綱著。一〇頁)

三五六四  
一册

### 萬葉集 〔卷第九〕

東京 竹柏會 昭和十六年(一九四二)八月影印 外寸「二四・二×一六・四糎」(六行。二二丁。底本「竹柏園所藏松本秀業舊藏鎌倉期寫本」附録「傳壬生隆祐筆本萬葉集解説」佐佐木信綱著。五頁)

三五六五  
一册

### 萬葉手鑑

佐佐木信綱編  
京都 京都印書館 昭和二十二年(一九四七)七月活版 外寸「二五・四×一五・一糎」(一一三頁)

三五六六  
一册

### 萬葉集美夫君志一卷首一卷別記一卷

册

木村正辭著

東京 上原書店 明治三十四年(一九〇二)五月活版 外寸「三・六×一五・一糶」 印記「平塚」(首卷四八頁上  
一〇九頁下一四七頁別記七六頁)

### 古今和歌集二十卷

紀貫之等奉勅撰

美洛 佐々木惣四郎・出雲寺文治郎・吉田四郎右衛門 安永九年(一七八〇)一月刊 外寸「八・八×六・四糶」 印記  
「岡崎敬喜」「岡崎法橋敬喜」「岡崎」(三代集之一。單邊。無界。一二行。内匡郭「六・八×五・一糶」一一六丁)

### 後撰和歌集二十卷

大中臣能宣等奉勅撰

皇都 吉田四郎右衛門・出雲寺文治郎・遠藤平左衛門 寛政十年(一七九八)刊 外寸「八・八×六・四糶」 印記「岡  
崎敬喜」「岡崎法橋敬喜」「岡崎」(三代集之一。單邊。無界。一二行。内匡郭「六・八×五・一糶」一〇〇丁)

### 拾遺和歌集二十卷

皇都 出雲寺文治郎等 寛政十一年(一七九九)刊 外寸「八・八×六・四糶」 印記「岡崎敬喜」「岡崎法橋敬喜」「岡崎」  
(三代集之一。單邊。無界。一二行。内匡郭「六・八×五・一糶」一四三丁)

### 古今倭歌集 卷第八

紀貫之等奉勅撰 恩賜京都博物館編

〔京都〕 便利堂印刷所 昭和四年(一九二九)七月複製 外寸「二・六×二・二糶」(書外題「古今集毛利本」 底本「毛利公  
爵家所藏古寫本」)

### 古今和歌集 卷第一至卷第十

紀貫之等奉勅撰

三五六七	四册
三五六八①	一册
三五六八②	一册
三五六八③	一册
三五六九	卷子本一卷
三五七〇	



昭和十三年（一九三八）寫 外寸「二九・七×三二・八糎」（一〇行。一〇八丁。山岸氏識語「古今集一卷古寫鎌倉期之者也補写伝光嚴院御宸筆也云云：酒井氏藏待買本也」朱筆の書き入れあり）

## 古今和歌集二十卷

紀貫之等奉勅撰

東京 貴重圖書複製會 昭和十一年（一九三六）十月複製 外寸「二五・八×一八・二糎」（列帖裝。八行。上一八九枚下一九一枚。底本「三井男爵家所藏國寶元永頃寫本」）

## 古今和歌集 卷第十七

紀貫之等奉勅撰

〔昭和期〕複製 外寸「二四・二糎」（底本奥書「行成卿眞筆料紙八枚歌數三十九首：正安第一之曆孟秋朔日：古今吾記」）

## 古今倭詞集 卷第五

紀貫之等奉勅撰

東京 尙古會 昭和二年（一九二七）十一月複製 外寸「二六・二糎」（底本「中村好古堂所藏古寫本」） 別冊「高野切古今和歌集卷五附藍紙萬葉集卷九因幡權守重隆家歌合」山岸德平書。假綴。六丁）

## 古今和歌集 卷第二十

紀貫之等奉勅撰

東京 明治書院 昭和三年（一九二八）六月複製 外寸「二六・二糎」（底本「山内家所藏古寫本」） 別冊「山内家藏傳紀貫之筆古今和歌集に就いて」尾上八郎述。一八頁）

## 古今和歌集二十卷

紀貫之等奉勅撰

一冊

三五七六

二冊

三五七七

卷子本一卷

三五七八

卷子本一卷・別冊一冊

三五七九

卷子本一卷・別冊解説一冊

三五八〇

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和六年(一九三二)二月複製 原闕卷第一八至第二〇 外寸「一六・五×一三・二糎」(八行。漢字片假名。上册一七七枚下册七二枚。底本「治承元年九月教長入道校訂古寫本」)

### 古今和歌集二十卷

紀貫之等奉勅撰

東京 育徳財團 (昭和三年(一九二八)複製 外寸「二四・六×一五・三糎」(尊經閣叢刊之一。列帖裝。六行。上册一七四枚下册一五七枚。底本「前田家所藏傳藤原清輔筆平安期寫本」) 別册「清輔本古今和歌集解説」一八頁。青筆鉛筆の書き入れあり)

### 古今和歌集二十卷

紀貫之等奉勅撰

(昭和三十七年(一九六二)影印 外寸「二六・八×二五・五糎」(列帖裝。一二行。漢字片假名。三八〇頁。底本「伏見宮家舊藏鎌倉期寫本」) 別册「伏見宮舊藏古今和歌集」解題「二〇頁」)

### 古今和歌集二十卷

紀貫之等奉勅撰

東京 大塚巧藝社内古文學祕籍複製會 昭和八年(一九三三)三月複製 外寸「二三・二×一六・四糎」(古文學祕籍叢刊之一。列帖裝。九行。上册一一七枚下册一一五枚。底本上册「宮内省圖書寮所藏寂惠筆寫本」下册「上野精一所藏寂惠筆寫本」) 別册「寂惠本古今和歌集解説」三條西公正著。三八頁)

### 古今和歌集聞書二十卷

萬里小路親房著

寛文四年(一六六四)寫 外寸「二七・八×二〇糎」(圓藏坊元超「墨書」(一一行。一册五九丁二册五六丁三册四六丁四册七六丁五册四二丁。表紙に「九條家舊藏本古今和歌集」と墨書あり。識語「右ノ御本寛文四年秋下旬令書寫者

二册

三五八一

二册・別册解説一册

三五八二

一册・別册解題一册

三五八三

二册・別册解説一册

三五八四

五册



也 圓藏坊元超」朱筆の書き入れあり)

### 古今和歌集兩度聞書六卷

東常縁述 飯尾宗祇記

〔江戸前期〕刊 關卷第六 外寸「二六・六×一九・七糶」 印記「吉澤文庫」〔吉澤義則〕「長」盛旭」(無匡郭。一一行。  
一巻四八丁二卷三九丁三卷六〇丁四卷六八丁五卷四五丁)

三五八五

二册

### 古今集注五卷

昭和六年(一九三二)十二月山岸徳平寫 外寸「二七・四×一九・四糶」(一一二行。仁七三丁義一〇七丁禮九二丁智  
八二丁信一一七丁。表紙に「孝明天皇御所持本」と墨書あり。山岸氏識語「古今集注五卷以圖書寮本書寫畢」朱筆藍  
筆の書き入れあり)

三五八六  
五册

### 古今和歌集抄 存卷第一第二第十

昭和六年(一九三二)十二月山岸徳平寫 外寸「二九・九×二二・一糶」(書名は識語による。一〇行。一巻四〇丁二  
卷三二丁一〇卷五八丁。山岸氏識語「古今和歌集抄十卷以或家之祕本書寫卷一、二及卷第十者也」朱筆の書き入れ  
あり)

三五八七  
三册

### 古今序考二卷

賀茂眞淵著

〔江戸末〕寫 外寸「二七・五×一九・六糶」 印記「翁篁書屋」(一一行。上二二丁下三三丁。識語「古今序考一册續萬  
葉論ノ序注ト同一ナリ古今集序表考ト古今集序別考トヲ大體合併セリ」)

三五八八  
一册

### 古今和歌集祕抄

一條兼良著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×二〇・二糶」(副書外題「古今集童蒙抄」一一行。五八丁。山岸氏識語「善本ナル古

三五八九  
一册

今集童蒙抄完九條家本」

### 古今和詞集序古格正文

岡庭(古道閣)眞弘著

文久元年(一八六二)九月序刊 河野陸奥守藏板 外寸「二六・一×一八・二」 印記「豫陽宇摩郡上埜村眞鍋氏印」

(題簽「古格正文古今和歌集序」 四周雙邊。無界。九行。内匡郭「二〇・九×一五・四」 一九丁)

三五九〇

一册

### 古今集序經緯文脉圖

堀秀成著

〔明治九年(一八七六)齋藤長久〕寫 外寸「二六・八×一八・四」 (七行。一五丁。卷末匡郭外に「明治九年六月卅日

寫畢齋藤長久」とある。朱墨書。匡郭のみ印刷)

三五九一

一册

### 後撰和歌集二十卷

東京 日本大學總合圖書館 (昭和五十年(一九七五))複製 外寸「二四・五×一六」 (列帖裝。九行。一三五枚。

底本「日本大學總合圖書館所藏鎌倉期寫本」 別册「冷泉爲相筆後撰和歌集解題」岸上慎二著。一六頁)

三五九二

一册・別册解題一册

### 後撰和歌集二十卷

東京 育徳財團 昭和十一年(一九三六)八月複製 外寸「二六・四×一七・二」 (尊經閣叢刊之一。列帖裝。一〇行。

一九八枚。底本「前田家所藏傳淨辨筆南北朝寫本」 別册「淨辨本後撰集拾遺集解說」大野木克豐稿。二五頁)

三五九三

一册・別册解說一册

### 拾遺和歌集二十卷

東京 育徳財團 昭和十一年(一九三六)八月複製 外寸「二六・四×一七・二」 (尊經閣叢刊之一。列帖裝。一〇行。

一七五枚。底本「前田家所藏傳淨辨筆南北朝寫本」 與三五九三番同時刊)

三五九四

一册

### 拾遺和歌集二十卷

東京 端居書屋 昭和三十九年（一九六四）十月影印 外寸「二一・四×一五・四糎」（一三八丁二六頁。底本「北野克所藏鎌倉期寫本」 別冊「重要美術品拾遺和歌集解說」北野克著。九五頁）

## 金葉和詞集十卷

源俊賴奉勅撰

〔東京〕〔宮内廳書陵部〕〔昭和期〕複製 外寸「二四・九×一五・五糎」（列帖裝。一〇行。三一〇頁（一五五枚）。底本「宮内廳書陵部所藏傳藤原爲家筆鎌倉期寫本」 別冊「大宮御所舊藏『金葉和歌集』解題」一七頁。「金葉集奏覽の年時について」安田久善著（文學部研究年報第五輯拔刷）三六頁）

## 金葉和詞集十卷

源俊賴奉勅撰

〔東京〕 國民精神文化研究所 昭和十二年（一九三七）複製 外寸「二六・四×一七・三糎」（國民精神文化文獻九。列帖裝。一一行。一三三枚。底本「平瀬陸氏所藏鎌倉期寫本」 別冊「傳後京極攝政良經筆三奏本金葉和歌集解題」松田武夫著。三二頁）

## 詞華和歌集 卷第八

藤原顯輔奉勅撰

明治四十五年（一九一二）二月複製 外寸「二〇・四糎」（底本「傳寂蓮筆古寫本」 序文「寂蓮法師眞蹟詞華集卷第八の序」大口鯛二著。）

## 新古今和歌集二十卷

源通具等奉勅撰

東京 育徳財團 昭和六年（一九三一）二月複製 外寸「二二・七×一五・四糎」（尊經閣叢刊之一。列帖裝。一〇行。底本「前田家所藏傳藤原爲親南北朝期寫本」 別冊「前田本新古今和歌集解說」三三頁）

三五九五

洋裝一冊・別冊解說一冊

三五九六

一冊・別冊解題一冊・拔刷一冊

三五九七

一冊・別冊解題一冊

三五九八

卷子本一卷

三五九九

四冊・別冊解說一冊

### 新葉和歌集二十卷

宗良親王編

東京 大日本歌道奨勵會出版部 明治四十四年(一九二二)十月活版 外寸「三二・六×一五糎」(一九〇頁。墨筆朱筆の書き入れあり)

三六〇〇

一册

### 古今六帖傍註 草稿

大村光枝著

昭和十年(一九三五)十二月寫 外寸「二七・三×一八・五糎」(二三行。六六丁。山岸氏識語「古今六帖傍註」卷飯島博士祕本也大村光枝大人著作而其稿本坎可珍重之書云云) 朱引、朱點あり)

三六〇一

一册

### 秋風和詞集二十卷

藤原光俊撰

昭和十六年(一九四二)十一月山岸徳平等寫 外寸「二七・二×一九・五糎」(二三行。一卷二〇丁二卷一二丁三卷七丁四卷七丁五卷一九丁六卷一九丁七卷一〇丁八卷九丁九卷九丁一〇卷六丁一一卷八丁一二卷一七丁一三卷一九丁一四卷一四丁一五卷五丁一六卷八丁一七卷一六丁一八卷二四丁一九卷二四丁二〇卷二二丁。山岸氏識語「秋風和歌集」二卷圖書寮本也近來属御物本之部類而不出闕外者也)

三六〇二

二册

### 和歌秋風抄十卷

昭和二十六年(一九五二)七月寫 外寸「二七・六×一九・七糎」(書名は書外題による。一〇行。一卷二二丁二卷二四丁三卷一五丁四卷三二丁五卷三七丁六卷一九丁七卷一〇丁八卷一五丁九卷八丁一〇卷三二丁。山岸氏識語「和歌秋風抄」上下二册以安井氏本書写畢) 朱筆の書き入れあり)

三六〇三

二册

### 風葉和歌集

昭和三年(一九二八)八月山岸徳平寫 外寸「二七・二×一九・九糎」(二〇行。五三丁。山岸氏識語「風葉集寫本」一卷)

三六〇四

神宮文庫特種本也」朱筆の書き入れあり

### 風葉和歌集二十卷

昭和五年（一九三〇）四月寫 原闕卷第一九第二〇 外寸「二七・五×一九・六糎」〔書名は書外題による。一〇行。  
一卷二〇丁二卷二〇丁三卷一八丁四卷一九丁五卷一九丁六卷二二丁七卷二四丁八卷一八丁九卷三三丁一〇卷二四丁  
一一卷一八丁一二卷三三丁一三卷一一丁一四卷二二丁一五卷二六丁一六卷二七丁一七卷二二丁一八卷二二丁。山岸  
氏識語「風葉和歌集十八卷二册以宮内省本書寫畢原本清水濱臣藏本也今分册爲四册者也」朱筆の書き入れあり

三六〇五  
四册

### 風葉和歌集二十卷

昭和六年（一九三二）十月寫 原闕卷第一九第二〇 外寸「二六・九×一九・三糎」〔書名は書外題による。一二行。  
首卷五丁。狩谷氏本一卷一二丁二卷一〇丁。一卷八丁二卷一〇丁三卷九丁四卷一〇丁五卷一〇丁六卷一一丁七  
卷二二丁八卷九丁九卷二二丁一〇卷七丁一一卷一九丁一二卷七丁一三卷一〇丁一四卷一九丁一五卷三三丁一六卷  
二二丁一七卷一八丁一八卷一七丁。山岸氏識語「風葉和歌集四卷今合爲三卷矣東北帝大藏本也：首卷及卷三同書体  
也」朱筆の書き入れあり

三六〇六  
三册

### 八代集秀逸一卷爲兼卿和哥抄一卷

八藤原定家撰 爲京極爲兼著

昭和二十一年十二月、昭和二十四年（一九四九）二月寫 外寸「二七・四×一九・六糎」〔一〇行。八代一三丁爲兼  
二〇丁。山岸氏識語「八代集秀逸一卷圖書寮本也」爲兼卿和哥抄一卷列帖枕本桂宮本也珍書同好會本有誤字少々云  
云）

三六〇七  
一册

### （古題）物名歌一卷六集古哥抄一卷

物源泰貞（鳳岡）編

昭和二十九年（一九五四）七月山岸氏家中寫 外寸「二七・六×一九・五糎」〔書名は書外題による。一〇行。物名  
二四丁六集一九丁。山岸氏識語「古題物名歌一册鳳岡源泰貞著也与六集古哥集同刊之本也」六集古哥抄古題物名歌

三六〇八  
一册

二册刊本二册(西莊文庫藏本ナリ)刊記無之石崎氏本也借覽寫者也)

### 百人秀歌一卷踊り歌一卷

昭和三十一年(一九五六)六月山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一九・八糎」(二〇行。百人一六丁踊り一五丁。山岸氏識語「百人秀歌一册以久曾神氏本書寫畢」踊り歌一册元來无題名今仮題踊里歌云云)

三六〇九

一册

### 遺塵和哥集六卷

高階宗成編

昭和十四年(一九三九)九月山岸德平寫 外寸「二七・六×一九・六糎」(書名は書外題による。八行。一卷一二丁二

三六一〇

一册

卷九丁三卷一〇丁四卷一一丁五卷一二丁六卷二六丁。山岸氏識語「遺塵和哥集一卷圖書寮本也靈元天皇御宸筆者也」朱引あり)

### 津守和歌集

津守國基著

昭和十六年(一九四二)十月寫 外寸「二七×一九・二糎」(書名は書外題による。卷頭書名「後拾遺和歌集第一白河院」八行。七三丁。山岸氏識語「津守集一册武田祐吉博士藏本也列帳綴無元表紙」)

三六一一

一册

### 楢葉和歌集十二卷

釋素俊撰

昭和二十五年(一九五〇)七月山岸德平寫 原闕卷第一至第六 外寸「二七・四×一九・二糎」(一一行。七卷六丁八卷九丁九卷八丁一〇卷一二丁一一卷一七丁一二卷八丁。山岸氏識語「楢葉集一卷東大寺圖書館藏本也以橘氏轉写本書了了」)

三六一二

一册

### 易然集一卷楢葉和謔集一卷十番歌合一卷師實歌集斷簡一卷家集切一卷

橘釋素俊撰 師藤原師實撰

三六一三

昭和二十五年六月至昭和二十六年（一九五二）十一月山岸徳平寫 外寸「二七・三×一九・二糎」（一〇行。易然四丁  
栖葉一丁十番五丁師實二丁家集三丁。山岸氏識語「易然集一卷以學習院影寫本寫了」「栖葉集東大寺圖書館藏本也  
以橋氏寫本寫了」二十番歌合一軸某家祕藏「師実集断片一幅昭和十四年十二月展覽之際和歌二首而筆者云云無之今  
茲展覽和哥七首而筆者伝俊頼云云又師実集断簡云云」家集切傳公任筆筆跡不全公任別筆也」

## 栖葉和歌集十二卷

釋素俊撰

昭和二十五年（一九五〇）七月寫 原闕卷第一至第六 外寸「二一・一×一五・一糎」（二〇行。七卷七丁八卷九丁九  
卷七丁一〇卷一二丁一一卷一九丁一二卷一〇丁。二〇行二〇字詰原稿用紙ペン書き。山岸氏識語「栖葉和歌集一卷  
天理圖書館本也以橋本氏轉寫本…書寫焉」

## 柳葉和歌集

宗尊親王著

昭和十五年（一九四〇）七月小西甚一寫 外寸「横本一五・八×二〇・一糎」（書名は書外題による。假綴。一八行。  
翻字ペン書一九枚。小西氏識語「以神宮文庫本寫之本墨付四十二枚」

## 河藻集二卷 附作者姓名錄一卷

村上忠順編 深見篤慶・成瀬廣冬校

三河 深見藤吉等 文久二年（一八六二）自序刊 外寸「一九・四×一三・三糎」（無匡郭。一〇行。上四八丁下四九  
丁附一二丁。附錄「蓬廬村上翁著撰書目 蒼松堂誌」三丁）

## 代々御集

〔昭和二十年（一九四五）頃寫 外寸「二六・七×一九・八糎」（書名は書外題による。一〇行。六八丁。山岸氏識語  
「代々御集一卷圖書寮本也以久曾神氏贍寫本寫了…昭和廿年十月廿八日一校了聊加筆云云」 朱筆の書き入れあり

一册

三六一四

一册

三六一五

一册

三六一六

一册

三六一七

一册

内容…奈良御門御集、仁和御集、亭子院御集、延喜御集、朱雀院御集、村上御集、冷泉院御集、圓融院御集

### 深窓祕抄

藤原公任撰

昭和十二年（一九三七）一月寫 外寸「二七・五×一九・四糎」（八行。二〇丁。山岸氏識語「深窓祕抄一卷武田博士藏本之轉写也武田氏轉写佐藤誠實博士藏本也」）

### 宗尊親王深窓祕抄一卷寛平歌合一卷

宗藤原公任撰

東京 平凡社 昭和九年（一九三四）十月影印 外寸「二六×一八・七糎」（和様手本大成第二卷。五行至八行。宗尊八丁寛平一三丁。附録「尾上柴舟先生臨深窓祕抄」二丁）

### 三十六人集

東京 精藝出版 大正九年（一九二〇）七月複製 外寸「二七・五×二〇・二糎」（書名は題簽による。九行。二二六折。

底本「西本願寺大谷家所藏平安後期寫本」 別冊「西本願寺本三十六人集抄解説」佐佐木信綱著。六三頁）

### 歌仙家集 存第一冊至第四冊

中川恭次郎編

東京 歌書刊行會 明治四十二年（一九〇九）一月至六月活版 外寸「三三×一五・五糎」 印記「龍澤藏書」「周防國吉敷郡富野村藤野莞爾」（書名は題簽による。一冊七五丁二冊八二丁三冊七二丁四冊九〇丁。奥付に發兌元として「東

京 歌學書院」あり）

### 歌仙家集 存第一冊第二冊

中川恭次郎編

東京 歌書刊行會 明治四十二年（一九〇九）一月活版 外寸「三三×一五・五糎」 印記「龍澤藏書」「周防國吉敷郡富

三六一八

一冊

三六一九

一冊

三六一〇

折本一帖・別冊解説一冊

三六一一

四冊

三六一二

二冊



野村藤野莞爾（書名は題簽による。一册七五丁二册八二丁。與三六二一番第一册第二册同版）

## 中古歌仙

後鳥羽天皇等撰

〔明治期〕寫 外寸「二四・五糎」（書名は題簽による。底本「中古三十六人歌合」）

## 寛平御時后宮哥合

昭和八年（一九三三）五月寫 外寸「三一×二六・五糎」（書名は書外題による。一四行。一二丁。山岸氏識語「寛平御時后宮哥合一軸以圖書寮本書写者也原本定家流文字聊有之内容亦可也昭和八年五月廿日東京高師學生爲余割半日之閑所書写矣感懷何堪乎」朱筆の書き入れあり）

## 藤六集一卷寛平御時中宮哥合一卷實方集補遺一卷

藤藤原輔相著 實藤原實方著

昭和十二年（一九三七）一月三好氏寫 外寸「二九・四×一九・七糎」（九至一一行。藤七丁寛平六丁實方五丁。山岸氏識語「藤六集一册余先年以圖書寮本書写然爲人轉々借覽遂失所在可惜々々乃三好氏爲余書写一本所寄贈云云」寛平御時中宮歌合一卷十七番本右神宮文庫藏本三好氏書写一本爲余所寄贈者也「實方集一卷神宮文庫本也」朱筆の書き入れあり）

## 歌合序一卷四條宮歌合一卷歌集斷簡一幅同齋院歌合一幅同院歌合一幅隆達節一卷

昭和十五年（一九四〇）四月至十月寫 外寸「二七・四×一九・四糎」（封面書外題「陽明文庫藏歌合序四條宮歌合歌集斷簡齋宮歌合祿子内親王」一〇至一三行。歌合一丁四條七丁歌集一丁同齋院二丁同院二丁隆達五丁。山岸氏識語「四條宮歌合与天喜四年四月晦皇后宮春秋歌合不同歟」隆達節屏風六曲一雙ポストン博物館藏也）朱筆の書き入れあり）

三六二三

卷子本一卷

三六二四

一册

三六二五

一册

三六二六

一册

### 奈良花林院哥合

藤原基俊判

昭和二十六年(一九五二)四月寫 外寸「二六・八×一八・四糎」(書名は書外題による。假綴。一〇行。二二丁半。識語「奈良花林院歌合一卷桂宮本也靈元院御宸翰本云云以或轉写本書写者也」富美子)

三六二七

一册

### 奈良花林院哥合

藤原基俊判

〔昭和期〕寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(書名は書外題による。一〇行。二二丁半。山岸氏識語「奈良花林院哥合一卷圖書寮本也永縁奈良房歌合借覽于飯島氏之際更借覽本書而对校之序書写者也」初校了昭和廿三年秋)

三六二八

一册

### 永縁奈良房歌合

昭和二十三年(一九四八)九月山岸德平寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(書名は書外題による。一三行。二二丁。山岸氏識語「永縁奈良房歌合一軸傳俊忠筆右九月八日飯島氏借覽」以原本爲底本而轉写者歟與書筆跡逢筆也)

三六二九

一册

### 春日社歌合一卷日吉社歌合一卷

昭和十七年(一九四二)十一月山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・五糎」(春日二二行日吉一〇行。春日一四丁日吉九丁。山岸氏識語「春日社歌合日吉社歌合一册以久曾神氏藏古写本書寫了」)

三六三〇

一册

### 治承二年賀茂社歌合

藤原俊成判

文政元年(一一八一)跋刊 外寸「三三・二×一五・四糎」印記「紅梅文庫」(前田善子)(題簽「賀茂社歌合」三六折。刻工として「井蛙堂祐慶」の刻入あり)

折本一帖

三六三一

### 源氏物語歌合

〔昭和期〕寫 外寸「二七・七×一九・六糎」(書名は書外題による。一〇行。五四丁)

三六三二

倭漢詩歌合

昭和十六年（一九四二）八月寫 外寸「二六・四×一九・二糎」（八行。一三丁。識語「昭和十六年八月彰考館文書ニ依リ贍写 森山」山岸氏識語「倭漢詩歌合一冊彰考館藏本也類本稀有也」）

俊成九十賀

藤原（九條）良經著

〔明治期〕寫 外寸「二五・九×一九・一糎」 印記「虛受庫」「大口鯛二」（書名は書外題による。八行。五丁。朱筆の書き入れあり）

寛平御時后宮歌合

紀友則等撰

〔東京〕〔尙古會〕〔大正期〕複製 外寸「二八・一糎」（書名は書外題による。「宗尊親王筆」と墨書の付記あり）

亭子院歌合四十番

東京 竹柏會 昭和六年（一九三一）一月複製 外寸「二六・四糎」（底本「木村德衛所藏平安末寫本」 別冊「亭子院歌合解説」佐佐木信綱著。一七頁）

内裏和歌合 天徳四年三月廿日於清涼殿有御事

〔昭和期〕複製 外寸「二六・五糎」（箱書「天徳四年内裏歌合」 底本「傳藤原俊忠筆平安期寫本」）

十五番歌合

一冊

三六三三

一冊

三六三四

一冊

三六三五

卷子本一卷

三六三六

卷子本一卷・別冊解説一冊

三六三七

卷子本一卷

藤原公任撰

東京 育徳財團 昭和七年（一九三二）十二月複製 外寸「二五・五糎」（尊經閣叢刊之一。書名は箱書による。底本「前田家所藏平安期寫本」別冊「傳藤原公任筆十五番歌合解説」五五頁）

### 十番歌合

東京 井上恆一 昭和二十六年（一九五二）三月複製 外寸「二六糎」（書名は解題による。底本「三井松籟舊藏古寫本」奥付に發賣所として「東京 晚翠軒」あり。別冊「傳藤原行成筆松籟切（十番歌合）飯島春敬・山岸徳平著。一二頁）

### 類聚歌合内裏上一卷經平大貳家歌合一卷

經藤原通俊判

東京 吉川報效會 昭和十六年（一九四二）七月複製 外寸「二六・五糎」（書名は題簽による。底本「吉川子爵家所藏古寫本」別冊「國寶類聚歌合内裏上一卷國寶經平大貳家歌合一卷解説」田山信郎記。一二頁）

### 内大臣家哥合 永久三年十月廿六日

藤原忠通等撰

〔東京〕貴重圖書複製會 昭和十八年（一九四三）一月跋複製 外寸「二五・六糎」（底本「渡邊伯爵家所藏古寫本」附録「國寶傳西行筆内大臣家歌合解説」山田忠雄撰）

### 内大臣殿哥合

根津美術館編

京都 便利堂 昭和十八年（一九四三）三月複製 外寸「二五・七糎」（底本「根津美術館所藏平安末寫本」別冊「國寶内大臣殿歌合解説」萩谷朴著。四九頁）

### 住吉哥合

三六三八

冊 卷子本一卷・別冊解説一

三六三九

冊 卷子本一卷・別冊解説一

三六四〇

冊 卷子本二卷・別冊解説一

三六四一

卷子本一卷

三六四二

冊 卷子本一卷・別冊解説一

東京 貴重圖書複製會 昭和十八年(一九四三)一月跋複製 外寸「二五糎」 (底本「渡邊伯爵家所藏古寫本」 附録「國寶傳西行筆住吉歌合解説」山田忠雄著)

三六四三  
卷子本一卷

## 住吉哥合

東京 貴重圖書複製會 昭和十八年(一九四三)一月跋複製 外寸「二五糎」 (底本「渡邊伯爵家所藏古寫本」 附録「國寶傳西行筆住吉歌合解説」山田忠雄著。與三六四三番同版。但し未表装)

三六四四  
マクリ一卷

## 類聚歌合

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和十五年(一九四〇)五月複製 外寸「二八・二糎」 (書名は表紙による。底本「陽明文庫所藏平安後期寫本」 別冊「影本『類聚歌合』解説並釋文」堀部正二著。八二頁(同書二冊) )

三六四五  
卷子本一卷・別冊解説・  
釋文二冊

## 廣田社歌合三卷 承安二年十二月八日

藤原俊成判

東京 育徳財團 昭和八年(一九三三)七月複製 外寸「二八・二糎」 (尊經閣叢刊之一。書名は箱書による。底本「前田家所藏藤原俊成自筆寫本」 別冊「藤原俊成筆廣田社歌合解説」二二頁)

三六四六  
卷子本三卷・別冊解説一  
冊

## 東北院歌合

東京 大和繪同好會 大正十一年(一九二二)十月複製 外寸「二九・一糎」 (書名は表紙による。底本「曼殊院所藏鎌倉期寫本」)

三六四七  
卷子本一卷

## 六百番陳狀 即 顯昭陳狀

顯昭撰

昭和二年(一九二七)十月能勢朝次寫 外寸「二四・一×二六・三糎」 (書名は書外題による。八行。五九丁。能勢朝次識語「以宮内省圖書寮本寫了但類從本ニ出ザル部分也」山岸氏識語「此書昭和二年秋爲能勢朝次令書写者也」類從

三六四八  
一冊

本欠恋六以下即補類從本之欠脱者也

### 歌合

〔昭和期〕影印 外寸「三四・五×二二・八糎」(書名は目次首による。七行。二二折。底本の奥書「寛永十四年霜月日任先本染愚筆矣南山沙門昭乘」)

### 萬葉集中柿本朝臣人麻呂歌

津和野 龜井茲 明治四年(一八七二)五月序刊 龜井家藏版 外寸「二五・八×一七・九糎」 印記「白井光」(白井光太郎) (序文首「神妙集」 四周雙邊。有界。八行。内匡郭「二九×一四・四糎」 頭注付。四八丁)

### 山邊赤人集一卷伊勢集一卷

山邊赤人撰 伊伊勢(藤原繼陰女)撰

昭和三十年(一九五五)二月山岸氏家中寫 外寸「二七・六×一九・七糎」(九行。山邊三丁伊勢六〇丁。山岸氏識語「山邊赤人集伊勢集合綴一册以志村氏藏本書写者也…昭子写焉」)

### 奈良御集一卷仁和御集一卷寬平御集一卷

昭和七年(一九三二)六月山岸德平寫 外寸「二六・八×一九・三糎」(八行。奈良五丁仁和五丁寬平八丁。山岸氏識語「奈良御集仁和寬平御集一卷以宮内省本書写」)

### 在中將集即業平集

在原業平撰

昭和三十八年(一九六三)七月山岸氏家中寫 外寸「二五・四×一七・九糎」(書名は書外題による。一〇行。一八丁。二〇行二〇字詰原稿用紙ペン書。山岸氏識語「在中將集一册前田家藏本也以久曾神氏轉写本書写焉」)

### 菅原贈太政大臣歌集

三六四九  
折本一帖

三六五〇  
一册

三六五一  
一册

三六五二  
一册

三六五三  
一册

菅原道眞撰

昭和十七年（一九四二）十月山岸德平寫 外寸「二九・七×一三・五糎」（九行。一〇丁。底本「文化十二年七月東都松楓閣刊本」 山岸氏識語「菅原太政大臣歌集一卷以刊本写之畢刊本亦稀少也」 書き入れあり）

### 聖廟御集

菅原道眞撰

〔昭和期〕寫 外寸「二七・三×一九・五糎」（八行。二五丁。山岸氏識語「菅家聖廟御集一册内閣文庫藏本也；此本与彰考館本同一也」 朱筆書き入れあり）

### 菅家金玉抄十五卷

菅原道眞撰

昭和十八年（一九四三）十二月寫 外寸「二七・三×二〇糎」（二一行。一卷一九丁二卷二丁三卷一丁四卷一四丁五卷一四丁六卷一四丁七卷一五丁八卷一〇丁九卷一四丁一〇卷一四丁一一卷五丁一二卷一八丁一三卷四丁一四卷六丁一五卷五丁。山岸氏識語「菅家金玉集三卷彰考館藏本也高田与清獻納本也」）

### 菅家金玉抄十五卷

菅原道眞撰

昭和十七年（一九四二）八月寫 外寸「二七・二×一九・二糎」（二一行。一卷一七丁二卷二丁半三卷一丁四卷一丁五卷一丁半六卷一丁半七卷二丁八卷一丁九卷二丁一〇卷一丁半一一卷半丁一二卷三丁一三卷半丁一四卷一丁一五卷一丁。山岸氏識語「菅家金玉集一册内閣文庫藏本也」）

### 聖廟御詠一卷聖廟御詠合本三卷瑠璃壺御詠一卷

菅原道眞撰

〔昭和十七年（一九四二）九月〕山岸氏家中寫 外寸「二七・二×一九・三糎」（一〇行。聖廟二丁合本七丁瑠璃一〇丁。山岸氏識語「聖廟御詠一册神宮文庫本也拙藏与菅家御集全同一本也与久曾神本異也」神宮文庫本三部八月下流借覽

三六五四

一册

三六五五

一册

三六五六

三册

三六五七

一册

三六五八

一册

九月下浣校訂了「瑠璃壺御詠一册神宮文庫本也今茲八月廿五日借用同廿九日於家中書寫畢」

### 菅公瑠璃壺和歌一卷菅公之御連歌一卷

菅原道真撰

昭和十七年（一九四二）九月至十一月寫 外寸「二四・四×一六・四糎」（七行。瑠璃八丁御連歌六丁。山岸氏識語「菅

公瑠璃壺和歌一册岩瀬文庫藏本也」菅公御連歌一册福井氏藏本也」朱筆の書き入れあり

### 明靜獨吟連歌一卷菅家御詠歌并御連歌一卷

菅原道真撰

昭和十七年（一九四二）十一月山岸德平寫 外寸「二四・五×一六・四糎」（七行。明靜八丁菅家一七丁。山岸氏識語「明

靜獨吟連歌一册福井久藏博士藏本也」菅家御詠歌并御連歌一册飯島忠夫博士藏本也」

### 亭子院御集一卷元良親王集一卷

元元良親王撰

昭和七年（一九三二）六月山岸德平寫 外寸「二七・一×一九・四糎」（二〇行。亭子七丁元良三六丁。山岸氏識語「亭

子院御集一册宮内省本也」元良親王集一卷圖書寮本也与類從本異系統之本也不違一字映写者也」

### 伊勢集

伊勢（藤原繼蔭女）撰

昭和十八年（一九四三）五月寫 原闕第三二丁至第五二丁 外寸「二七×一九・七糎」（書名は書外題による。九行。

五〇丁。山岸氏識語「伊勢集神宮文庫本也三十六人集所收列帳裝而半面書写今以袋綴的帳書写焉」墨筆朱筆の書き入れあり

### 伊勢集

伊勢（藤原繼蔭女）撰

三六五九

一册

三六六〇

一册

三六六一

一册

三六六二

一册

三六六三



昭和二十二年(一九四七)一月寫 外寸「一九・八×一九・四糎」(書名は書外題による。一〇行。八六丁。山岸氏識語「伊勢集一卷圖書寮本也…定家書写本之轉写而歌仙家集系本文也」)

### 伊勢集一卷つらゆき 下

伊勢(藤原繼蔭女)撰 つ紀貫之撰

東京 尙古會 昭和八年(一九三三)一月複製 外寸「二〇・三×二六糎」(書名は題簽による。伊勢一六丁つら一六丁。底本「西本願寺大谷伯爵家所藏平安中期寫本」 別冊「西本願寺本伊勢集貫之集解說」益田孝著。五丁)

### 躬恒集

凡河内躬恒撰

昭和二十一年(一九四六)七月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(書名は書外題による。一〇行。五七丁。山岸氏識語「躬恒集一卷以圖書寮本影寫者也袋綴也」 墨筆朱筆の書き入れあり)

### 躬恒集一卷附 忠峯集一卷

躬凡河内躬恒撰 忠壬生忠岑撰

昭和二十一年(一九四六)七月寫 外寸「二〇・二×一九・五糎」(二二行。四二丁。山岸氏識語「躬恒集一卷忠岑集附載桂宮本也眞觀之本也以圖書寮本書写者也」 朱筆の書き入れあり)

### 忠岑集

壬生忠岑撰

昭和十九年(一九四四)五月寫 外寸「二七・五×一九・九糎」(書名は書外題による。一二行。三一丁。山岸氏識語「忠岑集一卷圖書寮本也借得人之筆写本矣」 朱筆の書き入れあり)

### 忠岑集一卷檜垣姫集一卷紫式部集一卷

忠壬生忠岑撰 紫式部撰

一册

三六六四

二册・別冊解説一册

三六六五

一册

三六六六

一册

三六六七

一册

三六六八

昭和二十一年（一九四六）八月至九月山岸徳平寫 外寸「二七・五×二〇糎」（書名は書外題による。一〇行。忠岑集一卷圖書寮本也） 朱筆の書き入れあり

### 素性集一卷 敦忠集一卷

素性撰 敦藤原敦忠撰

〔昭和期〕影印 外寸「二九・六×一六・六糎」（書名は題簽による。六行。素性一九丁敦忠一五丁。表紙に山岸氏識語「冷泉家本素性集（異本三十六人集本）敦忠集（西本願寺本）」とあり）

### 權中納言敦忠集

書之友編輯局編

東京 雄山閣 昭和十四年（一九三九）十二月影印 外寸「二五・八×一六・七糎」（書名は表紙による。書之友十二月號附録。八行。二八丁）

### 興風集

藤原興風撰

〔昭和期〕影印 外寸「二六・七×一五・四糎」（書名は表紙による。假綴。九行。六枚）

### 清正集一卷 興風集一卷

興藤原興風撰

〔昭和期〕複製 外寸「二・二×一三・五糎」（書名は封面による。列帖裝。一〇行。清正九枚興風六枚）

### 深養父集一卷 廣言家集一卷 附 升色紙一卷

深清原深養父撰 廣惟宗廣言撰

昭和十八年（一九四三）九月山岸徳平寫 外寸「二七×一九・八糎」（書名は書外題による。九行。深養一三丁廣言九

一册

三六六九

一册

三六七〇

一册

三六七二

一册

三六七二

一册

三六七三

一册

丁附升色紙七丁。山岸氏識語「廣言家集一卷神宮文庫本也」

### 禪林瘵葉集一卷三條右大臣集一卷深養父集一卷

禪藤原資隆(寂慧)撰 三藤原定方撰 深清原深養父撰

昭和十二年(一九三七)七月至八月山岸德平寫 外寸「二七・八×一九・六糎」(一〇行。禪林一六丁三條七丁深養五丁。山岸氏識語「禪林瘵葉集一冊圖書寮本也以久曾神氏轉寫本寫者也」三條右大臣集一冊圖書寮本也以久曾神氏轉寫本寫之「深養父集一卷圖書寮本也以久曾神氏轉寫本寫者也」)

### 藤六集

藤原輔相撰

〔昭和三年(一九二八)二月〕山岸氏家中寫 外寸「二七・八×一九・八糎」(書名は書外題による。一〇行。七丁。山岸氏識語「昭和戊辰三夾鐘念日於荒井僑居一校了 岸廼舍。藤六集一卷圖書寮藏本也令家中女子書寫畢」 別冊「藤六集に就いて 山岸德平著(書物の趣味第二號昭和三年發行)複寫」 野々村伊波氏書簡一通)

### 爲信集

藤原爲信撰

昭和二十三年(一九四八)十二月山岸德平寫 外寸「二七・五×二〇糎」(書名は書外題による。九至二二行。二六丁。山岸氏識語「爲信集一卷圖書寮本 本文題簽俱靈元天皇御宸筆歟」)

### 從三位爲信集一卷紫式部集一卷御堂關白集一卷

從藤原爲信撰 紫式部撰 御藤原道長撰

昭和二十一年九月至昭和二十三年(一九四八)十二月寫 外寸「二七・四×一九・七糎」(一〇至一一行。從三位三〇丁紫式部一〇丁御堂一〇丁。山岸氏識語「從三位爲信集一冊圖書寮本也」「紫式部集一卷桂宮本也」「御堂關白集圖書寮本也」)

三六七四

一冊

三六七五

一冊・別冊附錄一冊

三六七六

一冊

三六七七

一冊

### 元真集

藤原元真撰

大阪 古鏡社 昭和二年(一九二七)十二月複製 外寸「三・二×一四・六糎」(一一行。四七丁。底本「傳藤原俊成筆古寫本」)

三六七八

一册

### 元輔集

清原元輔撰

東京 育徳財團 昭和十七年(一九四二)十二月複製 外寸「横本一三・五×一五・七糎」(尊經閣叢刊之一。書名は箱書による。大和綴。一〇行。五二枚。底本「前田家所藏傳藤原俊成筆平安期寫本」 別册「前田本元輔集解説」池田龜鑑著。五一頁)

三六七九

一册・別册解説一册

### 檜垣姫集一卷仲文集一卷

仲藤原仲文撰

昭和二十一年八月至昭和二十二年(一九四七)一月山岸徳平寫 外寸「二七・六×一九・七糎」(書名は書外題による。八行。檜垣一六丁仲文一九丁。山岸氏識語「檜垣姫集一卷圖書寮本也古本也」「仲文集一卷以圖書寮本書写者也」朱筆の書き入れあり)

三六八〇

一册

### 一條攝政御集

藤原伊尹撰

東京 尙古會 昭和十二年(一九三七)一月複製 外寸「一三・二×一一・九糎」(九行。六三丁。底本「益田男爵家所藏傳西行筆平安後期寫本」 別册「一條攝政集解説」二二丁)

三六八一

一册・別册解説一册

### 齋宮女御集

徽子内親王撰

三六八二

東京 育徳財團 昭和十七年（一九四二）一月複製 外寸「二二×一六・五糎」（尊經閣叢刊之一。書名は箱書による。列帖装。一〇行。四枚。底本「前田家所藏傳小野道風筆平安期寫本」別冊「前田本齋宮女御集解説」九四頁）

## 惠慶集

東京 育徳財團（昭和十年（一九三五）複製 外寸「二五・五×一四・八糎」（尊經閣叢刊之一。列帖装。一〇行。一冊・二六枚・二冊・三枚。底本「前田家所藏傳藤原定家筆鎌倉期寫本」別冊「藤原定家等筆惠慶集解説」二七頁）

## 傳大納言殿母上集一卷道綱母集一卷

藤原倫寧女撰

昭和十三年（一九三八）三月寫 外寸「二六・九×一九・六糎」（書名は書外題による。一〇行。傳大八丁道綱一三丁。山岸氏識語「傳大納言殿母上集一卷圖書寮本也以久曾神氏本轉写者也」「道綱母集一卷宮内省圖書寮本也」）

## 主殿集

昭和八年（一九三三）三月山岸氏家中寫 外寸「一八・二×一九・六糎」（書名は書外題による。九行。三五丁。山岸氏識語「主殿集一卷圖書寮本也作者不知尼法師之集歟：於家中書写者也」）

## 高遠大貳集

〔和泉式部撰〕

東京 育徳財團 昭和十年（一九三五）三月複製 外寸「一五・四×一四・四糎」（尊經閣叢刊之一。書名は題簽による。列帖装。一一行。二〇枚。底本「前田家所藏傳西行筆平安期寫本」附録「三絶集」五枚）

## 大貳高遠集

〔和泉式部撰〕

昭和十三年（一九三八）五月寫 外寸「二六・九×一九・六糎」（書名は書外題による。九至一〇行。七三丁。山岸氏識語「大貳高遠集一卷圖書寮本也」）

一冊・別冊解説一冊

三六八三

二冊・別冊解説一冊

三六八四

一冊

三六八五

一冊

三六八六

一冊

三六八七

一冊

### 惟成弁集

昭和三年（一九二八）三月山岸氏家中寫 外寸「横本一九・四×二五・九糎」（書名は書外題による。七行。一一丁。貼紙「坊門局筆歌集切二葉」一枚。山岸氏識語「惟成弁集古筆之本書写歟桂宮本云云三行三字書坊門局歌集切三首、須書坊門局云云：令家中小女書写畢以無類本不能校合也」 墨筆朱筆の書き入れあり）

三六八八

一册

### 大齋院御集

選子内親王撰

昭和七年（一九三二）十一月寫 外寸「二七・一×一九・二糎」（一〇行。三三丁。山岸氏識語「大齋院集一卷宮内省圖書寮藏本也」 朱筆の書き入れあり）

三六八九

一册

### 道信朝臣集

藤原道信撰

昭和十三年（一九三八）八月森下巖寫 外寸「二六・四×一八・三糎」（書名は書外題による。八行。三六丁。表紙に「古筆本 三本之中二」と墨書あり。識語「以圖書寮本影寫畢：昭和十二年三月二十九日」山岸氏識語「八月下流高師文二森下氏写了太平記古川本校讐着手之比也古筆本轉写也」）

三六九〇

一册

### 道信朝臣集

藤原道信撰

昭和十三年（一九三八）八月山岸徳平寫 外寸「二六・三×一九・四糎」（書名は書外題による。八行。一六丁。奥書「貞享二年猛夏十七夜：」 表紙に「靈元院御宸翰本 三本之中三」と墨書あり。山岸氏識語「道信朝臣集一册圖書寮本也 靈元天皇御宸筆也今茲八月中書写了」）

三六九一

一册

### 道信朝臣集

藤原道信撰

三六九二

一册

昭和十三年(一九三八)八月山岸德平寫 外寸「二六・六×一九・五糎」(書名は書外題による。九行。一六丁。表紙に「校訂本 三本之中一」と墨書あり。山岸氏識語「道信朝臣集一册」)

### 道成集斷簡 道濟和歌之集 一卷 重之女集 一卷 針切傳行成筆重之子法師集 一卷 相模集異本 一卷

道成藤原道成撰 道濟藤原道濟撰 重之女源重之女撰 重之子源重之息撰 相相模撰

昭和二十年(一九四五)十一月山岸德平寫 外寸「二七・八×一九・七糎」(封面「前田家藏本道濟集(實ハ道成集ナリ) 附関戸家木村家斷簡・源道濟集勅撰私撰集抄出也」一四行。道成一四丁重之女一四丁重之子八丁相模三丁。山岸氏識語「源道齊集一册後鳥羽院御宸翰伊達伯家在焉」「重之女集一册圖書寮本也以久曾神氏轉写本影写了」「重之子法師集以久曾神氏記述書寫畢」「異本相模集」「針切元來称重之子法師集 然混相模集者也矣」別册「源道濟集補遺 前田本・料紙考説、關戸本 館本」山岸德平著。假綴 六丁)

### 源重之集

源重之撰

名古屋 蓬左文庫 昭和五年(一九三〇)一月複製 外寸「二五・二×一九・六糎」(書名は箱書よる。列帖装。八行。一九枚。底本「尾州徳川侯爵家所藏傳藤原行成筆平安中期寫本」別册「解説」五〇頁。附 題簽「重之家集」小堀遠州筆一枚)

### 輔尹集 一卷 秋夢集 一卷

輔藤原輔尹撰 秋藤原爲家女撰

昭和十六年(一九四二)八月山岸德平寫 外寸「二七×一九・三糎」(書名は書外題による。一〇行。輔尹一三丁秋夢六丁。山岸氏識語「輔尹集一卷彰考館藏本也…借覽久曾神氏轉寫本之序書寫者也無類本稀觀者也」「秋夢集一卷圖書寮藏御本也昭和十六年南呂廿二日訪書之際筆記焉夜半清書了」)

### 時明朝臣集 一卷 時明集 一卷

一册

三六九三

一册・別册補遺一册

三六九四

一册・別册解説一册

三六九五

一册

源時明撰

昭和十五年九月至昭和十六年（一九四二）四月寫 外寸「二七×一九・六糎」（九行。朝臣集六丁時明集八丁。山岸氏識語「時明集一卷圖書寮本也昭和十五年九月中浣：書写者也」時明集一卷圖書寮本也昭和十六年仲呂下浣：書写者也）

三六九六

一册

### 清少納言集

清少納言撰

大正十四年（一九二五）十月寫 外寸「二四・四×一六・五糎」（書名は書外題による。一〇行。八丁。山岸氏識語「清少納言集異本一帖圖書寮藏本也大正十四年十月朔日及五日而書寫畢。草卒之間影寫焉。原本胡蝶裝寬永頃之寫本歟」）

三六九七

一册

### 紫式部集

紫式部撰

東京 笠間書院 昭和四十七年（一九七二）九月影印 外寸「二五・八×一八・三糎」（笠間影印叢刊二八。書名は題簽による。一〇行。二〇丁。底本「陽明文庫藏寫本」）

三六九八

洋裝一册

### 日記哥一卷入撰集不入家集哥一卷

紫式部撰

昭和三年（一九二八）二月山岸氏家中寫 外寸「二六・九×一八・八糎」（二行。日記一二丁入撰八丁。山岸氏識語「日記哥一卷圖書寮本也先奥書右令家中女子書寫者也以無類本不可比校矣」）

三六九九

一册

### 和泉式部集異本一卷季通朝臣集一卷少輔入道寂蓮法師百首一卷

和泉式部撰 季藤原季通撰 少釋寂蓮撰

昭和二十年（一九四五）十一月至十二月寫 外寸「二七・三×一九・七糎」（一五至一七行。和泉一九丁季通一三丁少輔一二丁。山岸氏識語「異本和泉式部集一卷上野帝國圖書館藏二十六家集所收本也以久曾神氏筆記本忽卒書寫畢」「季通朝臣集彰考館藏本也以久曾神氏本書写了」「少輔入道百首前田侯藏本也以久曾神氏筆記本書写了」）

三七〇〇

一册



## 和泉式部集

和泉式部撰 小川壽一編

京都 趣味講座出版部 昭和八年(一九三三)六月複製 外寸「一八・六×一四・五糎」(未刊稀觀本叢書第一編。列帖裝。一一行。二二枚。別冊「傳後土御門院宸翰本影寫異本和泉式部歌集解題」小川壽一著。八頁)

## 和泉式部集續集

和泉式部撰

昭和十二年(一九三七)五月寫 外寸「二七×一九・四糎」(書名は書外題による。一〇行。七七丁。山岸氏識語「和泉式部集續集榊原本也」)

## 和泉式部集二卷

和泉式部撰

昭和十二年(一九三七)五月寫 外寸「二六・八×一九・四糎」(書名は書外題による。一〇行。上五〇丁下三八丁。山岸氏識語「和泉式部集上下榊原子爵家本也今茲三月借覽之序書写者也」)

## 赤染衛門集

赤染衛門撰

〔昭和期〕山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・六糎」(書名は書外題による。一〇行。六一丁。山岸氏識語「赤染衛門集一卷圖書寮本異本即精撰本也八月廿二日借覽書写焉」)

## 一宮紀伊集一卷小馬命婦集一卷

一祐子内親王家紀伊撰 小上東門院小馬命婦撰

昭和十三年(一九三八)十二月寫 外寸「二七・八×一九・六糎」(書名は書外題による。一〇行。一宮一四丁小馬一二丁。山岸氏識語「一宮紀伊集小馬命婦集榊原子爵家本也借覽之序書写者也」)

三七〇一

一冊・別冊解題一冊

三七〇二

一冊

三七〇三

一冊

三七〇四

一冊

三七〇五

一冊

### 重之娘集一卷 桂大納言家集一卷 淨照房集一卷

重源重之女撰 桂源經信撰 淨藤原光家撰

昭和二十年(一九四五)十月至十一月山岸德平他寫 外寸「横本一七・四×一九・九糎」(書名は書外題による。一〇行。重之一四丁桂大三丁淨照四丁。山岸氏識語「重之娘集一卷圖書寮本也以久曾神氏写本書写了」桂大納言家集團書寮本也以久曾神氏筆記本書写)「淨照房圖書寮本也桂宮旧藏本今以久曾神氏筆記本勿卒書写畢：淨照房侍從藤原光家、定家の男ナリ」

三七〇六

一册

### 道命法師集

釋道命撰

昭和十四年(一九三九)四月山岸德平寫 外寸「二七・六×一九・六糎」(書名は書外題による。一二行。三一丁。山岸氏識語「道命阿闍梨集一卷圖書寮本也以久曾神氏轉写之本書写者也」)

三七〇七

一册

### 範永朝臣集

藤原範永撰

昭和十七年(一九四二)十一月山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・三糎」(書名は書外題による。九行。三六丁。山岸氏識語「範永朝臣集一卷圖書寮本也：久曾神氏本借覽筆写者也」)

三七〇八

一册

### 藤三位集一卷 惟規集一卷

藤藤原宣孝女撰 惟藤原惟規撰

昭和三年(一九二八)三月寫 外寸「横本一九・五×二六糎」(二一行。藤一〇丁惟規五丁。山岸氏識語「昭和三年三月廿三日以圖書寮本書写畢者也」藤原惟規集一册以宮内省本書写) 朱筆の書き入れあり

三七〇九

一册

### 入道右大臣集

藤原頼宗撰

三七一〇

東京 侯爵前田家育徳財團 昭和十八年（一九四三）十月複製 外寸「二〇・一×一五・八糎」（尊經閣叢刊之一。列帖裝。一〇行。二九枚。底本「前田家所藏平安末寫本」 別冊「國寶入道右大臣集解說」三七頁）

### 堀川右大臣頼宗公集一卷入道大納言資賢集一卷四條大納言隆房卿家集一卷兼行集一卷

堀藤原頼宗撰 入源資賢撰 四藤原隆房撰 兼藤原兼行撰

昭和二十一年（一九四六）一月山岸徳平寫 外寸「二七・五×一九・七糎」（七至九行。堀川二六丁入道六丁四條二丁兼行四丁。山岸氏識語「頼宗集資賢集一部同筆也恐一部共阿州侯藏本歟阿州侯本者前田本入道右大臣集之轉々写本歟」朱筆の書き入れあり）

### 四條中納言集

藤原定頼撰

東京 侯爵前田家育徳財團 昭和十七年（一九四二）十月複製 外寸「二六×一五糎」（尊經閣叢刊之一。列帖裝。一〇行。四五枚。底本「前田家所藏藤原定家手寫本」 別冊「前田本四條中納言集解題」池田龜鑑稿。三三頁）

### 定頼家集

藤原定頼撰

〔昭和十六年（一九四一）頃〕複寫 外寸「二五・三×一七糎」（二二行。二二丁。山岸氏識語「定頼家集一卷倉敷市義倉文庫藏本也廣島師範學校教諭松永信一氏複写者也」）

### 能因集三卷

能因撰

昭和十三年（一九三八）八月山岸氏家中寫 外寸「二六・八×一九・六糎」（書名は書外題による。一〇行。上八丁中一二丁下一二丁。山岸氏識語「能因集一卷榊原子爵藏本也今茲七月中流借覽八月下流於家中書写者也」）

一冊・別冊解説二冊

三七一一

一冊

三七二二

一冊・別冊解説一冊

三七二三

一冊

三七二四

一冊

### 成尋阿闍梨母集

成尋母撰

東京 大塚巧藝社内古文書祕籍複製會 昭和十年(一九三五)複製 外寸「一八・五×一六・五糎」(古文書祕籍叢刊七。書名は題簽による。列帖装。一〇行。六五枚。底本「宮内省圖書寮所藏寫本」別冊「成尋阿闍梨母集開題」山岸徳平著。七八頁)

三七二五

一冊・別冊開題一冊

### 大江嘉言集

大江嘉言撰

昭和十七年(一九四二)一月寫 外寸「二七・二×一九・四糎」(九行。二九丁。山岸氏識語「大江嘉言集一卷彰考館藏本也以久曾神氏寫本書寫者也」朱筆の書き入れあり)

三七二六

一冊

### 源道成集一卷大江嘉言集一卷

源道成撰 大江嘉言撰

昭和十二年(一九三七)六月寫 外寸「二七・四×一九・三糎」(書名は書外題による。六行。源七丁大江一七丁。「源道成集」卷末に別紙貼付「田中本道成集」一枚あり。山岸氏識語「道成集嘉言集以苜菴自筆書写者也道成集余呵禿筆嘉言集詠人令書寫者也他无類本云云」墨筆朱筆の書き入れあり)

三七二七

一冊

### 經衡集

藤原經衡撰

昭和十三年(一九三八)八月寫 外寸「二六・六×一九・五糎」(書名は書外題による。一一行。三八丁。山岸氏識語「經衡集一冊圖書寮本也」)

三七二八

一冊

### 經衡集

藤原經衡撰

三七二九

昭和十七年（一九四二）一月寫 外寸「二七・一×一九・三糎」〔書外題「經衡家集」 一〇行。二九丁。山岸氏識語「經衡集一卷彰考館藏本也以久曾神氏写本囑人書写者也」〕

## 四條宮下野集

四條宮下野撰

昭和十四年（一九三九）四月山岸德平寫 外寸「二七・六×一九・六糎」〔書名は書外題による。一〇行。六六丁。山岸氏識語「四條宮下野集一卷圖書寮本也以久曾神氏轉写本書写者也」 朱筆の書き入れあり〕

## 六條院宣旨集

昭和三年（一九二八）三月寫 外寸「二六・六×一八・九糎」〔書名は書外題による。封面「六條院のせんしの集」 一〇行。二二丁。山岸氏識語「六條院宣旨集一冊圖書寮本也如型影寫畢」 朱筆の書き入れあり〕

## 御形宣旨集

昭和三年（一九二八）三月寫 外寸「横本一九・八×二六・五糎」〔書外題「みあれの宣旨集」 一〇行。四丁。山岸氏識語「御形宣旨集一冊以宮内省本書写畢」〕

## 山田集一卷御形宣旨集一卷

山田法師撰

昭和五年（一九三〇）十二月山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・八糎」〔書名は書外題による。一〇行。山田八丁御形四丁。山岸氏識語「山田集与御形宣旨集先年書写者也」〕

## 山田集一卷御形宣旨集一卷

山田法師撰

昭和十四年（一九三九）六月片寄正義氏寫 外寸「二七・二×一九・二糎」〔書名は書外題による。一〇行。山田八丁御形四丁。山岸氏識語「昭和十四年林鐘中浣片寄夫人書写焉；片寄氏先年書写余本藏之茲轉写一本而贈於余者也聊

一册

三七二〇

一册

三七二一

一册

三七二二

一册

三七二三

一册

三七二四

一册

記來由備後日之參照而已」朱筆の書き入れあり

### 江帥集

大江匡房撰

昭和四年（一九二九）十二月山岸德平寫 外寸「二六・八×一九・四糎」〔書名は書外題による。一〇行。八二丁。山

三七二五

一册

岸氏識語「江帥集一卷以圖書寮本寫畢」

### 六條修理大夫集

藤原顯季撰

昭和三十年（一九五五）一月寫 外寸「二七・六×一九・三糎」〔一〇行。四二丁。山岸氏識語「六條修理大夫集一册榊

三七二六

一册

原家旧藏本也借覽志村氏本之際書写了」

### 田上集

源俊賴撰

昭和二年（一九二七）二月高野孫二郎寫 外寸「二七・四×一九・六糎」〔二二行。一一丁。山岸氏識語「田上集写本一

三七二七

一册

卷圖書寮藏本也右一卷歌集歌員八十首伝俊賴之集也」朱筆の書き入れあり

### 九條右丞相集一卷 郁芳門院安藝集一卷

九藤原師輔撰 郁待賢門院安藝撰

昭和六年（一九三一）十二月山岸德平寫 外寸「二七・五×一九・四糎」〔書名は書外題による。一〇行。九條一六丁

三七二八

一册

郁芳一六丁。山岸氏識語「九條右丞相集一卷以圖書寮本書写畢」「郁芳門院安藝集一卷以帝室御本書写者也」

### 肥後集

肥後撰

〔昭和期〕山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・八糎」〔書名は書外題による。一一行。三四丁。山岸氏識語「肥後集圖

三七二九

一册

書寮本也去年十一月十七日借覽今年五月書写畢」 墨筆朱筆の書き入れあり)

### 行尊大僧正集 異本

釋行尊撰

昭和二年(一九二七)十二月山岸德平寫 外寸「横本一三・八×一九・八糎」(書名は書外題による。一〇行。三二丁。山岸氏識語「行尊大僧正集異本蝴蝶裝枕本一册圖書寮藏本也：別在行尊大僧正集他日須可書写者也」)

### 行尊大僧正集

釋行尊撰

昭和三年(一九二八)二月山岸氏家中寫 外寸「横本一九・八×二六・五糎」(書名は書外題による。一一行。四一丁。山岸氏識語「行尊大僧正集一卷右宮内省圖書寮藏本也：今家中女子書写畢」 朱筆の書き入れあり)

### 行宗集

源行宗撰

昭和十七年(一九四二)十二月寫 外寸「二七・二×一九・二糎」(書名は書外題による。九行。六八丁。山岸氏識語「行宗集一卷圖書寮本也」)

### 左京大夫集

〔江戸初期〕寫 外寸「二一・四×一四・三糎」(書名は箱書による。龍麟麟網代文様緞子表紙、唐花雲母刷料紙、列帖裝。一〇行。二九枚。塗箱書「左京大夫集 空性法親王眞翰」)

### 田多民治集

藤原忠通撰

昭和四年(一九二九)十月山岸德平寫 外寸「二七・五×一九・六糎」(一〇行。三六丁。山岸氏識語「法性寺関白忠通集一卷以圖書寮本(桂宮本)書写畢」 朱筆の書き入れあり)

三七三〇

一册

三七三一

一册

三七三二

一册

三七三三

一册

三七三四

一册

### 頼輔集

藤原頼輔撰

昭和二十年(一九四五)十月寫 外寸「二六・八×一九・七糎」(書名は書外題による。一一行。二二丁。山岸氏識語「頼輔集以圖書寮影写本久曾神氏本写了」)

三七三五

一册

### 源三位頼政集二卷

源頼政撰

奈良縣吉野町 阪本龍門文庫阪本千代 昭和三十九年(一九六四)八月複製 外寸「上三二・八×一九・四糎下二四・六×二〇・六糎」(阪本龍門文庫複製叢刊之五。一七行。上三二丁下二六丁。底本「阪本龍門文庫所藏永祿六年山科言繼手寫本」別冊「山科言繼自筆『源三位頼政集』解説並釋文」川瀬一馬稿。一〇二頁)

三七三六

二册・別册解説・釋文一册

册

### 唯心房集

釋唯心房寂然撰

〔東京〕 珍書同好會 大正五年(一九一六)十一月序油印本 外寸「三三・九×一六・六糎」 印記「大島氏圖書」(大島雅太郎)「不求是解」(書名は題簽による。八至一三行。二〇丁附録六丁)

三七三七

一册

### 西行上人歌集

西行撰

東京 佐佐木信綱 昭和五年(一九三〇)十月複製 外寸「一六×一四・七糎」(書名は解説による。列帖装。九行。五一枚。底本「伊達興宗伯爵所藏傳寂蓮法師筆寫本」 奥付に發賣所として「竹柏會」あり。別冊「西行上人歌集解説」 佐佐木信綱著。九頁)

三七三八

一册・別册解説一册

### 山家集 別本

西行撰

三七三九



## 山家集

西行撰

昭和四十一年（一九六六）十月寫 外寸「二四・五×一七糎」（二〇行。上七六丁下七九丁。山岸氏識語「山家集別本去三十八年借覽久曾神本及對校本而書写者也」）二〇行二〇字詰有精堂原稿用紙ペン書き。朱筆の書き入れあり

二册

昭和四十六年（一九七一）六月複製 外寸「二八・八×二二・八糎」（二二行。一二二頁。山岸氏識語「山家集眞本穂久迹文庫本也余先年借覽謄写焉」）別册「京都博物館藏山家集」一軸「昭和四十六年七月山岸徳平寫（一七行二一字詰原稿用紙五枚）」

三七四〇  
一册・別册一册

## 山家心中集

西行撰

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和六年（一九三一）十二月複製 外寸「一六・八×一六・八糎」（列帖裝。一〇行。三七枚。底本「宮内省圖書寮所藏古寫本」）別册「山家心中集解題」佐佐木信綱著。二丁）

三七四一  
一册・別册解題一册

## 山家心中抄集

西行撰

昭和三十五年（一九六〇）十月山岸氏家中寫 外寸「二四・五×一七・一糎」（二〇行。五五丁。山岸氏識語「山家心中集對校本：昭子写也」）二〇行二〇字詰有精堂原稿用紙ペン書き

三七四二  
一册

## 西行上人談抄

西行著

五更會（昭和期）活版 外寸「三一×一五・二糎」（表紙「西行日記」）三三頁

三七四三  
洋裝一册

## 栗田口別當入道集

藤原惟方撰

三七四四

昭和二十年(一九四五)十月山岸德平寫 外寸「二六・八×一九・八糎」(書名は書外題による。一〇行。五九丁。山岸氏識語「粟田口別當入道集」一卷圖書寮本也久曾神氏本書寫焉) 書き入れあり)

### 攝津集一卷季經入道集一卷殘集一卷

攝前齋院攝津撰 季藤原季經撰 殘西行撰

昭和二十年(一九四五)十月寫 外寸「二六・七×一九・八糎」(書名は書外題による。一〇行。攝津一二丁季經二一丁殘一四丁。山岸氏識語「前齋院攝津集圖書寮藏本也久曾神氏轉寫本影寫了」「季經入道集圖書寮藏本也久曾神氏轉寫本書寫者也」「殘集」一卷西行法師歌也圖書寮本云云以久曾神氏寫本書寫了)

### 大貳重家集 上巻

藤原重家撰

昭和二十年(一九四五)十二月山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・七糎」(書名は書外題による。一六行。三七丁。山岸氏識語「大宰大貳重家集」一卷前田侯本也無奥書云云以久曾神氏筆記本書寫了)

### 大貳重家集 下巻

藤原重家撰

昭和二十二年(一九四七)四月山岸德平寫 外寸「二七・四×二〇・一糎」(書名は書外題による。七行。六八丁。山岸氏識語「大貳重家集下巻久我侯爵家旧藏現在折口信夫氏書架重要美術也昭和廿二年四月借覽今茲三四月交影寫了。前田侯藏重家集与本書併合完結者也重家集完本只余藏本而已」 墨筆朱筆の書き入れあり)

### 重家集二巻

藤原重家撰

昭和二十七年(一九五二)一月山岸氏家中寫 外寸「二七・六×二四・八糎」(書名は書外題による。一〇行。上五八丁下四二丁。山岸氏識語「重家集」二巻上野圖書館本也…家中書寫者也) 書き入れあり)

一册

三七四五

一册

三七四六

一册

三七四七

一册

三七四八

一册

## 經正朝臣集

平經正撰

昭和三年（一九二八）三月山岸德平寫 外寸「二六・七×一九・九糎」（書名は書外題による。一〇行。一八丁。山岸氏識語「經正朝臣集一冊以圖書寮本書寫畢」）

三七四九

一冊

## 林下集二卷拾遺一卷

藤原實定撰

〔江戸末〕刊 外寸「二五・六×一七・九糎」 印記「翠派館圖書記」（無匡郭。一一行。頭注付。上一八丁下一九至三七丁拾遺三八至四九丁。四三丁表に墨格あり）

三七五〇

一冊

## 實家卿集

藤原實家撰

昭和十四年（一九三九）六月山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・六糎」（書名は書外題による。一〇行。七〇丁。山岸氏識語「實家卿集一卷圖書寮藏本也以久曾神氏轉写本書写者也」）

三七五一

一冊

## 殷富門院大輔集

殷富門院大輔撰

昭和二十六年（一九五二）三月山岸氏家中寫 外寸「二七・四×一九・七糎」（書名は書外題による。一〇行。四八丁。山岸氏識語「殷富門院大輔集一卷書陵部桂宮本也以安井氏轉写本書写了余一二葉他葉全部和子書写矣他無類本云云」）

三七五二

一冊

## 右京集

建禮門院右京大夫（藤原伊行女撰）

昭和八年（一九三三）三月寫 外寸「二六・八×一九・二糎」（書名は書外題による。一〇行。九四丁。山岸氏識語「右

三七五三

一冊

京集一卷以圖書寮本映寫者也

### 家隆卿御詠和哥 俊成卿御點

藤原家隆撰

〔明治期〕寫 外寸「横本一四・四×一八・八糎」(書名は書外題による。一三行。四丁。原本奥書「右一卷：詠草の内三十首ゑりもて釋阿へ点を乞れし也：寶治元年正月大納言爲家判」朱筆の書き入れあり)

三七五四

一册

### 明恵上人歌集

釋高辨詠 高信編

東京 岩崎家庭事務所内岩崎文庫 大正八年(一九一九)三月複製 外寸「二七・五糎」(書名は題簽による。底本「岩崎文庫所藏寶治二年寫本」別册「明恵上人歌集に就きて」佐々木信綱等著。六八頁)

三七五五  
卷子本一卷・別册解説一册

### 範宗集

藤原範宗撰

昭和十八年(一九四三)六月山岸徳平寫 外寸「二七・三×一九・八糎」(書名は書外題による。一一行。春二〇丁半夏一〇丁半秋二六丁半冬一〇丁戀二〇丁雜一四丁。山岸氏識語「範宗集一卷圖書寮藏本也」朱筆の書き入れあり)

三七五六

一册

### 如願法師集

藤原秀能撰

昭和七年(一九三二)四月山岸徳平寫 外寸「二六・八×一九・三糎」(書名は書外題による。一一行。五〇丁。山岸氏識語「如願法師集一卷圖書寮本也他無類本故書写者也」)

三七五七

一册

### 如願法師集 雜歌卷三

藤原秀能撰

昭和十一年(一九三六)一月山岸氏家中寫 外寸「二七・四×一九・五糎」(書名は書外題による。一一行。四二丁。)

三七五八

一册

山岸氏識語「如願法師集」一卷圖書寮本也桂宮本云云：余少々書写焉以後於家中書寫畢」

## 如願法師集

藤原秀能撰

昭和十三年（一九三八）三月寫 外寸「二六・九×一九・六糎」〔書名は書外題による。一一行。三七丁。山岸氏識語「如願法師集」一卷百首五十首圖書寮藏本也以久曾神氏本轉写〕

三七五九  
一册

## 金槐和哥集七卷

源實朝撰

東京 岩波書店 昭和五年（一九三〇）一月複製 外寸「三一・八×一四・二糎」〔書名は表紙による。列帖裝。八行。春二一枚夏六枚半秋一九枚半冬二一枚半賀二四枚半旅四枚雜二五枚半。底本「松岡忠良所藏前田家舊藏古寫本」別冊「藤原定家所傳本金槐和歌集解說」佐佐木信綱著。一二頁〕

三七六〇  
一册・別冊解說一册

## 金槐和歌集三卷

源實朝撰

大阪 群玉堂河内屋茂兵衛 〔貞享四年（一六八七）北村四郎兵衛刊〕後印 外寸「三一・一×一五・三糎」印記「上川家」「久保藏書」（單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二八・三×一三・七糎」上三二丁中一一丁下一五丁。朱筆の書き入れあり）

三七六一  
三册

## 金槐集

源實朝撰

東京 新典社 昭和四十七年（一九七二）四月複製 外寸「三二・六×一四・六糎」〔新典社原典シリーズ八。書名は題簽による。九行。一三〇頁。底本「市立函館圖書館所藏江戸初期寫本」別冊「金槐和歌集解說」市立函館圖書館藏〕片野達郎著。二四頁〕

三七六二  
洋裝一册・別冊解說一册

瀧尻王子和歌會一卷從二位顯氏集一卷

從藤原顯氏撰

昭和二十年(一九四五)十二月山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・八糎」(二六行。瀧尻二丁從二位一二丁。山岸氏識語「瀧尻王子和歌會一册」從二位顯氏集一卷圖書寮桂宮旧藏本也與書無之以久曾神氏筆記本書寫了)

三七六三

一册

中御門大納言殿集一卷衣笠内府詠一卷慈道親王集一卷

中御門宣秀撰 衣笠笠家良撰 慈慈道法親王撰

昭和二十年(一九四五)十二月山岸德平寫 外寸「二七・三×一九・九糎」(二六行。中御四丁衣笠二丁慈道一七丁。

三七六四

一册

山岸氏識語「中御門大納言殿集一卷末欠脫者也桂宮旧藏本圖書寮本也」「衣笠内府詠一卷桂宮旧藏本」「慈道親王集團書寮本也以久曾神氏筆記本書寫了」

越前々司平時廣集

平時廣撰

昭和二十三年(一九四八)十二月山岸德平寫 外寸「二七・三×二〇糎」(書名は書外題による。一〇行。二五丁。山

三七六五

一册

岸氏識語「時廣集圖書寮本也」

長景集一卷沙彌蓮瑜集一卷

長藤原長景撰 沙釋蓮瑜(宇都宮景綱)撰

昭和二十二年(一九四七)三月至四月山岸德平寫 外寸「二七・七×一九・七糎」(書名は書外題による。一〇行。長

三七六六

一册

景二五丁沙彌二六丁。山岸氏識語「長景集一卷圖書寮本也」「沙彌蓮瑜集一卷以圖書寮本書寫者也无類本云云」朱筆の書き入れあり

惟宗光吉集一卷權僧正道我集一卷

惟宗光吉撰 權釋道我撰

三七六七

昭和二十一年(一九四六)九月至十月山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・六糎」(八行。惟宗六三丁權僧二九丁。山岸氏識語「惟宗光吉集圖書寮本也」道我集圖書寮本也)

一册

## 大納言爲氏集

藤原爲氏撰

昭和十七年(一九四二)三月寫 外寸「二七・二×一九・五糎」(一〇行。三四丁。山岸氏識語「大納言爲氏集一册京都帝大文學部研究室藏本也」)

三七六八  
一册

## 深心院關白集

藤原基平撰

昭和三年(一九二八)二月山岸德平寫 外寸「二六・六×一九糎」(一〇行。一〇丁。山岸氏識語「深心院關白集一卷圖書寮本也」)

三七六九  
一册

## 中務集

中務撰

〔昭和期〕寫 外寸「横本二三・九×一九・九糎」(書名は書外題による。一二行。三九丁。山岸氏識語「中務集一册前田家藏本也影写複製本者也」)

三七七〇  
一册

## 元可法師集 五

昭和十三年(一九三八)五月寫 外寸「二六・九×一九・五糎」(書名は書外題による。一〇行。一一二丁。山岸氏識語「題簽云元可法師集五 卷尾云元可法師撰之云云元可法師集別在焉題簽所謂元可法師集五云云後人漫名而已非元可法師集也；鎌倉末期撰集欵他日須考究者也右一册借久曾神本一覽後囁人書写焉」朱筆の書き入れあり)

三七七一  
一册

## 増基法師集

釋増基撰

三七七二

昭和十七年(一九四二)五月寫 外寸「二七・三×二〇糎」(書名は書外題による。一〇行。三二丁。山岸氏識語「増基法師集一卷圖書寮藏本也」)

### 夢窓國師詠歌一卷佛國禪師詠歌一卷

夢釋夢窓疏石撰 佛高峰顯日撰

昭和三年(一九二八)八月山岸徳平寫 外寸「二七・四×二〇糎」(二一行。夢窓一一丁佛國三丁。山岸氏識語「夢窓國師詠歌佛國禪師詠歌一册神宮文庫本也」)

### 兼好自撰家集

吉田兼好撰

東京 育徳財團 昭和五年(一九三〇)六月複製 外寸「二二・二×一五・一糎」(尊經閣叢刊之一。列帖裝。九行。

五〇枚。底本「前田家尊經閣所藏寛永三年中院通村識寫本」 別册「兼好自撰家集解説」二五頁。附「兼好自筆の歌集一卷」高橋貞一著「國語國文」第三十七卷第六號抜刷)

### 兼好自選家集

吉田兼好撰

〔昭和期〕紙燒寫眞 外寸「二一・五×一五・二糎」(二〇一枚。底本「前田家尊經閣所藏寛永三年中院通村識寫本」袋入)

### 祝部成仲集一卷成茂宿衾集一卷

祝部成仲、成茂宿衾撰

昭和十七年六月・同十八年(一九四三)五月山岸徳平寫 外寸「二七・四×二〇・一糎」(書名は書外題による。一〇行。

祝部一八丁成茂一七丁。山岸氏識語「祝部成仲集一卷 彰考館藏本也」「成茂宿衾集一卷 圖書寮藏本也」)

### 歌集一卷主ある詞一卷八代集秀逸一卷

一册

三七七三

一册

三七七四

一册・別册解説一册・抜

刷一册

三七七五

一一〇枚

三七七六

一册



頓阿著

昭和三十四年（一九五九）六月山岸氏家中寫 外寸「二七・一×一九・八糎」（書名は書外題による。副題「頓阿自筆本」歌集九行主ある一〇行八代一〇行。歌集三五丁主ある六丁八代三丁。山岸氏識語「伝頓阿自筆歌書不知題名（三部合綴ス）東大研究室本也 今茲六月借覽於家中書写」）

### 瀧のしら玉 長慶院御歌

谷森善臣著

東京 青山堂書房 明治三十六年（一九〇三）十二月活版 外寸「三・六×一・一・八糎」（五八丁）

### 後崇光院御詠 永享千首中

後崇光院詠

昭和十八年（一九四三）十一月山岸德平寫 外寸「二七・二×二〇・一糎」（二二行。一六丁。山岸氏識語「後崇光院宸筆歌卷一軸 信州上伊那郡西春近村信盛寺什物也今茲十一月十三日信盛寺住持佐々木隆道氏上京持參伴一軸焉余早急書写焉」）

### 慕風愚吟集

昭和二十一年（一九四六）十二月寫 外寸「二七・五×二〇糎」（二二行。五八丁。山岸氏識語「慕風愚吟集一卷以圖書寮書写畢卷首卷末少々余書写焉他皆依嘱者也」）

### 資平集一卷持和卿詠草一卷持和卿詠一卷

資源資平、持冷泉持和撰

昭和二十年（一九四五）十二月山岸德平寫 外寸「二七・三×一九・八糎」（一六行。資平七丁持和卿詠草一一丁持和卿詠九丁。山岸氏識語「資平集圖書寮本也以久曾神氏筆写本書写了」「持和卿詠 題簽在持為卿詠草後人貼付題簽之時誤記者也」「持和卿詠草二部（永享五年同九年）桂宮本也以久曾神氏筆記本書写了」）

三七七七

一册

三七七八

一册

三七七九

一册

三七八〇

一册

三七八一

一册

### 松下抄一卷述懷長歌一卷

豊原統秋詠

昭和十二年(一九三七)六月寫 外寸「二六・八×一九・五糎」(書名は書外題による。一〇行。松下一一三丁述懷四丁。

山岸氏識語「松下抄一冊榊原本也」)

三七八二

一冊

### 碧玉集六卷

冷泉政爲著

〔大坂〕 澁川清右衛門 寛文十二年(一六七二)一月刊 外寸「二六・三×一八・六糎」(單邊。無界。一一行。白口。

無魚尾。内匡郭「二〇・七×一五・四糎」 春部二四丁夏部九丁秋部二八丁冬部一五丁戀部一七丁雜部三七丁)

三七八三  
四冊

### 再昌草 逍遙院殿内府和歌集

三條西實隆著

〔江戸前期〕寫 外寸「二八・七×二二・三糎」 印記「三條西」(三條西家) (一〇行。四三丁。山岸氏識語「靈元院御宸

筆也与圖書寮本再昌草全同筆云云 再昌草御宸翰有二部者歟」)

三七八四  
一冊

### 雪玉集十八卷

三條西實隆著

〔京都〕 武村市兵衛 寛文十年(一六七〇)一月刊 外寸「二七・二×一八・二糎」 印記「細谷亭貞備」(單邊。無界。

一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二二・五×一五・二糎」)

三七八五

一八冊

### 姉小路濟繼集

姉小路濟繼著

昭和十八年(一九四三)十二月寫 外寸「二七・二×二〇糎」 (一〇行。九二丁。山岸氏識語「姉小路濟繼集一卷 圖

三七八六

一冊

書寮藏本也」)

## 松下集

釋正廣著

昭和十七年（一九四二）四月寫 外寸「二七・二×一九・三糎」（二一行。五三丁。山岸氏識語「松下集」卷 京都帝大文学部研究室本也 神宮文庫本轉写也（村井本）」

三七八七  
一册

## 心珠詠藻

三條西實澄著

昭和十二年（一九三七）山岸德平寫 外寸「二七×一九・五糎」（書名は書外題による。一〇行。一〇五丁。山岸氏識語「心珠詠藻」一卷神原本借覽之序書寫者也 續群書類聚四四二有之）

三七八八  
一册

## 貞山公集

伊達政宗著 作並清亮編

〔明治期〕寫 外寸「二六・三×一七・二糎」 印記「伊達邦宗藏書」（一〇行。三九丁。版心に「伊達氏」とある印刷部紙使用。山岸氏識語「貞山公政宗集」一卷伊達觀瀾閣藏本也） 朱點あり

三七八九  
一册

## 貞敦親王御詠 詠百首和歌

貞敦親王著

昭和七年（一九三二）十一月寫 外寸「二七・二×一九・三糎」（九三丁。山岸氏識語「貞敦親王詠」一卷圖書寮藏也）

三七九〇  
一册

## 草山和歌集

釋元政著

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・三×一七・七糎」（單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・四×一五・一糎」（二八丁）

三七九一  
一册

## 草山和歌集

釋元政著

〔江戸前期〕寫 外寸「二七・三×一九・二糎」 印記「松門文庫所藏」「鷲谷藏書」「富」 (書外題「草山集」 九行。二八丁)

三七九二

一册

### 三玉挑事抄二卷

野村尙房著

京都 吉田四郎右衛門等 享保八年(一七二三)刊 外寸「三二・五×一六糎」 印記「月冷藏書之印」 (單邊。無界。一三行。上五二丁下七六丁)

三七九三

五册

### 芳雲和歌集類題六卷

武者小路實陰詠 武者小路實岳編

〔江戸〕 出雲寺和泉掾・〔京都〕 出雲寺文治郎 天明七年(一七八七)九月刊 武者小路家藏板 外寸「一九・三×一三・三糎」 (單邊。無界。一一行。内匡郭「一五・五×一〇・四糎」 春部五二丁夏部二四丁秋部四八丁冬部二九丁戀部四三丁雜部六八丁)

三七九四

一册

### 杉のしつえ二卷

荷田蒼生子著 菱田縫子編

寛政七年(一七九五)序刊 外寸「二六・四×一八・八糎」 (書名は題簽による。無匡郭。一一行。上四五丁下五〇丁)

三七九五

二册

### 良寛禪師歌集

村山恒二郎編

新潟縣三條市 野島出版 昭和四十八年(一九七三)九月複製 外寸「二五・七×一八・二糎」 (題簽「僧良寛歌集」 一〇行。一八丁。底本「明治十二年三月新潟小林二郎刊本」 附「村山半牧日記斷簡」五丁、「三十石乗合はなし」四丁。別册「僧良寛歌集」吉田行雄、本間恂一解説。四〇頁)

三七九六

一册・別册解説一册

## 木積集一卷木積の余波一卷

木島菅麿著

昭和十一年（一九三三）二月寫 外寸「二六・一×一八・五糎」（二二行。木積五二丁余波二二丁。山岸氏識語「木積集一卷源菅麿之歌集也」刊行年月及場所不記也恐松代之刊本坎傳本甚不多稀觀者也今茲借覽松代人飯島忠夫博士藏書書写者也」木積の餘波一册飯島忠夫博士祕本也」附錄「松の百枝」木島菅麻呂撰（昭和十二年十月長野縣松代町羽田桂之進活版 外寸「二三・一×一九糎」一〇頁）

## 菅之集一卷菅麻呂家集一卷篠屋集一卷篠屋集追加一卷

木島菅麿撰

昭和十一年（一九三三）二月寫 外寸「二七・三×一九・五糎」（二二行。菅之二三丁菅麻一二丁篠屋二二丁追加六丁。山岸氏識語「菅野集等一册 飯島忠夫博士藏本也 今茲二月上澆借覽之際詠人映字者也」篠屋集一卷 飯島忠夫博士藏本也 今年春二月上澆借覽焉詠人影写者也」朱筆の書き入れあり）

## 柳園家集二卷

海野幸典撰

嘉永三年（一八五〇）刊 海野氏藏板 外寸「二六・一×一八・二糎」（無匡郭。一〇行。上五二丁下三八丁）

## 桂蔭二卷

渡忠秋著

慶應三年（一八六七）刊 楊園社藏 外寸「二五・八×一八・二糎」（無匡郭。八行。上三四丁下三三丁）

## 浦のしほ貝三卷

熊谷直好著 三井宗之編

〔大阪〕〔河内屋和助〕 弘化二年（一八四五）序刊 外寸「二五・六×一八・六糎」（無匡郭。二二行。上四二丁中

三七九七

一册・附錄一册

三七九八

一册

三七九九

二册

三八〇〇

二册

三八〇一

三册

三六丁下五〇丁

### 檀園集

中島廣足著

〔江戸末〕寫 外寸「二五・六×一九糎」 印記「中尾藏書」(二二行。一〇〇丁)

### 津藩齋藤拙堂和歌集

齋藤拙堂著 鈴木敏雄(樂山)編著

三重縣安東村 樂山文庫 大正十四年(一九二五)六月活版 外寸「二四・六×一六・八糎」 印記「榮郭齋藏」(筒井喜一郎) (二二丁)

### 佐久良東雄歌集

佐久良東雄著 佐久良東雄大久保要顯彰會出版部編

東京 寺田熊吉 昭和十三年(一九三八)五月活版 外寸「三二×二五・二糎」(二二〇頁。「贈從四位大久保要先生略傳」折り込み一枚)

### 柳園詠草二卷

石川依平著

東京 平尾八束・中山光雄・山崎八峯 明治十四年(一八八二)六月刊 外寸「三二・九×一五・二糎」 印記「大林藏書之印」(二〇行。上六四丁下三八丁。「神習舎藏版書目」二丁)

### 青蓮歌集

久邇宮朝彦親王著

大正十年(一九二二)十月跋影印 外寸「二六・九×一九・三」(大和綴。八行。二六丁。山岸氏識語「青蓮院宮御家集」一巻 大正十四年冬十二月久邇宮家より賜る)

三八〇二

一册

三八〇三

一册

三八〇四

一册

三八〇五

二册

三八〇六

一册

かつらのほな二卷

横山桂子著

文久元年(一八六一)序刊 月舎社中 外寸「三・四×一六・一糎」 印記「桃の屋」 (二〇行。無匡郭。上二六丁下三〇丁)

瓊の光

日野資徳著

明治四十三年(一九一〇)六月序活版 外寸「一九・九×一三・八糎」 (二〇九頁)

藤原歌集一卷鳩のうき巢一卷

大村光枝著

昭和十年十二月・昭和十一年(一九三六)寫 外寸「二六・八×一九・四糎」 (二四行。藤原一一丁鳩の三三丁。山岸氏識語「藤原歌集一卷飯島博士祕本也不聞流伝頗珍稀者也」「鳩のうき巢一册大村光枝之紀行也 昭和十年十二月下浣借覽于飯島忠夫博士影写者也」 朱筆の書き入れあり)

慕風抄二卷

昭和二十一年(一九四六)九月山岸徳平寫 外寸「二七・三×一九・八糎」 (二二行。五六丁。山岸氏識語「慕風集一册圖書寮本也」 朱筆の書き入れあり)

蒙求和謔十四卷

源光行著

〔江戸中期〕寫 外寸「二二・六×一六・五糎」 印記「三袖書屋」(川瀬一馬)「一馬」 (列帖装。一二行。上七〇枚下七六枚。奥書「蒙求和謔并序 元久甲子之歲」)

蒙求和歌十四卷

三八〇七

二册

三八〇八

一册

三八〇九

一册

三八一〇

一册

三八一一

二册

源光行著

昭和九年（一九三四）四月山岸徳平寫 外寸「二七・一×一九・八糎」（副題「初稿本」）一〇行。上三三丁中四〇丁下五三丁。山岸氏識語「蒙求和歌集三卷以松井博士藏本書写者也 貼紙及朱筆書入小林百枝翁之筆也」朱筆の書き入れあり

三八二二

三册

### 蒙求和歌 存卷第一至第五

源光行著

昭和十五年（一九四〇）七月寫 外寸「二七・三×一九・三糎」（書名は書外題による。一〇行。五五丁。表紙に「榊原本初稿本」と墨書あり。山岸氏識語「蒙求和歌集一册自第一至第五足利末写本也恐上卷欵卷首少々缺文也：榊原子館藏本也」

三八一三  
一册

### 蒙求和歌 卷上

源光行著

昭和二十四年（一九四九）四月山岸徳平寫 外寸「二七・三×二〇糎」（二〇行。一三丁。山岸氏識語「蒙求和歌集一巻 中田氏本也卷上一册卷下欠巻首有正意之端書焉正意即堀正意云云此底本正意筆也滋野井文庫旧藏本也」

三八一四  
一册

### 蒙求和歌十四卷

源光行著

昭和八年（一九三三）寫 外寸「二七・五×一九・五糎」（副題「藍本掖齋本保孝校本」）一〇行。天六〇丁地六八丁。山岸氏識語「蒙求倭詞集二册以學習院本書寫筆：披雲閣（松平頼寿伯）本、蒙求和歌集上卷一册精撰本也」朱筆藍筆の書き入れあり

三八一五

二册

### 蒙求和歌

源光行著

昭和二十四年（一九四九）五月山岸徳平寫 外寸「二七・五×二〇糎」（二〇行。三〇丁。山岸氏識語「蒙求和歌集

三八一六

一册（同書二部）



屋代弘賢筆之轉写本欵 中田氏本也

### 蒙求和歌 卷一至卷七

源光行著

〔昭和四十五年（一九七〇）影印 外寸「二六・八×一九・二糎」〕（副題「松平（讃岐、高松）本」 一一行。六四丁。底本「松平頼明所藏寫本」）

三八一七

一册

### 漢故事和歌集

昭和十六年（一九四二）十一月寫 外寸「二七×一九・六糎」（八行。四〇丁。山岸氏識語「漢故事和歌集一册内閣文庫藏本也」）

三八一八

一册

### 擬唐詩五絕倭歌

澁谷翁著

京都 尙書堂塚屋仁兵衛 文政十一年（一八二八）刊 外寸「二八・五×二二・五糎」（四行。無匡郭。二九丁。「尙書堂藏版書目」六丁）

三八一九

一册

### 羅利留連路詞

〔明治期〕寫 外寸「二一・六×一五糎」〔書名は書外題による。八行。一四丁〕

三八二〇

一册

### 萬葉百人一首

中川常樹編

天保十四年（一八四三）八月根岸直吉寫 外寸「三三・九×一六・七糎」〔書名は書外題による。六行。一四丁〕

三八二一

一册

### 仙臺領外奥州名所聞書

〔江戸中期〕寫 外寸「二八×一九・五糎」 印記「伊達伯觀瀾閣圖書印」〔仙臺藩伊達家〕（二一行。四八丁）

三八二二  
一册

### 淡海名寄初編

黒河春村選

近江日野 天保九年（一八三八）九月刊 淺稻庵藏板 外寸「三三・九×一六・六糎」 印記「杏邨」（一三行。内匡郭「一七・七×一三・三糎」 二九丁。卷末に刻工名「朝倉伊八」あり）

三八二三  
一册

### 名所今歌集三卷

中尾義稻編

名古屋 美濃屋伊六〔文化十四年（一八一七）刊〕後印 外寸「二六・二×一八・三糎」〔單邊。無界。一一行。内匡郭「二一・六×一五・四糎」 上卷上二七丁下二八至五五丁。中卷上四四丁下四五至七一丁。下卷上二五丁中二六至八四丁下八五至一〇三丁。〕鈴屋門人尾張社中著述書目 文化十四年正月尾張書林 菱屋金兵衛・美濃屋伊六・美濃屋市兵衛「二丁）

三八二四  
七册

### 名所葉十一卷

村上忠順著

參州 深見藤吉等 元治元年（一八六四）三月自序刊 外寸「二五・八×一八・二糎」〔單邊。無界。一二行。内匡郭「一八・三×一三・二糎」 一卷五九丁二卷六九丁三卷六六丁四卷七六丁五卷八一丁六卷六一丁七卷五二丁八卷四一丁九卷五二丁一〇卷五四丁一一卷六〇丁）

三八二五  
一册

### 空花和哥集三卷

釋源空詠 釋湛澄註

神京 茨城多左衛門 元祿九年（一六九六）三月跋刊 外寸「二五・五×一六・二糎」〔單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・八×一二・七糎」 首書本。上一五丁中一八丁下一六丁）

三八二六  
一册

## 秋の初風

釋湛澄等著

洛陽 中村孫兵衛・中村富平 〔元祿九年（一六九六）刊 外寸「一八・二×一二・二糶」〕「大念寺什」（墨書）（書名は題簽による。七行。白口。無魚尾。内匡郭「二・五×九・三糶」 一三三丁。識語「大念寺行譽上人ヨリ譲り受ル 大下宮」）

三八二七

一册

## 説法用歌集十卷

釋湛澄著

洛陽 中村孫兵衛・中村富平 元祿四年（一六九一）四月刊 外寸「二五・三×一八糶」〔單邊。無界。一二三行。白口。單線魚尾。内匡郭「一九・四×一四・五糶」〕漢字片假名。一卷三六丁二卷三五丁三卷三二丁四卷三九丁五卷三六丁六卷三〇丁七卷三八丁八卷三三丁九卷三六丁一〇卷三三丁〕

三八二八

五册

## 釋教題林集八卷

釋淨惠著

〔京都〕西洞院通 内海与兵衛 元祿八年（一六九五）刊 外寸「二二・四×一五・三糶」 印記「篁園文庫」〔竹内篁園〕〔單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二八・一×一二・九糶」〕一卷三三丁二卷三〇丁三卷四五丁四卷四四丁五卷三六丁六卷二八丁七卷四一丁八卷三五丁〕

三八二九

八册

## 浄土門和歌抄二卷

釋珍遵・浄慶選集

淺倉九兵衛 安永八年（一七七九）序刊 外寸「二六×一八・五糶」〔七行。無匡郭。上四五丁下三三丁。上卷第二五、二六丁落丁。下卷末に刻工名「藤田全六」あり。紙片一枚あり〕

三八三〇

二册

## 浄土門和歌抄二卷

釋珍遵・浄慶選集

三八三一

天明四年(一七八四)寫 外寸「二四×一七糎」(假綴。九行。上三五丁半下一六丁半。識語「天明四辰年五月下旬書寫畢」)

### 浄土三經句題和歌 卽百如菴浄土和歌

比丘慈芳著

江戸 中村氏 寛政十一年(一七九九)刊 南無佛庵藏 外寸「一九・五×二・九糎」(八行。無匡郭。三三丁)

### 浄土百歌仙一卷

近藤伊一書并畫

安政三年(一八五六)跋刊 聖衆來迎菴藏 外寸「二七・九×一五・九糎」(書名は題簽による。角書「二十一代集釋教」單邊。無界。八行。内匡郭「二七・五×二・四糎」五二丁)

### 桑葉和歌抄三卷

釋湛澄述

江戸 松葉清四郎 寶永五年(一七〇八)序刊 外寸「二七・五×一七・八糎」印記「大徳「阿彌陀堂」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二・四×一五・二糎」首書本。上三二丁中三四丁下三二丁)

### 勸心詠哥集

釋無能著

天明六年(一七八六)十一月跋刊 外寸「二二・八×一六糎」(單邊。無界。八行。内匡郭「一八・一×一一・六糎」二九丁。附録「無能和尙の遺骸を茶毘して舍利を得并舍利靈驗の事」一〇丁「無能和尙行狀和讃」不能述。五丁)

### 法のえ 涌蓮法師詠歌

釋涌蓮著

〔文政元年(一八一八)刊 洛東専念寺藏 外寸「二七×一九糎」 印記「源川氏圖書記」三條能彌奈可波希美廻於斯

一册

三八三二

一册

三八三三

一册

三八三四

三册

三八三五

一册

三八三六

一册

傳」(無匡郭。九行。二〇丁)

### 傘松祖師道詠

釋道元著

平安 柳枝軒小川多左衛門 延享四年(一七四七)刊 外寸「三・六×一五・七糎」 印記「山根祖龍」(無匡郭。七行。一一丁)

三八三七

一册

### 正信偈句題和歌

赤松連城編

京都 赤松連城 明治十一年(一八七八)十一月刊 外寸「一七×二二糎」(單邊。有界。八行。一二丁)

三八三八

一册

### 承陽大師傘松道詠集二卷

釋道元原著 釋笠間龍跳講述

名古屋 文光堂梶田勘助 明治十五年(一八八二)二月刊 外寸「二二・八×一五・八糎」(單邊。無界。一〇行。上五〇丁下五七丁)

三八三九

二册(合綴一册)

### 誠拙禪師歌集

釋誠拙著 福泉東洋編

鎌倉 福泉東洋 大正二年(一九一三)五月活版 佛日庵藏版 外寸「二五・七×一六・七糎」 印記「敬讓」「青山不語高」「日川」(一二丁)

三八四〇

一册

### 詠法華經廿八品和謔

釋慈圓詠 九條兼實等點

〔昭和期〕複製 外寸「二八糎」

三八四一

卷子本一卷

### 法華廿八品倭歌

蜷川親元著

〔寛政九年（一七九七）刊〕後印 外寸「三〇・八×二二糎」〔大和綴。無匡郭。六行。六丁。卷末に刻工名「宮田行連」あり〕

三八四二

一册

### 詠法華經廿八品誦一卷周防内侍家集一卷

詠慈圓撰 周周防内侍撰

昭和二十八年（一九五三）九月山岸徳平寫 外寸「二七・五×一九・六糎」〔周防一一行。詠法一四丁周防二四丁。山岸氏識語「法華二十八品和歌一卷五島慶太氏祕襲者也 傳慈鎮和上筆云云」周防内侍家集一卷池田氏藏本也〕

三八四三

一册

### 心經和歌集

〔貞盛〕撰

〔昭和五十一年（一九七七）以前〕複寫 外寸「三六・二×二五・八糎」〔假綴。一〇行。五五丁。山岸氏識語「心經和歌集一卷借覽久曾神氏本而複写者也 穂久迺文庫藏本歟」〕

三八四四

一册

### 道の枝折三卷

荻原元克纂

江戸 須原屋善五郎・須原屋伊八 〔享和元年刊〕文化十一年（一八一四）三月後印 外寸「一八・八×一三糎」〔八行。注文雙行。内匡郭「四・七×一〇・九糎」 上四八丁中四二丁下四六丁。朱筆の書き入れあり〕

三八四五

三册（合綴一册）

### 歌題虚字詠格二卷

橘守部編 橘道守校

東京 椎本吟社 明治三十一年（一八九八）七月刊 外寸「三三・四×一六・三糎」 印記「懶庵」「三芳」「三芳藏書」「三芳武磨」「解堂」〔單邊。無界。二二行。上四五丁下三六丁〕

三八四六

二册

### 三代集類辭三卷

堀秀成著

〔昭和期〕寫 闕卷中 外寸「二六・五×一八・七糎」 印記「細田一徳」 (書名は書外題による。一二行。上一三丁下九六丁。下卷第八、九丁錯簡)

三八四七

二册

### 三代集類言

堀秀成著

〔昭和期〕寫 外寸「二六・五×一八・八糎」 印記「細田一徳」 (一二行。六五丁)

三八四八

一册

### 國辭解二卷

大村光枝著

昭和十年(一九三五)十二月山岸徳平寫 外寸「二六・二×一八・六糎」 (一一行。上三〇丁下三〇丁。底本跋文「寛政六年とらの秋なか月」) 山岸氏識語「國辭解二卷 借飯島博士藏版本寫焉」

三八四九

一册

### 色葉和難集目安十卷

昭和十三年(一九三八)十一月寫 外寸「二七・七×一九・五糎」 (書名は題簽による。九行。一卷七丁二卷七丁三卷三丁四卷一〇丁五卷六丁六卷九丁七卷七丁八卷一〇丁九卷八丁一〇卷三丁。山岸氏識語「色葉和難集目安一册彰考館本也 借覽久曾神氏轉寫本之序委囑書寫者也」 朱筆の書き入れあり)

三八五〇

一册

### 三代調類題八卷

岩上登波子著

〔名古屋〕 永樂屋東四郎等 文政五年(一一八二)跋刊 外寸「二五・六×一八・三糎」 (無匡郭。七至九行。一卷五四丁二卷一二丁三卷四丁四卷一八丁五卷七四丁六卷四九丁七卷三九丁八卷三八丁)

三八五一

六册

### 歌格類選二卷續編二卷

半井忠見著

京都 聖華房山田茂助 (嘉永四年序・續嘉永六年(一八五三)序皇都合書堂刊)後印 外寸「二六・一×一八・四糎」(一〇行。内匡郭「一九×一四・二糎」 上四一丁下四四丁。續上四一丁下四一丁)

三八五二  
四册

### 嘉多糸

柘植知清著

昭和二十一年(一九四六)八月山岸德平寫 外寸「二七・一×一九・七糎」(書名は書外題による。八行。五六丁。山岸氏識語「嘉多糸一卷以圖書寮本書寫焉：濱木綿嘉多糸兩本珍重者也果宿望畢」 朱點あり)

三八五三  
一册

### 濱木綿

柘植知清著

昭和二十一年(一九四六)山岸德平寫 外寸「二八×一九・八糎」(書名は書外題による。八行。一〇五丁。山岸氏識語「濱木綿」一卷圖書寮本也)

三八五四  
一册

### 五代簡要即萬物部類和歌抄

藤原定家著

昭和十六年(一九四二)十月寫 外寸「二六・四×一九・二糎」(書名は書外題による。一〇行。一五二丁。山岸氏識語「五代簡要」一卷彰考館藏本也)

三八五五  
一册

### 撰集考異二十一卷

富永春部撰修 富永孝太郎増訂

東京 富永孝太郎 大正八年(一九一九)十二月活版 外寸「三三×一五・六糎」

三八五六  
三册

### 桂園翁三十六人集註

香川景樹著

三八五七



昭和十七年(一九四二)四月寫 外寸「二七・二×一九・四糎」(書名は書外題による。九行。九三丁。山岸氏識語「桂園翁三十六人集京都帝大文學部藏本也」)

## 歌經標式

藤原瀆成著

東京 東洋文化研究會 昭和十四年(一九三九)二月複製 便利堂印刷 外寸「二五・六×一八・九糎」(一一行。一一丁。底本「竹村五百枝舊藏佐々木信綱所藏寫本」 別冊「歌經標式解題」佐佐木信綱著。七頁)

## 十躰和歌

源道濟撰

昭和十一年(一九三六)一月山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・九糎」(書名は書外題による。六行。五丁。山岸氏識語「道濟十躰圖書寮本也：以靈元帝御宸筆映写恐惶々々」)

## 後拾遺抄 卽難後拾遺

昭和十八年(一九四三)九月山岸德平寫 外寸「二七・二×二〇糎」(九行。三八丁。山岸氏識語「難後拾遺」卷神宮文庫本也)

## 後拾遺抄 卽難後拾遺

昭和二十八年(一九五三)山岸氏家中寫 外寸「二七・六×一九・七糎」(書名は書外題による。九行。五二丁。山岸氏識語「後拾遺抄以志村氏藏本書写者也」 ペン書メモ二枚あり)

## 錦木

源俊賴著

昭和二十一年(一九四六)八月山岸德平寫 外寸「二七・六×一九・七糎」(書名は書外題による。一一行。三六丁。山岸氏識語「錦木一卷圖書寮本也」)

一册

三八五八

一册・別冊解題一册

三八五九

一册

三八六〇

一册

三八六一

一册

三八六二

一册

### 家長日記

源家長著

昭和十年(一九三三)十一月寫 外寸「二六・二×二〇糎」(二〇行。二〇丁。山岸氏識語「家長日記」一册芝山家藏本也)  
附録「今宮文庫本家長日記」九頁(油印)

三八六三

一册・附録一册

### 異本悦目抄

昭和八年(一九三三)十二月山岸氏家中寫 外寸「二七・六×一九・六糎」(書名は書外題による。九行。二六丁。山岸氏識語「異本悦目抄」一卷略本而存原文之面目欸以松井博士藏本之轉写本書写者也「本書欠後半者也非完本」)

三八六四

一册

### 哥林集即悦目抄

昭和八年(一九三三)十二月山岸氏家中寫 外寸「二八・一×一九・七糎」(書名は書外題による。一二行。四七丁。山岸氏識語「哥林集」一卷以久曾神氏本書写者也 世間通行悦目抄而可謂善本欸)

三八六五

一册

### 異本悦目抄一卷近代秀歌一卷

昭和十二年(一九三三)六月寫 外寸「二七・三×一九・五糎」(書名は書外題による。一〇行。四〇丁。山岸氏識語「悦目抄近代秀歌合綴題鷺箱極祕抄久松氏藏本也 入江氏借覽之序余令人書寫畢 異本悦目抄完本欸」)

三八六六

一册

### 爲兼卿和哥抄

京極爲兼著

〔東京〕 宮内廳書陵部 昭和二十四年(一九四九)七月複製 便利堂印刷 外寸「一四・六×一五・三糎」(列帖裝)  
一〇行。二〇丁。底本「延寶乃至貞享期頃寫 禁裏御文庫收藏」別册「爲兼卿和哥抄 解題並に釋文」一八頁)

三八六七

一册・別册解題釋文一册

### 爲兼卿和歌抄一卷歌苑連署事書一卷爲世卿和歌庭訓一卷

爲兼京極爲兼著 爲世二條爲世著  
〔東京〕 珍書同好會 大正五年(一九一六)影印 外寸「二三・九×一六・六糎」印記「大島氏圖書」(大島雅太郎)

三八六八

一册

〔九行。爲兼一六丁歌苑二三丁爲世一五丁。底本「桂宮本宮内省圖書寮所藏寫本」〕

## 和歌口傳

源承著

昭和十五年（一九四〇）八月寫 外寸「二七・四×一九・三糎」〔書名は書外題による。一二行。四六丁。山岸氏識語「源承口傳一卷竹柏園文庫藏本也」〕

三八六九

一册

## 二條家和歌故實

昭和十四年（一九三九）九月寫 外寸「二七・一×一九・二糎」〔書名は書外題による。一〇行。四九丁。山岸氏識語「二條家和歌故實一卷 卷町久我家藏本也」〕

三八七〇

一册

## 代集 〔佚名抄〕

順宗撰

昭和十四年（一九三九）寫 外寸「二九・八×三二・五糎」〔七至一〇行。三二丁。山岸氏識語「代集卷子本一軸无題簽卷端有「代集 順宗」之四字 加藤氏藏本也」〕

三八七一

一册

## 古今傳授

〔昭和期〕寫 外寸「二五・七×一八・五糎」 印記「服部文庫」「芳廬」〔書名は書外題による。卷頭「古今集序中二聖六歌仙傳」一〇行。三〇丁。識語「此書何某より故有而傳えらしよし」〕

三八七二

一册

## 古今傳授

昭和十六年（一九四二）二月山岸德平寫 外寸「二七×一九・四糎」〔書名は書外題による。一二行。一四丁。山岸氏識語「古今傳授高松宮家御藏本也以福井久藏博士写本書之」〕

三八七三

一册

## 古今傳授切紙口傳條々

宗祇撰

昭和八年(一九三三)寫 外寸「二七・六×一九・六糎」(二二行。二四丁。山岸氏識語「古今傳受切紙口傳條々一卷借覽沼沢氏本而書写者也」)

三八七四

一册

### 古今集序存疑

昭和七年(一九三二)二月寫 外寸「二七・四×一九・五糎」(二二行。二九丁。頭注あり。山岸氏識語「古今集序存疑一卷雅澄自筆原本在圖書寮今以同寮傳写之他本令書写者也」)

三八七五

一册

### 古今集考異

智仁親王筆

昭和三年(一九二八)山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・五糎」(書名は識語による。封面「古今集貞應嘉祿本不同」九行。五丁。山岸氏識語「古今集考異貞應嘉祿本一册宮内省本也 右一册智仁親王御親翰也」朱筆の書き入れあり)

三八七六

一册

### 古今集三木三鳥考一卷古今和歌集相傳之密書一卷和歌極秘傳抄一卷

伊勢貞丈述

昭和十年十一月至十一年(一九三六)十一月寫 外寸「二六・九×一九・四糎」(三木一行相傳一二行極秘一至一二行。三木一〇丁相傳一二丁極秘三〇丁。山岸氏識語「古今集三木三鳥考福井久藏翁本」「古今和歌集相傳之密書以福井翁藏本写焉」「和歌極秘傳抄借覽福井翁本之序詠書写者也」)

三八七七

一册

### 古今和歌集相傳抄秘蜜勘

細川幽齋著

昭和十年(一九三五)十一月寫 外寸「二六・二×一八・五糎」(七行。五七丁。山岸氏識語「和歌家伝深密書一卷以福井翁藏本書写者也」)

三八七八

一册

### 細川幽齋公聞書二卷

細川幽齋著

〔江戸後期〕刊 關卷下 外寸「三二×一五・五糎」 印記「利貞藏書」(書名は書外題による。單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・二×一一・三糎」 四〇丁)

三八七九

一册

### 麓木鈔 上

靈元天皇撰

〔東京〕宮内省圖書寮 昭和二十二年(一九四七)四月影印 便利堂印刷 外寸「二五・七×一八・九糎」(一〇行。五三丁。底本「桂宮本」 別冊「麓木鈔解説并釋文」三六頁)

三八八〇

一册・別冊解説釋文一册

### 國歌八論

荷田在滿著

寶曆九年(一七五九)二月寫 外寸「二七・六×一九・三糎」 印記「勝間田盛稔□印」(二二行。一九丁。奥書「右者以石川節亭子之本書寫之矣于時寶曆九歲己卯二月下旬 藤原充賢(花押)」)

三八八一

一册

### 石上私淑言二卷

本居宣長著

〔江戸〕萬笈堂英平吉 文化十三年(一八一六)序刊 外寸「二六・一×一八・二糎」 印記「櫻蔭文庫(平瀬露香)」(一〇行。内匡郭「一九・六×一四・七糎」 上四九丁下四七丁。「萬笈堂英遵藏板目錄」九丁)

三八八二

二册

### 續萬葉異本考

海量著

昭和十八年(一九四三)一月山岸德平寫 外寸「二七・三×一九・四糎」(八行。四三丁。山岸氏識語「續萬葉集異本考圖書寮本也」 朱筆書き入れあり)

三八八三

一册

### 歌袋六卷

北邊成壽著

京寺町五條下ル町 葛西市郎兵衛・葛西嘉兵衛〔江戸中期〕刊 外寸「三・八×一五・八糎」〔單邊。無界。一六行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・二×一二・九糎」 一卷四三丁二卷四一丁三卷二四丁四卷一八丁五卷二五丁六卷二八丁。〕  
〔北邊大人著書 京寺町五条上ル町 葛西市郎兵衛・同町 葛西嘉兵衛二丁。書筒付〕

三八八四  
六册

### 答問雜稿一卷朝敵辨一卷

清水濱臣著

天保三年（一八三二）五月橘正治寫 外寸「二六・八×一九糎」〔二二行。答問二七丁朝敵八丁〕

三八八五  
一册

### 古調考

本居内遠著

昭和十六年（一九四二）四月寫 外寸「二七×一九・二糎」〔一七至二二行。五六丁。山岸氏識語「古調考」一卷本居内遠述作也在戸越三井文庫藏著者自筆稿本矣〕

三八八六  
一册

### 歌林襍考一卷續萬葉異本考一卷

歌横山由清編 續海量著 正宗敦夫ほか編

岡山縣伊里村 歌文珍書保存會 大正六年（一九一七）八月活版 外寸「一九・三×三糎」〔歌林六六頁續萬葉三〇頁〕

三八八七  
洋裝一册

### 執雅類草

〔江戸中期〕寫 外寸「三三・七×一六・八糎」 印記「大島氏圖書」〔大島雅太郎〕「不求是解」〔書名は序文首による。一〇行。三三丁〕

三八八八  
一册

### 大ぬさ辨妄

〔明治期〕寫 外寸「三三×一五・八糎」 印記「篠塚藏書」〔二〇行。二四丁。群芳堂製罫紙を使用。朱筆の書き入れあり〕

三八八九  
一册

## 進國訶説一卷後進國訶説一卷

千風撰

安政四年（一八五七）五月跋刊 外寸「二六×一八・二糎」印記「吉澤文庫」（吉澤義則）（無匡郭。七行。進國四丁後進五丁。奥付に「安政六年九月 發兌書林甲府魚町村田屋孝太郎」とある）

## 歌格新論

藤原淑蔭著

東京 玉山堂 明治二年（一八六九）十二月刊 外寸「二五・八×一八・二糎」印記「前田氏」（墨書）（單邊。無界。一〇行。注文雙行。一五丁）

## 長歌詞珠衣六卷

小國重年著 正宗敦夫校訂

岡山縣伊里村 歌文珍書保存會 大正九年（一九二〇）二月活版 外寸「一九・二×一三・二糎」印記「知不足堂」（一卷四六頁二卷四七至一一七頁三卷一一八至一七〇頁四卷七六頁五卷七七至一四五頁六卷一四六至二〇九頁）

## 長歌規則前編五卷

源知至撰 滋野三宜・藤原吉長同校

江戸 須原屋伊八等 安政二年（一八五五）三月刊 外寸「三三・一×一五・二糎」（單邊。無界。九行。注文雙行。内匡郭「一八・四×一二・八糎」一卷九丁二卷一七丁三卷九丁四卷一五丁五卷一〇丁半。「知至大人撰著書籍目」二丁）

## 長歌撰格二卷

橘守部撰述

明治十六年（一八八三）刊 椎本文庫藏版 外寸「二六・五×一八・八糎」印記「山嵯十茂能藏書」（單邊。無界。一二行。上五二丁下三六丁。奥付に發兌者として「東京金花堂佐助から藤屋傳右衛門まで」至一〇書肆名あり。「椎

三八九〇

一册

三八九一

一册

三八九二

洋裝二册

三八九三

三册

三八九四

二册





## 萬葉集佳調二卷

長瀬眞幸編

京都 出雲寺文次郎・東都 萬笈堂英平吉 寛政六年（一七九四）四月刊 外寸「一八・六×二二・三糎」（單邊。無界。一行。内匡郭「二四・九×九・五糎」 上三三丁下三四至五五丁。「萬笈堂英平吉郎藏板目錄」七丁）

## 標註參考古今和歌集

飯田永夫標註

東京 文學俱樂部 明治三十年（一八九七）六月六版活版 外寸「三二・五×二五糎」（二二六頁）

## 大齋院前の御集二卷

選子内親王撰 日本大學圖書館編

京都 便利堂 昭和三十七年（一九六二）三月複製 外寸「二六・二×一五・二糎」（日本大學圖書館影印叢刊之一。列帖裝。九行。上三八枚下三七枚。別冊「大齋院前の御集解題」日本大學文理學部國文學研究室撰。四二頁）

## 人家和詞集 卷第八至第十

藤原行家撰

昭和三十年（一九五五）八月山岸氏家中寫 外寸「二七・三×一八・八糎」（二〇行。八卷八丁九卷八丁一〇卷三八丁。山岸氏識語「人家集一冊（卷八九十）大倉精神文化研究所藏本也」「人家集六条家藤原行家撰十卷欵卷數不知 欠本三卷也」）

## 〔句題〕百首

頓阿法師點

安永九年（一七八〇）元貞寫 外寸「二四・三×一七・八糎」（二六行。二〇丁。書外題「一華抄 句題五百首」 朱筆の書き入れあり）

三九〇〇

一冊

三九〇一

洋裝一冊

三九〇二

一冊・別冊解題一冊

三九〇三

一冊

三九〇四

一冊

拾葉帖考證

森繁夫(小竹園)編

浪華 森小竹園主人 大正十二年(一九三三)活版 外寸「一八×二・五糎」(大和綴。一二三頁)

勅點百首詠草

羽倉延次撰 後陽成院點 羽倉敬尙編

昭和十八年(一九四三)四月活版 外寸「横本一五・三×二〇・七糎」(假綴。一二丁。附「解説」金子元臣著。二枚「延

次の略傳と詠草略解説」羽倉敬尙著。三枚)

扶桑殘玉集十五卷 附 扶桑殘玉集作者系圖

昭和十九年(一九四四)四月山岸德平寫 關卷第一第十第十一第十三至十五 外寸「二七・七×一九・四糎」(二〇行。

二卷三丁三卷一八丁四卷二二丁五卷三〇丁六卷一四丁七卷九丁八卷二二丁九卷二〇丁一二卷二四丁。山岸氏識語「扶

桑殘玉集圖書寮藏本也」)

新撰菟玖波集二十卷新撰菟玖波集作者部類

宗祇等撰

昭和十三年(一九三八)山岸德平寫 外寸「二六・九×一九・七糎」(一一行。一卷至一〇卷一五二丁一一卷至二〇卷

一三四丁作者九丁。山岸氏識語「新撰菟玖波集」(二卷以御巫本書寫者也)

新撰菟玖波集 存卷第一第四第五

一條冬良等編

昭和二十四年(一九四九)十二月山岸德平寫 外寸「二五・八×一八・五糎」(一〇行。一卷二五丁四卷二〇丁五卷

一九丁。附卷第六、卷第十一、卷第十六各二丁。山岸氏識語「新撰菟玖波集四卷東京文理大本也」)

水無瀨三吟註

三九〇五

一册

三九〇六

一册

三九〇七

四册

三九〇八

一册

三九〇九

一册

昭和二十六年(一九五二)六月山岸德平寫 外寸「二七・五×一九・七糎」(書名は書外題による。八行。二六丁。山岸氏識語「宗祇集」一卷小西氏藏本也實非宗祇集水無瀬三吟百韻註也)

### 竹林抄之註

宗祇編

昭和十六年(一九四二)九月寫 外寸「一六・九×二・二糎」 印記「杏林齋讀本記」(假綴。七行。九六丁。山岸氏識語「竹林抄之註」一卷高野斑山博士藏本也今茲八月上浣借覽岩田水鳥宗匠之寫本而委囑或人書寫者也)

### 竹林集聞書

昭和二十九年(一九五四)十二月山岸氏家中寫 外寸「橫本一七・二×一九・七糎」(一一行。一〇三丁。山岸氏識語「竹林集聞書」一册以福井久藏先生之寫本寫之)

### 宗祇草菴千句

宗祇編

昭和二十九年(一九五四)寫 外寸「橫本一八・五×二三・七糎」(書名は書外題による。一五行。三四丁。山岸氏識語「宗祇草菴千句」一册以実践女子大轉寫本書寫了)

### 竹林抄十卷

宗祇編

昭和十四年(一九三九)七月寫 外寸「二七・七×一九・七糎」(一二行。一卷一八丁半二卷六丁半三卷二〇丁四卷九丁半五卷一一丁半六卷一〇丁七卷一〇丁八卷一八丁九卷二二丁一〇卷二七丁。山岸氏識語「竹林抄」一卷以斑山高野博士藏本岩田氏書寫者也余借覽于岩田氏之序囑人書寫者也)

### 宗祇集

宗祇著

---

三九一〇	一册
三九一一	一册
三九一二	一册
三九一三	一册
三九一四	一册
三九一五	

〔昭和期〕寫 外寸「二六・九×一九・八糎」(二一行。二九丁)

### 老葉十卷

宗祇吟・注 宗長注 能順編

昭和二十九年(一九五四)四月山岸氏家中寫 外寸「横本一七×一九・七糎」(二四行。一卷三二丁二卷一六丁三卷二六丁四卷一二丁五卷一三丁六卷一八丁七卷一六丁八卷二二丁九卷二二丁一〇卷二八丁。山岸氏識語「老葉註一册版本小西氏藏本云云此註版本稀觀者也」)

### 壁艸注二卷

宗長吟

昭和二十四年(一九四九)六月山岸氏家中寫 外寸「二七・四×一九・七糎」(二二行三字。上一二丁下一〇二丁。山岸氏識語「壁草注上下二卷高野斑山藏本云云 以伊地知氏轉写本書写了」)

### 連歌註

昭和十年(一九三五)山岸氏家中寫 外寸「二六・五×一九・五糎」(書名は書外題による。一〇行。四五丁。山岸氏識語「連歌註一卷帝室圖書也 後人題而連歌註而已本无題名矣」)

### 伊勢物語連哥一卷源氏物語抄一卷

昭和三年七月、昭和九年(一九三四)六月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(九行至一〇行。伊勢八丁源氏九丁。山岸氏識語「伊勢物語連哥一卷能勢氏藏本也」「末摘花断簡一卷以高野辰之博士本書寫者也 建長頃寫本坎異本也」 朱筆の書き入れあり)

### 〔伊勢物語〕連歌

昭和五年(一九三〇)寫 外寸「横本一三・五×一九・二糎」(書名は書外題による。九行。二五丁。山岸氏識語「能勢氏藏本也矣伊勢物語連歌一卷別綴焉」)

一册

三九一六

二册

三九一七

二册

三九一八

一册

三九一九

一册

三九二〇

一册

紹巴獨吟千句 稱名院殿懷舊一卷 卅元和拾年元日發句一卷

里村紹巴撰

〔江戸後期〕寫 外寸「三・一×一七・二糎」(二一行。六九丁。識語「右紹巴獨吟千句一卷九條公爵家旧藏本也 巴翁臨江齋直筆无疑者也」) 山岸氏識語「三州刈谷圖書館藏紹巴獨吟千句一卷矣題日永祿六年十二月十四日爲三條西殿稱名院右府入道殿二七日御追善」

三九二  
一册

兩吟千句註

里村紹巴・里村昌叱撰

昭和十一年(一九三六)寫 外寸「二七×二〇糎」(書名は書外題による。一二行。一〇八丁。山岸氏識語「嚴島千句註松井博士藏本也」)

三九三  
一册

連歌老葉

宗祇撰

昭和十一年(一九三六)寫 外寸「二六・九×一八糎」(書名は書外題による。七行。七二丁。山岸氏識語「連歌老葉一卷松井博士藏本也本書未缺者也」)

三九四  
一册

一紙品定之灌頂

昭和十七年(一九四二)十二月山岸德平寫 外寸「二七×一九・四糎」(二〇行。二九丁。山岸氏識語「以岩瀬文庫本書寫者也」)

三九二  
一册

十問最祕抄

二條良基著

昭和二十四年(一九四九)三月山岸德平寫 外寸「二七・三×二〇糎」(書名は書外題による。八行。一二丁。山岸氏識語「十問最祕抄一卷福井久藏翁藏本也 嚴島宮司野坂氏文庫本轉写也」)

三九五  
一册

### 知連抄

二條良基著

〔昭和八年（一九三三）十一月以降〕山岸德平寫 外寸「横本一九・三×二七・一糶」（一三行。一六丁。奥書「右知連抄一卷十六丁八東京帝国大学助教久松潜一先生被藏書写本ヲ透写：昭和八年拾壹月拾九日風卷景次郎」 山岸氏識語「以風卷轉写本影写者也」）

三九二六

一册

### 知連抄

二條良基著

昭和二十九年（一九五四）十一月山岸氏家中寫 外寸「横本一九・七×二六・七糶」（一三行。一六丁。山岸氏識語「知連抄一册以久松潜一氏写本之轉写本書写了 久松本之底本者東北帝大本也云云」）

三九二七

一册

### 詞林三知抄

〔昭和期〕寫 外寸「二七×一九・六糶」（一〇行。五三丁。識語「此一册甚以祕本暫不可有他見殊相違事唯望一人穴賢」）

三九二八

一册

### 心敬作

釋心敬著

昭和二十九年（一九五四）十二月寫 外寸「横本一三・八×二〇・九糶」（書名は書外題による。一四行。二五丁。山岸氏識語「心敬作西尾光雄氏周旋実践女子大生書写者也」）

三九二九

一册

### さゝめこと

心敬著

〔昭和期〕複製 外寸「二四×一五・三糶」（九行。上一一八頁下九六頁。底本「大阪平瀬家舊藏寫本」 別册「さゝめこと解題」一九頁）

三九三〇

二册・別册解題一册

## 私用抄

心敬著

〔昭和期〕寫 外寸「二七×一九・七糎」(書名は書外題による。九行。二四丁)

## 古今連談集論三卷

宗砌著

昭和三十年(一九五五)四月山岸氏家中寫 外寸「二六・九×一八・八糎」(封面「古今連談抄」一〇行。上三〇丁中二七丁下二六丁。山岸氏識語「古今連談抄一冊以彰考館本之轉写本書写者也 故福井久藏翁書写本之轉写本云云」朱筆の書き入れあり)

## 宗祇指南抄即長六文

宗祇著

昭和二十九年(一九五四)十二月寫 外寸「横本一三・八×二〇糎」(書名は書外題による。一六行。二三丁。山岸氏識語「宗祇指南抄長六文 西尾光雄氏周旋実践女大生書写者也」朱點・朱引あり)

## 宗祇法師連歌傳書

宗祇著

昭和十七年(一九四二)十二月寫 外寸「二七×一九・三糎」(七行。三一丁。山岸氏識語「以岩瀬文庫本書写焉」)

## 五十七ヶ條

宗長著

〔昭和期〕寫 外寸「二七×一九・六糎」(二一行。一六丁)

## 長短抄三卷

〔昭和期〕寫 外寸「二七×一九・六糎」(一〇行。上二三丁中一六丁半下一二丁半。下卷末に「玄佐」(墨筆)あり。與

三九三二

一冊

三九三二

一冊

三九三三

一冊

三九三四

一冊

三九三五

一冊

三九三六

三九三七番本文同一)

### 長短抄三卷

昭和十七年(一九四二)八月寫 外寸「二七・一×一九糎」(二〇行。上三丁中一六丁半下二丁半。山岸氏識語「長短抄一册西尾氏写本借覽之序書写者也 類本稀觀可珍重書也云云」 朱點・朱引、墨筆朱筆の書き入れあり)

一册

三九三七

### 延徳抄

猪苗代兼載著

昭和二十五年(一九五〇)五月小西甚一寫 外寸「二六・二×二〇・三糎」(二〇行。一四丁。小西氏識語「昭和二十五年五月八日以蓬左文庫本景鈔了爲山岸先生也 甚一」 附「連歌延徳抄 旧松浦伯家藏 現蓬左文庫本」紙焼き寫真一五枚(二袋)、紙片一枚あり)

一册・一袋

三九三八

### 連歌奥義明鏡祕集

谷宗牧、谷宗養著

昭和二十一年(一九四六年)四月寫 外寸「二四・三×一六・七糎」(八行。三九丁。山岸氏識語「連歌奥義明鏡祕集一卷岩瀬文庫藏本也」)

一册

三九三九

### 連歌てにをは大事別名切字てにをは并引句

半時庵淡々著

昭和十七年(一九四二)十二月山岸徳平寫 外寸「一六・九×一九・四糎」(二〇行。二二丁。山岸氏識語「以岩瀬文庫本書写者也」 朱點・朱引あり)

一册

三九四〇

### 連歌破邪顯正追加

西順編

昭和二十五年(一九五〇)十二月騰寫 外寸「二五・四×一七・六糎」(二三行。二四丁。罫紙にペン書き騰寫。山岸

一册

三九四一



氏識語「連歌破邪顯正追加一卷小西氏書写之稀本也」

### 賦物抄一卷賦何路連歌一卷

何谷宗養等著

昭和二十一年（一九四六）寫 外寸「二七・一×一九・二」  
「七行。賦物一一丁何路二三丁。山岸氏識語「賦物抄一卷  
岩瀬文庫藏本也」  
「賦何路連歌享徳二年一軸能勢氏藏本也」

三九四二

一册

### 冠附青とくさ

園田荻風撰

大坂心齋橋筋南久寶寺町 塩屋高橋平助（天明四年（一七八四）刊 外寸「横本一〇・八×一五・八」  
（無匡郭。一〇行。一〇六丁。書籍目録「大坂 塩屋平助」三丁）

三九四三

一册

### あふら儀

大坂堂島大江橋 寺本六兵衛 明和五年（一七六八）刊 外寸「横本二・八×一九・四」  
（無匡郭。一二行。三四丁）

三九四四

一册

### 冠附洗ひ米

路考編

浪花 藤屋九兵衛・藤屋善七・京屋吉右衛門 文化六年（一八〇九）正月刊 外寸「横本一〇・八×一五・五」  
（無匡郭。一一行。七六丁）

三九四五

一册

### 俳諧兔の目

攝州灘連中撰

大坂はくろう町心齋橋 本屋新右衛門（延享四年（一七四七）刊）後印 外寸「横本二・一×一五・六」  
（書名は題簽による。無匡郭。一二行。二四丁。「俳諧書出来目録 本屋新右衛門板」半丁）

三九四六

一册

### 折句袋

湖和尚著

浪花 河内屋喜兵衛〔安永八年刊〕弘化三年（一八四六）後印 外寸「横本一〇・六×一五・九糎」 印記「外山藏書」  
〔無匡郭。一一行。六九丁。落丁多數。〕折句目録 弘化三年十一月 河内屋喜兵衛〔半丁〕

三九四七  
一册

### 折句袋

湖和尚著

浪華 伏見屋利兵衛・塩屋平助 安永八年（一七七九年）十一月刊 外寸「横本一一×一六糎」〔無匡郭。一一行。九八丁〕

三九四八  
一册

### 折句いろは引

園田荻風撰

〔大坂〕 塩屋平助〔江戸後期〕刊 外寸「横本一〇・六×一六糎」〔無匡郭。一〇行。八〇丁。書籍目録「塩屋平助」四丁〕

三九四九  
一册

### 笠附小柴垣

雄田一樹選

大坂心齋橋南久寶寺町 高橋平助〔文政二年（一八一九年）刊 外寸「横本一一・二×一五・八糎」〕〔無匡郭。一〇行。七八丁。書籍目録「高橋平助」七丁半〕

三九五〇  
一册

### 冠吟言葉の種

戲坊芦笛選

大坂心齋橋通 河内屋平七 天保十四年（一八四三）九月刊 外寸「横本一一×一五・七糎」〔無匡郭。一〇行。七一丁〕

三九五二  
一册

## 冠附四季の花

偃月編 顯光亭和田麻貫評

〔大坂〕 南久寶寺町心齋橋 伊丹屋善兵衛 嘉永四年（一八五二）刊 外寸「横本一〇・九×一五・七糎」〔單邊。無界。一二行。内匡郭「八・六×一四・一糎」 四九丁〕

三九五二

一册

## 誹諧田植笠

田中魚江評秀吟

大坂高麗橋 ふしや野村長兵衛 〔江戸末〕刊 外寸「横本一〇・七×一五・七糎」〔書名は目次首による。無匡郭。一二行。三八丁。〕新板俳諧出來之分 ふしや野村長兵衛板〔半丁〕

三九五三

一册

## 俳諧冠喰ちから瘤

淺茅庵羅山撰

大坂心齋橋通 今古堂京屋吉右衛門 文化十四年（一八一七）刊 外寸「横本一〇・七×一五・三糎」〔無匡郭。一〇行。八三丁。〕今古堂 新板誹諧目錄〔一丁〕

三九五四

一册

## 當時流行新撰ちへ袋

浪華の連人撰

浪花 藤谷善七 寛政七年（一七九五）刊 外寸「横本一一×一六糎」〔無匡郭。一一行。二五丁〕

三九五五

一册

## 冠句千代の壽

信時庵金聲宗匠著

京都 中村風祥堂中村淺吉 大正五年（一九一六）五月活版 外寸「横本一二・九×一八・八糎」〔書名は表紙による。一八五頁〕

三九五六

一册

## 冠附机の塵

戲坊芦笛選

〔大阪〕堺市之町東 今井清治郎 天保十四年（一八四三）五月序刊 外寸「横本一一・二×一五・四糎」（無匡郭）。  
一〇行。五四丁。〔雄崎芦笛選書目 今井清治郎藏版〕半丁）

三九五七  
一册

冠附浪華みやげ

民村羅山選

大坂心齋橋通博勞町南 河内屋茂兵衛等 天保十五年（一八四四）八月刊 外寸「横本一一×二五・五糎」（無匡郭）。  
一〇行。五七丁）

三九五八  
一册

前句選

古田白馬等評

大坂心齋橋すし塩町 抱玉軒田原屋平兵衛 〔江戸中期〕刊 外寸「横本一一・二×一六糎」（無匡郭。一三行）。  
一三二丁。〔俳諧書目録 大坂心齋橋すし塩町 田原屋平兵衛〕半丁）

三九五九  
一册

俳諧前句大全

大坂心さい橋しほ町角 正本屋清兵衛 安永二年（一七七三）刊 外寸「横本一〇・八×一六糎」（書名は題簽による。無匡郭。一三行。九五丁）

三九六〇  
一册

俳諧和哥の浦

一日菴反朱撰

紀州若山新通二丁目 帶屋伊兵衛 〔明治期〕刊 外寸「横本一〇・八×一五・五糎」 印記「大西甚一平藏」「大西藏書」  
〔大瓢之印〕「杏枝」「博仁」 〔大西文庫〕〔藏書票〕（無匡郭。一〇行。三五丁）

三九六一  
一册

冠吟自詠博覽

泉原貞藏編

三九六二

大阪 前川善兵衛 明治十六年(一八八三)三月刊 外寸「一五・二×一〇・七糎」(書名は版心による。單邊。無界。一二行。五三丁)

### 師恩の月花集

二徳亭收月撰

寛政元年(一七八九)跋刊 外寸「二六・一×二一・八糎」(書名は書外題による。無匡郭。九行。二二丁)

### 國風冠歌四季母艸初會

轡家芝雄撰

京都 板倉八郎 明治十一年(一八七八)四月刊 外寸「一七・八×二二・五糎」印記「山中文庫」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一三・六×九・二糎」四六丁。奥付に發兌書林として「京佐々木惣四郎・大津澤宗次郎・小川義平」の三書肆名あり)

### 俳諧折句春の光

戲坊芦笛選

文淵閣〔弘化年間〕刊 外寸「二四・六×二一・二糎」(單邊。有界。六行。白口。單魚尾。内匡郭「二〇・二×六・四糎」三五丁)

### むかしの狂句

〔明治期〕刊 外寸「二六・五×一〇・九糎」(假綴。無匡郭。九行。八六丁。卷頭第一丁闕)

### 冠句の葉

長井總太郎著

東京 博文館 明治三十四年(一九〇二)十一月活版 外寸「一五×一一糎」(三三二頁)

一册

三九六三

一册

三九六四

一册

三九六五

一册

三九六六

一册

三九六七

洋装一册

類題川柳名句評釋

島崎松琴著

東京 町田書店 大正十年（一九二二）七月活版 外寸「一四・九×一〇・五糎」（二六四頁）

三九六八  
洋裝一册

飴ン坊句集 附 川柳作法

近藤飴ン坊著 吉成劍突坊編

東京 朝野書店 大正七年（一九一八）五月活版 外寸「一四・八×一〇・八糎」（二七六頁）

三九六九  
洋裝一册

芭蕉翁口授

〔明治期〕刊 外寸「二・五×八・七糎」 印記「巖松堂古典部波多替扱斯書」（波多野重太郎）（無匡郭。七至一〇行。）

二五丁。附「俳席初心手引」四丁

三九七〇  
一册

今人附合集二卷付録一卷

禾木園編

江戸 萬笈堂英大助等 天保七年（一八三六）序刊 外寸「一八×一二糎」 印記「無物庵」（無匡郭。一六行。上

三九七一  
三册

一三五丁下 一三八丁付録八九丁。〔江戸本石町十軒店 萬笈堂英大助藏版俳書目録〕三丁

談笑花間録

落霞窗鳥醉撰 高木讓編

東京 紫水文庫刊行會 昭和十四年（一九三九）七月影印 外寸「二・五×一五糎」（九行。五二丁。底本「江都一

三九七二  
一册

湖堂刊本）

御傘十六箇口訣

鈴鹿知石述

享保十六年（一七三二）鈴木知朴寫 外寸「三〇糎」（書名は書外題による。識語「右貞徳翁道統鞭石翁的傳之奧祕口

三九七三  
卷子本一卷

傳等不殘相傳之者也 享保十六年亥七月吉日鈴鹿知石 筆者早川丈石 鈴木知朴丈

### ちどり夜話

兒玉英抱著

〔江戸期〕寫 外寸「三・七×一六糎」(書名は書外題による。七行。四三丁。朱筆の書き入れあり)

三九七四

一册

### 隨齋諧話二卷

夏目成美編 豊久藏校

東都 慶元堂 文政二年(一八一九)刊 外寸「二六・一×一七・九糎」 印記「堀田文庫」「松朗」(無匡郭。一〇行。乾三九丁坤四四丁)

三九七五

二册

### 清話抄二卷

黒川春村(淺草庵)著

江戸 淺艸新寺町 和泉屋庄次郎等 文政三年(一八二〇)刊 淺草菴藏版 外寸「二三×一六糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・六×一・八糎」 上四三丁下四四至八五丁)

三九七六

二册

### 増補集註二見貝 卷三

金馬襍松雨編 鵲巢微髻注

〔弘化四年(一八四七)〕刊 外寸「三二・二×一五・五糎」(四周雙邊。有界。八行。注文雙行。内匡郭「一四・六×一〇・五糎」 一二二丁)

三九七七

一册

### 滑稽雜談二卷

四時堂其諺編錄

〔江戸中期〕寫 外寸「二七×一九・五糎」(二四行。一卷五九丁二卷六一丁)

三九七八

二册

俳家奇人談三卷

竹窓玄玄一著 男蓬廬青青訂

江戸淺艸新寺町 和泉屋庄次郎等 天保三年(一八三二)七月刊 闕卷上 外寸「二六×一八糎」(二二行。内匡郭

「二・三×一五・六糎」 中二五丁下二六丁)

三九七九

二册

續俳家奇人談三卷

竹内玄玄一遺編 蓬廬青青著

大阪心齋橋 河内屋茂兵衛・江戸 丁子屋平兵衛 天保十二年(一八四二)刊 外寸「二五・九×一八・二糎」 印記「加

瀬」不中繩墨」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二・二×二六糎」 上一五丁中一四丁下二三丁)

三九八〇

三册

續俳家奇人談三卷

竹内玄玄一遺編 蓬廬青青著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一八・七糎」(二二行。五〇丁)

三九八一

一册

俳林小傳

中村光久編

昭和五十年(一九七五)九月複寫 外寸「二六×一八・二糎」(大和綴。一四行。四四丁。底本「嘉永六年一月江戸山

三九八二

一册

田佐助等刊本」 山岸氏識語「俳林小傳橫本一卷 中央大學國文學研究室本也余嘗借覽書而有益之書云々」

狂歌初心抄

唐衣橘州著

江戸本町筋通油町南側 耕書堂蔦屋重三郎 〔江戸後期〕刊 外寸「一八・九×二二・八糎」(無匡郭。九行。六一丁。

三九八三

一册

〔耕書堂藏板狂歌書物目錄「一丁)〕

狂歌太郎殿犬百首二卷



桑楊庵光〔頭光〕編

江都 若林清兵衛・山中要助 寛政五年（一七九三）一月刊 外寸「三・三×一六・五糎」 印記「越後高田町稻田鍛冶中村」〔清水氏〕〔墨書〕（書名は題簽による。無匡郭。二二行。一卷三至二〇丁二卷二七丁）

三九八四

一册

### 狂歌觸

式亭三馬編

江戸敷寄屋橋御門 蘭香堂萬屋太治右衛門 享和三年（一八〇三）一月刊 外寸「一八・三×二二・五糎」〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「二五・三×一一糎」 四八丁。〔蘭香堂藏版目錄 萬屋太治右衛門〕二丁〕

三九八五

一册

### 馬鹿文集四卷

藪野椿著 物丹明安著

〔文化十三年（一八一六）刊 外寸「二・四×一五・六糎」 〔青栄輔主〕〔墨書〕（左右雙邊。無界。八行。内匡郭「二六・四×一二糎」 一卷一〇丁二卷二〇丁三卷一八丁四卷一七丁）

三九八六

一册

### 狂哥しなさため 上卷

桃李園栗間戸著

〔文化八年（一八一二）刊 外寸「二八・八×一三・二糎」 〔角書〕初學詠方〔無匡郭。一〇行。二二丁〕

三九八七

一册

### 今昔狂歌叢話

秋廼屋望成編

東京 耕書堂 明治二十九年（一八九六）五月活版 外寸「一八・七×二二・九糎」 〔二二四頁〕

三九八八

洋裝一册

### 三狂志初篇

〔顯禮毛内〕編

〔文化九年（一八一二）寫 外寸「横本一五・三×二八・二糎」 印記「玖侶社記」〔黒崎貞枝〕（二五行。一四丁。山岸

三九八九

一册

氏識語〔著者稿本欵 昭和十四年七月廿九日〕

雅筵醉狂集 存卷春

正親町公通〔風水軒白玉翁〕撰

〔江戸後期〕刊 外寸「二七・七×二〇・二糎」印記「麗澤藏書」〔正親町家〕〔無匡郭。八行。五三丁。山岸氏識語「春夏秋冬恋雜附錄七卷也 正親町家原版欵白玉翁ハ公通卿也」〕

三九九〇  
一册

狂歌詠方初心式

江月翁了山著

浪花心齋橋筋塩町 田原屋平兵衛等 安永四年（一七七五）十一月刊 外寸「一八・三×一一・八糎」印記「米澤大町

三九九一  
一册

大和屋本園渡部氏藏書」〔無匡郭。一〇行。七八丁〕

興歌考二卷

源真楯〔林國雄〕著

〔昭和期〕影印 外寸「二四×二六・八糎」〔二〇行。上三八丁下三八丁。底本「文政四年八月霞山文庫藏版本」 山岸

三九九二  
二册

氏識語「興哥考二册東京教育大学図書館本也」

春の雪なぞ盡

尾関トヨ著 豊榮畫

東京 尾関トヨ 明治二十二年（一八八九）三月刊 外寸「一一・五×八・三糎」〔單邊。無界。内匡郭「九・八×六・七

三九九三  
一册

糎」 繪入。二〇丁〕

畫口合種瓢三卷

山田案山子著

好集堂 天保九年（一八三八）刊 關卷中 外寸「二・三×一五・五糎」印記「尙純」〔二二行。内匡郭「一六・八×

三九九四  
二册

一二・八糎」上二四丁下二六丁)

## 地口畫譜

東京 博文館 明治二十七年(一八九四)六月刊 外寸「三三×一五・五糎」印記「白龍粹士」「長井兵舟」「増田文庫 MASUDA」(書名は見返による。單邊。無界。彩色繪入。一三三丁)

## 新撰小口合三卷

雪洞著

東京 米山堂 昭和二年(一九二七)八月複製 外寸「三三・七×一六・六糎」(稀書複製會第五期第一〇回。四至六行。上一五丁中二〇丁下一五丁。底本「寶曆六年正月江戸近江屋藤兵衛・植村藤三郎刊本」)

## 風流地口繪手本初篇式編

花笑撰

東都 山靜堂(山崎)屋清七 (江戸末刊)後印 外寸「一七・九×一一・八糎」(書名は題簽による。單邊。無界。白口。無魚尾。内匡郭「一五×一〇糎」繪入。初編一〇丁式編一八丁半。出版書目「東都書林山靜堂□屋清七藏板」半丁)

## 繪口合兩面鏡初編

里の家あるじ戲作畫

大阪 錦畫うちわ問屋富士政七 (明治期)刊 外寸「一七×一一・四糎」(單邊。無界。繪入。一二丁)

## 言語遊戯考

綿谷雪著

東京 上森子鐵 昭和二年(一九二七)十一月活版 外寸「三三×一六・四糎」(一二八頁)

## 雜詩よしこのふし

三九九五  
一册

三九九六  
三册

三九九七  
一册

三九九八  
一册

三九九九  
一册

京 東榮堂なら屋伊兵衛 元治二年（一八六五）刊 外寸「横本八×一七・五糎」〔無匡郭。五至一一行。繪入。一五丁〕

四〇〇〇  
一册

### 浪花の梅

鶯宿館窓雅丸選

大坂心齋橋通 文繡堂河内屋平七 〔江戸末〕刊 外寸「横本七・八×一八糎」 〔元治郎所有〕〔墨書〕 〔書名は題簽による。無匡郭。一〇行。一四丁〕

四〇〇一  
一册

### 笑談阿房陀羅經

東京 吉田屋文三郎 〔明治期〕刊 外寸「二七・三×一一・三糎」 〔九行。一三丁〕

四〇〇二  
一册

### 江差追分文句集

村田彌六編

東京 求光閣 大正七年（一九一八）七月活版 外寸「一八・四×二二・六糎」 〔五七頁〕

四〇〇三  
洋裝一册

### 北州考・端唄評釋

北自念坊如電著 端佐々醒雪著

東京 金港堂書籍 明治三十五年（一九〇二）八月活版 外寸「一八・八×二二・七糎」 〔文藝叢書之一。八七頁〕

四〇〇四  
洋裝一册

### 廢類大津繪節

市場直二郎著

東京 上森子鐵 昭和三年（一九二八）一月活版 外寸「三二・九×一六・四糎」 〔八八頁。發兌者「發藻堂書院」〕

四〇〇五  
一册

### 日本樂道叢書

羽塚啓明編

名古屋 樂舞研究會 昭和三年至七年（一九三二）活版 外寸「三・四×一六糎」

内容 「音律通致章」東大寺沙門凝然述、「尋聞抄上下」、「樂道纂解上下」宗覺正直編、「久米舞考證」藤益根著、「近家抄」、「樂曲考上下」黑澤萬新撰、「溫故抄」太秦廣猶撰、「樂曲目錄」田中大秀撰、「樂書目錄類纂」藤原守中編、「衆清錄上下」、「歌儂雜識」藤原守中著、「指月話」、「舞樂記」

### 樂曲一覽

羽塚啓明著

名古屋 樂舞研究會 大正十三年（一九二四）九月活版 外寸「二五×六・八糎」（一八折）

### 文机談 卷第二

隆圓著

〔東京〕 宮内廳書陵部 昭和四十六年（一九七二）十二月複製 外寸「三〇・二糎、三一・二糎」（底本「舊伏見宮家藏樂書夾鐘部第四十號」 別冊「伏見宮本文机談解題・釋文」四四頁）

### 文机談五卷

隆圓著

〔京都〕 貴重圖書影本刊行會 昭和十年（一九三五）影印 外寸「二八・二×三二・一糎」（一二行。一卷二九丁二卷二六丁三卷二五丁四卷二九丁五卷二八丁。底本「菊亭侯爵家舊藏古鈔本京都帝國大學圖書館寄託」 別冊「文机談解題」鈴鹿三七著。七頁）

### 倭樂夜話傳

明治四十四年（一九一一）西村敬光寫 外寸「二四×一七・二糎」印記「西邑氏等（一〇行。一二丁。識語「此書西村庄兵衛敬光之自筆也 明治四十四年西村敬光」 朱筆の書き入れあり）

四〇〇六

一二册

四〇〇七

折本一帖

四〇〇八

卷子本二卷・別冊解題釋文一册

四〇〇九

五册・別冊解說一册

四〇一〇  
一册

# 樂家録 卷之八

安倍季尚撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×一九・五糎」 (八行。三六丁。識語「樂家録五十卷安倍季尚著此一册箏之目錄也」)

## 式三番

〔江戸〕大傳馬町三丁目 鶴林堂鱗形屋三左衛門 正徳二年(一七二二)刊 外寸「一八×一三糎」 (無匡郭。六行。九丁)

## 上宮太子

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一四・四×二〇・八糎」 (二〇行。一九丁)

## 籠祇王

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一四・五×二二糎」 (書名は書外題による。八行。二二丁)

## 〔碁〕

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一四・九×二二・六糎」 (八行。五丁)

## 〔曲舞〕 母衣ほか

喜多古能(健忘齋)撰

〔江戸後期〕刊 外寸「二二・七×一六糎」 印記「西村勇吉」「西村氏」(墨書) (無匡郭。七行。五六丁。奥付に「東都 須原屋茂兵衛 文化三年發兌」とある)

四〇一一

一册

四〇一二

一册

四〇一三①

一册

四〇一三②

一册

四〇一三③

一册

四〇一四

一册

邯鄲 殺生石 野宮 百萬 羽衣

〔京都〕二條通丁子屋町 山本長兵衛 萬治二年（一六五九）刊 外寸「二五・七×一七・九糎」（單邊。無界。八行至一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二・七×一五・五糎」）邯鄲一丁殺生石一丁野宮二丁百萬三丁羽衣一〇丁

鷺

江戸日本橋通壹丁目 出雲寺和泉掾 明和二年（一七六五）六月刊 外寸「二四・七×一八・一糎」（無匡郭。七行。五丁）

石橋

〔江戸〕日本橋通壹丁目 〔出雲寺和泉掾〕（明和二年（一七六五））刊 外寸「二四・七×一八・一糎」（無匡郭。七行。六丁。與四〇一六番ツレ）

高野參詣

大村由己著  
〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一九・五糎」（八行。八丁。朱筆の書き入れあり）

明智討

大村由己著  
〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一九・五糎」（八行。五丁。紙片に「太閤記卷十六よりの拔書」と墨書あり。朱筆の書き入れあり）

〔寶生流謠本〕 熊坂一卷唐船一卷枕慈童一卷櫻狩一卷滿仲一卷放下僧一卷高野物語一卷

東京 江島伊兵衛 明治十六年（一八八三）刊 外寸「二三・九×一六・八糎」 印記「謠樂會」 〔前嶋彌〕（朱書）（假綴。六行。〔滿仲〕に「寶生大夫」〔朱印〕あり。表紙なし）

四〇一五  
一册

四〇一六  
一册

四〇一七  
一册

四〇一八  
一册

四〇一九  
一册

四〇二〇  
七册

### 獨吟八卷目録一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・二×一九糎」 關卷第八（七行。目録五丁一卷一丁二卷一五丁三卷二丁四卷二四丁五卷二二三丁六卷二丁七卷一九丁。第八卷〔昭和三十七年四月山岸徳平補寫〕五丁。底本「明和二年江戸出雲寺和泉掾刊本」七卷末に山岸氏識語「卷八一册缺本也」補寫識語「獨吟八十五曲卷八以法政大學能研藏本書寫畢」

### 謠府録

大坂 野村長兵衛（明治期）刊 外寸「三六×四九・五糎」〔折疊「一七・八×七・二糎」〕（卷末に「寫本大瓶狸々」〔内百番并△印外七十六番 合百七十六番 觀世當流ニ用之由〕とあり）

### 觀世流内百番謠字引

木強思明著  
大坂心齋橋 河内屋喜兵衛 寛政二年（一七九〇）三月刊 會友堂藏版 外寸「一七・六×一三・二糎」〔單邊。有界。八行。内匡郭「一四・四×九・四糎」 五二丁〕

### 謠國分

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一五・九×二二・四糎」〔書名は書外題による。八行。二二丁〕

### 二百拾番謠目録

觀世元章編  
明和二年（一七六五）序刊 外寸「二四・八×一八・二糎」〔書名は題簽による。無匡郭。七行。一〇丁半〕

### 謠祕傳抄

〔寛文五年（一六六五）〕四月日吉弥右衛門權守空席入道寫 外寸「二・八×一六・四糎」〔知常濟藏〔墨書〕（書名は書外題による。列帖裝。一三行。一四枚）

四〇二二

九册

四〇二二

一舖

四〇二三

一册

四〇二四

一册

四〇二五

一册

四〇二六

一册



## 能花傳書八卷

世阿彌著

〔江戸後期〕寫 外寸「一七・三×二五糎」(書名は書外題による。一五行。一卷一四丁二卷九丁三卷二二丁四卷二八丁五卷二五丁六卷二二丁七卷三〇丁八卷一三丁。山岸氏識語「花傳書二册八卷本抄出也」)

四〇二七  
二册

## 花傳抄

世阿彌著

〔明治期〕寫 外寸「二四×一六・四糎」 印記「伊藤氏圖書印」(八行。四四丁)

四〇二八  
一册

## 花傳抄二卷

世阿彌著

〔江戸後期〕刊 外寸「二六・一×一七・五糎」 印記「林惠館「文州」」(書名は題簽による。無匡郭。九行。一卷二六丁二卷二〇丁)

四〇二九  
二册

## 花傳書

世阿彌著

〔江戸初期〕寫 外寸「二六×一九・八糎」(二二行。八八丁。前表紙裏に「花傳書 此本むさとくすすべからす今たしなき本之由ニ承候」と墨書あり。山岸氏識語「書寫年代明記無之江戸初期歟」)

四〇三〇  
一册

## 増補淨瑠璃祕曲抄

竹本播磨掾撰 竹本政太夫・竹本錦太夫評 竹本大和掾校

〔大坂〕錦袋町 播磨屋佐兵衛 寶曆七年(一七五七)刊 外寸「二六×一〇・八糎」(七行。内匡郭「一・九×七・八糎。五三丁」)

四〇三一  
一册

## 振袖天神記

近松半二等合作 竹本義太夫高弟校

京二條通 山本九兵衛・大阪 吉川宗兵衛・江戸 □□孫兵衛 (明和六年(一七六九)刊 外寸「二二・二×

一五・八糎」(角書)誕生梅蘇生松」 無匡郭。七行。九五丁)

### 三世相錦繡文章 仲町福嶋屋の段

狂言堂左交、松島半三作

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・五×一六・五糎」(六行。四〇丁。底本「安政二年三月刊本」 山岸氏識語「狂言堂左交ハ

江戸ノ人ナリ三世相錦繡文章ハ京都言葉ナルベシ)〕

### 唐土奇談三卷

畠中觀齋(銅脈)著

京都 厚生閣 昭和八年(一九三三)三月影印 外寸「二五・八×一八・五糎」(單邊。無界。一〇行。一卷一一丁二

卷一一丁三卷一二丁。底本「京齊藤庄兵衛等寛政二年正月刊本」)

### 菅家遺誠

嘉永五年(一八五二)序刊 外寸「二五・四×一七・八糎」 印記「堅水舎藏書」「木下之印」「總本山勸學藏」「朝比奈」

(單邊。無界。七行一字。内匡郭「二〇・四×一五・二糎」 一一丁)

### 菅家遺誠

〔江戸後期〕刊 外寸「二六×一七・五糎」 (假綴。左右雙邊。有界。一〇行。白口。單魚尾。内匡郭「一九・四×一三・五糎」

七丁。山岸氏識語「本書は眞本也 昭和四十七年十一月十二日」)

### 九條殿遺誠 遺誠并ニ月中行事

藤原師輔著

〔正徳四年(一七一四)〕寫 外寸「横本一五・五×二三・二糎」(二〇行。注文雙行。八丁。識語「正徳甲午季秋中辭

四〇三二

一册

四〇三三

一册

四〇三四

一册

四〇三五

一册

四〇三六

一册

四〇三七

一册

和風拜)

### 大槐祕抄

九條伊通著

〔江戸中期〕寫 外寸「二八×一九・三糎」(書名は書外題による。一一行。二〇丁。奥書「御本云此本…九條太相國伊通公意見進二條院云々」 識語「再三校合且加系圖畢 壺井義知」 朱筆の書き入れあり)

### 六諭衍義大意一卷附錄二卷

室直清(鳩巢)撰 勝田知郷編 男知直・孫知之校

京都新町通二條南 商量軒勝田氏 弘化四年(一八四七)刊 外寸「三五・八×一八・二糎」 印記「瀧澤氏藏書記」「瀧澤」「小方之藏書」(四周單邊。無界。一一行。内匡郭「三・九×一六糎」 首書本。二七丁附錄上三三丁下二六丁)

### 訓蒙要言故事十卷

宮川道達著

〔京都〕堀川通本國寺前町 小佐治半右衛門・中村七郎右衛門・上村八郎右衛門 元祿七年(一六九四)三月刊 外寸「二五・六×一八・七糎」 印記「乘一點雲非楊九天」「土井清輔祐矩」(墨書) (單邊。無界。九行。注文雙行。白口。無魚尾。内匡郭「二・三×一六・六糎」 一卷二三丁。二卷上二七丁下二八至四八丁。三卷二五四卷二七丁五卷一〇丁六卷一二丁七卷一〇丁。八卷上三五丁下三六至七三丁。九卷四五丁一〇卷一八丁)

### 靖獻遺言八卷

淺見安正(綱齋)著

京師二條通衣棚 風月莊左衛門 〔江戸中期〕刊 外寸「二五・七×一八・五糎」 印記「和泉藏書」 (單邊。無界。九行。注文雙行。白口。單魚尾。内匡郭「二・一×二六・三糎」 一卷九丁二卷一二丁三卷九丁四卷一三丁五卷二〇丁六卷六五丁七卷一六丁八卷一八丁)

四〇三八

一册

四〇三九

三册

四〇四〇

七册

四〇四一

三册

靖獻遺言講義二卷

淺見安正(綱齋)著

京師 風月堂莊左衛門 寛延元年(一七四八)九月刊 外寸「二五・九×一八・二糶」 印記「紺野氏藏」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二×二六糶」 訓點送假名付。上二二丁下二九丁)

四〇四二

一册

本佐録

本多正信著

〔江戸中期〕刊 外寸「二五・三×一七・五糶」(無匡郭。一二行。一三丁。山岸氏識語「本佐録ノ諸本ヲ見合ハスベシコノ刊本珍稀ナリ」)

四〇四三

一册

貞丈家訓

伊勢貞丈著

江戸 須原屋茂兵衛等 天保八年(一八三七)刊 外寸「二二・九×一五・七糶」 「上田内藏」(墨書) (四周雙邊。無界。九行。内匡郭「一八・二×一二・四糶」 二四丁)

四〇四四

一册

つらつらふみ二卷

細井徳民(平洲)著

樺島石梁 〔江戸中期〕刊 外寸「二六・七×一八糶」 印記「曳尾堂圖書印」(無匡郭。一〇行。君之卷二四丁臣之卷一三丁。山岸氏識語「本書二卷者樺島石梁梓行而領布于社友之書册也 享和元年版敷」)

四〇四五

二册

武道初心集三卷

大道寺友山著

東都芝神明前 和泉屋吉兵衛 天保五年(一八三四)十一月刊 外寸「二五・五×一六・三糶」 印記「桃井之章」(名山閣記)(單邊。無界。九行。内匡郭「二八・六×一二・九糶」 傍訓付。上三五丁中三三丁下四二丁)

四〇四六

三册

## 武道初心集三卷

大道寺孫九郎編

安政六年（一八五九）氏禎寫 外寸「二七×一九・五糎」 印記「谷文庫」（二四行。上一丁中一〇丁下一〇丁。山岸氏識語「武道初心集三冊天保五年刊本有焉モト武備見聞雜記ト稱シタリヤソレハ稿本ナルベシ部類稿本而整理文章者武道初心集歟」）

## 童形用心大略

小川町 土岐氏（嘉永五年（一八五二）跋刊 外寸「二四×一六・六糎」 印記「美加左宇知藏書之記」「三谷」（單邊。無界。五行一字。内匡郭「二九・一×一三・四糎」 一七丁）

## 童蒙道のおしへ三卷

淡河恭叔著 松川半山畫

大阪 積玉圃柳原喜兵衛（明治期）刊 外寸「二三・三×一五・二糎」（左右雙邊。無界。九行。上一六丁中二七至五一丁下五二至七一丁。「新發兌書籍畧目錄 大阪心齋橋 柳原喜兵衛藏版」四丁）

## 女四書七卷

辻原元甫著

京都岩神通 境屋嘉兵衛・京都堀川通 錢屋庄兵衛（明曆二年跋刊）明和九年（一七七二）二月後印 外寸「二五・八×一七・四糎」 印記「坂藏書」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・八×一四・四糎」 繪入。女孝經上一三丁下二九丁。女論語上一四丁下二四丁。内訓上一九丁下二六丁。女誠一四丁）

## あしの下根

伊達吉村著

「江戸末」寫 外寸「二七×一八糎」（二〇行。一〇丁）

四〇四七

一冊

四〇四八

一冊

四〇四九

三冊

四〇五〇

四冊

四〇五一

一冊

### 女式目二卷

〔江戸初期〕刊 松會版 外寸「二七×一八・七糎」 印記「御藏書御側御取次預」(書名は題簽による。單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「三・二×一六・二糎」 上二丁下二七丁)

### 三省録前編二卷附言二卷

志賀忍(理齋)編

天保十四年(一八四三)寫 外寸「二四・三×一六・五糎」(一一行。上三三丁中二四丁下二六丁附言上二八丁下二八丁。貼付紙片に「理齋志賀翁著徳齊原義補訂三省録五卷天保十四年癸卯正月官許新鐫潤身堂藏板」「我輩の本は影写せし本也三省録前編五卷後編五卷徳齊原義著三省録後編五卷文久二歲次壬戌十一月官許新鐫潤身堂藏版 著者ハ理齋の子也」とある)

### 三省録後編三卷附録二卷

原義(得齋)輯

江戸下谷御成道 青雲堂英文藏等 文久三年(一八六三)刊 外寸「二五・八×一七・八糎」 印記「考古堂文庫」「善文」(一一行。内匡郭「一九・五×一三糎」 上三〇丁中三〇丁下三三丁。附上三二丁下三四丁。「書目 江都書林青雲堂英文藏」四丁)

### 爲學玉筭三卷

手島信(堵庵)著 男上河正揚(淇水)編

平安 寛政元年(一七八九)九月刊 循古堂藏版 外寸「三二・七×一五・九糎」 印記「雨森之信」「川上菴」(單邊。無界。九行二三字。内匡郭「一七・四×一三・四糎」 上二六丁中二五丁下二九丁。奥付に弘所として「京都 山本長兵衛・脇阪正兵衛・淡海庄兵衛」の三書肆名あり)

### 心學道之話八篇二十四卷

四〇五二  
二册

四〇五三  
五册

四〇五四

五册

四〇五五

三册

奥田壽太(頼杖)講話 平野橋翁(重猷)聞書

花蹊堂〔江戸後期〕刊 關卷初篇中 外寸「三二×一五・二糎」 印記「佐嘉材木町山久成富」(單邊。無界。十行。

白口。單魚尾。内匡郭「一八×一三・二糎」)

### 闇路堤挑燈

洛外逸民獄著

皇都 村田伊兵衛・小笹九兵衛・小川多左衛門 安永七年(一七七八)二月刊 外寸「三五・八×一七・六糎」(書名

は序文首による。無匡郭。一〇行。一九丁)

### 庭の訓抄

伴蒿溪(閑田廬)述

浪華 柏原屋庄兵衛・江戸 須原屋伊八・京都 北村庄助 文化四年(一八〇七)一月刊 易得舍藏版 外寸「二六

×一八・二糎」(書名は題簽による。無匡郭。六行。三三丁)

### 庭訓往來

江戸下谷御成道 青雲堂英文藏〔江戸後期〕刊 外寸「二五・八×一七・九糎」 印記「駒」(單邊。無界。一二行

一七字。白口。無魚尾。内匡郭「三二・六×一五・七糎」 三三丁。「青雲堂藏板目錄」二丁半)

### 庭訓往來講釋

溪齋善次郎(英泉)作・晝

東都日本橋通 龜屋文次郎等〔弘化二年刊〕嘉永六年(一八五三)後印 外寸「一八・二×一二・三糎」(單邊。有界。

六行。内匡郭「一五・四×一〇・四糎」 一三八丁)

### 庭訓往來繪抄二卷

槐亭賀全著

四〇五六

二三册

四〇五七

一册

四〇五八

一册

四〇五九

一册

四〇六〇

一册

四〇六一

〔江戸末〕刊 闕卷下 外寸「一七×一一・三糶」 〔置賜米澤小瀬村石川作兵衛〕小瀬邑石河運治良〔墨書〕（單邊。無界。四行。白口。内匡郭「四・二×九・二糶」 五五丁）

### 庭訓往來諸抄大成

永井如瓶著 伊勢貞丈補 松井簡治校  
東京 明治書院 明治三十六年（一九〇三）一月活版 外寸「三二・四×一四・八糶」 （二六三頁）

### 新撰類聚往來三卷

丹峰和尚撰  
京寺町 敦賀屋久兵衛 慶安元年（一六四八）五月刊 外寸「二五・四×一八・五糶」 印記「安東」平良胤（無匡郭。七行。上四二丁中四三丁下三五丁）

### 實語教證註一卷童子教證註一卷

振鷺亭貞居著  
東都横山町 和泉屋金右衛門等 天保十年（一八三九）刊 外寸「二五・八×一八・二糶」 印記「穴房菊地氏藏」（單邊。有界。八行。注文雙行。實語一二丁童子一四至五九丁。〔玉巖堂藏版目録 東都兩國 和泉屋金右衛門〕一丁）

又

（與四〇六四同版。書き入れあり）

### 番匠作事文章

〔江戸〕兩國橋 山田佐助・今川橋 龜屋文藏 〔江戸後期〕刊 外寸「一八・一×一二・五糶」 〔長寄富藏〕〔墨書〕等（單邊。無界。五行。白口。無魚尾。内匡郭「二五・七×一〇・九糶」 上欄繪入。一六丁）

一册

四〇六一  
一册

四〇六三  
三册（合綴一册）

四〇六四  
一册

四〇六五  
一册

四〇六六  
一册



## 京町小路堅横町盡并町々小名

池田東籬亭編 中村有樂畫

京都三條町 竹原好兵衛 天保二年(一八三二)七月刊 外寸「横本二一・五×一六・八糎」(單邊。無界。一行。

注文雙行。七〇丁。「京名所記藏版目錄 竹原好兵衛」(四丁)

## 書用辯明字引

望月信陽編

東都日本橋通 松坂屋金之助 文久三年(一八六三)刊 外寸「一八×一一・八糎」(書名は題簽による。單邊。有界。

七行。注文雙行。内匡郭「一四・九×一〇・二糎」(二七丁)

## 萬名頭國盡

〔江戸〕 鱗形屋孫兵衛・鱗形屋徳兵衛・吉田屋小吉 文政二年(一八一九)重刊 外寸「一八×一二・七糎」〔布屋淺

吉〕(墨書) (書名は書外題による。單邊。有界。六行。注文雙行。内匡郭「一五×一〇・六糎」(一一丁)

## 商賣往來繪字引

又玄齋南可著

江戸 大和屋喜兵衛等 〔江戸後期〕刊 外寸「二八・一×一二糎」(單邊。無界。四行。白口。無魚尾。内匡郭「二四・五

×九・六糎」(二八丁)

## 世話千字文教訓繪抄

木村繁雄編 曉鐘成畫 浦邊良齋書

浪華心齋橋通 河内屋木兵衛・河内屋平七 文政九年(一八二六)刊 外寸「三二・一×一五・六糎」(書名は見返に

よる。單邊。無界。一六行。白口。内匡郭「一八・六×二三・五糎」(三〇丁)

## 古狀揃繪抄

四〇六七

一册

四〇六八

一册

四〇六九

一册

四〇七〇

一册

四〇七一

一册

槐亭賀全著

東都馬喰町 吉田屋文三郎〔江戸後期〕刊 外寸「一七・五×一・五糎」〔單邊。無界。四行。白口。無魚尾。内匡郭「一四・五×九・三糎」 五三丁〕

四〇七二

一册

### 兒讀古狀揃證註

高井蘭山講譯

江戸 玉巖堂和泉屋金右衛門等〔天保四年刊〕後印 外寸「二五・九×一八糎」〔書名は見返による。單邊。有界。八行一〇字。注文雙行。内匡郭「二・五×一五・五糎」 五九丁。玉巖堂藏版目錄 東都兩國 和泉屋金右衛門「一丁〕

四〇七三

一册

### 本朝蒙求三卷

菅亨(仲徹)編輯 辻質(元樸)校訂

〔京都〕一條通新町東江入 奥村太右衛門 貞享三年(一六八六)跋刊 闕丁上一至二二丁 外寸「二二・九×一六・三糎」印記「玖島藏書」〔四周雙邊。無界。一二行二〇字。注文雙行。白口。雙魚尾。内匡郭「一九×一二・九糎」 上三三至四六丁中四九丁下四二丁〕

四〇七四

五册

### 釋書蒙求三卷

視寬著

寺崎長右衛門 延寶四年(一六七六)十一月刊 外寸「二七・四×一九・一糎」 印記「長尾山正俊寺常什物」〔單邊。無界。一二行二一字。注文雙行。白口。雙魚尾。内匡郭「二一・八×一六・五糎」 訓點送假名付。上四〇丁中三九丁下四〇丁〕

四〇七五

三册

### 蒙求拾遺三卷

大江廣保(季成)編

江戸 嵩山房小林新兵衛 寶曆二年(一七五二)九月刊 外寸(上卷)「二六×一七・五糎」〔中・下卷)「二七×一七・四糎」 印記「赤川氏」〔左右雙邊。有界。一〇行二一字。内匡郭「二〇×一四・五糎」 訓點送假名付。上四九

四〇七六

三册

丁中六〇丁下五六丁。朱點あり

### 蒙求續貂二卷

恩田仲任(蕙樓)著 神野子容等參訂

〔名古屋〕 風月堂孫助・永樂屋東四郎 安永九年(一七八〇)刊 外寸「二七×一八・二糎」 印記「守抄艸堂」 (單邊。有界。一一行二二字。内匡郭「二〇・二×一五・二糎」 訓點送假名付。上五一丁下四八丁)

四〇七七  
二册

### 醫林蒙求三卷

樋口器(丹臺)撰 菊池元習(博甫)校

江戸芝神明前 名山閣和泉屋吉兵衛 文化元年(一八〇四)跋刊 闕卷中 外寸「二五・九×一八・一糎」 印記「西野」 (左右雙邊。有界。一〇行二二字。内匡郭「二〇・二×一三・三糎」 上四二丁下四四丁)

四〇七八  
二册

### 和漢蒙求三卷

孤高亭編選

〔江戸後期〕寫 闕卷上 外寸「二七・九×一九糎」 (二六行。中六三丁下一〇〇丁。山岸氏識語「百花叢 附上 和漢蒙求上下アリ本書ハ上欠卷中下二卷也」)

四〇七九  
二册

### 大東蒙求三卷

根岸鳳質(嶮谷)編撰

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・四×一七糎」 印記「水松亭杏氏室藏書印」「子革氏」等 (二〇行。上一四丁中二二丁下二五丁。山岸氏識語「大東蒙求三卷未聞其名蓋稿本而自筆坎岸鳳質有嶮谷詩集七卷青梅之人也」 書き入れあり)

四〇八〇  
一册

### 扶桑蒙求三卷

根岸鳳質(嶮谷)輯

東京 須原屋茂兵衛・須原屋伊八 〔天保十四年刊〕明治四年(一八七二)八月再刊 外寸「二六×一七・二糎」 (單邊。)

四〇八一  
三册

無界。八行一七字。上三八丁中四六丁下三八丁)

### 藝林蒙求初編六卷

松田順之輯

京師 出雲寺文次郎等 嘉永四年(一八五二)六月刊 外寸「三六・六×一七・六糶」(單邊。有界。一〇行二〇字。

注文雙行。内匡郭「二〇×一四・六糶」 訓點送假名付。一卷二四丁二卷三九丁三卷四四丁四卷四一丁五卷四八丁六

卷三五丁)

### 自警蒙求二卷

藤澤恆(南嶽)著

〔江戸末〕刊 藤澤氏版 外寸「二五・五×一七・九糶」 印記「陸州氣仙郡廣田邑吉田三千兼古建藏書」「淺井藏書」「古

林藏書」(左右雙邊。有界。一〇行二〇字。注文雙行。白口。單魚尾。内匡郭「二六・八×一二・四糶」 上三三丁下

三三丁。奥付に賣弘所として「江戸小林新兵衛から河内屋茂兵衛まで」全五書肆名あり)

### 帝統蒙求

秋山惟恭(嚴山)編輯

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・九×一八・二糶」(九行。五〇丁。山岸氏識語「本書用西讚府志用紙 秋山惟恭之稿本歟」)

### 和漢孝子蒙求

加藤熙(櫻老)編

東京 明治四年(一八七二)刊 詠歸塾藏 外寸「三二・三×一五・二糶」(單邊。有界。一〇行二〇字。注文雙行。

一七丁)

### 箋註格致蒙求二卷

柏原學而輯譯

---

四〇八二  
六册  
四〇八三  
二册  
四〇八四  
一册  
四〇八五  
一册  
四〇八六

明治七年(一八七四)刊 仁以堂藏 外寸「二・六×一五・三糎」(四周雙邊。無界。五行二一字。注文雙行。一卷  
三〇丁二卷四一丁。奥付に發兌者として「静岡浪花屋市藏から高松龜田屋治兵衛まで」全十一書肆名あり)

### 瓊矛餘滴三卷續編三卷

橋本寧著

東京 小林新兵衛 明治十年(一八七七)二月至九月刊 外寸「二・九×一五・三糎」 印記「明進校印」(左右雙邊。  
有界。一行二一字。注文雙行。上三五丁中二七丁下四二丁。續編上四〇丁中四二丁下四二丁)

### 皇朝蒙求三卷

山下直溫集撰 門人乘附倅等同校 男山下直太郎再校

福島白河 山下直太郎・田村素軒 明治十四年(一八八一)六月刊 外寸「二・八×一五・一糎」(一〇行二〇字。  
上六八丁中七〇丁下七五丁)

### 標題箋註萬國蒙求校本三卷

黒神直臣編輯 石村信一標注

東京 吉川半七 明治十四年(一八八一)八月刊 外寸「二・六×一八・四糎」 印記「吉田藏書」(單邊。有界。一二行  
二二字。上五六丁中五六丁下五三丁)

### 標題箋註萬國蒙求校本三卷

橋本徳(有則)編 關徳校閱

大阪 吉岡平助等 明治十五年(一八八二)序刊 外寸「三・二×一五・五糎」 印記「林内藏書」(四周雙邊。有界。  
一行二二字。上五三丁中六〇丁下五二丁)

### 日本蒙求續編二卷

堤正勝(靜齋)編

---

二册
四〇八七
六册
四〇八八
三册
四〇八九
三册
四〇九〇
四〇九一

東京 皆山閣堤正勝 明治十五年(一八八二)六月刊 外寸「二・九×一四・七糎」 「所有者大久保祐」(墨書) (單邊。有界。一〇行二〇字。上三八丁下四二丁)

### 箋註桑華蒙求三卷

木下公定(葵峯)著 福田宇中註 林正躬校

大阪 柳原喜兵衛・花井卯助 明治十五年(一八八二)十二月刊 外寸「三五・八×一八・二糎」 (單邊。有界。一行二二字。注文雙行。上五六丁中六五丁下六三丁)

### 東西蒙求二卷

山賀新太郎・辻本篤次郎撰

東京 團々社野村文夫 明治十七年(一八八四)一月刊 外寸「二二・五×一五・二糎」 印記「宇井圖書之章」「楓鎧」「楓鎧所藏」 (四周雙邊。無界。一〇行。一卷二四丁二卷二七丁)

### 幼童教訓蒙求二卷

村井清編述

東京 村井清 明治十八年(一八八五)五月活版 闕卷第一 外寸「三二・三×一四・八糎」 印記「澁澤藏書」(澁澤榮一) 「祭魚洞文庫」(藏書票) (澁澤敬三) (二九丁)

### 西稗雜纂 第一集

中邨敬字著

(東京) 同人社 明治七年(一八七四)三月刊 外寸「一七・三×一一・八糎」 (左右雙邊。有界。八行一八字。一三丁)

### 女學範二卷

大江資衝(玄圃)著

京都 河南四郎右衛門等 明和五年(一七六八)九月刊 外寸「二六・七×一八・八糎」 印記「道子之印」「松洲書屋伊

二册

四〇九二  
三册

四〇九三  
二册

四〇九四  
一册

四〇九五  
一册

四〇九六  
二册

達氏圖書之印(仙臺藩伊達家)「作並」作並氏錦桐堂圖書記(作並清亮)「明治四十五年作並清亮寄贈百部之一」(無匡郭。一行。上二八丁下二七丁。表紙貼紙「鳳泉百種」。「大江玄圃先生著述目錄 京都 河南四郎右衛門謹誌」二丁)

## 女重寶記五卷

〔江戸後期〕刊 外寸「二・五×一五・四糎」 印記「不二書院」 (單邊。無界。一行。下黒口。無魚尾。内匡郭「一九・二×一三・五糎」 一卷二〇丁二卷一七丁三卷二二丁四卷二二丁五卷一七丁。山岸氏識語「未欠坎 昭和九年大呂」)

## 増補曆略註

劉卜子著

〔江戸〕 鶴屋喜右衛門・山崎屋清七 (寛政十二年九月刊)嘉永元年(一八四八)十月後印 外寸「二七・八×一一・九糎」(單邊。内匡郭「一五・九×一〇・八糎」 二八丁)

## 宿曜經撮要

釋堅雄畔睇著

嘉永二年(一八四九)序刊本 外寸「二七・八×一一・九糎」 印記「玉井」橘秀□ (一〇行。内匡郭「一五×一〇・一糎」 一三丁。一部補寫あり)

## 日用曆談

小林隨景撰述

欣榮軒安雅 寛延二年(一七四九)九月刊 隨景門峰松軒藏版 外寸「三二・六×一五・七糎」 (單邊。無界。九行。注文雙行。内匡郭「一九×一二・一糎」 五四丁。卷末に「遠西觀象圖說 名古屋本町七丁目 永樂屋東四郎」の広告あり)

## 立表測景曆日諺解

柳精子著

四一〇一

四〇九七  
一册

四〇九八  
一册

四〇九九  
一册

四一〇〇  
一册

〔正徳六年（一七一六）皇都山本長兵衛刊〕後印 外寸「二・三・三×一五・七糎」〔單邊。無界。一一行。内匡郭「一八・四×一三糎」二八丁〕

### 毎年曆考見

純子編

大阪谷町筋上寺町 純子 天明七年（一七八七）九月刊 外寸「三・八×一六・二糎」印記「井上頼罔藏」無窮會神習文庫〔無匡郭。九行。二九丁。附「除方の見おとしなきためつゝめてこれをしるす 法清寺隱居純孝印施」〕

### 歷林問答集二卷

賀茂在方著

京都 林伊兵衛・大坂 淺井吉兵衛・江戸 前川六左衛門 文化八年（一八一二）刊 外寸「二五・八×一八・二糎」印記「北越芝田柳川氏尊賢書屋之記」柳川〔單邊。無界。九行一七字。内匡郭「一九・九×一四・八糎」上四一丁下二八丁〕

### 頭書長曆三卷

小泉松卓著

〔京都〕小森善左衛門 貞享五年（一六八八）刊 鍵屋改板 外寸「二七・二×一九・二糎」〔驚覺山高仙寺□〕〔墨書〕〔書名は目次首による。四周單邊。無界。一〇行。黒口。雙魚尾。内匡郭「二四・八×一七・五糎」上一九丁中一五丁下一八丁〕

### 方角吉凶九官飛白法

玉井方教著

正徳四年（一七一四）寫 外寸「二六・六×一七糎」印記「桃堂圖書」二鋒等（九行。一七丁）

### 病諭俗解集

一册

四一〇二

一册

四一〇三

二册

四一〇四

一册

四一〇五

一册



慶安元年(二六四八)刊 外寸「横本二・三・五×二〇糎」 「壽委專」(墨書) (四周雙邊。無界。大字九行八字。注文雙行。黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・八×一八・二糎」 四四丁。)

## 上大同類聚方表

鶴城藏圭著

〔江戸後期〕刊 鶴城藏板 外寸「二六・七×一九・三糎」 印記「前田氏書」「桂氏藏書」(桂譽正) (假綴。四周單邊。無界。六行九字。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・八×一五糎」 三丁)

## 大同類聚方

安倍眞貞等奉勅撰

大阪高麗橋 淺野彌兵衛 〔江戸後期〕刊 外寸「二七・二×一七・七糎」 印記「桂氏藏書」(桂譽正) (四周雙邊。有界。一〇行二〇字。注文雙行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・一×一三・六糎」 八丁)

## 本朝醫考三卷

黒川道祐編

〔江戸前期〕寫 關卷下 外寸「二七・八×一八・九糎」 (二二行一八字。上三三丁中三六丁。墨筆朱筆の書き入れあり)

## 蕉窓雑話初編

和田東郭(璞)述 久保喬徳・柁谷守清筆記

京都三條通柳馬場西 林喜兵衛 文政六年(一八三三)刊 外寸「二六×一八糎」 (單邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・二×一二・八糎」 四一丁)

## 菊經國字解五卷

松平頼寛(黄龍)著

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・八×一九糎」 (八行。一卷五丁二卷五丁三卷三丁四卷九丁五卷繪共一丁。卷末に「深瀬

四一〇六  
一册

四一〇七  
一册

四一〇八  
一册

四一〇九  
一册

四一一〇  
一册

四一一一  
一册

熊之進」と墨書あり。朱筆の書き入れあり)

### 民間備荒録二卷

建部由正(清庵)著 男建部由巳等校

江都 須原屋茂兵衛・大坂 秋田屋太右衛門 (寛政八年河内屋八兵衛・丹屋助七刊)文政七年(一八二四)二月補刊

外寸「二五・四×一七・九糎」〔永泰善繼藏〕(墨書) (單邊。無界。一〇行。注文雙行。内匡郭「二〇・八×一四・六糎」

上二八丁下三三丁)

### 救荒孫之杖二卷

枕雲洞主人著

越後笠嶺 優學館 天保八年(一八三七)刊 闕丁上一四至二二丁 外寸「二三・六×一六・三糎」 印記「百露堂」(越

後曾根前田定助)「山岸智之印」 (單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・三×一三・五糎」上一五丁下二二丁)

### 綿羊牧畜記一卷綿羊記一卷附毛織方譯說二卷毛織方附譯一卷

文政五年(一八二二)三月寫 外寸「二四・四×一七・七糎」 印記「森田藏書」「森田」(森田柿園) (一一行。彩色繪入。

牧畜記四二丁綿羊記三八丁譯說上四四丁下三三三丁附譯一二丁。奥書「此書公義奥醫師澁江長伯法眼老より被相傳令

書寫也 伊藤才右衛門 文政五壬午稔」 識語「右綿羊書於東武自伊藤才右衛門借之令謄寫者也 文政五年壬午三

月」 下巻卷頭に書き入れあり)

### 酒史新編二卷

青山延光(佩弦齋)著 男青山勇編

東京 山中市兵衛 明治十年(一八七七)四月刊 外寸「三二・四×一五・一糎」 印記「稻澤藏書」 (單邊。有界。

一〇行二〇字。注文雙行。上二九丁下四三丁)

### 〔大工雛形三卷小坪規矩一卷〕

四一二二

二册

四一一三

一册

四一二四

三册

四一一五

二册

享保二年(一七一七)九月刊 外寸「横本一六×二二・三糎」 印記「正徳」「田村米治郎」「鳥居氏」「鳥居門左衛門」(墨書) (單邊。無界。一七行。内匡郭「二・五×二〇・二糎」 繪入。新板宮雛形二九丁新板數寄屋雛形二五丁新板棚雛形二五丁新板小坪規矩一〇丁新板小坪規矩追加二七丁)

### 〔新板棚雛形〕

〔江戸中期〕刊 外寸「横本一五・四×二二・八糎」 (單邊。無界。一七行。内匡郭「二・七×二〇糎」 二五丁。與四一・六番第三册同版)

### 紙漉重寶記

國東治兵衛撰 靖中庵桃溪畫

大阪 製紙印刷研鑽會 大正十四年(一九二五)六月複製 外寸「三三×一五・七糎」 (製紙印刷研鑽會叢書第壹卷。單邊。無界。九行。二〇丁。底本「浪華 大野木市兵衛・海部屋勘兵衛寛政十年刊本」 書筒付)

### 和紙談叢 第一册

京都 澄心堂 昭和十二年(一九三七)二月活版 外寸「二四・三×一七・五糎」 (九八頁)

### 陶說六卷

朱琰述 楊井勇三著

大連市臺山屯 楊井勇三 昭和八年(一九三三)四月活版 外寸「三三・二×一五・四糎」 (二六四頁)

### 和漢對照景德鎮陶錄卽續陶說十卷

(清)藍浦、濱南原著 鄭廷桂、門谷補輯 (日本)藤江永孝譯述

京都 開益堂書店 明治四十年(一九〇七)刊 外寸「三二・五×一五・五糎」 印記「守山藏書」 (單邊。有界。一〇行。一卷四三丁二卷一一丁三卷一一丁四卷一六丁五卷一四丁六卷八丁七卷一七丁八卷一八丁九卷二四丁一〇卷二二丁)

四二六

五册

四一七

一册

四一八

一册

四一九

洋裝一册

四二〇

一册

四二二

七册

### 和漢茶誌三卷

三谷良朴(宗鎮)著

〔京都〕堀川通六角下ル 中川藤四郎・中川茂兵衛 享保十三年(一七二八)一月刊 外寸二五・五×一八糎 (單邊。無界。八行一九字。一卷二六丁二卷五五丁三卷五二丁。〔茶誌紋〕闕)

四一三

三册

### 和漢茶誌二卷

三谷良朴(宗鎮)著

〔江戸後期〕寫 外寸二七・六×一八・七糎 印記「長陽豊田中野藏書」 (單邊。無界。八行一九字。一卷二八丁二卷五五丁三卷五〇丁。底本「享保十三年刊本」)

四一三

三册

### 〔千家茶道之書〕

〔江戸後期〕寫 外寸二七・二×二〇・一糎 印記「土館長言藏本」 (二二行。繪入。四八丁。山岸氏識語「本書逸題簽故今假銘云千家茶道之書云云」 朱筆の書き入れあり)

四一四

一册

### 茶事祕録五卷

腋風幽人編

再思堂 〔江戸後期〕木活字印 外寸二五・三×一七・六糎 印記「吉澤文庫」(吉澤義則) 「山中氏所持」(伊賀出所 山中新七) (墨書) (左右雙邊。有界。一一行二字。首書(注文・校字)。内匡郭「一八・四×二二・八糎」 一卷二三丁二卷二五丁三卷二三丁四卷二六丁五卷二七丁)

四一五

五册

### 茶道早合點二卷附錄一卷

珍阿撰 附曉鐘成増刪竝畫

浪華心齋橋通本町 中村三史堂鹽屋彌七 (明和八年刊)天保八年(一八三七)六月後印・附錄天保八年刊 外寸二二・四×一五・八糎 (單邊。無界。一一行。一八・三×一三・七糎) 上三丁下三九丁附二七丁。書筒付)

四一六

三册

茶器辨玉集三卷

〔京都〕二條通玉屋町 上村次郎右衛門 寛文十二年（一六七二）刊 外寸「二七・五×一九・三糎」〔楠田〕〔墨書〕  
〔單邊。無界。九行。首書（注文）。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・一×一六・二糎」 上二丁中四三丁下二七丁〕

四一二七  
三册（合綴一册）

茶事戲談

〔江戸後期〕寫 外寸「三二・四×一六・六糎」（九行。一九丁。山岸氏識語）茶事戲談一册无類本云云 此即稿本欵  
主に彩色挿繪

四二二八  
一册

茶人系傳一卷 附 泉南記一卷 名物記一卷

富永贛（南陔）編

草々庵富永贛 天保八年（一八三七）九月刊 外寸「一四・九×一〇・一糎」（無匡郭。七行。茶人五六丁泉南二丁名物一〇丁）

四二二九  
一册

茶人大系譜

伊勢茂美（棲霞亭）編

江戸日本橋南二丁目 嵩山房小林新兵衛 天保三年（一八三三）刊 外寸「二二・七×一五・七糎」 印記「五葉蔭藏書  
印」〔堀内文庫〕（無匡郭。七行。四三丁。附「古今茶人系譜」一鋪（三三・五×四六・五糎）

四一三〇  
一册・一鋪

茶祖珠光傳一卷 茶人系一卷

巨妙著

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・三×一八・三糎」 印記「占恒室圖書」森氏開萬册府之記（森立之）（八行一八字。茶祖  
四丁茶人二二丁。朱筆の書き入れあり）

四一三一  
一册

茶人言行錄

石田誠齋著

四一三二  
一册

大阪 石田文庫 昭和十二年(一九三七)九月活版 外寸「二二・二×一五・三糎」 印記「茂松軒藏」 (二九九頁)

### 插花道しるべ

交縦庵撰 一陽齋畫

文政十二年(一八二九)序刊 外寸「一八・三×二二・二糎」 (書名は序文首による。單邊。無界。一二行。内匡郭

「二五・八×一〇・四糎」 一四丁。末丁に切り取りあり)

### 諸家兼法活花通

新々亭流花撰

天保六年(一八三五)序刊 外寸「二七・八×二二糎」 (書名は序文首による。單邊。無界。八行。内匡郭「一五・六×

一〇・六糎」 二〇丁)

### 瓶史國字解四卷

(明)袁宏道撰 (日)桐谷鳥習(陳雲齋)註解

〔文化七年(一八一〇)跋刊〕明治中後印 闕卷第一 外寸「二六・二×一八・九糎」 (四周雙邊。無界。一〇行。首書本。

内匡郭「二二・五×一六・四糎」 二卷二九丁三卷二八丁四卷八丁)

### 袁中郎流插花圖會六卷續編五卷

祥雲齋秀英等著 桐谷鳥習(陳雲齋)畫

東京 須原屋莊太郎 〔文化六年(一八〇九)刊〕明治期後印 闕卷第一第二續編第一 外寸「二六・一×一八・九糎」

(四周雙邊。無界。内匡郭「二二・五×一六・三糎」 三卷二四丁四卷二五丁五卷三〇丁六卷二六丁。續編二卷一八丁

至二九丁三卷三三丁四卷一六丁五卷二二丁。主に圖)

### 四方の薫り

不濁齋廣甫撰

洋裝一册

四一三三

一册

四一三四

一册

四一三五①

二册

四一三五②

八册

四一三六

伊勢津 山形屋東助〔文化十五年刊〕文政六年（一八二三）後印 外寸「二四・八×一七・三糎」〔書名は題簽による。單邊。無界（二部有界）。七行。内匡郭「二〇×一五・四糎」 二九丁〕

### 簞篋抄五卷

〔京都〕三條寺町本能寺内 菊屋勝太夫 寛永六年（一六二九）九月刊 闕卷第一 外寸「二七・九×一八・六糎」〔頼賢〕（墨書）〔書名は題簽による。單邊。無界。一二行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「三・二×一六・三糎」 二卷一九丁三卷二〇至五〇丁四卷八丁五卷九至三二丁〕

### 簞篋内傳諺解大全五卷

大阪高麗橋 藤屋淺野彌兵衛 天和二年（一六八二）五月刊 外寸「二五・九×一八・一糎」 印記「津輕深浦福澤屋」等（單邊。無界。一二行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二・三×一五・三糎」 一卷九丁二卷三八丁三卷四六丁四卷二二丁五卷三二丁）

### 簞篋口傳初心鈔二卷

釋盛典編  
元祿四年（一六九二）十一月自序刊 外寸「二六・三×一八・五糎」〔四周雙邊。無界。一二行二〇字。注文雙行。下大黒口。無魚尾。内匡郭「一九・七×一五・六糎」 上二五丁下二三丁〕

### 三國相傳陰陽輜轄簞篋内傳金烏玉免集五卷

安倍清明撰  
喜多村宇右衛門 寶永七年（一七一〇）刊 外寸「二五・五×一九糎」〔單邊。無界。一二行二〇字。首書。内匡郭「二〇・一×一四・三糎」 一卷九丁二卷一〇至二二丁三卷一五丁四卷一六至二四丁五卷二五至三二丁〕

### 邵康節先生心易梅花數

（明）劉剡撰

一册

四一三七

二册

四一三八

五册

四一三九

二册（合綴一册）

四一四〇

二册

四一四一

正保四年(一六四七)六月刊 外寸「二六・三×一七・九糎」(四周雙邊。無界。一二行二〇字。上下中黒口。雙魚尾。内匡郭「二・四×一五・五糎」四二丁)

### 方鏡

〔南部宗壽著〕

〔江戸中期〕寫 外寸「二五×一七・四糎」(假綴。七行。一二丁)

### 陰陽方位便覽三卷

森重勝編 森重固校

大阪 堺屋新兵衛等 天保十一年(一八四〇)刊 外寸「二五・四×一七・八糎」 印記「越後國蒲原郡善光寺村高橋」(四周雙邊。有界。一一行。首書注文。内匡郭「二九・一×一五糎」一卷三九丁二卷三〇丁三卷二四丁)

### 春雪解話二卷

荒井菟民著

東都 玉巖堂和泉屋金右衛門等 弘化二年(一八四五)刊 外寸「二五・七×一七・九糎」(無匡郭。九行一八字。上二五丁下二五丁。〔玉巖堂製本書目 江戸横山町 和泉屋金右衛門〕九丁)

### 増補卜筮盲筈

平澤隨貞述 仲祇貞校

江戸 山金堂山崎屋金兵衛 安永三年(一七七四)刊 外寸「二六×一一・二糎」(書名は目次首による。單邊。無界。一二行。内匡郭「二・八×八・八糎」五七丁)

### 射覆早合點二卷

大庭白嶺、古澤白泉編

大阪心齋橋 含章堂藤屋橋本徳兵衛 寶曆六年(一七五六)後序刊 外寸「二二・一×一五・四糎」 印記「木村文庫」

一册(漢籍)

四一四二

一册

四一四三

三册

四一四四

二册

四一四五

一册

四一四六

二册



〔單邊。無界。七行。白口。内匡郭「一七・四×一三・三糎」 一卷三丁至三三丁二卷二七丁。〕〔含章堂藏板書目 大坂心齋橋 藤屋橋本徳兵衛「二丁半」〕

### 新刻看命一掌金和解

〔唐釋一行著 〔明〕胡氏文會堂校 〔日〕馬場信武和解  
浪花 柏原屋清左衛門・藤屋善七 天明七年（二七八七）刊 外寸「横本二・五×一八・六糎」 印記「一眞院日治藏」  
〔單邊。無界。一〇行。注文雙行。内匡郭「一一×二六・五糎」 一一二丁〕

### 宿陽經占眞傳二卷附卷一卷

若原敬經著 羽塚啓明・黄木寺鳳祥同校  
〔名古屋〕 其中堂書店 明治四十一年（一九〇八）六月活版 外寸「二・二×一五糎」 印記「岩見藏書」〔隈本有谷藏本之印〕（上一九八頁下一八三頁附一〇四頁）

### 太占之事

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・二×一七・二糎」〔假綴。九行。注文雙行。九丁〕

### 龜卜傳祕事五卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一九糎」 印記「半原書屋藏」 一二行。四一丁。奥書「右龜卜傳五卷口授傳萩原 四宮軒廊御卜吉田 依懇望傳之畢敬勿怠焉 光海靈社在判」 朱筆の書き入れあり

### 相宅小鑑 上卷

苗村三敲述 奥田庸徳編  
享和元年（一八〇二）序刊 外寸「二八・五×二二・四糎」 〔榊原彌三郎〕〔墨書〕 〔單邊。有界。八行。内匡郭「二四・一×九・八糎」 二五丁。墨筆朱筆の書き入れあり〕

四一四七

一册

四一四八

三册

四一四九

一册

四一五〇

一册

四一五一

一册

天間之圖

〔江戸中期〕寫 外寸「横本一五・三×二二・四糎」 (書名は書外題による。主に彩色繪。一二丁)

四一五二  
一册

山口流相法二卷相法祕傳二卷

天保二年至天保四年(一八三三)藤原安定寫 外寸「一三×一六糎」 印記「安定字學靜」 (假綴。一五行。山口一卷一九丁二卷六丁。相法一卷四丁二卷四丁)

四一五三  
四册

本朝人相考二卷

郭西翁著 仙掌齋編

名古屋 文光堂梶田勘助 明治二十四年(一八九一)一月刊 外寸「二一×一四・九糎」 (單邊。無界。七行。男部上四五丁下五九丁。女部四四丁)

四一五四  
三册

聖徳皇傳來秋野流相法括要

土直方授

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一六・六糎」 (二〇行。繪入。四三丁)

四一五五  
一册

鼎左祕録一卷附録一卷

西川國華(國華山人)著

京都 尙書堂堺屋仁兵衛 嘉永五年(一八五二)六月刊 外寸「一八・二×二二・二糎」 「清水清助悴清三郎」(墨書) (單邊。無界。九行。内匡郭「一五・二×九・八糎」 三八丁附三九至五四丁。書目「尙書堂堺屋仁兵衛」(半丁)

四一五六  
一册

菓子話船橋初編

船橋屋織江著 溪齋英泉畫

東都芝神明前 尙古堂岡田屋嘉七・甘泉堂和泉屋市兵衛 天保十二年(一八四一)刊 外寸「一八・六×一三糎」 印

四一五七  
一册

記「中山氏藏書之記」(中山久四郎) (書名は題簽による。角書「江戸流行」 四周雙邊。無界。一〇行。無魚尾。内匡郭「一五・三×一〇・三糎」 三三三丁)

### 古今名物御前菓子祕傳抄

梅村市郎兵衛編

帝都 梅村市郎兵衛 享保三年(一七一八)一月刊 外寸「一八・三×一二・六糎」 印記「中山氏藏書之記」(中山久四郎) 「清右衛門」(墨書) (單邊。無界。七行。内匡郭「一二・八×九糎」 四五丁)

### 古今名物御前菓子圖式二卷

長谷川良隅(風雅亭主人)撰

帝都寺町五條上ル町 天王寺屋市郎兵衛 寶曆十一年(一七六一)一月刊 外寸「一八・七×一二・七糎」 「妹尾節子」(墨書) (單邊。無界。八行。内匡郭「一三・一×九・七糎」 上一八丁下二八丁。下卷は補配本(外寸一八・三×一二・一糎)

### 古今名物御前菓子圖式 上卷

長谷川良隅(風雅亭主人)撰

印記「志琮」(中山氏藏書之記)(中山久四郎) (與四一五九番上卷同版)

### 菓子其外祕傳之覺

文政五年(一八二二)六月寫 外寸「一九・二×一二・五糎」 印記「承文庫」(中山氏藏書之記)(中山久四郎) (一一三行。一七丁。追書「菊の漬やうの事」 識語「文政五壬午歲夏六月下旬於大坂御城内兼苙堂より借寫之」)

### 調法記

(江戸後期)寫 外寸「二六・四×一七・八糎」 (書名は書外題による。八行。二九丁)

四一五八

一册

四一五九

二册

四一六〇

一册

四一六一

一册

四一六二

一册

### 虎屋製菓子録

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一〇・九×一九・二糎」 印記「天満中屋舗古屋所持」 (假綴。九行 一三丁。朱筆の値段書き入れあり)

四一六三

一册

### 菓子圖攷

源芳野編

昭和十五年(一九四〇)十月山岸徳平寫 外寸「二七×一九・六糎」 (一〇行。二四丁。山岸氏識語「中山久四郎博士藏本也昭和十五年秋季皇灵祭前日訪問中山邸而借覽矣」)

四一六四

一册

### 和漢兩泉睡覺鼠雅酒茶問答

三五園月磨著

京師寺町通蛸薬師下ル 松榮堂著屋幸助 天保十二年(一八四一)序刊 外寸「一八・四×一二・五糎」 (單邊。無界。八行。内匡郭「二五×一〇・四糎」 三八丁。書目「京師著屋幸助」半丁)

四一六五

一册

### 塵劫記二卷

慶安五年(一六五二)五月刊 外寸「二〇×一四糎」 (單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「一五・五×一一・九糎」 上六八丁下五七丁)

四一六六

二册

### 塵劫記 存卷第三

〔江戸前期〕刊 外寸「二〇×一四糎」 (單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一三・八×一二・二糎」 三六丁)

四一六七

一册

### 塵劫記四卷

中野市右衛門(道伴)著

寛永七年(一六三〇)刊 闕卷第一第二 外寸「二〇・一×一四・三糎」 「丸八江村字和江 佐藤伊右衛門」(墨書)

四一六八

一册

〔單邊。無界。九至一〇行。白口。無魚尾。内匡郭〕一四・三×一二・三三糎〕三卷三六丁四卷三五丁〕

### 塵劫記

寛永四年（一六二七）八月序刊 外寸〔横本一六・二×二〇・四糎〕〔明治廿八年ノ十月盛楊連〕（墨書）（書名は書外題による。無匡郭。各丁切れ。九三枚四七丁。書き入れあり）

四一六九

### 塵功記 上卷

寛永四年（一六二七）八月序刊 外寸〔二七×一七・四糎〕（無匡郭。一〇行。五六丁）

四一七〇  
一册

### 新篇塵劫記三卷

吉田光由編

山城國葛野郡嵯峨村 吉田七兵衛 〔江戸前期〕刊 闕卷上 外寸〔一九・二×一三・八糎〕（四周雙邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭〕二四・一×一一・八糎〕 中五五丁下四三丁〕

四一七一  
二册

### 新篇塵劫記 下卷

吉田光由編

〔京都〕 林甚右衛門 慶安元年（一六四八）刊 外寸〔二〇・二×一四糎〕（四周雙邊。無界。九行至一〇行。白口。無魚尾。内匡郭〕二四・二×一一・六糎〕 四四丁〕

四一七二  
一册

### 新編改筭記四卷

山田正重著

〔江戸前期〕刊 闕卷第一第二 外寸〔一八・七×一三・三糎〕（書名は題簽による。單邊。無界。一三行。上下黒口。無魚尾。内匡郭〕二六・三×一一・九糎〕 三卷二六丁四卷三四丁。與三卷四卷之間に錯簡あり）

四一七三  
一册

### 新篇塵劫記三卷

吉田光由編

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・三×一六・四糎」〔安政三年じんこうき本辰正月吉祥日羽賀村南藤右衛門〕〔南藤右衛門  
悴千藏〕〔羽賀村藤田佐助〕〔墨書〕〔四周雙邊。無界。一五行。下黒口。雙魚尾。内匡郭「二・三×一四・二糎」繪  
入。上二七丁中二六丁下一五丁。上卷冒頭及び下卷末に闕丁あり〕

四一七四

一册

### 改筭塵劫記 下巻

京油小路綾小路之南 權兵衛 元祿十五年（一七〇二）十月刊 闕丁一〇至一四 外寸「二五・六×一七・三糎」〔單  
邊。無界。六行。白口。無魚尾。内匡郭「三×一五・五糎」一七丁〕

四一七五

一册

### 嵯峨野物語一卷祢津松鷗軒記一卷

嵯二條良基著 襦襦津常安著

〔昭和期〕寫 外寸「二六・五×二九・一糎」〔二一行。嵯峨一三丁襦津二五丁。朱筆の書き入れあり〕

四一七六

一册

### 蹴鞠湖水記二卷

安濃渡草舎主人著

〔寛保四年（一七四四）刊〕後印 外寸「二二・一×一五・六糎」〔單邊。無界。八行。内匡郭「一七・四×一一・八糎」  
上二七丁下一五丁〕

四一七七

一册

### 武用辨略八卷

木下義俊編 負喧子校

江戸 岡田屋嘉七等 安政三年（一八五六）刊 積玉圃河内屋嘉兵衛藏板 外寸「三二・三×一五・五糎」印記「本間  
文庫」〔單邊。無界。一、二行。内匡郭「一八・八×一一・三糎」一卷四三丁二卷四五丁三卷三五丁四卷四〇丁五卷  
五六丁六卷三二丁七卷三七丁八卷五三丁〕

四一七八

八册

## 楠家傳七卷書七卷

洛下 萩生五郎左衛門・小河多右衛門 天和二年(一六八二)三月刊 外寸「二七・五×一九・二糎」(單邊。無界。  
一、二行。白口。單魚尾。内匡郭「二〇・八×一六・六糎」 一卷二五丁二卷二三丁三卷一四丁四卷九丁五卷一七丁六卷  
一二丁七卷一八丁)

四一七九  
一册

## 甲陽軍鑑二十卷

高坂昌信著

洛陽寺町誓願寺前 安田十兵衛 萬治二年(一六五九)刊 外寸「二六・二×一八・八糎」(單邊。無界。一、二行。白口。  
無魚尾。内匡郭「三・三×一七・四糎」)

四一八〇  
二〇册

## 五戰要解一卷五戰圖解一卷五戰圖解問答一卷

服部秀穎著

文化四年(一八〇七)六月柳原昌毅寫 外寸「二四×一六・五糎」 印記「永訓堂圖書記」(一、二行。要解一、二丁圖解  
九八丁問答三、二丁。奥書「右者梅津忠致公御傳來錄ヲ以小野寺道維公御傳授」 山岸氏識語「昭和廿一年重陽 於東  
横求之 甲陽軍鑑ニ關スルモノナリ」 朱筆の書き入れあり)

四一八一  
三册

## 壯計志

貞享二年(一六八五)六月寫 外寸「二七・六×一九・五糎」(八行。三、三丁。識語「武田軍理門流 貞享二乙丑六月下  
二日□□□五昂言貫於城州伏見書之」)

四一八二  
一册

## 鈴録二十卷

萩生徂徠(物茂)著

江戸 須原屋新兵衛等 安政四年(一八五七)五月刊 外寸「二五・七×一八・二糎」 印記「大西藏書」(單邊。無界。  
一、二行。内匡郭「一九・一×一三・六糎」)

四一八三  
二〇册

### 装劔奇賞七卷

稻葉新右衛門(通龍)著

浪華 天明元年(一七八二)序刊 芝翠館藏板 闕卷第五至第七 外寸「二二・二×一五・一糎」(左右雙邊。無界。  
一〇行。注文小字雙行。内匡郭「二七・一×一三・三糎」 一卷一五丁二卷三二丁三卷三六丁四卷三四丁)

四一八四  
四册

### 中古甲冑製作辨三卷

榊原香山著

〔寛政十三年(一八〇二)刊 闕卷上 外寸「二六×一八・三糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二〇・六×一四・六糎」  
中一至五、二四、二五丁下一至三、三九、四〇丁。落丁多數。奥付に發兌書林として「江都 須原屋茂兵衛・須原屋伊八」  
とある。書目「江都 須原屋茂兵衛・須原屋伊八」(半丁)

四一八五  
一册

### 馬引圖

伊勢平藏(貞丈)著

明和七年(一七七〇)四月伊勢平藏寫 外寸「二七・六×一九・六糎」 印記「本山文庫」(本山彦二) (一〇行。繪入。  
五丁。朱筆の頭注・書き入れあり)

四一八六  
一册

### 聖武天皇宸翰雜集

〔東京〕 佐佐木信綱 大正十年(一九二二)十月影印 外寸「二七・三糎」(底本「正倉院所藏天平三年九月八日聖武  
天皇宸翰本」 別册「聖武天皇宸翰雜集跋」内藤虎次郎著。六頁。「南都祕極第一集解説」佐佐木信綱等識。七頁。附「聖  
武天皇宸翰雜集解説」内藤虎次郎著。一枚)

四一八七  
卷子本一卷・別册解説二  
册・附録一枚

### 杜家立成雜書要略

東京 清雅堂 昭和三十六年(一九六二)四月影印 外寸「三五・六×二六・一糎」(題簽角書「光明皇后」 八至九行。  
一九丁。底本「光明皇后寫本」)

四一八八  
一册



金光明最勝王經註釋三卷

大正十五年(一九二六)跋影印 外寸「二七・四糎」(底本「井上侯爵所藏傳嵯峨天皇宸翰飯室切」)

綜藝種智院式并序

空海書

米澤 上杉神社社務所 大正四年(一九一五)影印 外寸「二九糎」(底本「羽前國米澤上杉神社所藏天長五年寫本」)

狸毛筆四管

(昭和期)影印 外寸「二七・四糎」(底本「醍醐寺所藏弘仁三年六月七日弘法大師寫本」)

寸松庵色帋

森川如春 昭和五年(一九三〇)複製 外寸「二四・七×一九・三糎」(五至八行。一六折。森川如春識語「この寸松庵色紙帖は明治四十二年の春高橋常庵ぬしものせられしときは十八枚なりきさるを其後諸家にてあらたに見出しことに寫し集めつるもの十一枚になりぬればそれくはへ一帖となして同好の人々にわかつものなり 大正十二年正月」(ペン書一枚))

野跡二卷 本阿彌切

(昭和期)複製 外寸「二六・八糎」(底本「慶安三年五月春耕齋隨應識小野道風寫本」)

道風繼色紙

(昭和期)複製 外寸「二四・一×一三・三糎」(書名は箱書による。粘葉裝。三至五行。五六枚)

四一八九  
卷子本三卷

四一九〇

卷子本一卷

四一九一

卷子本一卷

四一九二

折本一帖

四一九三  
卷子本二卷

四一九四

一册

野跡秋萩帖

小野道風筆

東京 西東書房 (大正七年(一九一八)複製 外寸「二三×一三・六糎」(粘葉裝。四行。二四枚。別冊「傳小野道風筆 野跡秋萩帖解説並釋文」二四頁)

四一九五

一冊・別冊解説釋文二冊

麗花集 香紙切

東京 書藝文化院 昭和四十一年(一九六六)六月複製 外寸「二七・五×一九・七糎」(三至八行。二四折。別冊「傳小大君筆 香紙切解説」山岸徳平・飯島春敬著。一七頁)

四一九六

折本一帖・別冊解説一冊

十番歌合 松籟切

東京 晚翠軒 昭和二十六年(一九五二)三月複製 外寸「二六糎」(底本「三井松籟氏舊藏傳藤原行成寫本」別冊「十番歌合解題」飯島春敬著。一二頁)

四一九七

卷子本一卷・別冊解題一冊

古今集 卷十七 曼殊院本

〔昭和期〕複製 外寸「一四・二糎」(底本「西京曼殊院所藏藤原行成寫本」 識語「行成卿筆古今集一卷 卷十七の内三十九首新院御本と稱する異本正安元年の奥書あり」(紙片一枚)

四一九八

卷子本一卷

倭漢朗詠抄 太田切二卷

藤原公任撰 國立國會圖書館支部靜嘉堂文庫編

東京 國立國會圖書館管理部 昭和二十九年(一九五四)五月複製 外寸「二五・五糎」(底本「靜嘉堂文庫所藏寫本」別冊「倭漢朗詠抄について」米山寅太郎稿。一二頁。「倭漢朗詠抄釋文」五頁)

四一九九

卷子本二卷・別冊解説釋文二冊

傳藤原行成筆枳色紙解説

飯島春敬著

東京 書芸文化院 昭和三十七年(一九六二)活版 外寸「一八・八×一六・七糎」(三〇頁。複製本「枳色紙」の別冊)

四二〇〇

一冊

白詩卷

東京 平凡社 昭和九年（一九三四）十一月影印 外寸「二五・九×一八・六糎」（和様手本大成第三卷。二四頁。底本「東京國立博物館所藏藤原行成寛仁二年寫本」附「相澤春洋先生臨行成白詩卷」三二丁）

六歌仙

〔京都〕 山田芸艸堂 〔昭和期〕複製 外寸「三〇・八×二二・二糎」（書名は表紙による。四至六行。五折。底本「宮脇賣扇庵所藏菅原爲恭寫本」）

和歌萬代帖 豫樂院眞跡

近衛家熙（豫樂院）書  
東京 西東書房 明治四十二年（一九〇九）十二月複製 外寸「二九×一〇・七糎」 印記「三餘珍藏」（四行。一七折）

金鈴餘響 〔本居宣長消息〕

佐佐木信綱編  
東京 竹柏會 昭和十二年（一九三七）六月複製 外寸「横本一九・一×二六・三糎」（八行。一二折。底本「竹柏園所藏寫本」）

扇 面

古賀精里書  
〔江戸中期〕寫 外寸「扇骨二八・八糎 骨一三本」（箱書表に「古賀精里先生扇面 田方南題」裏に「山岸先生清鑒 北野辰庵」と墨筆あり）

新居帖四卷

頼山陽書  
京都 林芳兵衛等 弘化四年（一八四七）五月刊 桃花庵藏 外寸「二七・四×一八糎」（無匡郭。四行。一卷三三丁）

四二〇一  
一册

四二〇二  
折本一帖

四二〇三  
折本一帖

四二〇四  
折本一帖

四二〇五  
扇子一面

四二〇六①  
四册

二卷三三丁三卷二二丁四卷二二丁

### 新居帖解

桑原元吉郎(鷺峯)著

京都 東塘亭越後屋治兵衛等 明治七年(一八七四)四月刊 外寸「二七・四×一八糎」(九行。三四丁。附「山陽先生年譜略」東塘亭井上永久誌。三丁半)

四二〇六②

一册

### 贈從四位佐久良東雄大人遺言狀

佐久良東雄書 吉田彌平編

東京 吉田彌平 昭和十二年(一九三七)五月複製 外寸「三三・七糎」(書名は題簽による。別冊「贈從四位佐久良東雄大人略傳」八頁)

四二〇七

卷子本一卷・別冊略傳一册

### 乃木將軍餘香

乃木將軍遺墨遺品記念展覽會編

東京 三越吳服店 昭和二年(一九二七)活版 外寸「二六・六×一九糎」(五五丁)

四二〇八

一册

### 一村翁假字

新保一村書

〔明治期〕寫 外寸「三三・二糎」(書名は書外題による。山岸氏識語「右一卷者新保一村翁真蹟歌反故也翁歿後整理反故而得本書裝幀焉」)

四二〇九

卷子本一卷

### とよのとし

尾上柴舟著

東京 日本書道教育學會 昭和四十年(一九六五)三月影印 外寸「一九×一六・八糎」(ちらし書。一八折。別冊「とよのとし釋文」堀江知彦著。五頁)

四二一〇

折本一帖・別冊釋文一册

## 宸筆集二卷

京都府編

京都 京都府 大正五年（一九一六）七月影印・活版 外寸「二八・二×二五・六糎」（大和綴。上册六〇丁下冊五〇丁）

## 宸翰集 東山御文庫藏

京都 小林寫眞製作所 昭和二年（一九二七）複製 外寸卷子本「二八・八至三三糎」折本「一九・六×一五・二糎」線裝

本「二九・二×三八・二糎」（底本「東山御文庫所藏宸翰」三二點）「宮內省藏宸翰集解說」三四八頁

內容 「嵯峨天皇宸翰李嶠雜詠殘卷」、「宇多天皇宸翰周易抄」、「醍醐天皇宸翰白居易詩句」（以上、卷子本）、「後鳥

羽天皇御製和歌三十首御色紙」（折本）、「後宇多天皇宸翰御消息等」、「後水尾天皇宸翰百人一首御補筆并御奧書等」、

「後櫻町天皇宸翰御製和歌御懷紙等」（以上、線裝本）別冊「印記集」（折本）

## 禪苑天皇紀 墨寶

伊藤敬宗編

京都 禪學會 昭和四年（一九二九）七月影印 外寸「橫本二五・八×三七・六糎」（一一七頁。底本「慧日山常樂菴他

所藏寫本」別冊「禪苑天皇紀 墨寶解說」三四頁）

## 鸞鳳帖

小林正直編

東京 小林正直 昭和十五年（一九四〇）五月複製 外寸「三二・七×三三・四糎」（列帖裝。二二枚。別冊「鸞鳳帖解

說」八四頁）

## 先儒遺墨帖 孔子二千四百年祭記念

斯文會編

東京 法書會出版部 大正十二年（一九二三）四月影印 外寸「三三・二×三二・六糎」（八四丁）

四二二一

二册

四二二二

卷子本三卷・折本一帖・

線裝本三册・別冊折本一

帖・解說一册

四二二三

一册・別冊解說一册

四二二四

一册・別冊解說一册

四二二五

一册

### 先賢遺芳

京都府編

京都 京都府教化團體聯合會 昭和三年(一九二八)一月活版 外寸「三〇・七×二二・五糎」(大和綴。二二三頁)

### 先哲遺墨集 附 肖像及遺物

山崎楠岳編

廣島 廣島市役所内頼山陽文德殿建設翼贊會 昭和八年(一九三三)三月影印・活版 外寸「三八・二×二六・四糎」

(乾一三二丁坤八八丁)

### 朝陽閣集古

〔大藏省印刷局〕〔明治十六年至十七年(一八八四)〕複製 外寸折本「三〇・四×二四・三糎」卷子本「三〇・五糎」(道

風書一〇折東大寺二五折長谷寺一九折。底本「東大寺等所藏寫本」)

内容 「朝陽閣集 道風書 保延元年十月廿二日」、「朝陽閣集 東大寺所傳詩序 慶雲四年七月廿六日」、「朝陽閣

集 菅原道真長谷寺緣起文 寬平八年二月十日(以上、折本)、「樂毅論 夏侯泰初 天平十六年十月三日 藤三娘、

杜家立成雜書要略、圓珍唐國通路券」、「日本國大宰府延曆寺圖珠」、「何等事候： 重盛」(以上、卷子本)

### 慶安古筆手鑑

稱硯子著

京押小路寺町西入町 西田加兵衛・大坂堺筋平野町 硯屋・江戸南傳馬町 紀伊國屋 慶安四年(一六五二)八月刊

外寸「三九・七×二八・五糎」(書名は書外題による。一〇六丁)

### 月影帖三卷

吉田知光・田中親美編

〔東京〕〔田中槃藩堂〕〔明治四十一年(一九〇八)七月〕影印 外寸「四五・八×三二糎」(書名は箱書による。大和

四二二六

一册

四二二七

二册

四二二八

折本三帖・卷子本三卷

四二二九

一册

四三二〇

三册

綴。上册三七枚中册三七枚下册四三枚)

## ひくらし

吉田知光編

大正十一年(一九二二)六月跋影印 外寸「三六・四×二七・七糎」(書名は題簽による。列帖装。二四枚)

## 落葉集三卷

博文堂編

大阪 博文堂 大正十四年(一九二五)五月複製 外寸「三一・六×三七・一糎」(大和綴。上二六枚中二七枚下一五枚)

内容 上「後鳥羽院天皇宸筆熊野懷紙至後撰和歌集烏丸切」、中「三十六人集其一貫之集上壹帖至其六重之集壹帖の四」、下「歌合二條殿切至熊野懷紙壹卷其三源家長朝臣懷紙」

## 月臺

田中親美編

東京 倉田實 大正十四年(一九二五)十月影印 外寸「三七・九×二八・四糎」(大和綴。六六枚)

## 夏蔭帖二卷

愛知縣大和村 敬和會 大正十五年(一九二六)十月影印 外寸「三九・二×二八・四糎」(書名は目次首による。大和綴。上七五點下七六至一二三〇點)

## ちとせの友

關戸守彦編

東京 尚古會 昭和三年(一九二八)十一月影印 外寸「三八×二八・三糎」(書名は題簽による。列帖装。圖版二二〇頁)

四三二一

一册

四三三二

三册

四三三三

一册

四三三四

一册

四三三五

一册

濤花集二卷

恩賜京都博物館編

京都新町 便利堂コロタイプ印刷所 昭和四年(一九二九)八月影印 外寸「三七・八×三〇・二」(大和綴。上  
八三枚下六八枚)

四三二六

二册

まつかせ

東京 東京美術書院 昭和十五年(一九四〇)十一月影印 外寸「三六・五×二七・三」(三一丁)

四三二七

一册

谷みつ

森川勘一郎(如春庵)編

名古屋 宇治久商店 昭和十六年(一九四一)三月影印 闕第三九番第五六番 外寸「四〇・五×二九・三」(七九  
枚。別册「谷みつ(解説)」(一五丁)

四三二八

一册・別册解説一册

蘭葉集

田山信郎編

京都 便利堂 昭和十八年(一九四三)三月影印 外寸「四五・七×三四・四」(五五折。別册「蘭葉集解説」田山信  
郎著。六五頁)

四三二九

折本一帖・別册解説一册

養老

東京 文雅堂 昭和二十七年(一九五二)十一月影印 外寸「四一・×二九・六」(書名は題簽による。列帖装。四六  
枚。底本「加藤正治所藏寫本」)

四三三〇

一册

書苑 第一至第三號

東京 法書會・大阪 法書會大阪支部 明治四十四年十一月至明治四十五年(一九二二)一月活版 外寸「三八×

四三三一



二六・三糎」(二號一四頁二號一五頁三號一二頁)

### 手加々美 第一輯至第三〇輯

東京 尙古會 昭和三年六月至昭和六年(一九三二)七月影印 闕卷第二輯 外寸「四一・二×三〇・四糎」(書名は袋題による。三三四枚。別冊「手加々美解説」鈴木董著。上一四五頁下一一八頁。索引二九頁)

### 鏡 草

佐佐木信綱編

東京 竹柏會 昭和七年(一九三二)九月影印 外寸「三四×二六・五糎」(書名は外題による。列帖裝。四一枚。附

「鏡草解説」佐佐木信綱識。三丁)

### 和歌古短冊影譜十輯

和歌古短冊影譜刊行會編

京都新町 和歌古短冊影譜刊行會 昭和七年四月至昭和八年(一九三三)五月複製 外寸「四二・五×二七・二糎」

(一輯一〇枚二輯九枚三輯一〇枚四輯一〇枚五輯一〇枚六輯一〇枚七輯一〇枚八輯九枚九輯一〇枚一〇輯一〇枚。

第一輯のみ複製短冊十枚付す)

### 日本名筆全史 存卷第一集第二集

飯島春敬編

東京 井上恒一 昭和二十五年九月至昭和二十六年(一九五二)三月影印 外寸「三七×二六・二糎」(二集一五枚二

集一五枚。別冊(第一集説明書)二〇頁(第二集説明書)三三頁)

### 一品經和哥懷紙

藤原頼輔等撰 貴重圖書複製會編

三册

四三三二

三〇袋・別冊解説索引三册

四三三三

一册

四三三四

一〇包

四三三五

二袋・別冊説明書二册

四三三六

東京 貴重圖書複製會 昭和十四年(一九三九)二月影印 外寸「三九・三×二九糎」(一五折。附「一品經和歌懷紙解説」佐佐木信綱識。三頁)

### 萬葉手鑑

佐佐木信綱編著

京都 京都印書館 昭和二十二年(一九四七)七月活版 外寸「二五・五×一八・一糎」(一二三頁)

### 布留鏡 〔第一卷〕第一號至第三卷第六號

古筆了任著

大阪 古鏡社 〔大正十四年十月至昭和二年三月〕 昭和三年四月再版復活號、昭和四年七月至昭和五年(一九三〇)

六月活版 外寸「二三・三×一五・九糎」 印記「春翠文庫」「鬼洞文庫」(出口神曉)

### 古文書集

伊木壽一編

東京 雄山閣 昭和九年(一九三四)一月影印 外寸「三〇・三×二〇・四糎」(日本名筆全集之一。六二頁。附「古文書集解説」伊木壽一著。二〇頁)

### 黄檗山聯額集

京都 其中堂 昭和十年(一九三五)四月活版 外寸「二六・七×一六・二糎」(書名は題簽による。福山朝丸臨書。

二七丁)

### 新撰類林抄 卷第四

〔瑞穂會〕 〔昭和十八年(一九四三)複製 外寸「二七・八糎」

折本一帖

四三三七

一册

四三三八

一八册

四三三九

一册

四二四〇

一册

四二四一

卷子本一卷

## 百聯抄

細井知慎(廣澤)書

江戸日本橋 戸倉屋喜兵衛 享保十九年(一七三四)八月刊 外寸「二七・五×一八・二」  
「印記」玉井氏藏書」(題  
簽「百聯抄解」二七丁。陰刻。「生白堂石刻目錄」平丁)

四二四二

一册

## 百聯抄

細井知慎(廣澤)書

〔昭和期〕複製 外寸「二七・二×一八・二」  
「外題」百聯抄解」二七丁。用四二四二番電子式複製

四二四三

一册

## 夜鶴庭訓抄

世尊寺伊行(撰)

田中塊堂〔昭和期〕複製 外寸「二七・五×一八・六」  
「七行。一四折。底本「青蓮院所藏寫本」附「青蓮院御藏」夜  
鶴庭訓抄」に就いて「田中塊堂著(帝塚山學院大學研究論集第六集抜刷)一〇頁)

四二四四

折本一帖・附一册

## 入木道聞書 持明院家

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・五×一七・四」  
「印記」吉澤文庫」(吉澤義則) (書名は書外題による。假綴。八行。注  
文雙行。二八丁)

四二四五

一册

## 假字類纂

關根爲寶(江山)編

東京 早矢仕民治 明治三十年(一八九七)六月再刊 外寸「二五・六×一八・三」  
「吉澤」(墨書) (四周雙邊。無  
界。四行。二八丁。底本「嘉永七年江戸英文藏刊本」)

四二四六

一册

## 畧可法二卷

市河三亥(米菴)編 市河三千(恭齋)縮臨

四二四七

江戸 青藜閣須原屋伊八 文政十年(一八二七)跋刊 外寸「二七・四×一八・三糎」 印記「蔦廼家文庫」(千葉葛野)  
(四周雙邊。無界。上三九丁下四三丁。見返に「小山林堂開雕」とある)

### 蟬小川 女筆

長谷川妙鉢書

大坂心齋橋 澁川清右衛門等 [江戸中期]刊 外寸「二六・六×一九・三糎」(散らし書き。上三三丁下一三丁。[筆海子長谷川妙鉢正筆板行目録 浪花 稱航堂板]半丁)

### 東江先生書話二卷附録一卷

澤田東江述 橋圭橋編録

大坂心齋橋 吉文字屋市兵衛・江戸日本橋 吉文字屋次郎兵衛 明和六年(一七六九)九月刊 外寸「二六・九×一八・一糎」(四周雙邊。有界。九行。上二四丁下二二丁附二〇丁)

### 翰林必用筆道大意

大塚完齋撰述

大阪 河内屋吉兵衛等 明治三年(一八七〇)四月刊 外寸「二五・六×一八糎」(無匡郭。九行。一六丁。彫工[山崎庄九郎])

### 本朝能書傳二卷

橘行精編

大坂 河内屋吉兵衛等 安政三年(一八五〇)七月刊 外寸「二七・二×一八・九糎」(無匡郭。一〇行。上二四丁下二八丁)

### 天朝墨談五卷

五十嵐篤好著

二册

四二四八

二册

四二四九

三册

四二五〇

一册

四二五一

二册

四二五二

東都 青黎閣須原屋伊八等 安政六年（一八五九）九月刊 外寸「二六・四×一八・五糎」〔單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・三×一四・二糎」 一卷三五丁二卷二九丁三卷三七丁四卷三三丁五卷三〇丁〕

### 和漢朗詠集二卷 山城切

伊藤壽一・鹿嶋正二編

京都 里見忠三郎 昭和十四年（一九三九）四月影印 外寸「二六・二×一四・三糎」〔列帖裝。六行。上五六枚下五五枚。底本「津守家舊藏平安後期寫本」 別冊「傳藤原定賴筆和漢朗詠集山城切解說」二三三頁〕

### 倭漢朗詠集

〔昭和期〕複製 外寸「二八・二×一九・二糎」〔列帖裝。六行。春一九枚夏九枚秋一九枚冬六枚雜六枚〕

### 倭漢朗詠集二卷

〔昭和期〕複製 外寸「三〇・二糎」〔上卷春・立春下卷雜・風〕

### 集古浪華帖五卷 附浪華帖假名二卷

森川世黃（竹窓）編

京都柳馬場御池之南 文石堂圖書舖 文政二年（一八一九）序刊 外寸「三五・六×二三・五糎」 附「三〇・三×二一・五糎」〔大和綴。無匡郭。八至一一行。集古一卷一九丁二卷二三丁三卷一九丁四卷一八丁五卷一二丁。附上二四丁下二二丁〕

### 春日權現驗記卷

〔昭和期〕寫 外寸「三七・二×五七八・六糎」〔マクリ〕

五册

四二五三

一册・別冊解說一册

四二五四

一册

四二五五

卷子本二卷

四二五六

七册

四二五七

一枚

〔春日權現験記卷〕 卷第四

〔昭和期〕複製 外寸「四一・五糎×二二七・八糎」(マクリ)

天神縁起

東京 審美堂書院 昭和九年(一九三四)六月複製 外寸「二九糎」(書名は題簽による。複製刊記の書名「北野天神縁起」底本「武藤家所藏寫本」別冊「異本天神縁起考」秋山光夫著 「異本天神縁起詞書」秋山光夫校。六八頁)

北野天神縁起九卷

〔東京〕〔大塚巧藝社〕〔昭和二年至三年(一九二八)〕複製 官幣中社北野神社藏版 外寸「四一糎」(底本「北野神社所藏慶長第四夷則七日識寫本」)

北野天神縁起九卷

山田新一郎編

東京 大塚巧藝社 昭和六年(一九三一)影印 外寸「四七・一×三三・二糎」(一卷二八枚二卷二四枚三卷二枚四卷二四枚(關一七枚目)五卷二七枚六卷二六枚七卷二六枚八卷三四枚九卷一五枚。底本「北野神社所藏慶長第四夷則七日識寫本」)

譽田宗廟縁起圖三卷

〔大阪〕 譽田八幡宮 大正十一年(一九二二)影印・活版 外寸「二六・五×三〇・二糎」(三二折。底本「譽田八幡宮所藏永享五年奥書寫本」)

日本繪卷全集 第二輯第四輯第五輯第八輯

東京 東方書院 昭和三年十二月至昭和五年(一九三〇)六月活版 外寸「横本一九・五×二六・五糎」(大和綴)

四二五八  
一枚

四二五九  
卷子本二卷・別冊解説一冊

四二六〇  
卷子本九卷

四二六一  
九袋

四二六二  
折本一帖

四二六三

内容 「鑑真和尚東征傳繪卷」唐招提寺所藏、「融通念佛緣起繪卷」清涼寺所藏、「法然上人繪傳」増上寺所藏、「拾遺古德傳上」常福寺所藏、「石山寺緣起繪卷下」石山寺所藏

### 天狗草紙 東寺醍醐高野の巻

土佐光信畫

東京 大和繪同好會 大正十一年（一九二二）複製 外寸「三〇糎」  
（書名は箱書による。底本「帝室博物館所藏寛文八年十月狩野探幽識寫本」）

### 石山寺繪四卷

〔昭和期〕複製 外寸「三三糎」  
（底本「石山寺所藏寫本」）

### 石山寺緣起 第五卷

東京 野口聚成堂 昭和十六年（一九四一）五月複製 外寸「三三・九糎」  
（底本「石山寺所藏寫本」）

### 粉河寺緣起

粉河寺緣起刊行會編

東京 粉河寺緣起刊行會 大正七年（一九一八）十一月複製 外寸「三〇・四糎」  
（底本「粉河寺所藏平安後期寫本」）

### 粉河寺緣起

東京 大塚巧藝社 昭和十七年（一九四二）十二月複製 外寸「三〇・四糎」  
（底本「粉河寺所藏平安後期寫本」）

### 信貴山緣起三卷

四册

四二六四

卷子本一卷

四二六五

卷子本四卷

四二六六

卷子本一卷

四二六七

卷子本一卷

四二六八

卷子本一卷

荒木矩編

京都 藝艸堂 昭和二年(一九二七)二月複製 外寸「二九・二糎」(底本「信貴山總本山朝護孫子寺所藏寫本」) 別冊  
「信貴山緣起註釋」荒木矩稿。一三三頁

### 道成寺緣起二卷

鹽路純久編

和歌山縣矢田村 道成寺緣起出版部 大正五年(一九一六)十二月複製 外寸「二一・四糎」(底本「道成寺所藏室町  
期寫本」)

### 融通念佛緣起繪二卷

〔大正期〕模刻 桑名藏板 外寸「三三・八糎」〔六喫園藏〕(墨書) (底本「應永二十一年五月六日識寫本」) 刻工「田  
中畦道」

### 華嚴緣起六卷

東京 藝術資料刊行會 大正十一年(一九二二)五月至九月複製 闕卷第一 外寸「三二糎」(底本「高山寺所藏鎌倉  
期寫本」)

### 傳教大師御繪傳三卷

土屋義房筆  
大正十一年(一九二二)八月跋複製 外寸「三一糎」(書名は箱書による。底本「比叡山延曆寺所藏寫本」)

### 法然傳繪詞畧 美術寶鑑十卷

田中有美編  
田中有美 大正九年(一九二〇)二月影印 外寸「横本二五・一×三七・二糎」(各卷二〇枚。底本「田中文庫所藏寫本」  
の法然傳繪詞畧を部分抽出したもの) 發賣者として「東京美術館・藝艸堂」とあり

四二六九

冊  
卷子本三卷・別冊註釋一

四二七〇

卷子本二卷

四二七一

卷子本二卷

四二七二

卷子本五卷

四二七三

卷子本三卷

四二七四

洋裝一〇冊



國寶善財童子繪卷

東京 大和繪同好會 昭和十二年(一九三七)三月複製 外寸「三一・一」 (書名は箱書による。底本「東大寺所藏寫本」)

四二七五

卷子本一卷

〔直幹申文繪卷〕

土佐光顯畫 慶雲詞書

四二七六

卷子本一卷

〔東京〕 大和繪同好會 昭和十二年(一九三七)三月複製 外寸「三〇・四」 (底本「酒井伯爵家所藏寫本」)

天狗草紙考察ほか

梅津次郎著

四二七七

洋裝二冊(合綴一冊)

昭和十一至十三年(一九三八)活版 外寸「三〇・五×二二・七」

内容 「天狗草紙考察」「天狗草紙詞書」(雜誌「美術研究」第七十四號抜刷)、「傳三井寺卷 根津嘉一郎氏藏(詞書)」(雜誌「美術研究」第五十號抜刷)

地獄草紙三卷

東京 大和繪同好會 大正十五年十月至昭和三年(一九二八)二月複製 外寸「二六・一」 (書名は題簽による。裂

裝)

四二七八

卷子本三卷

又

東京 大和繪同好會 昭和二年四月至昭和三年(一九二八)二月複製 外寸「二六・三」 (書名は書外題による。卷

四二七九

卷子本三卷

一は普及版。與四二七八番卷二卷三同版)

餓鬼艸子 河本家本

東京 大和繪同好會 大正八年(一九一九)八月複製 外寸「二七・三」 (書名は箱書による。底本「東京國立博物

四二八〇

卷子本一卷

館所藏寫本」 詞書闕)

## 六道繪卷解説

福井利吉郎著

東京 大和繪同好會 昭和六年(一九三二)五月活版 外寸「一九・八×一五・三糎」(一一三頁)

四二八一  
洋裝一冊

## 能惠法師繪詞

美術研究所編

東京 美術研究所 昭和十六年(一九四二)三月複製 外寸「三一糎」(美術研究資料第十輯。底本「廣隆寺所藏寫本」  
發賣者「京都 便利堂」別冊「能惠法師繪詞解説」二〇頁)

四二八二  
卷子本一巻・別冊解説一冊

## 西行記

東京 蜂須賀家 昭和九年(一九三四)十一月複製 外寸「三二糎」(書名は箱書による。底本「蜂須賀侯爵家舊藏寫本」  
發賣者「京都 便利堂」山岸徳平氏メモに「現在高松宮家」とある)

四二八三  
卷子本一巻

## 西行物語繪卷

〔昭和九年(一九三四)十月〕複製 外寸「三〇・二糎」(題簽「西行物語」 底本「蜂須賀家舊藏高松家所藏寫本」 卷末  
に「隆土佐經隆筆西行物語繪卷 昭和九歲十月中沱菜刀藏」の墨書あり)

四二八四  
卷子本一巻

## 西行物語

東京 大和繪同好會 昭和二年(一九二七)二月複製 外寸「三〇・三糎」(書名は題簽による。底本「徳川侯爵家所  
藏寫本」)

四二八五  
卷子本一巻

## 後三年軍記三巻

住吉弘定畫

〔江戸中期〕寫 外寸「三八・六糎」(書名は書外題による。白描一部彩色。詞書闕)

四二八六  
卷子本三巻

## 後三年合戦繪詞三卷

飛騨守惟久畫 土御門寄人仲直朝臣・持明院左少將保脩朝臣・世尊寺從三位行尹卿詞書

京都 藝艸堂 昭和二年(一九二七)複製 外寸「三〇・二糎」(書名は箱書による。底本「東京國立博物館所藏室町期寫本」)

四二八七

卷子本三卷

## 平治物語繪詞三卷

住吉慶恩畫 藤原家隆詞書

東京 考古學會 明治四十四年(一九一一)三月至九月複製 外寸「二・五糎」(底本「上卷米ポストン博物館・中卷岩崎小彌太・下卷松平直亮所藏寫本」)

四二八八

卷子本三卷

## 平治物語〔繪卷〕 三條殿燒討卷

東京 大和繪同好會 昭和四年(一九二九)四月複製 外寸「三・三糎」(書名は題簽による。底本「ポストン博物館所藏寫本」)

四二八九

卷子本一卷

## 蒙古襲來繪詞二卷

東京 東洋文庫 昭和七年(一九三二)四月複製 外寸「三・九糎・四糎」(東洋文庫叢刊第二。書名は箱書による。底本「宮内廳所藏永仁元年二月識寫本」)

四二九〇

卷子本二卷

## 吉備大臣入唐繪詞

美術研究所編

東京 美術懇話會 昭和九年(一九三四)一月複製 外寸「三・二糎」(美術研究資料第二輯。書名は箱書による。底本「ポストン美術館所藏寫本」)

四二九一

卷子本一卷

## 長谷雄草子

東京 大和繪同好會 昭和七年(一九三二)六月複製 外寸「二・九糎・八糎」(書名は題簽による。底本「細川侯爵家所

四二九二

藏寫本)

伴大納言繪詞三卷

東京 大和繪同好會 (昭和七年(一九三二)複製 外寸「三一・一纏」 (書名は題簽による。底本「酒井伯爵家所藏寫本」)

卷子本一卷

四二九三

卷子本三卷

伴大納言繪詞二卷

考古學會編

東京 考古學會 明治四十三年(一九一〇)十二月複製 外寸「一五・二纏」 (書名は題簽による)

四二九四

卷子本二卷

彦火々出見草紙四卷

春日光長畫 藤原教長詞書

東京 田中文庫 大正十三年(一九二四)十月影印 外寸「横本一八・五×二六・五纏」 印記「奥村商店所藏之章」 (書名は題簽による。底本「住之江文庫所藏寫本」)

四二九五

四册

將軍塚繪卷

覺猷筆

東京 大塚巧藝社 昭和十八年(一九四三)十一月複製 外寸「三一・一纏」 (書名は箱書による。底本「高山寺所藏寫本」)

四二九六

卷子本一卷

紫式部日記繪卷 森川本

〔紫式部著〕

東京 東京美術書院 昭和十三年(一九三八)十一月複製 外寸「二〇・七纏」 (書名は箱書による)

四二九七

卷子本一卷

枕草子

清少納言著

東京 大和繪同行會 大正十五年(一九二六)十二月複製 外寸「二五・五糎」(底本「淺野侯爵家藏寫本」)

### 繪師草子

東京 大塚巧藝社 (昭和期)複製 外寸「三一糎」(附「帝室御物(模寫)」「繪師の草紙」(切抜紙片一枚))

### 源氏物語畫卷

堀鉞之亟編

東京 國華社 大正四年(一九一五)十一月複製 外寸「二二・九糎」(不二子ニおくる 早苗)(墨書)(別冊「源氏

物語畫卷略解」五丁。山岸氏識語「不二子ハ高田早苗夫人なり 箱の蓋の題字も高田早苗氏筆也 昭和四〇年一月廿

六日黒田氏より頂戴す 前島家系圖 不二子は前島密長女」)

### 隆能源氏繪詞 益田家本

(昭和期)影印 外寸「二四・八×一七・七糎」(二〇折)

### 源氏物語繪卷

櫻井清香編

名古屋 徳川美術館 昭和二十七年(一九五二)三月活版 外寸「二〇・七×一四・八糎」(五八頁)

### 物語繪卷

東京 大和繪同好會 昭和七年(一九三二)二月複製 外寸「二六・五糎」(書名は箱書による。底本「徳川侯爵家所

藏寫本」)

四二九八

卷子本一卷

四二九九

卷子本一卷

四三〇〇

卷子本三卷・別冊略解一

冊

四三〇一

折本一帖

四三〇二

洋裝一冊

四三〇三

卷子本一卷

又

(與四三〇三番同版)

豊明繪草子

後光嚴院筆

東京 育徳財團 昭和十一年(一九三六)一月複製 外寸「二・八糎」(尊經閣叢刊之一。書名は箱書による。底本「前田侯爵家所藏寫本」別冊「豊明繪草子解説」田中一松著。三八頁)

四三〇四  
卷子本一卷

四三〇五

卷子本一卷・別冊解説一冊

平家公達草子

(昭和期)寫 外寸「二・八・二糎」 印記「平松藏」(底本「徳川侯爵家所藏寫本」 詞書のみ)

四三〇六  
卷子本一卷

男衾三郎繪卷

貴重圖書複製會編

東京 貴重圖書複製會 昭和十七年(一九四二)八月複製 外寸「二・九糎」(底本「淺野侯爵家所藏寫本」 別冊「男衾三郎繪卷解説」山田孝雄著。一一頁)

四三〇七

卷子本一卷・別冊解説一冊

福富草帋

(今田萩園) (明治期)補寫 外寸「三・四・二糎」(前半部彩色繪後半部白描。詞書あり。色指定あり)

四三〇八  
卷子本一卷

福富草紙二卷

(昭和期)複製 外寸「二・四・二糎」(書名は題簽による)

四三〇九  
卷子本二卷

四十二物諍 末吉家本

昭和五年(一九三〇)一月山岸德平寫 外寸「四一糎」(白描畫。山岸氏識語「四十二物諍一軸末吉家藏本也」)

櫻梅草子

堀口蘇山編

東京 藝苑巡禮社〔昭和九年(一九三四)複製 外寸「二二・二糎」(附「櫻梅草子略解 昭和九年十月神嘗祭の朝  
晨諦觀樓上にて」堀口蘇山。二枚)〕

熊野本地 杭全神社

昭和五年(一九三〇)一月山岸德平寫 外寸「四一糎」(山岸氏識語「熊野本地一軸杭全神社藏本昭和四年大呂借覽翌  
五年太簇上浣書寫焉 甦草子四十二物諍熊野本地三部同時借覽也」 白描に朱の加筆あり)

三論繪詞

一條兼良詞書

〔昭和期〕寫 外寸「二七・二×七〇・一・三糎」(未表裝卷子。附「三論繪詞とその本文」山岸德平著。一〇頁(中央大  
學國文「第六号抜刷) 「餅酒論の系譜」古川瑞昌著。一二頁(「風俗」第十卷第二・三合併號抜刷)〕

山中常盤十二卷

岩佐又兵衛畫 「山中常盤」刊行會編

東京 第一書房内「山中常盤」刊行會 昭和四年(一九二九)複製 外寸「三三・五糎」(底本「長谷川巳之吉氏所藏寫  
本」別册「岩佐又兵衛作山中常盤雙紙全十二卷詞書」一册 「岩佐又兵衛の今昔 又兵衛論争と發掘の經緯」四七頁。  
色紙「卷のはしめ 從三位安」一枚。短册「臺北帝國大學へ赴くとて」「しらくもの」二枚)

露殿物語

四三一〇  
卷子本一卷

四三一

卷子本一卷

四三二

四三二二

卷子本一卷

四三三

四三三三

一枚・抜刷二册

四三二四

卷子本一二卷・別册詞書・

解説二册・色紙一枚・短

册二枚

近世文學書誌研究會編

東京 勉誠社 昭和四十九年(一九七四)一月影印 外寸「横本三七・五三・五厘」(近世文學資料類聚別卷。八二枚。)

底本「逸翁美術館所藏寫本」 附「露殿物語解説」岡田利兵衛、安田富貴子著。四枚)

### 小野御幸繪卷

東京 藝術資料刊行會 大正十一年(一九二二)八月影印 外寸「二八・八厘」(底本「東京美術學校所藏寫本」)

### 隨身庭騎繪卷

東京 大塚巧藝社 昭和七年(一九三二)四月複製 外寸「二八・七厘」(書名は箱書による。底本「田安家舊藏大倉

喜七郎所藏寫本」 附「隨身庭騎繪卷に就いて」丸尾彰三郎著。一枚)

### 年中行事繪卷考十五卷

田中有美編

東京 田中文庫 大正九年(一九二〇)影印 外寸「横本二六・八×三九厘」(底本「住吉家所藏寫本」 附「年中行事

繪卷物再興趣意書」田中有美著)

### 住吉摸本年中行事繪卷十六卷別本一卷

藤原雅經詞書 土佐光長書

東京 古典藝術刊行會 昭和三十四年(一九五九)八月影印 外寸「三二・五厘」(底本「住吉家舊藏田中親美所藏寫

本」 別冊「住吉摸本年中行事繪卷解説」鈴木敬三著。一〇一頁(同書一部)

### 馬醫繪卷

東京 大和繪同好會 昭和六年(一九三二)十二月複製 外寸「二九・七厘」(底本「河杉家舊藏東京國立博物館所藏

文永四年正月西阿奧書寫本」)

四三二五

洋裝一册

四三二六

卷子本一卷

四三一七

卷子本一卷

四三一八

洋裝一五册

四三一九

卷子本一七卷・別冊解説

二册

四三二〇

卷子本一卷



## 伊勢名所〔歌合〕

冷泉爲家判詞

東京 藝術資料刊行會 大正十三年（一九二四）四月複製 外寸「三三・二」  
（書名は箱書による。底本「伊勢徴古農業館所藏寛永壬申亞相藤奥書寫本」）

四三二一

卷子本一巻

## 中尊寺經繪

東京 大和繪同好會 昭和十三年（一九三八）十月影印 外寸「三五・七×二八・二」  
（列帖裝。一三五枚）

四三二二  
一册

## 平家納經

東京 大和繪同好會 大正八年（一九一九）十二月影印 外寸「橫本三四・三×五〇」  
闕丁第七（八九枚。底本「嚴島神社所藏平安期寫本」）

四三二三  
一帙

## 扇面古寫經

恩賜京都博物館編

〔京都〕〔便利堂印刷所〕〔昭和五年（一九三〇）十二月複製 外寸「二四・二」〕  
（書名は箱書による。一八折。底本「恩賜京都博物館所藏寫本」 附「扇面古寫經」彩色複製一枚。山岸氏識語「博物館藏扇面寫經」）

四三二四  
折本一帖

## 扇面古寫經〔下繪〕

〔昭和期〕刊 外寸「橫本三六・二×四八・五」  
（八折。木版畫表一四枚裏一四枚貼付）

四三二五  
折本一帖

## 扇面古寫經

奥田慈應編

大阪市天王寺區 四天王寺 昭和十年（一九三五）十月影印 外寸「橫本四四・四×六二・二」  
（五一枚。底本「四天王寺」）

四三二六  
一册

王寺所藏寫本)

### 應舉名畫說

恩賜京都博物館編

京都 小林寫眞製版所出版部 昭和十一年(一九三六)十二月影印 外寸「四四・二×二九・五糎」(書名は目次首に  
よる。大和綴。一二三枚)

四三二七  
一册

### 東海道五十三次

歌川廣重畫

東京 歴史畫報社 昭和八年(一九三三)三月刊 外寸「横本二二・二×三〇・五糎」(二五折)

四三二八  
折本一帖

### 木版畫源氏五十四帖 第一集至第五集

東京 内外タイムス社 (昭和期)木版 外寸「横本二五・八×三五・一糎」(十枚。附源氏物語目錄一枚。彩色木版畫。  
卷順不同。各卷に説明(英文併記)あり)

四三二九  
五袋

### 宸影光暉

京都市史編纂事務局編

京都 京都市史編纂事務局 昭和十五年(一九四〇)三月影印 外寸「三八・二×三〇糎」(大和綴。十四枚。各畫の  
説明十四枚跋一枚(活版)。京都市史編纂創始記念「皇室と京都」特別展観圖録)

四三三〇  
一册

### 菅原道眞公御神影

堂本印象畫 北野天滿宮千五十年大萬燈祭奉贊北野會編

京都 京都版画院 (昭和二十七年)印 外寸「四六・六×三三・三糎」(疊紙入)

四三三一  
一枚

### 日本肖像畫圖録

奈良帝室博物館編

京都 便利堂出版部 昭和十三年(一九三八)十二月影印 外寸「三八・五×二九・六糎」(一一一枚。別冊「日本肖像畫圖錄解說」九六頁)

### 國文學名家肖像集

永井如雲編

東京 博美社 昭和十四年(一九三九)五月活版 外寸「二六×一九糎」(大和綴。七二枚。附「小傳」二五頁)

### 蜀山人判取帳

太田南畝(蜀山人)〔著〕 山田清作編

〔東京〕米山堂 昭和六年(一九三二)九月複製 外寸「横本一四・五×二〇・三糎」(五六丁。底本「安田文庫所藏寫本」附「判取帳筆者小傳」三村竹清著。七丁)

又

(與四三三四同版)

### 當世模様本

〔明治期〕寫 外寸「二七・五×二〇糎」(書名は題簽による。一八枚)

### 世々のみけし

江馬務、宇都宮誠太郎共著

京都 今吹天摩堂 昭和二年(一九二七)十月活版 外寸「二九×一九・七糎」(書名は題簽による。彩色繪入。十五折)

四三三二

一帙・別冊解說一冊

四三三三

一冊

四三三四

一冊

四三三五

一冊

四三三六

一冊

四三三七

折本一帖

### 日本工業史對照圖

横井時冬編 石本秋園摹寫

東京 吉川半七 明治三十一年(一八九八)刊 外寸「三七×二五・五糎」(二三折。刻工「木村徳太郎」)

### 梅園奇賞

毛利梅園編 森川世黃校

浪華 野梅園 文政十一年(一八二八)刊 外寸「三五・八×二四・一糎」 印記「惻隱堂白勢氏圖書印」(大和綴。

三三丁。刻工「千種利兵衛」)

### 好古日録

藤原貞幹著

〔寛政九年(一七九七)刊 外寸「二六・三×一八・五糎」(單邊。無界。一〇行。注文雙行。内匡郭「二一・三×

一五・六糎」 乾三三丁坤三四至七〇丁)

### 好古小録二卷附録一卷

藤原貞幹著

京都寺町通二條下 山田直三郎 〔寛政七年(一七九五)刊 外寸「二六・三×一八・五糎」(單邊。無界。一〇行。

内匡郭「二・四×一五・七糎」 上三六丁下二二丁附一六丁)

### 好古事彙 存卷第一集

好古社編

東京 青山堂書房 明治四十二年(一九〇九)四月活版 外寸「二五・四×一八・二糎」(大和綴。一二〇頁)

### 鑑定暗の明り

宮内素玄著 川瀬一馬校

四三三八

折本一帖

四三三九

一册

四三四〇

二册

四三四一

二册

四三四二

一册

四三四三

東京 安田文庫 昭和十三年(一九三八)十月活版 外寸「二八・五×一九・一糶」(安田文庫叢刊第二篇。三三丁)

### 畫乘要略五卷

白井華陽著 近藤有芳校

大阪心齋橋通北久太郎町 積玉圃河内屋喜兵衛等 天保二年(一八三二)序刊 外寸「二二・二×一五・五糶」 印記

「有造銘記(津藩校) (左右雙邊。有界。九行二〇字。内匡郭「一六・九×一・一・七糶」 一卷一五丁二卷一六至三二

丁三卷二二丁四卷三三至三五丁五卷二六至四四丁。書き入れあり)

### 人物畧畫式

楸形蕙齋(北尾政美)畫

昭和四十五年(一九七〇)複寫 外寸「二六・一×一八・二糶」(三二丁。底本「文化十年刊本」)

### 杜氏徵古畫傳三卷

中江松窠(杜澂)著

皇都 五車樓菱屋孫兵衛等 文化十年(一八一三)十一月刊 外寸「二六・六×一八・八糶」 印記「停雪園圖書印」[樺

山氏藏] (單邊。有界。九行二四字。注文雙行。内匡郭「二・五×一六糶」 一卷三二丁二卷二九丁三卷二八丁。「皇

都書肆五車樓藏版畧書目 京御幸町 菱屋孫兵衛[四丁]

### 日本美術品ノ説

アルネスト・ハールト述

〔昭和期〕寫 外寸「三三×一六糶」 印記「望月藏書畫記」 「望月」(墨書) (副題「アルネスト・ハールト氏カ日本美

術品ニ關スル第三回ノ講演左ノ如シ」 表紙外題「顯末概略聞記日本畫史」 四六丁)

### 大日本美術史 存卷第一

小杉樞邨編述

一册

四三四四

二册

四三四四

四三四五

一册

四三四六

三册

四三四六

四三四七

一册

四三四八

東京 大八洲學會 明治二十八年(一八九五)五月活版 外寸「三二・六×一五・四糎」 印記「佐々木」 「佐々木二郎藏書」(墨書) (六八丁。奥付に發賣者として「六合館書店」あり)

### 新鈔西清古鑒二卷

吾妻健三郎著

東京 東陽堂 明治二十五年(一八九二)八月刊 外寸「二七×一九・四糎」 印記「鶴屋」 (單邊。無界。一卷三九丁 二卷四〇至六〇丁)

### 古鏡圖

小田切春江臨摹畫

明治十九年(一八八六)七月跋刊 外寸「二五・二×一七・八糎」 (書名は外題による。一六丁 刻工「豊原堂逢原」)

### 原色法隆寺壁畫

東京 辻本寫真工藝社 大正十三年(一九二四)六月景照 大和國法隆寺藏版 外寸「四〇×三〇・二糎」 (一二枚)

### 〔肖像三葉〕 清和天皇、寬平法皇、安倍清明

山名貫義模

〔明治期〕刊 外寸(臺紙)「五五×三三・二糎」 印記「博物館」

内容 「清和天皇御影」京都拇尾十無盡院所藏・岡田爲恭摹本、「寬平法皇宇多天皇御影」山城國高山寺所藏・巨勢金岡畫、「安倍清明像」模本。京都山田阿波介所藏・蜷川親胤模寫

### 慶長以來諸家著述目録 小説家著述目録

中根肅治編

東京 青山堂支店 明治二十六年(一八九三)六月活版 外寸「二四・五×一〇・五糎」 印記「古谷圖書之印」「古谷」

一册

四三四九

二册

四三五〇

一册

四三五二

一二枚

四三五二

三枚

五〇一七

洋裝一册

「清」(二三三頁。附「慶長以來小説家著述目錄附録 年表」二六頁)

## 仁和寺御室御物實錄

菅原文時筆

〔東京〕〔前田利爲〕明治三十五年(一九〇二)三月跋石印 外寸「二八・二厘」(底本「菅原綱紀家舊藏前田侯爵家所藏天曆四年十一月寫本」)

五〇一八

卷子本一卷

## 柳營御物集 校訂

高木文校

〔東京〕〔高木文〕〔昭和八年(一九三三)五月活版 外寸「二六×二五厘」(書名は題簽による。列帖裝。一五七頁)

五〇一九

一册

## 藏山圖錄

宮城晋一編

大和國吉野 宮城晋一 明治二十年(一八八七)四月刊 外寸「一八・二×二二・四厘」(書名は題簽による。大和綴。單邊。無界。八行一三字。注文雙行。一二丁)

五〇二〇

一册

## 善通寺寶物集

宮澤求 明治六年(一八七三)刊 外寸「一九七×二三・九厘」(書名は書外題による。大和綴。無匡郭。七行一六字。三二丁)

五〇二二

一册

## 長崎古今學藝書畫博覽

西琴石(道仙)著

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正八年(一九一九)七月活版 外寸「二八・九×二二・五厘」(藝苑叢書之一。四四頁)

五〇二二

一册

來薰閣書目 存卷第三期

北平 來薰閣書店 民國二十二年(一九三三)活版 外寸「二〇・四×一三・四糎」(經部二七丁史部三八丁子部四二丁集部五五丁叢書部九丁)

田中氏藏書目録

〔昭和前期〕寫 外寸「三・九×一七・三糎」(五六丁。山岸氏識語「田中氏京都市日野町ニアリ法界寺近所ナリ先代勘兵衛當代忠兵衛(鉛筆ニテ「忠三郎」と訂正記入)此目録ニハ古筆什器等ニ屬スルモノハ不含者ノ如シ又此中龍門文庫ニ流出シタルモノモ若干有之」 青色一二行原稿用紙使用。)

陽明文庫圖録七輯

東京 陽明文庫 昭和十五年十一月至昭和十八年(一九四三)十二月影印 闕卷第三輯 外寸第一輯「二五・八×一八・六糎」第二輯至七輯「二五・六×一八糎」(一輯二五丁二輯二五丁四輯二五丁五輯三〇丁六輯二五丁七輯三〇丁)

陽明文庫圖録 第二輯

東京 陽明文庫 昭和十六年(一九四二)五月影印 外寸「二五・六×一八糎」(二五丁。與五〇二五番第二輯同版)

訪書餘録六編

和田維四郎著

東京 和田維四郎 大正七年(一九一八)十月影印・刊 外寸「三一・三×二三・六糎」

不空菴常住古鈔舊契録

松田福一郎編

東京 大塚巧藝社 昭和十八年(一九四三)一月活版 外寸「一八・二×二五・八糎」(六四頁。附「古鈔舊契録解題」)

五〇二三

一册

五〇二四

一册

五〇二五

六册

五〇二六

一册

五〇二七

六册

五〇二八

一册



四八頁

### 天平文化展大觀 卷第一

小川晴暘編

奈良 飛鳥園〔昭和期〕景照 外寸「二七×一九・四糎」(寫真九〇点台紙七八枚。別冊「目次」六頁(油印))

### 勅板集影

鈴鹿三七編

京都 小林寫眞製版所 昭和五年(一九三〇)一月影印 外寸「三六・八×二六・五糎」(大和綴。二七丁。附解說(活版) 四二頁)

### 金澤遺文三卷

大屋徳城編

京都 便利堂 昭和九年(一九三四)七月影印 外寸「三九・四×二九・六糎」(上四五丁中四六丁下四二丁)

### 靜嘉堂宋本書影

靜嘉堂文庫編

東京 靜嘉堂文庫 昭和八年(一九三三)十一月影印 外寸「三六・七×二八糎」(九九枚)

### 石井積翠軒文庫善本書目・石井積翠軒文庫善本圖錄

川瀬一馬編

東京 石井光雄 昭和十七年(一九四二)十月活版 外寸「三四・八×二五・三糎」(書目二三五頁圖錄九二頁)

### 善本影譜第一期十輯

長澤規矩也、川瀬一馬編

五〇二九

七八枚(二帙・別冊二冊)

五〇三〇

一冊

五〇三一

三冊

五〇三二

洋裝一冊

五〇三三

二冊

五〇三四

東京 日本書誌學會〔昭和七年(一九三三)〕影印 外寸「二九×二三」(二〇二枚)

善本影譜 癸酉第二期十輯

長澤規矩也、川瀬一馬編

東京 日本書誌學會〔昭和八年至昭和九年(一九三四)〕影印 外寸「二八・八×二三」(二八四枚)

善本影譜 甲戌第三期十輯

長澤規矩也、川瀬一馬編

東京 日本書誌學會〔昭和九年至昭和十年(一九三五)〕影印 外寸「二八・八×二三」(二八三枚)

又

(與五〇三六番同版)

善本影譜 甲戌〔第三期〕第一輯刀劔書古活字印本專集

長澤規矩也、川瀬一馬編

東京 日本書誌學會〔昭和九年(一九三四)〕影印 外寸「二八・八×二三」(一八枚。與五〇三六番第一輯同版)

京都帝國大學文學部景印舊鈔本十集

京都帝國大學文學部編

京都 京都帝國大學文學部 大正十一年六月至昭和十七年(一九四二)六月影印 外寸「三五・六×二五・二」

京都帝國大學文學部景印舊鈔本 第七集第八集

京都帝國大學文學部編

一〇袋

五〇三五

一〇袋

五〇三六

一〇袋

五〇三七

一〇袋

五〇三八

一袋

五〇三九

三五册

五〇四〇

京都 京都帝國大學文學部 昭和十一年（一九三六）八月影印 外寸「三五・六×二五・一」  
（第八集同版）（與五〇三九番第七集）

### 春日本萬葉集殘簡

東京 竹柏會佐々木信綱 昭和五年（一九三〇）四月影印 外寸「三五・五×二三・八」  
（八折）

### 古典保存會叢書

東京 古典保存會 大正十三年十二月至昭和十八年（一九四三）六月影印 外寸「三二至三四・八×二五・四至二六・四」  
「一四册・折本一帖」

### 貴重古典籍刊行會叢書 第一期五回

東京 一誠堂書店內貴重古典籍刊行會 昭和二十八年八月至昭和三十年（一九五五）四月影印 外寸第一回第三回第  
四回「三〇・五×二九」第二回第五回「二九×三〇・五」

內容 「大鏡第一卷」東松了姿所藏。「遊仙窟」眞福寺所藏。「史記孝文本紀第十」東北大學所藏。「將門記」楊守敬舊藏。  
「古本說話集」梅澤曙軒所藏

### 貴重古典籍刊行會叢書 第一期第一回

東京 一誠堂書店內貴重古典籍刊行會 昭和二十八年（一九五三）八月影印 外寸「三〇・五×二九」  
（與五〇四三番第一回同版）

### 貴重古典籍刊行會叢書 第二期六回

東京 一誠堂書店內貴重古典籍刊行會 昭和三十一年六月至三十五年（一九六〇）六月影印 外寸第一回第三回第四  
回「二八・八×三一・二」第二回第五回第六回「三〇・五×二九」

內容 「今昔物語集殘簡」大東急記念文庫所藏。「中納言顯基事」梅澤彦太郎所藏。「大鏡第二卷」東松了姿所藏。「佚

七册

五〇四一  
折本一帖

五〇四二  
一四册・折本一帖

五〇四三  
五册

五〇四四  
一册

五〇四五  
六册

名唐詩集殘卷、白氏長慶集卷第二、酒井宇吉所藏。「草案集」山口光圓所藏。「大鏡第三卷」東松了委所藏。「大唐三藏玄奘法師表啓」知恩院所藏

### 溫故雜集二集

名古屋溫故會編

名古屋 名古屋溫故會 大正十四年十二月至大正十五年(一九二六)五月影印 外寸「二八・六×三七・四糎」(二集)

「國寶眞福寺本弘法大師御入定勘決記」三枚。二集「國寶七寺藏一切經」九枚

### 古簡集影十四輯

東京帝國大學史料編纂掛編

東京 東京帝國大學史料編纂掛 大正十三年十月至昭和七年(一九三二)十二月影印 印記「金子藏書」(金子彦二郎)

外寸「二七・九×二八・五糎」(二八九枚)

### 文藝類纂八卷

榊原芳野編

〔東京〕 文部省 明治十一年(一八七八)一月刊 外寸「二五×一八糎」(單邊。無界。一〇行二四字。一卷三二丁)

二卷三七丁三卷五八丁四卷三三丁五卷五三丁六卷四二丁七卷三八丁八卷三〇丁

### 群書類從 存卷第一六、三〇、三四、三六、三七、三九、六四、七九、一二二至

一三五、一三八、一四四、一四五、一四九、一五〇、一五二至一五七、一六一、一六二、一六五、一六六、一六九、一七三、一七九、一八〇、一八二、一八六、一八九、一九四、二〇三至二〇五、二一五、二一六、二二〇、二二四、二二六、二二八、二二九、二三一至二三三、二三五至二三七、二四〇、二四二至二四六、二五〇至二五二、二五四、二五五、二六三至二六六、二七〇、二七二、二七七、二八〇、二九〇、二九三、二九四、三〇七、三一、三一一、三一二、三一一五、三一一六、三一一八、三二一

五〇四六

二袋

五〇四七

一四袋

五〇四八

八册

九、三二八、三三三、三六三、三六八、三六九、三七三、四三一、四三六、四三七、四四一、四四七、四五一、四五八、四七九、四八〇、四八六、四八八、五二八

塙保己一集

〔明治期至昭和期〕刊 外寸「二六・五×一八糎」 印記「倉氏藏書」「大崎文庫」「源忠房印」「金子文庫」「長田氏圖書」「豊榮日軒藏記」「長田鶴夫」「正四位賀茂縣主季彦之印章」「博文」「芳模書屋圖書之記」「伊藤博文」「歌堂文庫」「飾磨縣官立公學藏書印」「仁壽山莊」「好古堂圖書記」「河合道臣」「白水書院」「日報社藏本」「金子藏書（金子彦一郎）」「津山文庫」「埴房文庫」「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」「秋葉義之印」「高橋藏書」「宮澤氏藏書」「物集文庫（物集高見）」「葭埴文庫」「霞館之記」「葉山」「安井藏書」「山縣藏書」「島原祕藏（松平忠房）」「臥遊山房」「沼田藩今泉藏」「生駒文庫」「日碕御社文庫」「近藤氏藏書（藏書票）」「熊野大社（藏書票）」「凹邨文庫（藏書票）等（うち卷三七、一三二、一三六、一三三、一三五、一三四、三二五、三三三）は各一册、卷一三〇は三册、卷一三三上・下は各四册あり。卷一五三には上下巻と下巻あり。墨筆朱筆の書き入れあり）

## 丹鶴叢書

水野忠央編

〔江戸後期〕刊 丹鶴城藏梓 外寸「二六・一×一八・二糎」 印記「岡本家藏書印」（岡本況齋）「東京陸軍幼年學校圖書之印」「名古屋陸軍地方幼年學校圖書印」「家在木國和影以芝浦」「深川文庫」「不存藏書（鈴木真年）」「蓮池文庫」「岡田眞」「服部氏藏書」「明倫堂圖書」（名古屋藩校）（奥付に賣弘書肆として「京都出雲寺文次郎から江戸中屋徳兵衛まで」全四書肆名あり）

内容 丁未帙一 九條右大臣集、御堂關白集、藤家經朝臣集。丁未帙二 源重之むすめ集、小侍從集、殷富門院大輔集。丁未帙三 風津連奈機物語二卷。戊申帙一 釋奠供物圖、諸陵雜事注文。戊申二 乙寺緣起。戊申三 前參議教長卿集三卷。戊申帙四 瀨松中納言物語。庚戌帙一 三中口傳。辛亥帙一 東大寺要錄十卷。辛亥二 今昔物語（一一卷一二卷至二二卷）

## 甘雨亭叢書

板倉勝明編

五〇五一

五〇四九

一五七册

五〇五〇

五二册

江戸 山城屋佐兵衛・京都 勝村治右衛門・大阪 河内屋喜兵衛 弘化二年十一月至安政三年(一八五六)六月刊  
造士館藏版 外寸「一八・一×一・六糎」 印記「谷澤藏書」北越直江津今町港苔屋德兵衛」(左右雙邊。有界。九  
行二二字。注文雙行。内匡郭「二・八×九・五糎」)

一集 「文公家禮通考」室直清(鳩巢)著、「仁齋日札」伊藤維禎著、「格物餘話」貝原篤信著、「韞藏錄」佐藤直方著、「白  
石遺文」二卷拾遺「二卷」新井君美(白石)著

二集 「西銘參考」淺見安正著、「倭史後編」二卷「栗山愿撰」、「澹泊史論」二卷附錄一卷「安積覺著」、「湘雲瓊語」二卷「祇園  
瑜著

三集 「狼戾錄」三卷「三宅重固著」、「赤穂義人錄」二卷「室直清著」、「烈士報讐錄」三宅緝明著、「奧羽海運記、畿内治河記」  
新井君美著、「芳洲先生口授」雨森東口授

四集 「尚書學、孝經、孟子識」荻生徂徠著、「帝王譜畧國朝紀」伊藤長胤輯、「東涯漫筆」二卷「伊藤長胤著」、「(奥州)  
五十四郡考」新井君美著、廣瀨典補遺、「南島志」二卷「新井君美著」、「鳩巢先生義人錄後語」大地昌言纂、「修刪  
阿彌陀經」太宰純著、「助字雅」三宅緝明著

五集 「孝經啓蒙」中江原著、「足利將軍傳」佐佐宗淳著、「東韓事略、琉球事略」桂山義樹著、「弊帚集」二卷「栗山愿著、  
「木門十四家詩集」三卷「新井君美編

別集第一集 「病中須佐美」室直清著、「上近衛公書」柴野邦彦著、「子姪禁俳諧書」成島鳳卿著。「日本養子說」跡部良  
顯著、「非火葬論」安井眞祐著。「父兄訓」林子平著。「古學先生和歌」伊藤維禎著。「蕃山和歌附先生保侶箴之圖」  
熊澤伯繼著、「飛驒山」荻生徂徠著、「觀放生會記」太宰純著、「檜垣寺古瓦記」服部元喬著。「人名考」新井君美  
著、「准后准三后考」新井君美著。「櫻之辨」山崎敬義著、「櫻品」松岡玄達著、「忠士筆記」淺見安正著、「附鳩  
巢與白石論土屋主稅處置」、「湘雲瓊語附錄」祇園瑜著

## 白石先生遺文二卷拾遺二卷

新井君美著

江戸 和泉屋善兵衛等 弘化二年(一八四五)刊 造士館藏板 外寸「一八・二×一・九糎」 印記「徂園藏書」(甘  
雨亭叢書第一集之内。左右雙邊。有界。九行二二字。注文雙行。遺文上三四丁下四二丁。拾遺上三三丁下四二丁。[甘

雨亭叢書總目錄「甘雨亭叢書別集 國字所記載于比集」

## 甘雨亭叢書 別集

板倉勝明編

〔享保十九年（一七三四）跋〕刊 外寸「一八・二×二・三」 印記「海田藏主」（左右雙邊。有界。九行。内匡郭「二・一八×九・五」）

内容 一「天下論」室直清著、「政事談」名越克敏著、「大學和歌」室直清著、「鬼門說」新井君美著。二「楠正行筆記」佐藤直方著、「稱謂問目書」中井積善著、附「鳩巢與白石論」土屋主稅處置「淺見安正著。三「靜齋隨筆」川口子深著。四「耻齋漫錄上」安東守約著。五「耻齋漫錄下」安東守約著。六「鳩巢先生書比雜錄上」鈴木重充著。七「鳩巢先生書比雜錄中」鈴木重充著。八「鳩巢先生書比雜錄下」鈴木重充著

## 史籍集覽

近藤瓶城編

東京 近藤活版所 明治十四年至十八年（一八八五）活版 外寸「二八・四×二・三」 印記「淺田氏記」「淺田藏圖書記」「矢島文庫」「小林家藏書」「松井文庫」「高等師範大塚文庫之印」

内容 「大鏡八卷附異本陰書一卷」屋代弘賢校正、「續世繼十卷」、「水鏡三卷」屋代弘賢校正、「增鏡四卷」屋代弘賢校正、「參考源平盛衰記 存卷第一至二六卷附總目一卷劍卷一卷」關卷第二七至四六卷」、「六史要覽三卷」「宇多天皇實錄三卷」林道春撰、「十三代要畧二卷」、「月の行方二卷」、「愚管鈔七卷」、「校本古事談六卷」、「櫻雲記三卷」、「以貴小傳」、「鎌倉九代後記」、「東鑑脫漏」、「定西法師傳」、「琉客談記」、「唐律御調」、「塵塚物語六卷」「續武將感狀記」、「島津家本東鑑」「三人懺悔册子一名三人法師」、「禮典拔萃四卷」、「飛驒國治亂記」、「大塔軍記」、「蘆田記」

## 續史籍集覽

近藤瓶城編

東京 近藤活版所 〔明治二十七年（一八九四）七月〕活版 外寸「一九×一三」 印記「枕流書屋收藏」

五〇五三  
八册

五〇五四  
七八册

五〇五五  
二册

内容 「秋の夜長物語」、「宗祇法師兒教訓」、「松帆浦物語」、「幻夢物語」、「鳥部山物語」、「嵯峨物語」、「正慶亂離志」、「碧山日録」、「人鏡論」

### 故實叢書

今泉定介編

東京 吉川弘文館 明治三十八年(一九〇五)五月活版 外寸半紙判「三三×一五・五糎」 大判「二四・九×一八・五糎」 圖版「二四・五×一八・二糎」 印記「義則」「吉澤文庫(吉澤義則)」

内容 歷世服飾考。軍用記。本朝軍器考。裝束集成。輿車圖考。禁祕抄考註。建武年中行事略解。御代始抄・有職袖中抄。安齋雜考。貞丈雜記。安齋隨筆。拾芥抄。大内裡圖考證。武家名目抄。尙古鎧色一覽。織文圖會。裝束織文圖會。女官裝束着用次第。近代女房裝束抄。禮服着用圖。裝束着用圖。服色圖解。舞樂圖說。舞樂圖

〔折疊圖版〕神祇官圖、眞言院圖、太政官圖、武德殿圖、八省院圖、豐樂院圖、大學寮圖、内裡圖附中和院、京城略圖、中昔京師地圖、中古京師内外地圖

### 今古殘葉二十卷目錄一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・六×一六・三糎」 (一一行。目錄二〇丁一卷四六丁二卷四二丁三卷四八丁四卷三〇丁五卷一九丁六卷四二丁七卷五〇丁八卷四二丁九卷四〇丁一〇卷三五丁一一卷四八丁一二卷三四丁一三卷三三丁一四卷四九丁一五卷三四丁一六卷四二丁一七卷四六丁一八卷五四丁一九卷六三丁二〇卷三六丁。山岸氏識語「扶桑拾葉集 徳川光圀 扶桑殘葉集今古殘葉作者未詳」)

### 小四海堂叢書十二卷

羽倉用九(簡堂)編

東京 岡田文助 明治十二年(一八七九)三月刊 闕卷第十 外寸「一九・七×一二・六糎」 「安倍氏藏」(藏書票) (左右雙邊。有界。一〇行二〇行。注文雙行。刻工「木邨嘉平」)

内容 「紀元通略」二卷、「非詩人詩」二卷、「資治通鑑評」二卷、「從吾所好」三卷(錯簡あり)、「南汎録」、「史評甲集

五〇五六

一一六册・圖版八鋪

五〇五七

二一册

五〇五八

一一册



四卷乙集四卷、「詠史」、「養小録」、「能毒卷」

## 歷朝國文選擇草稿十八輯

〔明治期〕寫本 關卷第二第三第九至十二第十六輯 外寸二四×一六・二浬〔四百字詰原稿用紙にペン書〕

## 珍書大觀 吉利支丹叢書

大阪 大阪毎日新聞社 昭和三年四月至昭和四年（一九二九）一月影印 關卷第六第八

- 一 吉利支丹心得書 上（徳川圀順侯爵家所藏）
- 二 ぎやどべかとの五葉（中川仙之助所藏）
- 三 立原翠軒自筆調査書（徳川圀順侯爵家所藏）
- 四 羅甸文平假名書彌撒唱文及連禱斷簡（徳川圀順侯爵家所藏）
- 五 吉利支丹十誠（徳川圀順侯爵家所藏）
- 七 銅版畫寫眞五葉、磔刑像寫眞、念珠寫眞（大神金十郎所藏）
- 九 吉利支丹古曆書斷簡（徳川圀順侯爵家所藏）
- 一〇 西洋銅版畫帖（徳川圀順侯爵家所藏）
- 一一 吉利支丹用語略解斷簡（徳川圀順侯爵家所藏）
- 一二 破提字子古刊本（京都帝國大學圖書館所藏藏本）
- 一三 聖人畫像寫眞、押出口レト聖母像寫眞（中谷仙之助所藏）
- 一四 遺物十一點寫眞（中谷仙之助所藏）
- 一五 七科觀觀念書（徳川圀順侯爵家所藏）
- 一六 オラシヨ雜纂斷簡（徳川圀順侯爵家所藏）
- 一七 佛書抄録六葉（徳川圀順侯爵家所藏）
- 一八 吉利支丹心得 下（徳川圀順侯爵家所藏）

五〇五九  
一一冊

五〇六〇  
一五冊・卷子本一卷・寫  
眞一五葉

一九 銅版畫寫眞、十五玄義圖寫眞、遺物寫眞(東藤次郎所藏)

二〇 椀寫眞(東藤次郎所藏)

二一 諸聖人記念日表(徳川圀順侯爵家所藏)

二二 諸聖人御作業書抄及宗門諸抄(徳川圀順侯爵家所藏)

二三 どちりな・きりしたん(中谷仙之助所藏)

二四 聖母像油繪寫眞(中谷源之助所藏)

二五 ザビエル聖人像原色版(東藤次郎所藏)

同梱資料「こんてむつすむんち」(稀書複製會第二期第一二回 大正十年六月米山堂複製、「ぎや・ど・べか」とる上

下巻)(日本古典全集第二回 昭和二年日本古典全集刊行會發行)、「きやとへか」とる 下(寫眞製本 高橋寫眞マ

イクロ寫眞部製作。山岸氏識語「昭和四十七年五月廿日福島邦道氏周旋」)、「きりしたん版」(善本寫眞集二。昭和

二十八年四月天理圖書館發行)、「天理圖書館藏吉田文庫本『妙貞問答』西田長男著(「ビブリア」第五十七號拔刷)

## 艸堂雜錄三卷艸堂續雜錄一卷

釋光謙著

京都二條通富小路東入江町 吉田四郎右衛門・寺町通押小路上ル町 山岡勘右衛門 享保十八年(一七三三)九月刊

外寸「二六・一×一六・二糎」 印記「釋寂證印」「侈游亭」「智雄」(單邊。有界。八行一八字。内匡郭「一九×一一・六糎」

一卷四〇丁二卷四八丁三卷四六丁續三八丁)

## 駿臺雜話註釋二卷

室直清(鳩巢)著 城井壽章校補 關儀一郎編

東京 誠之堂書店 大正三年(一九一四)六月活版 外寸「二二・二×一五糎」(三〇〇頁)

## 習文錄四編

皆川愿(淇園)編

五〇六一

四册

五〇六二

一册

五〇六三

皇都 五車樓菱屋孫兵衛 文政元年(一八一八)刊 外寸「三・四×一五・八糎」 「曲肘書屋文庫之内」翔山樓主人  
弦風(墨書) (單邊。無界。一〇行。注文雙行。内匡郭「一八・四×二三・一糎」 一篇上一六丁甲乙判一六至二六丁  
下二六丁。二篇上一六丁甲乙判一三丁下二五丁。三篇上一五丁下一六丁。四篇上一六丁下二五丁。第三編の發行書  
肆「京 菱屋孫兵衛等」、第四編の發行書肆「京三條通寺町 汲古堂河南儀兵衛」

八册

### 文會雜記四卷附錄一卷

湯淺元禎(常山)著 男明善校

〔江戸後期〕寫 外寸「二・四・四×一七・六糎」 (左右雙邊。有界。一〇行。注文雙行。白口。單魚尾。内匡郭「一九・八  
×一四・二糎」 一卷四八丁二卷四六丁三卷五二丁四卷一四丁附錄二二丁。版心に「迂齋藏書」とある印刷紙使用。  
朱筆の書き入れあり)

五〇六四  
二册

### 弘化奇話初篇二卷

何毛吳館内著

〔江戸末〕刊 闕卷上 外寸「二・八・三×二二・二糎」 (角書「才子必讀」單邊。無界。八行。白口。内匡郭「一四・三×九・  
七糎」 繪入。二二丁。與三五四一番ツレ)

五〇六五  
一册

### 清籟二卷

甫喜山景雄編

東京 鍊霞石室甫喜山景雄 (明治八年(一八七五)活版 外寸「一四×八・五糎」 印記「三上」 (一卷三六丁二卷  
三八丁)

五〇六六  
二册

### 筐底雜誌 存卷第一集

倉田務(幽谷)著

東京 戴抱精舎 明治二十五年(一八九二)四月活版 外寸「三・八×一五・一糎」 (四九丁)

五〇六七  
一册

夜窓鬼談二卷

石川鴻齋編

東京 吾妻健三郎 明治二十六年八月至明治二十七年(一八九四)七月活版 外寸「二七×一六糎」(上卷一〇二頁 下卷一一二頁)

五〇六八

二册

猥褻風俗史

宮武外骨編

大阪 雅俗文庫 明治四十四年(一九一一)四月活版 外寸「二四×一六糎」(三〇頁)

五〇六九

一册

一癖隨筆 第一號至三號

宮武外骨編

東京 半狂堂 大正十一年(一九二二)四月活版 外寸「三・九×一六糎」(七六頁)

五〇七〇

一册

私刑類纂

宮武外骨編

東京 成光館出版 昭和四年(一九二九)九月活版 外寸「三・五×一五・九糎」(二二六頁)

五〇七一

一册

奇態流行史

宮武外骨編

東京 成光館出版 昭和四年(一九二九)八月活版 外寸「二四×一六・一糎」(一一五頁)

五〇七二

一册

賣春婦異名集一名笑う女

宮武外骨編

東京 成光館出版 昭和四年(一九二九)七月活版 外寸「二四×一六・二糎」(一二五頁)

五〇七三

一册

## 雅樂堂好古雜誌 第一

杉浦三郎兵衛編

京都 杉浦丘園 大正七年（一九一八）二月活版 外寸「三・八×一六・二」 一冊（二六丁）

## 天狗名義考

比丘諦忍述

東京 壬生書院 昭和十四年（一九三九）七月油印本 外寸「二・七×一六」 一冊（三九丁）。底本「寶曆四年三月和泉屋新八等刊本」朱筆の點・書き込みあり

## 十々烈集

尊圓親王書

昭和三十四年（一九五九）十月景照 外寸「二・八・六×一三・二」 一冊（寫真一〇枚貼り込み。山岸氏識語「十々烈集一軸（卷子本）穂久邇文庫本也（毘沙門堂舊藏）昨冬借覽而撮影焉今茲仲夏夷則製本者也」）

## 在邇集

六合亭のあるじ述

名古屋 永樂屋東四郎 文政十一年（一八二八）刊 外寸「二・七×一四・八」 一冊（墨書）「竹内姓」（墨書）（單邊。無界）  
一一行。内匡郭「二・七・七×一・二・二」 三四丁

## 住吉神代記

津守客人・津守嶋麿（記）

〔昭和十一年〕複製 外寸「三・三・四」 一冊（書名は箱書による。別冊「住吉神代記解説」宮地直一著。一二二頁）

## 舊事本紀玄義拔萃二卷

---

五〇七四	一冊
五〇七五	一冊
五〇七六	洋裝一冊
五〇七七	一冊
五〇七八	一冊
五〇七九	一冊

友部安崇著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・一×一九・五糎」 (大和綴。八行一七字。上三三下一九丁)

### 國意考辨妄

沼田順義(三芳野城長)著 木崎諭義校

名古屋 永樂屋東四郎等 天保四年(一八三三)六月刊 抱陽軒藏板 外寸「二六・七×一八・四糎」 印記「佐藤信睦」

〔信濃國小縣郡鹽尻之御民佐藤八郎右衛門〕 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・二×一五・二糎」 漢字片假名。二九丁)

### 童蒙入學門

平田篤胤著

〔明治十二年(一八七九)刊 外寸「二六・七×一八・二糎」 印記「本文文庫」(本山彦一) (單邊。無界。六行一三字。一〇丁)

### 風葉集 首卷

山崎闇齋著

昭和六年(一九三二)十一月山岸德平寫 外寸「二七・四×一九・四糎」 (八行。二〇丁。山岸氏識語「風葉集一卷神書也宮田氏本寫了」)

### 神道學則日本魂一卷學則答問一卷

松岡仲良(蓼倉精舎文雄)撰

昭和十四年(一九三九)八月山岸德平寫 外寸「二七・六×一九・六糎」 (八行一八字。神道四丁答問七丁。底本「京都

松原通麩屋町谷口七郎兵衛刊本」 山岸氏識語「日本魂一册加藤仁平氏藏刊本也」)

### 國基

座田(紀)維貞著

五〇七九

一册

五〇八〇

一册

五〇八一

一册

五〇八二

一册

五〇八三

一册

五〇八四

〔明治期〕活版 外寸「二六・六×一九・三糎」 印記「伯爵乃木氏所藏」(乃木希典) (二二丁)

### 桃岡雜記

八田知紀著

大坂 中井源兵衛等 明治三年(一八七〇)九月刊 榊園藏板(埋木) 外寸「二五・五×一七・八糎」(無匡郭。一〇行。三八丁)

### 伯家部類

〔藤原祐之撰〕

〔昭和十七年(一九四二)複製 外寸「三三・五×二四・二糎」(一八六丁)

### 大教宣布詔書宣命解

久保季茲訂

〔東京〕日本橋 大教院 〔明治期〕刊 外寸「三二・八×一五・一糎」 印記「常光院」融通念佛宗務所印 〔四周雙邊。無界。一〇行。二七丁) (四週雙邊。

### 伊勢公卿勅使神寶繪圖

川瀬一馬編

奈良縣吉野町 阪本龍門文庫 昭和四十三年(一九六八)三月複製 外寸「二七・八糎」(阪本龍門文庫複製叢刊七。書名は外題による。別冊「鎌倉初期鈔本伊勢公卿勅使神寶繪圖解説」川瀬一馬著。一〇頁)

### 菅家世系錄三卷

玉田永教著 男玉田永辰訂

文政十年(一八一七)跋刊 外寸「二五・八×一八・五糎」(「上京區第十五組持藏」(墨書) (單邊。無界。九行二三字。内匡郭「二〇・七×一五・一糎」 上三七丁中三八丁下四二丁)

一册

五〇八五

一册

五〇八六

一册

五〇八七

一册

五〇八九

册 卷子本一卷・別冊解説一册

五〇八九

三册

天満宮御傳記畧二卷

平田篤胤著 根岸延貞等編

嘉永四年(一八五二)十一月跋刊 外寸「三・四×二六糎」 「江崎氏」(墨書) (單邊。無界。一一行。内匡郭「二七・三×二二・六糎」 上二〇丁下二二至四五丁)

五〇九〇

二册

天神籤

浪速北久太郎町 河内屋清七 安政二年(一八五五)三月刊 外寸「一五・七×九・八糎」 (單邊。有界。六行。内匡郭「二一・一×七・八糎」 二〇丁)

五〇九一

一册

太上惠民甲庚祕錄

大江匡弼撰

京都堀川通 錢屋庄兵衛等 安永七年(一七七八)九月刊 外寸「二×一五・七糎」 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「二八・八×一三・二糎」 四五丁)

五〇九二

一册

比良山古人靈託

釋慶政著

〔東京〕〔宮内廳書陵部〕〔昭和三十七年(一九六二)複製 外寸「二八糎」 (別册「比良山古人靈託解題」九頁)

五〇九三

卷子本一卷・別册解題(同書二册)

吉水全集

中澤榮太郎著

奈良縣吉野町 吉野朝皇居吉水神社社務所 昭和四年(一九二九)四月活版 外寸「二二・三×一五・四糎」 (四四頁 付芳山歌詩集一二三頁)

五〇九四

一册

關聖帝君寶誥



光緒六年（一八八〇）刊 外寸「二〇・三×一三・二糎」〔題簽及び版心「過化存神」 單邊。有界。單花口魚尾。一〇行。二字。注文雙行。内匡郭「一七・三×一・一糎」 漢文ハングル併記。二〇丁。〕教諭文 拜心聖訓（漢文）（二丁）

### 古學道統圖

間宮永好編

〔京都油小路花屋町〕 文雅堂永田勘兵衛 安政五年（一八五八）八月刊 外寸「一八・五×六・六糎」（八折）

### 古道學發端辨書

竹内孫市（健雄）著

昭和四十三年（一九六八）複寫 外寸「三三・八×一六糎」（一〇行。一四丁半。底本奥書に「右古道學發端辨書一卷者借得谷森種松所藏之本於野之口先生之塾手寫畢 安政二年乙卯春渡邊常品」とある）

### 國學入門

皇都 村上勘兵衛・著屋嘉助 明治二年（一八六九）五月刊 外寸「二四・九×一七・四糎」〔前栽村小學校所藏書 拾部之内寄附松本孫次郎（墨書）（單邊。無界。六行。一九丁）〕

### うひ山ふみ

本居宣長著

伊勢津 篠田伊十郎等 〔江戸後期〕刊 須受能屋藏版 外寸「二六×一八・一糎」 印記「靜齋藏書」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇×一四・二糎」 四三丁。奥付に弘所として「京都風月莊左衛門から篠田伊十郎まで」全五書肆名あり。朱筆の書き入れあり）

### 鉗狂人

本居宣長著

文政二年（一八一九）序刊 外寸「二六×一八・五糎」 印記「月冷」「月冷藏書之印」「月冷舎文庫（藏書票）（單邊。一册）

五〇九五

一册

五〇九六

折本一帖

五〇九七

一册

五〇九八

一册

五〇九九

一册

五一〇〇

一册

無界。一〇行。内匡郭「一八・九×一四糎」四八丁)

### 荷田大人創學校啓

荷田春滿著

伊吹廼屋〔江戸末〕刊 外寸「二六・六×一八・五糎」(單邊。無界。七行一六字。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・二×一四・六糎」七丁。跋「慶應の二とせと云年のしも月 平ノ鋏胤」伊吹廼屋先生及門人著述刻成之書目 塾藏版) 一丁)

### 語辭喘・助辭喘・成語法

小澤精庵(噌峨)口授 受業弟子筆記

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・四×一六・三糎」(九行。注文雙行。語辭一丁助辭七丁一七丁成語一六丁。山岸氏識語「此本今在靜嘉堂文庫末欠也」(二葉分) 昭和十三年十二月上浣)

### 音徴不盡・同窠音圖・音圖口義・全齋讀例

太田方(全齋)述 濱野知三郎編

東京 六合館 大正四年(一九一五)一月活版 外寸「二二・六×一五・三糎」(一四一頁。「太田全齋先生年譜」二〇頁)

### 假字用格考

楠雲榮著

文政八年(一八二五)七月信濃楠雲榮寫 外寸「二六・五×一八・二糎」印記「觀導處」木澤」(書名は書外題による。大和綴。木版匡郭。三二丁。附「柝目用紙一枚」帙題簽「假字用格考 木澤天籟草稿」卷末「文政八とせといふとし七月の二十まり一日の日しなぬの國筑摩郡のくすの木雲榮かゝなへをへり」朱點傍點あり)

### 世諺叢談

五一〇一

一册

五一〇二

一册

五一〇三

三册

五一〇四

一册

衣笠宗元編

京都 文港堂書店・貝葉書院 明治三十三年(一九〇〇)六月活版 外寸「一八・九×二三・三」 乾の部二七二頁坤の部二七三至五一四頁)

### 日本擬人名辭書

宮武外骨編

東京 半狂堂 大正十年(一九二二)五月活版 外寸「二四×二六・二」 (五九頁)

### 成實論 天長點

大矢透著

東京 培風館 大正十一年(一九二二)四月影印 外寸「三八・二×二七・三」 (假名遣及假名字體沿革史料第二編。五丁)

### 願經四分律藏

大矢透著

〔東京〕〔培風館〕 大正十一年(一九二二)八月跋影印 外寸「三八・五×二六・八」 (假名遣及假名字體沿革史料第二編。六丁)

### 四分律音義

〔玄應著〕

〔東京〕 宮内府圖書寮 昭和二十三年(一九四八)十一月影印 外寸「横本三一・八×四五・四」 (二二丁)

### 詩文必要四聲解環

徳山慈編

東京 覺張榮三郎 明治十二年(一八七九)六月活版 外寸「二一・三×八・三」 (二一九丁)

五一〇五

二册

五一〇六

一册

五一〇七

一册

五一〇八

一册

五一〇九

一册

五一一〇

一册

常語藪二卷

岡田挺之編

名古屋本町通 永樂屋東四郎 寛政六年(一七九四)序刊 闕卷下 外寸「三・七×一五・八糎」(四周單邊。有界。七行一八字。内匡郭「一八・一×一二・七糎」 訓點送假名付。四九丁)

和漢音釋書言字考節用集十卷

横島昭武(駒谷散人)編

皇都 村上勘兵衛・武都 村上又三郎 享保二年(一七二七)一月刊 外寸「三・八×一六糎」(單邊。無界。八行。注文雙行。内匡郭「一六・六×一・一・八糎」 一卷四八丁二卷四四丁三卷二八丁四卷五七丁(闕三〇至三三、三五至四〇)五卷四七丁六卷六一丁七卷四二丁八卷六七丁九卷六二丁一〇卷四七丁)

增補雅言集覽五十七卷

石川雅望集 中島廣足補

東京 中嶋惟一 明治二十年(一八八七)七月活版 外寸「三・一×一五・五糎」 印記「三河國設樂郡守義村魯寶園」

下學集二卷

〔昭和期〕影印 外寸「三・七×一六・四糎」(六〇丁。山岸氏識語「文明 年トアリシナリ穗久邇文庫本」(鉛筆書))

千字類合

貝原篤信(益軒)著

〔元祿五年(一六九二)序刊〕後印 外寸「二五・一×一七・五糎」 印記「讀杜艸堂」(寺田望南) (四周雙邊。有界。四行八字。白口。無魚尾。内匡郭「二・四×二四・七糎」 漢字傍訓付。二七丁)

校註繪入竹取物語

五一二一

一册

五一二二

一三册

五一二三

五七册

五一二四

一册

五一二五

一册

星野忠直著

大阪 圖書出版 明治二十五年（一八九二）九月活版 外寸「二・五×一五糎」 印記「土井家圖書印」（八〇頁）

### 竹取物語考・條里圖帳考・枕詞考

加納諸平稿

大阪 播仁文庫 大正十五年（一九二六）六月活版 外寸「三・二×一六糎」 印記「鈴木之印」（二二丁。朱筆の書き入れあり）

### 伊勢物語〔武田本〕

東常縁筆

東京 武藏野書院 昭和三十四年（一九五九）四月影印 外寸「二五・九×一八糎」（二七七頁。底本「岡西直作所藏寫本」。「解説・校異篇」山田清市著。五三頁）

### 伊勢物語講義

今泉定介著

東京 誠之堂書店 明治三十年（一八九七）六月活版 外寸「二一・九×一四・六糎」 印記「山岨十茂能藏書」（二六四頁。書き入れあり）

### 標註伊勢物語新釋二卷

藤井高尚著 大久保初雄標註

大阪 積善館 明治三十八年（一九〇五）三月五版活版 外寸「二二・一×一四・九糎」（上一八二頁下一八三至三六〇頁）

### 大和物語詳解

井上覺藏、栗島山之助講述

五二一六

洋装二册

五二一七

一册

五二一八

洋装一册

五二一九

一册

五二二〇

二册

五二二一

〔東京〕 誠之堂書店 明治三十四年（一九〇二）八月活版 外寸「二・八×一四・九糎」 （二〇四頁）

### 小野篁集

昭和三年（一九二八）山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・四糎」 （二〇行。二〇丁。山岸氏識語「小野篁集一卷以宮内省本書寫畢」）

### 篁物語

昭和六年（一九三二）寫 外寸「二七・二×一九・三糎」 （八行。二二丁。山岸氏識語「篁物語一卷彰考館本也借得宮田氏映寫本而轉写者也昭和龍集辛未無射下浣詭人写焉 小野篁集一卷余別藏之爾云」）

### 標註參考落窪物語四卷

飯田永夫著  
東京 上原書店 明治三十二年（一八九九）活版 外寸「三・一×一四・九糎」 （二六二頁。青赤ペン書き入れあり）

### 標註參考落窪物語四卷

飯田永夫著  
東京 光風館書店 明治三十七年（一九〇四）一月三版活版 上原書店藏版 外寸「三・三×一九・九糎」 （二六二頁）

### 落窪物語講義三卷

中邨秋香講述  
東京 誠之堂書店 明治三十四年（一九〇二）八月活版 關卷下 外寸「二・九×一四・七糎」 印記「大雲藏書」  
（上一九四頁中一六八頁）

### 〔源氏物語奥入註〕

---

一册	五二二二
一册	五二二三
一册	五二二四
洋装一册	五二二五
洋装一册	五二二六

須貝興一著

〔昭和前期〕須貝興一寫 外寸「二四・二×一六・六糎」(書名は凡例により假に附す。五九丁。凡例「本書は藤原定家卿の源氏物語奥入を讀まんだめに必要と思はるる註をほどこしたるものなり。奥入の本文は神宮文庫所藏の源語古抄と標題のあるものを用ゐたり(以下略)」)

### 源氏詞知

昭和二十五年(一九五〇)十一月小西甚一寫 外寸「二七・四×一九・七糎」(六二丁。山岸氏識語「源氏詞知」一卷神宮文庫本也昭和廿五年十一月十八日受領小西氏自筆影寫本云云)

### 源氏物語玉の小櫛 存卷第五

本居宣長著

〔江戸後期〕刊 外寸「二七×一八・五糎」 印記「能川氏圖書之記」(假綴。單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・六×一四・四糎」一二二丁)

### さころも四卷

昭和八年(一九三三)十月山岸徳平寫 關卷一、三 外寸「二七・四×一九・七糎」(一〇行。二卷一一八丁四卷一六一丁。山岸氏識語「狭衣物語四卷鈴鹿本書寫者也原本慶長頃乃至其以前古寫本也」)

### 校正十訓抄二卷

鈴木弘恭著

東京 青山清吉 明治三十二年(一八九九)十月三版活版 外寸「二・五×一五・一糎」(二四四頁)

### 榮華物語詳解十四卷首三卷

和田英松、佐藤球共著

東京 明治書院 明治四十年(一九〇七)活版 外寸「二・二×一四・四糎」 印記「吉澤文庫」(吉澤義則)

五二二七

一册

五二二八

一册

五二二九

一册

五二三二

二册

五二三三

一册

五二三三

一七册

### 大鏡八卷

久米幹文校訂

東京 吉川半七 明治廿四年(一八九二)四月刊 外寸「三・二×一五・六糎」 印記「京極高備」(單邊。無界。一〇行。一卷二八丁二卷一八丁三卷四一丁四卷二二丁五卷五三丁六卷三〇丁七卷五〇丁八卷三八丁)

### 校定大鏡三卷

松井簡治、萩野由之校

東京 六合館 明治三十年(一八九七)九月活版 外寸「三・三×一五・二糎」 印記「大友藏書」(上四六丁中五一丁下四七丁。上卷に「藤原氏略系」(墨筆二枚)あり)

又

印記「栗本」「栗本藏書」等 「栗本光子」(墨書) (與五一三番同版)

### 校定今鏡讀本三卷

關根正直校

東京 六合館書店 明治二十九年(一八九六)十月活版 外寸「三・五×一五・五糎」 印記「船岡」「堀」(上四八丁中六一丁下五三丁)

又

外寸「三・五×一五・五糎」 (與五一三番同版)

### 校定今鏡讀本三卷

關根正直校 萩野由之等編

五一三四  
四册

五一三五  
三册

五一三六  
三册

五一三七  
三册

五一三八  
三册

五一三九



東京 六合館 明治三十四年(一九〇一)二月二版活版 外寸「三・九×一五・四糎」 印記「日歐語學院」(内匡郭「一七×二一・二糎」 上四八丁中六二丁下五三丁)

### 校定今鏡證註三卷

關根正直著

東京 六合館書店 明治三十年(一八九七)六月活版 外寸「三・九×一五・二糎」 印記「日歐語學院」(上三八丁中三二下二五丁)

### 校定水鏡三卷

萩野由之、松井簡治、關根正直編

東京 六合館 明治三十一年(一八九八)三月活版 外寸「三・八×一五・三糎」(六八丁。書き入れあり)

### 水鏡三卷

貴重圖書影本刊行會編

〔京都〕貴重圖書影本刊行會 昭和十三年(一九三八)十二月複製 外寸「二・八×三・三×二・八糎」(大和綴。一〇行。上四六枚中四一枚下四五枚。別冊「水鏡解説」鈴鹿三七記。五頁)

### 校定増鏡三卷

萩野由之、松井簡治、關根正直編

東京 六合館 明治三十年十二月至明治三十二年(一八九九)六月活版 外寸「三・九×一五・三糎」 印記「左喜藏書」(坂崎) (上五六丁中六二丁下四七丁)

### 古本保元物語

高橋貞一校

高橋貞一 昭和十三年(一九三八)三月油印本 外寸「三・三×一六・三糎」(二四行。一七二頁。私家版。底本「金

三册

五一四〇

二册

五一四一

一册

五一四二

三册・別冊解説一册

五一四三

三册

五一四四

洋装一册

刀比羅神社所蔵本)

### 講本保元物語

玉井幸助著

東京 育英書院 昭和四年(一九二九)七月活版 外寸「三二×二五糎」(二五〇頁)

### 平治物語講義二卷

今泉定介講述

東京 誠之堂書店 明治四十一年七月至四十二年(一九〇九)十月二版活版 外寸「三二×二四・九糎」(二三行。上一七一頁下一三八頁)

### 曾我物語十二卷

三教書院編輯部編

東京 精興社 昭和十年(一九三五)八月活版 外寸「一八・七×二二・八糎」(いてふ本之一 上編二七〇頁下編二八〇頁。正保三年版の假名本を底本として改変)

### 曾我物語 卷第十一

京都 鴨長明學會 昭和十六年(一九四二)十一月複製 外寸「二七×二〇・六糎」(一一行。一六丁。附「古本戸川

本曾我物語第十一に就いて」別冊「戸川本曾我物語解説」小川壽一著。三二頁。山岸氏識語(書筒片)「京都麻田書店 旧藏曾我物語十二冊中十一卷也現所藏者戸川氏也」)

### 芳野拾遺物語三卷

岐阜 三浦源助 明治三十四年(一九〇一)六月刊 外寸「三三・四×一五・七糎」(單邊。無界。一一行。内匡郭

「一八・一×二三・七糎」一卷二九丁二卷一九丁三卷三六丁(繪とも)。見返に「吉野拾遺 南朝之臣吉房撰 京都 文求堂藏」とある。山岸氏識語「本書貞享四年版本復刻也。上下二卷以下卷爲中卷別加下卷者也此下卷者疑書乎」)

五一四五

一冊

五一四六

二冊

五一四七

二冊

五一四八

一冊・別冊解説一冊

五一四九

一冊

## 琴腹

後花園院詞書・畫

昭和二十六年(一九五二)六月山岸氏家中寫 外寸「二五・四×一七・六糎」(假綴。一〇丁。四百字詰原稿用紙二折ペン書き。山岸氏識語「琴腹繪卷一卷東山御文庫藏本也」〔後花園院宸翰・繪詞共〕以宸翰解説所收本文書寫者也和子書寫 前田家二詞ノミノ写シ一卷アリ無表裝ナリ)

## 〔土御門内大臣日記〕二卷

土御門通親著

〔昭和期〕複製 外寸「二五・八×一六・三糎」(書名は表紙による。列帖装。七二枚。底本「金澤文庫舊藏寫本」)

## 住吉物語 下

〔昭和三十五年(一九六〇)年頃〕複寫 外寸「二五・六×一八・一糎」(寫眞紙焼二四枚。袋に山岸氏識語「住吉物語小木喬氏のために複写一本を留めおく也 昭和三十五年十一月三日於岩波書店 尾張家第一代義直公夫人春子氏所持の本也 春子氏は淺野家の人なり」 底本卷末「右一卷山岸德平氏藏本を寫せり 昭和五年一月 小木喬」)

## すみよし物語

大阪 大阪高等學校國文學同好會 昭和八年(一九三三)四月油印本 外寸「二・四×一五・三糎」(表紙「異本すみよし物語」一五行。四六頁)

## 住吉物語通釋

管崎博道著

東京 公論社 明治三十六年(一九〇三)七月活版 外寸「二・三×一四・四糎」(大和綴。一九六頁。黒藍朱筆の書き入れあり)

## 四十二の物語 祐徳神社本

五一五〇

一册

五一五一

一册

五一五二①

一袋

五一五二②

一册

五一五三

一册

東京 高橋寫眞 昭和四十七年(一九七二)五月複寫。外寸「二・三×一八糎」(寫眞紙焼一七枚。山岸氏識語「廣島鍋島家祐徳稻荷神社藏本也」)

### 火桶草子

〔昭和期〕寫 外寸「一九・六×二七糎」(二八枚。四百字詰原稿用紙ペン書。封筒表書に「火桶草子 水天宮々司 有馬家藏本ナリ」とあり)

### 京太郎物語

昭和七年(一九三二)十一月寫 外寸「二六・七×一八・三糎」(假綴。五枚。六百字詰原稿用紙ペン書。奥書「右原書二條家爲右卿之御筆廿四物かたりの中用明天皇御事京太郎物語と有之 明治廿二年八月写 中島廉山」 山岸氏識語「古物語類字抄所引京太郎物語爲相筆本不知所在焉本書石崎文庫藏也」)

### 伊吹山繪詞

有川武彦・小川壽一校訂  
京都 龍谷大學國文學會 昭和三年(一九二八)九月活版 外寸「一八・五×一三糎」(龍谷大學國文學會出版叢書第四編。四二頁)

### 繪卷物詞書叢書

荒木矩編  
京都 藝艸堂 明治三十七年(一九〇四)三月至五月活版 外寸「一八・五×二二・六糎」(一卷「北野縁起詞書註釋」五八頁。二卷「伴大納言繪卷詞書註釋」二三頁、「信貴山縁起詞書註釋」二五頁。三卷「奥州後三年合戦繪詞註釋」六九頁)

### 春日驗記詞書

近衛家熙寫 陽明文庫編  
東京 陽明文庫 昭和十五年(一九四〇)十一月活版 外寸「横本一四・九×二四・三糎」(二五行。一〇五頁)

五一五四  
一册

五一五五  
一袋(封筒共)

五一五六  
一册

五一五七  
一册

五一五八  
洋裝三册

五一五九  
洋裝一册

校訂淨瑠璃物語評釋

須藤求馬評釋

東京 吉川弘文館 明治三十九年（一九〇六）九月活版 外寸「二二・四×一五・二糎」（大和綴。一三三頁）

一休諸國物語五卷

〔江戸前期〕刊 闕卷第五 外寸「二六×一八・六糎」 印記「越后新潟行原二ノ町松原」魚田等（四周單邊。無界。一四行。白口。單魚尾。内匡郭「二・五×二六・五糎」 繪入。一卷一〇丁二卷一九丁三卷一八丁四卷一九丁）

げむじつやおしろい

〔寶曆四年（一七五四）六月〕寫 外寸「三二・七×一六・六糎」 印記「翠筠書屋」（八行。繪入。五七丁。卷末に「寶曆四甲戌歲林鐘」とあり）

竹取物語初編二卷

山東京山作 歌川國貞畫

〔天保九年（一八三八）〕刊 外寸「二七・九×一一・八糎」（單邊。無界。二八行。内匡郭「一五・四×一〇・三糎」 繪入。上一〇丁下一一至二二丁）

藐姑射祕言一卷北里十二時一卷

藐黑澤翁滿著 北石川雅望著

〔明治二十一年（一八八八）〕寫 外寸「二六・六×一七・六糎」 印記「松井藏書」（假綴。藐姑五二丁北里一二二丁。朱筆の書き入れあり）

心學捷徑大學評註

爲永春水（狂訓亭主人）著 池田英泉（一筆菴主人）畫

江戸下谷御成道 青雲堂英文藏 〔江戸末〕刊 外寸「二七・八×一一・八糎」（單邊。無界。六行。注文雙行。内匡

五一六〇

一册

五一六一

四册

五一六二

一册

五一六三

二册（合綴一册）

五一六四

一册

五一六五

一册

### 酒餅論二卷

郭「一四・四×九・七糎」二四丁。書目「東叡山御用御書物所 江戸下谷御成道 青雲堂英文藏製」半丁）  
東京 民友社 大正三年（一九一四）三月寫真石版 外寸「三・四×一五・八糎」印記「福田文庫」（福田敬同）（成  
實堂叢書〔第四篇〕。上一一丁下一〇丁。底本刊記「六月吉日 三須屋又右衛門開板」）

五一六六  
一册

### 燭夜文庫二卷

畑道雲（金雞）著  
〔寛政十二年（一八〇〇）刊 闕卷下 外寸「三・四×二五・八糎」（單邊。無界。一二行。内匡郭「一七×一二・六糎」二四丁）

五一六七  
一册

### 鳳堂雜話集二卷

楫浦鳳堂著  
〔江戸後期〕寫 闕丁第一卷末 外寸「三・五×二六・七糎」（二一行。一卷一八丁二卷一四丁。序「鳳堂雜和集 于時文化九壬申孟冬於潮來菴楫浦鳳後戲書之」 第一卷末に「卷一、末缺」〔墨書〕あり。第二卷序「鳳堂雜話其二 于時文化十年癸酉首秋於潮來菴 鳳後散人戲述之」）

五一六八  
二册

### 風來六々部集後篇 上卷

風來山人著  
〔江戸中期〕刊 外寸「二四・三×一〇・五糎」（單邊。無界。七行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・七×八・九糎」）「飛だ噂の評」一三丁「天狗鬪體鑿定縁起」一三丁（闕第一〇至一二丁）「吉原細見里のをだまき評」二〇丁（闕第一一丁第二二丁）「天狗鬪體圖」半丁。「風來先生著述書目」一丁）

五一六九  
一册

### 柳北奇文二卷

成島柳北著 西山喜内編

五一七〇

明八堂 明治十一年(一八七八)三月刊 闕卷下 外寸「一八・五×二二・六糎」 「重徳所藏」(墨書) (四周單邊。無界。一〇行。内匡郭「二五・六×一〇糎」 頭注付。二二丁)

### 明治笑府第一編

山田延太郎編

大阪 山田延太郎 明治十三年(一八八〇)十二月刊 外寸「一七×一〇・四糎」 印記「玖侶社記」(黒崎貞枝) (角書「挿畫新珍」 左右雙邊。有界。九字。内匡郭「一四・四×七・八糎」 頭註付。二五丁。奥付に發賣人として「大阪柳原喜兵衛・辻本信太郎・西京 辻本定次郎」あり)

### 珍々文粹

瀧良輔(花鷹狂生)編

大阪 瀧良輔 明治十四年(一八八一)七月刊 外寸「一五・八×九・八糎」 印記「玖侶社記」(黒崎貞枝)等 (角書「佳花餘薫」 四周雙邊。無界。九行。内匡郭「二二・二×七・八糎」 二〇丁。奥付に發兌人として「大阪 前川源七郎・柳原喜兵衛・前川善兵衛」あり)

### 東都八大家戲文上編二卷

松村操編

東京 巖々堂 明治十五年(一八八二)十一月活版 外寸「一八×二一・九糎」 印記「巖松堂古典部波多埜扱斯書」(波多野重太郎) (乾二七丁坤二七丁)

### 魚寄戲章

〔江戸後期〕小森邨山崎氏寫 外寸「二九・六×二〇・四糎」 (大和綴。三行。一一丁)

### 烏帽子折

一册

五一七二

一册

五一七二

一册

五一七三

二册

五一七四

一册

天保三年(一八三二)綠竹軒主人寫 外寸「二四・三×一六・四糎」(書名は書外題による。一一行。三二丁。山岸氏識語「烏帽子折一卷幸若舞曲也」)

五一七七  
一册

### 志太物語

昭和十一年(一九三〇)六月山岸德平寫 外寸「二七×一九・四糎」(九行。五三丁。山岸氏識語「志太物語松井本也」)  
昭和十一年六月忽卒書寫焉)

五一七六  
一册

### 繼子草子

明治十四年(一八八二)六月紫白陳人寫 外寸「三三・六×一七糎」 印記「甫庵藏書」(二〇行。二六丁。印刷野紙使用。山岸氏識語「繼子僧說話之繼母之末路十二分東西同一轍型也」)

五一七七  
一册

### 枕草紙詳解三卷

松平靜著

東京 誠之堂書店 明治三十三年二月至明治三十六年(一九〇三)三月活版 外寸「三一・一×一五糎」 印記「前島藏書」(一卷三三八頁二卷四一六頁三卷三七二頁)

五一七八  
三册

### 枕草紙詳解 第一卷

松平靜著

東京 誠之堂書店 明治三十二年(一八九九)二月活版 外寸「二二・五×一五糎」 印記「前島藏書」(與五一七八番第一卷同版)

五一七九  
一册

### 正徹本徒然草

吉田兼好著 垣内松三編

東京 文學社 昭和六年(一九三二)五月活版 外寸「二二・一×一四・七糎」(古典叢刊第壹篇。一四行。一六八頁)

五一八〇  
一册



つれづれ草壽命院抄二卷

秦宗巴著

東京 松雲堂書店 昭和六年(一九三二)六月複製 外寸「三〇・四×二三糎」(康熙綴。一〇行。一卷一三〇丁二卷七三丁。附「徒然草壽命院抄解説」川瀬一馬著。四八頁)

五一八一  
二册

土佐日記創見

香川景樹著

〔明治期〕活版 外寸「一八・三×一二・五糎」 印記「山岨十茂能藏書」友之助醒 (和文叢書第壹篇。二三八頁。封面に「大坂圖書出版會社發兌」とあり)

五一八二  
洋裝一册

東關紀行詳解

鳥野幸次著

東京 明治書院 昭和三十五年(一九六〇)七月活版 外寸「三二・五×二四・七糎」 印記「埼玉縣北葛飾郡豊野村關根作次郎」(二三三頁。附録「東關紀行の作者について」三五頁)

五一八三  
一册

註釋東關紀行

辻橋大吉、畠中龜之助著

東京 誠之堂書店 明治四十年(一九〇七)七月二版活版 外寸「三二×二四・八糎」(一〇二頁)

五一八四  
洋裝一册

おくのほそ道

松尾芭蕉著

東京 中興館 大正十五年(一九二六)三月増補五版活版 外寸「三二・二×二五糎」(八三頁)

五一八五  
一册

吾嬬紀行

富永無物著

五一八六

富永孝太郎 大正十年(一九二二)六月影印 外寸「二二・八×一五・六糎」(大和綴。單邊。無界。内匡郭「一五・四×一〇・五糎」二三丁。底本「文政七年越後松島庵藏版刊本」)

### 秋山記行二卷

鈴木牧之著

昭和十年(一九三五)十二月山岸德平寫 外寸「二六・八×一九・五糎」(二一行。天四五丁地四四丁。山岸氏識語「秋山記行二册越後中魚沼郡鹽澤町鈴木牧之家舊藏本也今在大阪積德堂書林 昭和乙亥十二月借覽書寫者也」 別册「秋山紀行と一九」山岸德平著(近世文學の研究「抜刷」)

### 縣門遺稿五集

清水濱臣編

江戸 岡田屋嘉七等 (文政六年(一八二三)一月跋)刊 外寸「二二・五×一五・八糎」 印記「雲林文庫」(上雙邊下單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・五×一三糎」)

内容 第一集「村田春郷家集」。第二集「小野古道家集」、「荷田在滿家十二番歌合」、「縣居翁歌會兼題當座歌」、「村田春道別業集會當座歌」。第三集「つくは子家集」、「杉田日記」。第四集「楫取魚彦家集」、「白猿物語」。第五集「椿まうでの記」(村田春海著)、「香とりの日記」(橘千蔭著)

### 不留佐登

上田秋成著

享和三年(一八〇三)上田秋成自筆寫 外寸「二七・一糎」(奥書「寛政庚申春三月書之茲歲 享和壬(癸)亥正月以試毫之次再寫七十翁無腸隱者(花押)」 附「應雲林院醫伯之需擬李太白春夜宴桃李園序」)

### 文鑑千草の錦

中邨秋香編

東京 前川文榮閣 明治三十七年(一九〇四)二月四版活版 外寸「二二・五×一四・八糎」 印記「山嶮十茂能藏書」

一册

五一八七

一册・別册一册

五一八八

五册

五一八九

卷子本一卷(貴重書庫室)

五一九〇

一册

(三二五頁)

### 評釋紫女手簡

木村正三郎(架空)著

東京 林書房 明治三十二年(一八九九)十月活版 外寸「三・二×一四・七糎」(九〇頁。山岸氏識語「架空ハ木村正三郎氏也」)

五一九一

一册

### をりふしのふみ二卷

竹村茂雄編

江戸 尙古堂岡田屋嘉七等 「江戸末」刊 外寸「三・八×一五・八糎」 印記「筑前國宗像郡田島村宇田島明德齋」  
「明德齋」「神習村上」 「富岐能屋文庫正都良藏(墨筆) (無匡郭。一二行。上四八丁下五〇丁。「尙古堂藏版書目  
東都芝神宮前 岡田屋嘉七」五丁。朱筆の書き入れあり)

五一九二

二册

### 詞花懸露集三卷

〔江戸〕〔みすや又右衛門〕 「元祿十一年(一六九八)一月刊」後印 外寸「三・七×一五・七糎」 印記「守隨藏」(守隨  
憲治)「羽州由利伊勢居地池田林美」「林美」「哥磨」「池田氏」 「享和」二戌とし池田哥磨(墨筆) (單邊。無界。白口。  
無魚尾。一〇行。内匡郭「一六・四×一一・四糎」 上一八丁中一四丁下二〇丁)

五一九三

一册

### 雲濱遺文

梅田雲濱撰

東京 羽倉信一郎 昭和二年(一九二七)五月影印 外寸「横本一八・二×二五・五糎」 (書名は題簽による。一〇丁)

五一九四

一册

### 神樂歌評釋

千秋季隆述

東京 東京専門學校出版部 「昭和期」活版 外寸「二・二×一四・六糎」 (目次首角書「國文評釋」 一四行。書き

五一九五

洋裝一册

入れあり)

### やまかつら

〔奈良〕春日神社々務所 大正十三年(一九二四)八月影印 外寸「三二×三二・二糎」(大和綴。一九丁。跋文末に「明治三年四月 春日大宮從四位中臣殖栗連光」とある)

五一九六  
一册

### 拾遺和歌集 存卷第一至十

寂惠等筆

〔鎌倉期寫〕外寸「三・三×一六糎」(列帖裝。九行。一四二枚。跋「卷第十の終りに」この集順教御房にこまやかによみきかせまいらせ候ぬ 判」奥書「斯集雖有一部書寫之志老病 右筆不合期之間上帖之内第一第二第十等染愚筆其外所用他筆也但於其說者傳受之分無所殘所奉授糟屋賢郎也 桑門寂惠(花印)」極札「安倍寂惠法師 拾遺集 琴山(印)」昭和四十五年重要文化財指定)

五一九七  
一册(貴重書庫室)

### 校訂金葉和歌集十卷

〔源俊賴奉勅撰〕井上通泰校訂

〔東京〕〔歌書刊行會〕〔明治四十二年(一九〇九)十月〕活版 外寸「三三×一五・四糎」(一〇七丁。附「被除歌」一〇八至一一三丁。鉛筆の書き入れあり)

五一九八  
一册

### 校訂詞花和歌集

〔藤原顯輔奉勅撰〕井上通泰校訂

東京 歌書刊行會 明治四十二年(一九〇九)十二月活版 外寸「三三×一五・五糎」(六四丁。附「被除歌」六五至六六丁)

五一九九  
一册

### 宮河歌合即續三十六番

西行詠 藤原定家判

五二〇〇

〔明治期〕寫 外寸「二三・七×一六糎」〔大和綴。一二行。二〇丁。本文末に「作者西行上人圓位左右同之判者侍從藤原定家朝臣」とあり。朱筆の書き入れあり〕

### 名徳百人一首

皇都寺町三條南 著屋宗八 〔江戸後期〕刊 外寸「一七・九×二・五糎」〔單邊。無界。白口。無魚尾。内匡郭「一五・九×一〇・五糎」繪入。二六丁。「聖徳太子御製至元和上皇御製詠歌」を收録〕

### 調度歌合

三條西實隆撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・四×一七糎」印記「紅梅文庫〔前田善子〕獻英樓圖書記〔田安府芸臺印〕〔田安家〕（一一行。九丁。奥書「右一卷三條實隆入道道遙院堯空眞跡也臨于此卷書寫畢 公頼」写本云臨于轉法輪三條公頼眞跡書写校讎畢）

### 四英獄窓骨董集二卷

頼醇（三樹三郎）等著 古松淵臣校

慶應四年（一八六八）六月序刊 外寸「一八・一×二・五糎」〔題簽「四英獄窓唱和集」左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一三×九・八糎」上二七丁下二二丁〕

### 和漢連珠朗詠二卷

長尾赤城編撰 齊延秋等同校

文政八年（一八二五）一月序刊 玉河解庵藏板 外寸「二六・五×一七・九糎」〔四周雙邊。有界。一〇行一九字。内匡郭「一九・三×一四・四糎」上二一丁下二二至二三丁〕

### 和漢拾葉

京 近江屋佐太郎等 嘉永元年（一八四八）十一月刊 外寸「二六・二×一八・六糎」〔原徳辰藏〕〔墨筆〕〔四周單邊。]

一册

五二〇一

一册

五二〇二

一册

五二〇三

一册

五二〇四

一册

五二〇五

無界。四行一四字。内匡郭「二・三×一六・四糎」(三四丁)

### 註釋山上憶良歌集

井上頼文著

東京 會通社 明治四十三年(一九一〇)十月活版 外寸「二・九×一四・七糎」(二〇四頁)

### 大江千里集

大江千里撰

〔昭和期〕山岸德平寫 外寸「一九・五×一四糎」(八行。二四丁。山岸氏識語「大江千里集一卷傳寂蓮筆與書無之複製本今茲十一月上流借覽春敬飯島氏藏複製本而大呂十一日半夜十二日朝書寫了 九月二十八日」)

### 狹衣哥よせ四卷

昭和六年(一九三二)八月寫 外寸「二七×一九・四糎」(九行至一一行。三六丁。山岸氏識語「狹衣歌よせ一卷以小川氏藏本書寫畢 昭和六年八月上流詠人書寫者也流布本狹衣之歌也自卷一至卷四」)

### 堤中納言集

元祿五年(一六九二)跋刊 外寸「二九・二×一七・八糎」 印記「燠風樓圖書記」(八行。一九折。内匡郭「三・六×一五・三糎」 板表紙。陰刻)

### 金槐和歌集

源實朝撰 佐々木信綱校

東京 すみや書店 明治四十年(一九〇七)九月活版 外寸「一四・五×一四・五糎」 印記「木村」「木村善俊珍藏」(墨書) (二五一頁)

### 金槐和歌集三卷

一册

五二〇六  
洋裝一册

五二〇七  
一册

五二〇八  
一册

五二〇九  
折本一帖

五二一〇  
一册

源實朝撰 森與重編

明治三十二年(一八九九)五月活版 外寸「二四×一五・七糎」(上二九丁中八丁下二二丁)

### 頭註後水尾院御集二卷

後水尾天皇撰 吉澤義則頭注

京都 仙壽院 昭和五年(一九三〇)九月活版 外寸「二六・三×一八・八糎」印記「讀賣新聞社圖書之印」よみうり

圖書室 (上二二四頁下一五四頁)

### 都洲集二卷

八田知紀撰

〔江戸末〕 松柏堂刊 關卷下 外寸「一八・二×二二・五糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・四×九・三糎」

三二丁)

### 和漢草二卷

千種有功著

明治三十年(一八九七)四月序刊 外寸「一九・三×二三・四糎」(大和綴。單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・四×九・

四糎」上卷八丁下卷九至二五丁)

### 定家卿筆跡集

藤原定家卿七百年鑽仰會編

京都 藤原定家卿七百年鑽仰會 昭和十六年(一九四二)二月影印・活版 外寸「二三・七×一五・三糎」(二〇丁、

一二頁)

### 藤原定家卿七百年祭手向和歌集

藤原定家卿七百年鑽仰會編

---

五二二一	一册
五二二二	二册
五二二三	一册
五二二四	一册
五二二五	一册
五二二六	一册

京都 藤原定家卿七百年鑽仰會 昭和十六年(一九四二)二月活版 外寸「三・七×一五・二」(八七頁)

### 歌仙部類抄女房三十六人歌仙二卷

橋本直香述 高島千春畫

嘉永七年(一八五四)二月序刊 橋本彦八藏板 外寸「三・八×一五・二」(無匡郭。一〇行。注文雙行。繪入。上五〇丁下四九丁)

### 歌仙二葉抄三卷

岨山春幸編

大阪 菊屋勘四郎・泉屋喜太郎 延享四年(一七四七)跋刊 關卷中 外寸「二・七・三×一八・三」(無匡郭。一〇行。注文雙行。上三九丁下六六至八九丁。山岸氏識語「中卷元來缺者也」)

### 不染庵主視聽錄即小倉山莊色紙草稿

不染庵著

嘉永六年(一八五三)藜露寫 外寸「二・八×一・九・八」(假綴。九行。頭注付。三九丁。視聽雜記「二七丁芳蹟視聽雜四丁」)

### 扶桑拾葉集作者系圖

徳川光圀編

〔江戸中期〕寫 外寸「二・六・八×一・九・二」(無匡郭。一〇行。頭注付。三九丁。發賣「竹柏會」)

### 仙覺律師奏狀

仙覺〔著〕

佐佐木信綱 昭和四年(一九二九)五月複製 外寸「二・七・二」(書名は包紙表書による。發賣「竹柏會」)

一册

五二二七

二册

五二二八

二册

五二二九

一册

五三三〇

一册

五三三一

卷子本一卷



歌合時代類聚目錄

昭和七年（一九三二）三月山岸德平寫 外寸「一九×二六・八糎」（二〇行。二三丁。山岸氏識語「歌合時代類聚目錄一卷以圖書寮本書寫畢」）

那智籠 上卷

宗長撰

〔室町期〕寫 外寸「二五・二×二二・四糎」 印記「吉澤文庫」（吉澤義則）（二五行。五六丁。山岸氏識語「那智籠上缺下（貴重書）那智籠は北野神社本、本能寺本、山岸本の外、無き連歌書なり」）

〔かさの記一卷鹿島紀行一卷〕

松尾芭蕉著

東京 大塚巧藝社 昭和七年（一九三二）九月複製 外寸「一九・三糎」（書名は大嶋氏解説による。假題。箱書表「芭蕉筆俳諧卷子」別冊「芭蕉翁自筆俳諧卷子解説」大嶋寶水著。二九頁）

俳諧古選五卷俳諧新選五卷

古三宅嘯山編著 沼波瓊音校 新三宅嘯山、炭太祇共選 沼波瓊音校

東京 東亞堂書房 明治四十二年（一九〇九）再版活版 外寸「横本二二×一八・八糎」 印記「眞愛堂」（古選八八頁 新選一四二頁）

去來抄

向井去來撰

東京 大東急記念文庫 昭和三十二年（一九五七）六月影印 外寸「横本一八・二×二五・八糎」（二〇行。三六枚。附録「先師評」第一葉紙背「渡鳥集」草稿冒頭」等六枚四枚。別冊「大東急記念文庫『去來抄』解説並釋文」尾形仿著。五六頁）

五二二一  
一册

五二二三

一册（貴重書庫室）

五二二四

册  
卷子本二卷・別冊解説一册

五二二五

洋裝一册

五二二六

洋裝一册・別冊解説一册

うづら衣評釋

佐々政一著

東京 明治書院 明治四十三年(一九一〇)九月六版活版 外寸「二・三・三×一四・七糎」(全二一九頁)

おらが春

小林一茶著

東京 集英社 昭和四十五年(一九七〇)三月複製 外寸「二・三・三×一五・八糎」(三七丁。底本「天理圖書館所藏刊本」)

寶藏五卷

山岡元隣(著)

東京 明治書院 昭和七年(一九三二)一月活版 外寸「二〇×一三・八糎」(二〇〇頁。附「寶藏追加發句」一〇一至一一六頁)

蜀山人自筆百首狂歌

蜀山人詠

〔江戸後期〕寫 外寸「三〇・八×二一・三糎」 印記「上田文庫」(上田恭輔) (假綴。三〇丁。跋「此一帖吾家狂歌髓腦也其他一時漫興宜曆皮毛云々 蜀山人」)

大和詩操二卷

雙芝園白瑛撰

紀州若山 阪本屋喜一郎・阪本屋大二郎・阪本屋源兵衛 文久二年(一八六二)跋刊 外寸「二五・五×一八・五糎」 印記「下埜國渡部氏藏書印」(渡部邁)「北田藏書」(北田紫水) (單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・三×一四・九糎」 上一四丁下三七丁)

狂句一萬集

五三二七

一册

五三二八

一册

五三二九

一册

五三三〇

一册

五三三一

二册

内山龜太郎編

大阪 中村鍾美堂 明治三十三年(一九〇〇)十二月活版 外寸「横本二・三×一八・五糎」(大和綴。一〇九頁)

### 川柳語彙

宮武外骨(廢姓外骨)編

東京 半狂堂 昭和三年(一九二八)五月四版活版 外寸「二四×一六糎」(六四頁)

### 寶遊廓周易二編

〔江戸後期〕寫 外寸「一九・四×一三・八糎」 「駒形建治主」(墨筆) (前編一二丁後編一三丁)

### 俳諧よりする狐狸表現の史的觀察資料

後藤肅堂著

静岡縣曳馬村 濱松子供協會土のいろ社 昭和六年(一九三二)五月油印本 外寸「二三・二×一五・七糎」(土のいろ第八卷第三號。前篇五六頁後篇五七頁至一一〇頁)

### 平安通志六十卷

湯本文彦等編

〔京都〕京都市參事會 明治二十八年(一八九五)十月活版 外寸「二六・五×一八・六糎」

### 繚史

村井政禮著

高橋貞一 昭和三十一年(一九五六)油印本 外寸「二六×一八糎」(三六頁。奥書「本書は田中教忠翁藏本をわが轉写したものを謄写したものである。田中教忠翁藏本は半紙型の野紙に書写せられ、四十五枚、前半は瀬田章甫、後半は田中教忠翁の書写する所で明治初年の寫しである。(略)著者は岐阜の人村井修理藤原政礼で慶應三年斬首せら

五三三二

一册

五三三三

一册

五三三四

一册

五三三五

二册(合綴一册)

五三三六

二〇册

五三三七

一册(同書一八册)

れ、墓は東山靈山にある。(略)昭和三十一年七月二十五日高橋貞一)

### おあん物語

山田去暦女著

享保十五年(一七三〇)三月谷恒守寫 外寸「二七・五×二〇・糶」(四五丁。山岸氏識語「菅井氏より贈らる」)

五三三八

一册

### 耶蘇始末記

天明六年(一七八六)六月眞下義長寫 外寸「二四×一七・糶」(九行。三八丁。奥書「右ノ耶蘇始末記ハ中山岸本氏ニ存リ于時天明六丙午年六月廿六日 眞下氏義長寫(印)」)

五三三九

一册

### 標註神皇正統記六卷

北畠親房撰 佐伯有義、三木五百枝校訂標註

東京 青山清吉 明治二十五年(一八九二)三月訂正三版活版 外寸「三三×一五・五・糶」 印記「磯田藏書之印」

五二四〇

一册

村磯田文藏「(墨書) (大和綴。角書)校正」 八七丁

### 神皇正統記

〔北畠親房撰〕 平泉澄編

東京 三秀舎 昭和八年(一九三三)四月影印 外寸「二七・四×一九・一・糶」 「加賀國石川郡白山住人荒御前命苗裔

五二四一

四册

上道氏傳量東氏」(墨書) (七行。漢字片假名頭注傍訓付。第一册三六枚第二册四〇枚第三册四五枚第四册五七枚。

附「白山本神皇正統記解説」平泉澄著。六三頁

### 人麿考

關谷眞可彌(鐵太郎)著

〔明治期〕活版 外寸「三三・八×一七・一・糶」 印記「渡邊文庫昭藏」 (假綴。六八丁)

五二四二

一册

## 右大臣吉備公傳纂釋二卷

重野安釋著

岡山縣箭田村 吉備公廟會事務所 明治三十五年（一九〇二）三月活版 外寸「三・三×一・五糎」 印記「藤澤朝世征戰記念」「雨亭文庫」「金鷄學院恩賜文庫分室之印」（上一・一八頁下一・二二頁附錄一六頁）

五二四三

一册

## 安積良齋詳傳

石井研堂著

東京 石井研堂 大正五年（一九一六）四月活版 外寸「三・六×一・五・一糎」（一七三頁。發賣「東京堂書店」）

五二四四

一册

## 芳賀矢一先生

芳賀矢一先生記念會編

東京 芳賀矢一先生記念會 昭和十二年（一九三七）二月活版 外寸「三・三×一・五糎」（大和綴。九四丁）

五二四五

一册

## 日本外史古戰場概圖

河村與一郎編

大坂 松田庄助 明治十年（一八七七）十一月銅版印本 外寸「一・七・四×一・二・四糎」（四九折。奥付に發兌者として「京都 大谷仁兵衛・杉本勘助・滋賀 佐々木慶助」とある）

五二四六

折本一帖

## 江關筆談

新井白石 趙泰億編

〔江戸中期〕寫 外寸「二・七・三×一・九糎」 印記「阿波岐曾能藏書」（大津立嘉）（九行二〇字。注文雙行。一四丁。山岸氏識語「江關筆談寫一册於江戸本願寺筆談云云佐村八郎國書解題四有室鳩巢之跋云云本書無跋者原本歟」）

五二四七

一册

## みくるまのあと

小出察著

五二四八

皇后宮職 明治二十四年(一八九二)二月活版 外寸「三・二×一五・三」(七〇丁)

### 新編纂圖本朝尊卑分脈系譜雜類要集二十卷索引一卷

洞院公定撰

東京 吉川弘文館 明治三十六年八月至大正十三年(一九二四)十一月活版 外寸「二六・九×一九・二」

### 皇親譜略

塙保己一抄

〔明治期〕活版 外寸「二六・九×一八・八」(群書類從之一。二〇八頁)

### 唐過所

東京 東方文化學院 昭和十年(一九三五)三月影印 外寸「三・二」(東方文化叢書第七。底本「園城寺所藏寫本」)

別冊「國寶」唐過所解説「内藤湖南撰。二九頁」

### 御攝籙渡庄目六

東京 宮内廳書陵部 昭和三十九年(一九六四)十二月複製 外寸「三・三・三」(底本「宮内廳書陵部藏舊九條家本」)

中「九條家所領雜々」の中一本 鎌倉後期寫本 別冊「御攝籙渡庄目六解題」(二二頁)

### 東大寺獻物帳

〔東京〕東京帝室博物館 大正十年(一九二二)八月後印 明治十三年十二月博物館藏版 外寸「三〇・一×二二・四」

〔書名は題簽による。大和綴。四三丁。寫本模刻本〕

### 北山抄紙背假名消息

藤原公任著 出雲路通次郎編

一册

五二四九

一三册

五二五〇

一册

五二五一

卷子本一卷・別冊一册

五二五二

卷子本一卷・別冊解題一册

五二五三

一册

五二五四

京都 便利堂 昭和十一年（一九三六）十月影印 外寸「三二・八糎」〔箱書〕三條家北山抄紙背文書〕 別冊「三條公爵家藏國寶北山抄紙背草假名消息解說釋文」出雲路通次郎著。二〇頁〕

### 南無阿彌陀佛作善集

重原著

京都 眞陽社 昭和三十年（一九五五）三月影印 外寸「三六×二八・七糎」〔奈良國立文化財研究所研究資料第一冊。康熙綴。一八頁。紙背文書六頁。底本「鎌倉期鈔本」附「南無阿彌陀佛作善集解說」〔南無阿彌陀佛作善集〕紙背文書解說〕

### 和翰集要

〔江戸前期〕寫 外寸「二四・五×一七・二糎」〔八二丁。山岸氏識語〕和翰集要在圖書寮一本焉〕

### 〔長樂寺文書〕

〔昭和四十四年（一九六九）〕影印 外寸「二七×一九・六糎」〔第一冊二二丁第二冊一八丁。底本「上野國世良田村長樂寺文書」 山岸氏識語〕昭和四十四年十二月白石氏寄贈〕

### 從公儀被仰出御法度書留

〔昭和四十五年（一九七〇）〕影印 外寸「二五・九×一八・一糎」〔書名は題簽による。一四丁。底本表紙に「御請書天保四巳年 荒町組兼帶關川組三本木新田」とある。山岸氏識語〕昭和四十五年四月廿日白石氏より〕

### 先賢遺芳

三重縣〔編〕

三重縣〔津〕 大正四年（一九一五）十一月活版 外寸「三八・三×二六・二糎」〔大和綴。一七三頁。圖版葉七六枚〕

冊 卷子本一卷・別冊解說一

一冊 五二五五

一冊

一冊 五二五六

一冊

二冊 五二五七

二冊

一冊 五二五八

一冊

一冊 五二五九

一冊

### 京都帝國大學國史研究室藏史料集

京都帝國大學文學部〔編〕

〔京都〕 京都帝國大學文學部 昭和八年（一九三三）三月影印 外寸「橫本三〇・三×三九・二」〔六一枚目次一枚。

闕〕第二後陽成天皇宸翰其一、其二、第九青蓮院宮尊圓法親王令旨、第四二切支丹改宗起請文、第四三中院通勝古今傳授狀并切紙）

### 史徵墨寶考證古代文帖二卷

東京 內閣修史局 〔明治期〕印 外寸「橫本三八×五六・五」〔書名は書外題による。上四六丁下四五丁。印刷者

〔東京共同印刷社、活版製造所石版部〕

### 增訂陽明世傳

陽明文庫編

京都 陽明文庫 昭和二十年（一九四五）七月影印 外寸「橫本三九・三×五五・二」〔圖版一五〇枚。別冊「增訂陽

明世傳解說」田山信郎著。二〇六頁）

### 古文書時代鑑二卷續編二卷

東京帝國大學〔編〕

東京 東京帝國大學史料編纂掛 大正十四年（一九二五）三月影印 外寸「三八・五×三〇」〔第一冊上一〇六枚

〔闕二六、三三、四四至四九、六三、六六、七一、七四、九五番〕解說上一一四頁。第二冊下一〇七至一一〇番（二二〇枚）

解說下一四二頁。第三冊續篇上一〇四番（二二〇枚）解說上一五四頁。第四冊續篇下一〇五至一二六番（二二〇枚）解說下二〇六頁）

### 小澤精菴稿本 越後郷土資料關係書・外交及海防論關係書・漢籍註釋及文稿

〔江戸後期〕小澤精庵寫 外寸「二三至二八×一三・八至一九・八」〔印記「困學堂」「困學堂藏書記」「精庵」「山谷臣印」

五二六〇

六二枚

五二六一

二冊

五二六二

一冊・別冊解說一冊

五二六三

四帙・別冊四冊

五二六四



(朱點・朱筆の書き入れあり。映入)

〔越後郷土資料關係書〕

- 一、越後野史 小澤新兵衛撰 天保丙申九月記筆四册(一一三丁)
- 二、米價高直御取置之愚按他 申八月十三日認 小澤新兵衛(一二二丁)
- 三、上出雲崎御代官篠本公書(五丁)
- 四、上越後清水新道不便議 嘉永六年癸丑十一月三日 小澤新兵衛(一一丁)
- 五、新潟湊御備場見込 安政三年三月五日 小澤新兵衛(六丁)

〔外交及海防論關係書〕

- 六、禦銃器製 嘉永六年癸丑十一月三日 小澤新兵衛 二册(第一稿一六丁第二稿一六丁)
- 七、上禦丸器製 嘉永六年癸丑十一月三日 小澤新兵衛(一二丁)跋(六丁)
- 八、上却魯西亞國請釐正邊疆經略議 嘉永七年甲寅四月十四日 小澤新兵衛(一六丁)
- 九、戰互主用劍槍兼用火器議(四七丁)
- 一〇、上策(上却西戒請通市策) 嘉永六年癸丑秋九月 小澤新兵衛(四三丁)
- 一一、上策附言 嘉永癸丑十月九日 小澤新兵衛(一二丁)
- 一二、上虜情隱伏議 嘉永六年癸丑冬十一月朔 小澤新兵衛(一四丁)
- 一三、西流蟻隊愚議及陸戰正奇兵愚策 文久二年壬戌十二月御寄合 小澤新兵衛(三四丁)
- 一四、北亞墨利加船使被差向不便見込書并魯西亞人應接□□ 小澤新兵衛(三五丁)
- 一五、洋製軍艦蒸氣船縣念之愚議 午六月再陳 小澤新兵衛(二五丁)
- 一六、魯西亞國考 嘉永六年癸丑九月 小澤新兵衛(七、二六丁)
- 一七、海外彙報 五卷附一卷五册 嘉永庚戌困學堂藍本
- 一八、訓點海國圖志掃除 小澤新兵衛辱守箒 高橋起義孚、鈴木裕子寬等筆錄(四二丁)
- 一九、蝦夷地御備及御新懇乍恐再度以書付奉申上候 丙辰十一月十一日 篠本彦次郎様 小澤新兵衛(二七丁)

〔漢籍註釋及文稿〕

- 二〇、十三經注疏異撰四卷四册 小澤辱守仲博著 一卷二〇丁二卷三三丁三卷長岡柳眠寫一七丁四卷柳眠居士騰寫

(三二丁)

二二、辨斥緒遂良不能全顧命(四丁)

二三、夢中の妄想 文久二年壬戌七月平安之隱士東都の客舎にて記す(一〇丁) 柳眠敏求録(四丁) 日本政記拔書(七丁) 張丞相列傳考附周昌任敖申屠嘉(六丁) 鬮詩(四丁) 笛浦詩鈔(三丁) 杉軒日本刀歌(二丁) 安政戊午日月玄默 困敦也

二四、籠中日録四卷合冊 慶應二丙寅七月長岡林之助寫一卷一〇丁二卷九丁三卷七丁四卷八丁

二四、閑窓雜志 萬延紀元孟冬 六卷六冊

(一) 一之卷 九臯試鳴 地動考 海鰲考 兼帶困學堂藍本辨紫録第二卷(四二丁)

(二) 二之卷 海防策 齋藤拙堂著 息軒文鈔 答某生論漢議書 與平部溫卿論甲板船書 與堀土遜書 丹羽伯 弘墓碣銘 松崎憚堂行狀 別錄 藤森弘庵詩四十三篇 原學 篠本世子功君讀書室記 小澤斑美(三六丁)

(三) 私擬報俄羅斯國書 長岡豫安卿筆録(一八丁)

(四) 上却西戎請通市策牋記ほか一三丁

(五) 星祭酒林先生書ほか二二丁

(六) 百際漫録二七丁

二五、遺杰三奇一覽二二丁

二六、遺簪集 一ノ一(卷之一) 小澤斑美子當著(二七丁)

二七、孝子本多義光墓碣 小澤孱守撰(六丁)

二八、卯八郎請懇田記 小澤斑美撰 天保戊戌夏六月(三丁)

二九、文稿五種六冊 遺簪集卷二之一(三四丁) 八月一五日文稿九篇書生寮(一一丁) 文稿 小澤重相述一六丁  
〔九月二十六日〕五丁〔往辱見過〕六丁〔梅花書屋記〕等七篇 〔篠本世子功君讀書室記〕 弘化丙午端陽一五丁

附「小澤精算稿本目錄」一枚

## 註解十八史略抄

新保警次編

東京 金港堂書籍 明治四十二年(一九〇九)一月再版活版 外寸「三・三×一四・八糎」(六一丁)

### 蒙求官職考三卷

林羅山撰

明曆三年(一六五七)七月刊 外寸「二七・一×二六・七糎」 印記「小林氏藏書記」「好徳堂圖書印」(四周雙邊。無界。九行一八字。注文雙行。白口。上花口魚尾。内匡郭「二〇・六×一四・三糎」 上四六丁中一八丁下五丁。訓點送假名付。朱筆の句點あり)

### 建武年中行事註解三卷

和田英松著

東京 明治書院 明治三十六年(一九〇三)序活版 外寸「二・五×一五糎」(上一一五頁中一一六至一一八頁下一八九至二七二頁)

### 増註日中行事略解

大石千引著 和田英松補

東京 明治書院 明治三十六年(一九〇三)十一月活版 外寸「二・五×一五糎」(四六頁)

### 中殿和歌會

〔江戸後期〕寫 外寸「三・五・三糎」(書名は書外題による)

### 歌御會始拜觀私言

吉井良晃編

〔兵庫縣西宮町〕 吉井良晃 大正十四年(一九二五)二月活版 外寸「二・七×一五・八糎」 印記「大橋藏書」(大和綴。九八頁)

一册

五二六六

二册

五二六七①

一册

五二六七②

一册

五二六八

卷子本一卷

五二六九

一册

### 和歌會作法二卷

珍書同好會 〔大正六年(一九一七)六月序〕影印 外寸「二四×一六・五糎」(上)三至二四丁下二五至五三丁。序文末に「和歌會作法 大正六年六月 文學博士佐々木信綱識」とある。底本「東本願寺舊藏名古屋富田重助氏藏傳藤原家隆筆本による平林治徳書寫本」 山岸氏識語「和哥會作法 本書之題目ニアラズ卷頭ノ見出シナリ」

五二七〇

一册

### 詩歌講師部類抄

柳原紀光編

昭和十八年(一九四三)一月寫 外寸「二七×一九・二糎」(三〇丁。柳原光愛識語「是一册去曾祖父大納言殿御自筆也今度托或人令模寫也 明治十五年八月光愛」山岸氏識語「詩歌講師部類抄圖書寮本也 昭和十七年大呂下院借覽之序書寫者也」)

五二七一

一册

### 和歌會部類五卷

昭和十四年(一九三九)八月寫 外寸「二七・八×一九・五糎」(一八行。注文雙行。一卷五七丁。二卷上七八丁下六三丁。三卷六七丁四卷六〇丁五卷五六丁。山岸氏識語「和歌會部類五卷六册圖書寮本也舊久我侯藏本明治十八年改入寮者也」 朱筆の書き入れあり)

五二七二

六册

### 詩歌御會式

〔今城定淳〕撰

貞享三年(一六八六)三月寫 外寸「二七×一七・三糎」(六行。一五丁。跋「維時貞享三龍集丙寅天閏三月廿六日寓于武江淺草西照寺写之紇 東羽最上山形 應向世軒匹如身良言」)

五二七三

一册

### 代々詩歌同日例一卷大學詠歌一卷

大學室直清(鳩巢)撰

昭和二十二年三月及昭和三十三年(一九五八)九月山岸氏家中寫 外寸「二七×一九・八糎」(八行至一〇行。代々

五二七四

一册

一八丁大學七丁。山岸氏識語「代々詩歌同日例以圖書寮本書寫一校了 昭和廿二年三月十六日」大學詠哥一册以直  
清自筆稿本書寫了」朱筆の書き入れあり

### 詩會部類三卷

昭和十三年（一九三八）十二月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」（八行一六字。一卷四〇丁二卷六〇丁三卷六九丁。  
山岸氏識語「詩會部類三卷以學習院本書寫者也圖書寮亦一本有焉」朱筆の書き入れあり

### 御扈從被〔勤役心得〕

〔江戸後期〕寫 外寸「一七・三×一二・三糎」（假綴。一七行。六三丁）

### 出陣式次第

昭和八年（一九三三）寫眞・活版 外寸「一八・三糎」〔安田善彦（箱蓋裏墨書）（寫眞集。〕出陣式次第 昭和八年  
四月十六日官幣中社鎌倉宮に於て 明治天皇御親拜六十周年記念祭にて

### 丹鶴圖譜

國書刊行會編

東京 國書刊行會 大正三年（一九一四）一月活版 外寸「三二・三×一五糎」印記「横河文庫」（類聚雜要抄卷第  
四。色繪。二〇折。底本の跋文末に「元祿十七年四月十一日兵部卿文仁親王跋之」とある）

### 歴代服裝圖錄 染織祭篇

關保之助等編

京都 歴代服裝圖錄刊行會 昭和八年（一九三三）十一月活版 外寸「二六・八×一九糎」（大和綴。八一枚（原色版  
一〇圖單色版一一至一六四圖）解説七九頁）

五二七五

三册

五二七六

一册

五二七七

卷子本一卷

五二七八

折本一帖

五二七九

一册

舊儀裝飾一六式圖譜

猪熊淺磨著 古谷紅麟畫

京都 京都美術協會 明治三十六年(一九〇三)九月刊 外寸「横本二四・七×三六・七糎」(書名は題簽による。繪入。一四折)

菅像辨

伊勢貞丈著

天保十四年(一八四三)忌部宿禰真幸寫 外寸「二四・四×一六・四糎」 印記「中川藏書」(八行。三二丁。奥書「安永九年庚子十月廿六日燈下書畢 伊勢平藏貞丈述」 識語「天保十四年癸卯歲初冬廿四日書寫了 從五位下行和泉守忌部宿禰真幸」)

租調考

三浦千春著

名古屋 永樂屋正兵衛等 明治二年(一八六九)刊 從容館藏版 外寸「二六・三×一八・三糎」 印記「反章求堂」(單邊。無界。一〇行。注文雙行。内匡郭「一九・六×一四・五糎」 頭注付。三五丁)

明治新撰泉譜三集

成島柳北著 (第三集)守田寶丹編

東京 江島伊兵衛 明治十五年四月至明治十八年(一八八五)四月刊 (第三集)東京 守田寶丹 明治二十二年(一八八九)十二月刊 外寸「三三・二×一六・六糎」 印記「藤山藏書」(單邊。有界。一集一九丁二集一五丁三集二五丁)

西京傳新記初編

菊池純(三溪)著

五二八〇  
折本一帖

五二八一  
一册

五二八二  
一册

五二八三  
三册

五二八四

西京 文石堂北邨四郎兵衛・晒錦堂齋藤新四郎 明治七年(一八七四)十二月刊 外寸「二・五×一五・五糎」(左  
右雙邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「一六×二・二糎」 訓點送假名付。四二丁)

## 新撰陸奥風土記十卷

保田光則撰

仙臺 青葉文庫叢書刊行會 大正元年十月至大正二年(一九一三)九月活版 外寸「一八×二・三糎」

## 諏訪史料叢書 卷二

諏訪史料叢書刊行會編纂

長野縣川岸村 諏訪史料叢書刊行會 大正十五年(一九二六)四月活版 外寸「二・七×一五・七糎」 印記「高野一  
印」「香嶽」「香嶽文庫」「高野藏書」 (諏訪大明神畫詞)四九頁、「諏訪大明神御本地緣起」三五頁、「諏訪上下宮祭祀  
再興次第」(五五頁)

## 新浦情話三卷

今村淀七著

新潟 大昭堂書店 昭和十二年(一九三七)九月活版 外寸「三・七×一六・二糎」(六五丁)

## 富士日記

賀茂季鷹著

〔江戸後期〕寫 外寸「二四×一六・九糎」 印記「服部」「富樫」 (八至九行。六七丁。頭注。序文末に「文化十一年九  
月 三宅公輔識」とある。附「賀茂季鷹縣主の富士にのほられし時の日記うつしをく事かへし侍るとて 和歌三首」  
(二丁)「菅原雪臣」(二丁) 挿繪(富士圖)他三點)

## 日光大觀

山下重民編

一册

五二八五

三册

五二八六

一册

五二八七

一册

五二八八

一册

五二八九

東京 東陽堂 大正元年(一九二二)九月活版 外寸「二六・二×一八・八糎」(二〇三頁)

### 京羽二重 存卷第六

小嶋徳右衛門(水雲堂孤松子)著

〔京都〕白山通三條上ル町 小嶋彌三右衛門・錦小路室町東入町 小嶋徳右衛門 貞享二年(一六八五)刊 外寸「横本一〇・七×一六・二糎」(書名は目次首による。單邊。無界。一八行。白口。上黒下線魚尾。内匡郭「八・五×一四・二糎」繪入。四〇丁)

### 日本鹿子 存卷第十三十四

磯貝舟也作 石川流宣畫

江戸通油町 佐藤四郎右衛門・長谷川甚九郎 元祿四年(一六九二)三月刊 外寸「横本一一・二×一六・二糎」(單邊。無界。二〇行。白口。無魚尾。内匡郭「九・三×一四・六糎」繪入。十三卷二〇丁十四卷三五丁)

### 大坂卯年圖

〔東京〕雄松堂書店 昭和三十八年(一九六三)三月複製 外寸「四五・三×三三・二糎」(墨繪圖一枚。内匡郭「三六×二六・八糎」 底本「内閣文庫所藏大坂城落城之時の讀賣 元和元年刊」)

### 漂到流球國記或流玉毬國

釋慶政編著

東京 宮内廳書陵部 昭和三十七年(一九六二)三月複製 京都 便利堂印刷 外寸「三三・二糎」(底本「九條家舊藏宮内廳書陵部藏鎌倉期寫本」 別冊「漂到流球國記解題」八頁)

### 經天合地大清廣輿圖 二京一四省四夷境域

長久保赤水(玄珠)校

〔江戸〕日本橋 須原屋市兵衛・東叡山池之端仲町 須原屋伊八 天明五年(一七八五)序刊 外寸「一八二×一三九

洋裝一册

五二九〇

一册

五二九一

一册

五二九二

一枚

五二九三

卷子本一卷・別冊解題一册

五二九四

一鋪



「糵」（折り疊）三八×二四・六糵） 淡彩色刷）

### 經天合地大清廣輿圖 二京一四省四夷境域

長久保赤水（玄珠）校

〔江戸後期〕寫 外寸「二八一×一八一糵」（折り疊「三七×二三・八糵」（題簽「大清廣輿圖」 底本「天明五年序江戸須原屋市兵衛等刊本」 地圖裏に「橋保（花押）」と墨筆あり）

### 〔支那〕古今沿革地圖

長久保赤水（玄珠）著

浪華心齋橋通 伊丹屋善兵衛・河内屋喜兵衛 天保六年（一八三五）春洗板訂正刊 外寸「三五×二〇糵」（二四折。刻工「江川美啓」）

### 金句集

〔江戸後期〕寫 外寸「二〇・二×一三・三糵」 印記「藝叢之印」「藝叢」（田村建顯）（七行一五字。二六丁。山岸氏識語「藝叢ハ一關、田村右京大夫家舊藏本也 昭和十三年十一月十八日」）

### 金句集

貴重圖書影本刊行會編

〔京都〕貴重圖書影本刊行會 昭和十四年（一九三九）十月影印 外寸「二八×一九・五糵」（九行一七字。四一丁。複製圖八枚。別冊「伊達家本金句集解説」吉田澄夫著。四二頁）

又

（與五二九八番同版。山岸氏識語「知金句集伊達本存在者昭和初年見伊達家書目一覽時也 昭和十四年十月廿二日」）

五二九五

一鋪

五二九六

折本一帖

五二九七

一冊

五二九九

一冊・別冊解説一冊

五二九九

一冊

### 金句集四種集成

東京 勉誠社 昭和五十二年(一九七七)五月影印 外寸「二〇・八×一四・八糎」(勉誠社文庫一八。一九七頁。「伊達家本金句集、山岸文庫本金句集、大東急記念文庫本金傍集、天草版金句集。「金句集四種集成解説」福島邦道著)

五三〇〇  
洋装一册

### 焉廋篇五卷

荻戸太華著

〔江戸後期〕寫 外寸「三・三×一六・六糎」 印記「小田氏藏書之印」「古川氏圖書之印」(八行。一卷六七丁二卷七二丁三卷八一丁四卷七二丁五卷四三丁。山岸氏識語「本書收于日本文庫 孟子離婁章句上」 朱筆の書き入れあり)

五三〇一  
五册

### 繪圖俗農雜字

廣益書局 〔民國中〕石印 外寸「二〇・一×一三・四糎」(書名は表紙による。卷頭「繪圖俗言雜字」 四周雙邊。無界。八行八字。内匡郭「一六・五×一・一・六糎」 一九丁。上圖下文全相本)

五三〇二  
一册

### 日本神國往來

糸田川翁著

東都馬喰町二丁目 錦林堂森屋次郎兵衛 弘化四年(一八四七)一月跋刊 外寸「一七・八×一・一・七糎」〔長崎熊次郎〕(墨書) (單邊。無界。五行。内匡郭「一五・四×一〇・一糎」 一〇丁)

五三〇三  
一册

### 庭訓往來諸抄大成

永井如瓶編 伊勢貞丈補 松井簡治校

東京 明治書院 明治三十六年(一九〇三)十一月活版 外寸「二二・六×一四・九糎」 印記「新堂藏書」(一六三頁)

五三〇四  
一册

又

印記「栗山藏書」(與五三〇四番同版)

五三〇五  
一册

## 女郎花物語

東京 東洋社 明治三十五年(一九〇二)十月活版 外寸「二・六×一四・七糎」(東洋女訓叢書之一。「をみなへし」八二頁。「乳母のふみ二名庭のをしへ」阿佛尼著、二四頁。「めのとのさうし」二四頁。「庭の訓抄」伴蒿蹊述、一八頁。「難波江」松平定信著、一〇頁。「樂亭かなな筆記」松平定信著、八頁)

五三〇六  
一册

## 風雨賦國字辯二卷

中西敬房編述・畫

浪華 河内屋平七 弘化三年(一八四六)刊 外寸「二・四×一四・六糎」(「近藤喜右衛門道眞」(墨書)「單邊。有界。八行一九字。内匡郭「一八・四×一二・七糎」 乾一五丁坤二五丁)

五三〇七  
二册

## 和蘭天説

司馬峻(江漢)著

東都 春波樓 寛政八年(一七九六)一月刊 外寸「二・六・八×一八・二糎」印記「平田氏記」(平田篤胤)「菅能屋藏」(墨書)「單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・六×一四・九糎」漢字片假名頭注付。繪入。二七丁。「春波樓藏版目錄」(半丁。識語)この書平田篤胤大人の舊藏也 朱は大人の筆なり蘭表背裡順という渾名とおもひあはせておもしろき筆なり(花押) 朱筆の書き入れあり

五三〇八  
一册

## 砦 艸

原南陽著

江戸 須原屋安次郎・須原屋伊八 文政元年(一八一八)再刊 外寸「一五×一一・三糎」(書外題「軍陣醫法砦草」)「單邊。有界。八行。内匡郭「二・三×八・六糎」 四九丁。「南陽原先生著述既刻目錄」(半丁)

五三〇九  
一册

## 東方朔祕傳置文 中卷

浪花 敦賀屋九兵衛等 天保十三年(一八四二)刊 外寸「一八・二×一一・九糎」(「單邊。無界。八行。内匡郭「二・五・五

五三一〇

×一〇糎」四二丁)

### 琵琶譜

〔東京〕 宮内廳書陵部 昭和三十九年(一九六四)三月複製 外寸「二七・四糎」(書名は序文首による。底本「伏見宮家舊藏宮内廳書陵部現藏平安中期寫本」別冊「伏見宮本琵琶譜」解題「伊地知鐵男著。二二頁」)

五三一  
一 卷子本一巻・別冊解題一册

### 幼稚園唱歌集

文部省音楽取調掛編纂

東京 東京音楽學校 明治二十年(一八八七)十二月刊 外寸「横本二・六×一八・一糎」(書名は見返による。單邊。無界。内匡郭「一〇・九×一五・九糎」二八丁。「大日本圖書株式會社發賣音楽圖書目録」五頁)

五三二  
一 册

### 音曲玉淵集五卷

時中庚安編 今村義福補 大和田建樹訂

東京 江島伊兵衛 〔明治三十二年五月活版〕明治三十六年(一九〇三)二月再版 外寸「三・七×一五・七糎」(序文首「謠曲玉淵集」一卷六〇頁二卷七二頁三卷五二頁四卷五四頁五卷六四頁)

五三三  
一 册

### 花鏡

世阿彌著

東京 わんや書店 昭和十九年(一九四四)三月影印 外寸「二九・七×二〇・九糎」(世阿彌眞蹟傳書複製集之一。書名は題簽による。一〇行。三〇丁。「世阿彌自筆本『花鏡』複製解説」川瀨一馬著。三頁。書筒付)

五三四  
一 册

### 世阿彌眞蹟能本七番附目錄書狀

世阿彌著 川瀨一馬編著

東京 わんや書店 昭和十九年(一九四四)八月影印 外寸「二九・六×二〇・七糎」(世阿彌眞蹟傳書複製集之一。書名は題簽による。五二丁。附「世阿彌眞蹟能本七番・能本三十五番目錄・書狀二通解説」川瀨一馬著。八頁。書筒付)

五三二五  
一 册

## 風姿華傳 上

世阿彌著

東京 能樂社 昭和二十一年(一九四六)三月影印 外寸「横本二〇・七×二九・六糎」(世阿彌眞蹟傳書覆製集之一)。  
一九丁。「世阿彌眞蹟風姿華傳解說」川瀨一馬著。二丁)

五三二六①

一册

## 風姿華傳 下

世阿彌著

東京 わんや書店 昭和二十二年(一九四七)七月影印 外寸「横本二〇・五×二九・三糎」(世阿彌眞蹟傳書覆製集之一)。  
二七丁。「世阿彌眞蹟風姿華傳下册解說」川瀨一馬著。半丁)

五三二六②

一册

## 二見乃浦 附 歌貝乃事

伊勢貞丈著

文政元年(一八一八)九月中島正賢寫 外寸「三・五×一六・七糎」 印記「中島氏藏書」(一〇行。一八丁半。附錄四丁半。本奥書「安永二年癸巳」二月廿五日 伊勢平藏貞丈)

五三一七

一册

## 古今名物類聚七卷〔別冊〕五卷拾遺四卷

松平治郷(不昧)著

東都 須原屋佐助・須原屋市兵衛 寛政三年(一七九二)刊 闕卷第四拾遺第一 外寸「三・八×一五・六糎」 印記「蓼山莊」(單邊。無界。内匡郭「二七・四×一三・四糎」 繪入。一卷三九丁二卷三九丁三卷三六丁五卷三二丁六卷三二丁七卷一七丁。別冊一卷五三丁二卷五〇丁三卷三〇丁四卷二七丁五卷三四丁。拾遺一卷四四丁三卷五五丁四卷四三丁)

五三一八

一四册

## 清三家書論

市河三亥(米庵)編・校

五三一九

新潟縣葛塚町 弦巻本店 (文政七年(一八二四)刊)明治期後印 外寸「三・八×一五・二」 印記「細野氏括囊書屋收藏」(書名は題簽による。見返「王虚舟朱閑雲梁山舟三家書論」 單邊。無界。一〇行二〇字。注文雙行。内匡郭「一五・九×一一」 一「論書臚語」王虚舟著、一七丁。「書學捷要」朱閑雲著、一八丁。「山舟書論」梁元穎著、八丁)

### 書史千字文

陸島立誠(君辭)著

皇都 日野屋左兵衛等 明和四年(一七六七)九月刊 外寸「二七・五×一八・七」 (四周雙邊。有界。八行一六字。内匡郭「二・八×一三・五」 頭注付。三〇丁)

### 宸翰英華二卷

帝國學士院編

〔東京〕 紀元二千六百年奉祝會 昭和十九年(一九四四)十二月影印 外寸「横本三六・五×五一・八」 (乾圖版二四六枚(別册解題)六九〇頁。坤圖版二四七至四九一枚(別册解題)六九〇頁。附「宸翰英華編纂出版事業經過概要」二七頁。雜誌「肇國精神」第四卷第一號(昭和十九年一月刊)、同第四卷第二號(昭和十九年二月刊) )

### 林東舟七絶並和歌

林信澄(東舟)筆

〔江戸前期〕書 本紙「三二・五×三二・六」 總丈「一〇七・五×四二・二」 (書名は箱書による)

### 立原翠軒與神保蘭室小行書七絶十首

立原萬(翠軒)・神保蘭室筆

〔江戸後期〕書 本紙「二八・一×三八・五」 (三枚貼繼ぎ)總丈「一八六×五三・三」 印記「愛天學人」 (書名は箱書による。書外題「翠軒小行書七絶十首」)

### 〔尾藤氏筆藤田氏宛書簡〕

一册

五三二〇

一册

五三二一

二帙・別册解題二册・雜誌二册

五三二二

卷軸裝一軸

五三二三

卷軸裝一軸

尾藤某筆

〔昭和期〕書 本紙「二六・二×二三・三糎」 總丈「一一・五×三八・四糎」

### 柳川畫譜 山水之部

柳川重信（二世）畫

江戸 收文堂平林庄五郎等 〔安政三年（一八五〇）序刊〕後印 外寸「一八×一二糎」 〔書名は刊記による。單邊。内匡郭「一四・七×一〇・二糎」 二四丁。主に多色刷版畫〕

### 日本名畫譜 佛畫篇 第一刊至八刊 第一一刊

京都市立繪畫專門學校編

京都 便利堂印刷所 昭和五年（一九三〇）五月影印 外寸「五七・四×四四・七糎」 〔圖版三九枚〕

内容 第一刊「醍醐寺五重塔中心柱板繪」、第二刊「十二天圖」〔京都教王護國寺〕、第三刊「涅槃圖」〔高野山金剛峯寺藏〕、第四刊「法隆寺金堂壁畫」、第五刊「聖衆來迎圖」〔高野山巡寺八幡講〕、第六刊「醍醐寺五重塔中心柱板繪」、第七刊「早來迎圖」〔京都知恩院藏〕、第八刊「法隆寺金堂壁畫」、第一一刊「長法寺金棺出現圖」、附「東大寺南大門仁王金剛力士」〔寫真一葉〕

### 四天王寺極樂門漆繪壁畫

番浦省吾畫 寺島郁雄寫真

大阪 總本山四天王寺 昭和四十一年（一九六六）六月活版 外寸「三三・五×二七糎」 〔大和綴。四〇頁〕

### 醍醐寺靈寶集

關西考古會編

京都 關西考古會・文華堂 大正九年（一九二〇）九月影印 外寸「三七×二六・二糎」 〔本文四〇枚。寫真版製作として「京都文星堂寫真部」とあり〕

五三二四  
卷軸裝一軸

五三二五  
一冊

五三二七  
一箱

五三二八  
一冊

五三二九  
一帙

又

闕第三、八、一七、二四圖 (本文三六枚。發賣所として「京都文星堂」とある。與五三二九番同版)

五三三〇  
一帙

### 圓城寺餘光

恩賜京都博物館編

京都 中島泰成閣出版部 昭和十五年(一九四〇)八月影印 外寸「四三×二九・七糎」 印記「田聖雨印」(二〇〇丁)

五三三二  
一册

### 石山芳躅

眞宗本願寺派宗務所文書部編纂課編

京都 眞宗本願寺派宗務所 昭和十六年(一九四二)四月影印 外寸「四三×二九・三糎」(大和綴。五一丁)

五三三二  
一册

### 日本國見在書目録

藤原佐世撰

東京 古典保存會事務所 大正十四年(一九二五)十一月影印 外寸「二五・二×一五・五糎」(四七丁。「帝室博物館

五三三三  
一册

御藏日本國見在書目録解説「山田孝雄著。二二丁」

### 明代版本圖録初編十二卷

潘承弼・顧延龍同纂

〔山東省〕 齊魯大學 民國三十年(一九四二)九月跋影印 外寸「一八・八×一三糎」(齊魯大學國學研究所專著彙編

五三三四  
四册

之四)

### 禁裏御藏書目録

昭和十七年(一九四二)九月寫 外寸「三三・八×一七・三糎」(書名は書外題による。九八丁。見返に「古梓堂文庫本」

五三三五

とある。山岸氏識語「昭和十七年無射中浣依囑于高師文二ノ二年生書寫了」(二二行野紙紙使用)

一册



## 陽明文庫圖録七輯

東京 陽明文庫 昭和十五年十一月至昭和十八年（一九四三）十二月影印 外寸「二五・八×一八・五糎」（二輯宸翰二五枚）「輯古筆二五枚三輯豫樂院二四枚四輯日記二五枚五輯消息三〇枚六輯文書二五枚七輯國書二〇枚。別冊」財團法人陽明文庫竣成式典並記念展觀概要「二二三頁」

五三三六

七冊・別冊一冊

## 古刻書跋前集

近藤守重（正齋）著

文政二年（一八一九）跋刊 外寸「二六・七×一八・三糎」 印記「うちだ」（内田魯庵）「金花堂日本橋通南四町目元祖雁皮名箋發客」（單邊。無界。内匡郭「二・二×一五糎」 一七丁）

五三三七

一冊

## 活版經籍考二卷

吉田篁墩著 川瀨一馬編

〔日本書誌學會〕 昭和八年（一九三三）影印 外寸「二二・九×一五・八糎」（單邊。有界。九行。一卷二五丁二卷六丁。底本「安田文庫藏寛政十一年十二月狩谷掖齋手寫本」）「活版經籍考解説並補正」川瀨一馬著。一一頁）

五三三八

一冊

## 本朝國史目錄一卷本朝法家文書目錄一卷

〔明治三十四年（一九〇一）十二月山本信哉〕寫 外寸「二六・三×一八・一糎」（單邊。無界。一三行。國史九丁半法家九丁裏至三一丁。山本氏識語）右本朝國史法家文書目錄佐藤誠實所藏本） 山岸氏識語）山本信哉翁自筆歟可尋云云 昭和十八年十月中浣岸廼舍）

五三三九

一冊

## 出版の旧例

小宮山綏介著

〔明治期〕寫 外寸「二七×一八・九糎」 印記「珍書僧文行堂」（横尾勇之助）「うちだ」（内田魯庵）（一〇行二〇字。二五丁）

五三四〇

一冊

橘爲仲朝臣集一卷 讚岐入道集一卷 故侍中左金吾家集一卷 津守國基集一卷

塙保己一編

〔江戸末〕刊 外寸「二六・四×一七・九糎」〔群書類從卷第二百五十三和歌。無匡郭。一〇行。橘二五丁讚岐二六至三九丁故侍中四〇至五二丁津守五三至七二丁。山岸氏による書き入れあり〕

五三四一

一册

逸傳六種

東京 近藤圭造 明治十八年（一八八五）九月活版 外寸「一九・二×二二・五糎」〔存採叢書之一。二二六丁〕

五三四二①

一册

曾我物語 卷第一至四

〔東京〕〔近藤圭造〕〔明治期〕活版 外寸「一九・七×二二・四糎」〔存採叢書之一。一卷一六丁二卷一七至三二丁三卷三三至四九丁四卷五〇至六二丁〕

五三四二②

一册

六史要覽三卷

東京 近藤活版所 明治十七年（一八八四）十二月活版 外寸「一八・六×二二・三糎」〔史籍集覽之一。一卷四三丁二卷三四丁三卷三三丁。朱筆の書き入れあり〕

五三四三①

二册

松隣夜話二卷

東京 近藤活版所 明治十五年（一八八二）八月活版 外寸「一八・六×二二・三糎」〔印記「第四高等中學校圖書」〕〔史籍集覽之一。上四〇丁下三六丁〕

五三四三②

一册

定西法師傳一卷 琉客談記一卷 唐律御調一卷

東京 近藤活版所 〔明治十五年（一八八二）頃〕活版 外寸「一八・六×二二・三糎」〔史籍集覽之一。定西一六丁琉客八丁唐律九丁〕

五三四三③

一册

小御門神社御由來記

澤田總右衛門編

千葉 澤田總右衛門 明治十四年(一八八二)十月活版 外寸「二九・七×一三・七糎」(二〇丁)

東都青山繪圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 〔嘉永六年刊〕安政四年(一八五七)改版 外寸「四九・四×五三・六糎」〔折疊〕一六・六×九・二糎〕 印記「立田藏」(題簽「青山蒔谷繪圖」)

(増補改正)今井谷六本木赤坂繪圖

景山致恭圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 萬延二年(一八六一)刊 外寸「四九・四×五四・四糎」〔折疊〕一六・五×九・二糎〕 印記「立田藏」(題簽「赤坂繪圖」)

(改正新刻)今戸箕輪淺草繪圖

戸松昌訓著

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 嘉永六年(一八五三)刊 外寸「四九・五×五三・九糎」〔折疊〕一六・六×九・二糎〕 印記「立田藏」(題簽「今戸箕輪淺草繪圖」)

東都麻布之繪圖

戸松昌訓圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 〔嘉永四年刊〕文久元年(一八六一)改版 外寸「四九・七×五三・八糎」〔折疊〕一六・七×九・二糎〕 印記「立田藏」(題簽「麻布繪圖」)

市ヶ谷牛込繪圖

江戸 金鱗堂尾張屋清七 安政四年(一八五七)刊 外寸「四九・七×五三・七糎」〔折疊〕一六・五×九・二糎〕 印記

五三四四

一册

五三五七①

地圖一鋪

五三五七②

地圖一鋪

五三五七③

地圖一鋪

五三五七④

地圖一鋪

五三五七⑤

〔立田藏〕

〔安政再版〕東都番町大繪圖

景山致恭著

江戸 金鱗堂尾張屋清七 〔嘉永三年刊〕文久三年（一八六三）改版 外寸〔四九・六×七二・五糎〕〔折疊〕一六・六×九・一糎〕 印記〔立田藏〕 〔題簽〕御江戸番町繪圖〕

地圖一鋪

五三五七⑥

地圖一鋪

〔増補改正〕芝口南西久保愛宕下圖

景山致恭圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 萬延二年（一八六一）刊 外寸〔四九・七×五二・五糎〕〔折疊〕一六・七×九・一糎〕 印記〔立田藏〕 〔題簽〕御江戸大名小路繪圖〕

地圖一鋪

五三五七⑦

牛込市ヶ谷大久保繪圖

戸松昌訓圖

江戸 金鱗堂尾張屋清七 嘉永七年（一八五四）刊 外寸〔四九・四×五三・八糎〕〔折疊〕一六・五×九・二糎〕 印記〔立田藏〕 〔題簽〕大久保繪圖〕

地圖一鋪

五三五七⑧

東都淺草繪圖

井山能知圖

江戸 金鱗堂尾張屋清七 文久元年（一八六一）刊 外寸〔四九・五×五三・六糎〕〔折疊〕一六・五×九・一糎〕 印記〔立田藏〕 〔題簽〕淺草御藏前邊圖〕

地圖一鋪

五三五七⑨

〔嘉永新鐫〕雜司ヶ谷音羽繪圖

戸松昌訓訂

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 安政四年（一八五七）刊 外寸〔四九・四×五三・八糎〕〔折疊〕一六・六×九・一糎〕 印記

地圖一鋪

五三五七⑩

〔立田藏〕（題簽「音羽繪圖」）

### 日本橋北内神田兩國濱町明細繪圖

〔江戸〕〔金鱗堂尾張屋清七〕〔江戸末〕刊 外寸「四九・五×七二・三糎」〔折疊「一六・五×九・一糎」〕 印記「立田藏」

〔題簽「日本橋北神田濱町繪圖」〕

五三五七⑪  
地圖一鋪

### 東都小石川繪圖

戶松昌訓著

〔江戸〕〔金鱗堂尾張屋清七〕〔嘉永七年刊〕安政四年（一八五七）改版 外寸「四九・四×五三・五糎」〔折疊「一六・六×九・一糎」〕 印記「立田藏」〔題簽「小石川繪圖」〕

五三五七⑫  
地圖一鋪

### 礫川牛込小日向繪圖

戶松昌訓著

〔江戸〕〔金鱗堂尾張屋清七〕〔嘉永五年刊〕萬延元年（一八六〇）改版 外寸「三五・九×七二・六糎」〔折疊「一六・五×九・一糎」〕 印記「立田藏」〔題簽「小日向繪圖」〕

五三五七⑬  
地圖一鋪

### 〔萬延改正新鐫〕京橋南築地鐵炮洲繪圖

景山致恭圖著

〔江戸〕〔金鱗堂尾張屋清七〕文久元年（一八六一）改版 外寸「四九・三×五三・六糎」〔折疊「一六・五×九・一糎」〕 印記「立田藏」〔題簽「京橋南築地繪圖」〕

五三五七⑭  
地圖一鋪

### 大名小路神田橋内内櫻田之圖

景山致恭圖

江戸 〔金鱗堂尾張屋清七〕文久三年（一八六三）改 外寸「四九・六×五三・六糎」〔折疊「一六・六×九・一糎」〕 印記「立田藏」〔題簽「芝愛宕下繪圖」〕

五三五七⑮  
地圖一鋪

芝三田二本榎高輪邊繪圖

景山致恭著

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七〔安政四年改〕文久元年（一八六二）改版 外寸「三六×七二・六糎」〔折疊〕「一六・六×九・二糎」 印記「立田藏」〔題簽「芝之高輪邊繪圖」〕

五三五七<sup>16</sup>  
地圖一鋪

染井王子巢鴨邊繪圖

戸松昌訓圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 嘉永七年（一八五四）刊 外寸「四九・五×五三・七糎」〔折疊〕「一六・六×九・一糎」 印記「立田藏」〔題簽「巢鴨繪圖」〕

五三五七<sup>17</sup>  
地圖一鋪

（安政新刻）隅田川向嶋繪圖

景山致恭圖

江戸 金鱗堂尾張屋清七 安政三年（一八五二）刊 外寸「四九・六×五四・四糎」〔折疊〕「一六・六×九・一糎」 印記「立田藏」〔題簽「隅田川向島繪圖」〕

五三五七<sup>18</sup>  
地圖一鋪

（増補改正）飯田町駿河臺小川町繪圖

江戸 金鱗堂尾張屋清七〔嘉永二年刊〕文久三年（一八六三）改版 外寸「三六・一×七五・七糎」〔折疊〕「一六・五×九・一糎」 印記「立田藏」〔題簽「駿河臺小川町繪圖」〕

五三五七<sup>19</sup>  
地圖一鋪

（増補改正）麴町永田町外櫻田町繪圖

景山致恭圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七〔嘉永三年刊〕文久三年（一八六三）改版 外寸「四九・四×五三・五糎」〔折疊〕「一六・六×九・一糎」 印記「立田藏」〔題簽「外櫻田永田町繪圖」〕

五三五七<sup>20</sup>  
地圖一鋪

（文久再鐫）八丁堀靈岸嶋日本橋南之繪圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 文久三年（一八六三）再刊 外寸「四九・四×五四糎」（折疊「一六・六×九・一糎」） 印記  
〔立田藏〕（題簽「靈岸嶋八丁堀日本橋南繪圖」）

五三五七<sup>21</sup>  
地圖一鋪

### 本所深川繪圖

戸松昌訓圖

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 文久二年（一八六二）改版 外寸「七四×五三・六糎」（折疊「一六・五×九・一糎」） 印記  
〔立田藏〕（題簽「深川繪圖」）

五三五七<sup>22</sup>  
地圖一鋪

### （嘉永新鐫）本所繪圖

戸松昌訓著

江戸 金鱗堂尾張屋清七 〔安政二年改〕文久三年（一八六三）改版 外寸「七五・二×五三・七糎」（折疊「一六・六×九・一糎」） 印記「立田藏」（題簽「本所繪圖」）

五三五七<sup>23</sup>  
地圖一鋪

### 目黒白金圖

戸松昌訓著

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 〔嘉永七年刊〕安政四年（一八五七）改版 外寸「四九・二×五三・六糎」（折疊「一六・六×九・一糎」） 印記「立田藏」（題簽「目黒白金邊圖」）

五三五七<sup>24</sup>  
地圖一鋪

### （増補改正）千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ツ谷繪圖

戸松昌訓訂

〔江戸〕 金鱗堂尾張屋清七 〔嘉永三年刊〕萬延元年（一八六〇）改版 外寸「四九・四×五四・一糎」（折疊「一六・六×九・一糎」） 印記「立田藏」（題簽「四ツ谷繪圖」） 附「四谷の由來」三菱銀行四谷支店〔發行〕一枚。山岸氏識語「江戸の地圖」二十五鋪「目錄」（ペン書）一枚

五三五七<sup>25</sup>  
地圖一鋪

### 元治改正新增細見京繪圖大全

池田東籬考正 中邑長秀畫

京都 竹原好兵衛 (天保五年刊)文久三年(一八六三)三刻 外寸「七〇・八×九九・二糎」(折疊「二〇・三×一四・六糎」)

五三五八

一鋪

### 鎧潟之圖

〔江戸後期〕寫 外寸「八四・九×八九・三糎」(折疊「二八・八×一八・二糎」) (題簽右に「新潟縣西蒲原郡鎧潟附近之圖」と墨書あり)

五三五九

一鋪

### 渡海記

〔明治期〕寫 外寸「二四・四×一五・七糎」 印記「齋藤藏書」 (書名は書外題による。一〇行。七一丁。貼紙あり)

五三六〇

一册

### 近古史談四卷

大槻清隆(磐溪)著 大槻修二校

東京 稻田佐兵衛 (明治十二年九月刊)明治十五年(一八八二)二月後印 外寸「一八・五×二二・五糎」 印記「山嵯

五三六一

二册

十茂能藏書」(山岸氏藏書印)「西神原郡曾根村山岸十茂能」(墨書) (題簽「校訂近古史談」左右雙邊。有界。九行

### 〔幕末外國關係文書〕

嘉永六年(一八五三)六月寫 外寸「三・七×一七糎」 (書名は假題。一〇行。三四丁)

五三六二

一册

### 太閤眞蹟記初篇三卷

天保十一年(一八四〇)十月序木活字印本 古溪堂藏版 外寸「二六・九×一七・八糎」 印記「珍書顯家久長清玩」(川

五三六三

一册

田久長) (題簽「活版太閤眞蹟記初篇」單邊。無界。一行二四字。内匡郭「二一・八×一三・四糎」一卷一一丁二



卷一二至三三三三卷二四至三四丁。山岸氏識語「活字版也珍本也」

## 松平外記刃傷之始末申渡之覺

高木左京著

文政六年（一八二三）十一月寫 外寸「二七・三×一九・五糎」（書名は書外題による。卷頭「申渡之覺 酒井山城守名代高木左京」七行。三二丁）

## 本朝人鑑

林恕（鴛峰）編

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・二×二二糎」 印記「平安堀氏時習齋藏」（堀杏庵）「崇蘭館藏」（福井家）（一二三行二〇字。一三三丁。朱點あり）

## 續本朝人鑑二卷

林恕（鴛峰）編

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・二×二二糎」 印記「平安堀氏時習齋藏」（堀杏庵）「崇蘭館藏」（福井家）（一二三行二〇字。上二九丁下三三丁。下卷末に「武陵僑居寫了」と墨書あり）

## 五節句飭付口傳

〔江戸末〕寫 外寸「横本二二・六×一九・三糎」（一四行。一九丁。朱筆の書き入れあり）

## 春夏更衣

〔江戸末〕寫 外寸「三三・八×一七・一糎」（書外題「公麗卿抄出更衣事」假綴。九行。二丁）

五三六四

一册

五三六五①

一册

五三六五②

二册

五三六六

一册

五三六七

一册

年中行事 正月至十二月

〔江戸末〕寫 外寸「二四×一七糎」〔書外題〕年中行事目次 七行。二九丁。朱筆の書き入れあり

五三六八  
一册

嘉永年中行事

勢多章甫著

明治二十一年（一八八八）九月自序寫 外寸「二七・五×一九・五糎」〔二三行。四七丁。朱筆の書き入れあり〕

五三六九  
一册

古事記傳追繼考附録

茜部相嘉著

名古屋 茜部與理刀 明治十五年（一八八二）十二月刊 外寸「二六・五×一八・九糎」〔單邊。無界。一〇行。内匡

五三七〇  
一册

郭「二〇・七×一五・六糎」 八丁。〔著述目録 尾張國名古屋市本町通八丁目 永樂屋東四郎〕半丁。書筒付

平家打聞十二卷

〔昭和期〕寫 外寸「二七・三×一九・五糎」〔大和綴。九行一八字。一卷六丁二卷九丁三卷五丁四卷一四丁五卷一八

五三七一  
一册

丁六卷九丁七卷八丁八卷五丁九卷六丁一〇卷五丁一一卷二丁一二卷三丁。山岸氏識語〔彰考館本也〕

鴉鷺合戦物語

東京 甫喜山景雄 明治十六年（一八八三）五月活版 外寸「三三・一×一五・三糎」〔我自刊我書之一。四三丁〕

五三七二  
一册

鳥物かたり

佐々木濱子著 阪正臣校

東京 益世堂書店 明治三十六年（一九〇三）十二月活版 外寸「三二・二×一五・二糎」〔大和綴。三三丁〕

五三七三  
一册

## 菅公須磨の記

寛保二年（一七四二）八月山田直好寫 外寸「二四・六×一二・三糎」 印記「直好」（假綴。九行。一一丁。山田氏識語）右寛保二戌の年八月予閑之寫置者也 雄徳山下山田直好「山岸氏識語」中村積徳堂賣本中有菅家通記奥書如左記（略） 昭和十四年七月廿九日識之 朱筆の書き入れあり

五三七四  
一册

## 菅家須磨記拙解草稿

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・二×一七・五糎」 （假綴。九行。一八丁。朱筆の書き入れあり）

五三七五  
一册

## 伊勢參宮紀行

釋堯孝著

安永二年（一七七三）四月寫 外寸「横本一三・七×二〇・二糎」 （二一行。一四丁。識語「右写本大森氏より借之書寫畢 安永二年巳卯月九日美晨」）

五三七六  
一册

## 幽齋道の記

細川藤孝（幽齋）著

安永四年（一七七五）十一月孝信寫 外寸「横本一四・三×二〇・八糎」 （假綴。一八行。一四丁。奥書「安永四未年孝信写之 霜月七日之事なり」）

五三七七  
一册

## 飛鳥井府三芳記附有馬歌

飛鳥井雅章著

〔江戸前期〕寫 外寸「三二・八×一一・七糎」 （書名は書外題による。七行。一二丁。奥書「元祿三年七月廿三日鈴鹿左近廿五 勝重」 封面に小紙片にて「飛鳥井雅章卿芳野山記行 温公芳賜」と墨書あり。識語「扶桑殘玉集卷四所收吉野記同書也」「山岸氏識語」卷末有馬歌別物也非吉野記也）

五三七八  
一册

## 丙辰紀行

林道春(羅山)著

〔京都〕 風月宗智 寛永十五年(一六三八)刊 外寸「二六・二×一八・三糎」(無匡郭。一一行。二九丁)

## 丙辰紀行

林道春(羅山)著

〔寛永十五年京都風月宗智刊〕後印 外寸「二六・六×一七・九糎」 印記「沙羅樹園」「松田本生」「井上毅藏」「淨覺寺」  
〔墨書〕(無匡郭。一一行。二九丁。二九丁裏は切去。封面に「享保元季初春下旬第五日」と墨書あり。朱筆の書き入れあり)

## 吾妻の記

明治三年(一八七〇)岩城隆勝寫 外寸「二六・三×一八・九糎」(書名は書外題による。八行。七一丁。奥書「天保ころしめし給へる前大僧正御方のいぬる天保九つとし京よりこし路を經歷し給ひし時の御道の記なるを同輩久下なる人よりかり請て謹て拜見し仕へのいとまに同じくうつし置事とはなりぬ 庚午季秋盡日岩城隆勝薰沐拜書」)

## 菅家須磨記一卷堀河院艶書合一卷榊葉日記二卷創禊辨一卷楠碑銘一卷

榊大中能宣著 創多田義俊著

天明五年(一七八五)四月小國秀穂寫 外寸「二七・三×一九・九糎」 印記「採撰亭書記」(九行。菅家一二丁堀河  
一〇丁榊葉上五丁下五丁創禊三丁楠碑二丁。小國氏識語「天明五歲巳四月以眞龍主本書寫 小國秀穂」 墨筆朱筆の書き入れあり)

## 驛路の春二卷

森田愿恭・橘英聽稿

五三七九

一册

五三八〇

一册

五三八一

一册

五三八二

一册

五三八三

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・八×一九・四糎」 印記「貞」〔六戸昌藏書記〕〔六戸氏文庫第三二七號席〕〔六戸昌〕（書名は書外題による。八行。上五丁下四七丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

## 關の秋風

松平定信著

天保十四年（一八四三）五月瀨能師文寫 外寸「二七・六×一九・四糎」 印記「村田文庫」「瀨能文庫」（書名は書外題による。一一行。二四丁。瀨能氏識語「于時天保十四卯年五月十五日吉益規年所持之一冊乞得而寫之畢」朱筆の書き入れあり）

## 關の秋風

松平定信著

嘉永二年（一八四九）七月寫 外寸「二七・二×一八・五糎」 印記「宮澤氏藏書印」（書名は書外題による。八行。四五丁。識語「嘉永二年己酉秋七月原本を西卷右衛門より借りて松島氏ニ囑して謄寫しておく」）

## 小夜のねさめ一卷文明一統記一卷樵談治要一卷

一條兼良著

嘉永二年（一八四九）寫 外寸「二六・五×一八・九糎」（書名は書外題による。一一行。小夜一五丁文明六丁樵談一八丁。識語「右合本者嘉永西夏良毘居士管根木賀湯浴のいとま写之」）

## 萬葉集旁註二十卷

釋惠岳著

〔京都〕 出雲寺文治郎・出雲寺和泉椽 天明二年序寛政元年（一七八九）五月刊 外寸「二七・二×一八・八糎」（書名は序文首による。卷頭「萬葉集」 四周雙邊。無界。八行一八字。内匡郭「二〇・五×一六・四糎」 頭注割注傍訓付。山岸氏識語「旁註本稀觀也」 朱點・朱筆の書き入れあり）

二册

五三八四

一册

五三八五

一册

五三八六

一册

五三八七

二十册

### 萬葉集注拔書二十卷

〔江戸前期〕寫 外寸「二六・八×二〇・六糎」 印記「岩本竹齋章」 (一二三行。一卷一〇丁二卷八丁三卷七丁半四卷三丁半五卷一丁六卷二丁半七卷六丁半八卷二丁半九卷二丁一〇卷四丁半一一卷三丁半一二卷二丁半一三卷半丁一四卷三丁半一五卷二丁一六卷二丁一七卷半丁一八卷二丁一九卷三丁半二〇卷五丁。奥書「本云弘治元年卯月上州下向之折節遊行廿九代上人厩橋光明寺御念佛申千句御興行切之…遂然者此抄可書寫之…」)

五三八八

一册

### 古今和歌集 卷第一至十

紀友則等撰

〔昭和二十九年(一九五四)〕山岸德平寫 外寸「二八・三×二〇・二糎」 (書外題「清輔本古今集 穗久邇文庫本(書込) 宮本本(家永本)」 假綴。一〇行。二六丁。山岸氏識語「昭和二十九年七月十三日校訂了」)

五三八九

一册

### 古今和歌集二十卷

紀友則等撰 蚊田蒼生校

〔江戸末刊〕明治期後印 外寸「二四・四×一七・四糎」 印記「別役圖書」 (無匡郭。一〇行。頭注付。全一三九丁。奥付に和漢西洋書籍賣捌處として「大阪心齋橋博勞町角 群玉堂河内屋岡田茂兵衛」とある)

五三九〇

二册

### 古今和歌集二十卷

紀友則等撰

〔明治期〕刊 外寸「八・三×六糎」 「若枚文五郎、若枚文四郎、若枚宗益」「若杉文治良」(墨書) (單邊。無界。一二行。内匡郭「六・八×四・八糎」 山岸氏識語「古今和歌集一卷大正二年夏内野村若枚伯母より」)

五三九一

一册

### 拾遺和歌集二十卷

〔江戸中期〕寫 闕卷第二〇 外寸「二九・四×二三・三糎」 印記「弘前醫官澁江氏藏書記」(澁江抽齋「河尻氏」(一六行。全九七丁。題簽付記「傳來不知舊物也」 山岸氏識語「昭和七年於春本郷大學街求焉 弘前医官澁江氏旧藏」)

五三九二

一册

本在坊間者甚不多也

### 新古今和歌集 存卷第十一至十五

源通具等撰

〔江戸中期〕刊 外寸「三・五×二六・二糶」〔岳南松岡佐野三鱗〕〔朱書〕（題簽「系圖繪入新古今和歌集」）單邊。  
無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「一八・八×二三・八糶」全三二丁

五三九三

一册

### 新勅撰和歌集二十卷

藤原定家撰

〔江戸前期〕寫 外寸「三・五×一七・六糶」（列帖裝。一〇行。一卷九枚二卷八枚三卷七枚四卷一二枚五卷一二枚  
六卷一二枚七卷八枚八卷七枚九卷五枚一〇卷九枚半一一卷一〇枚一二卷九枚一三卷一〇枚一四卷九枚一五卷一〇枚  
一六卷一四枚一七卷一一枚一八卷一〇枚一九卷九枚二〇卷八枚。附「山岸氏鉛筆書メモ」二枚）

五三九四

一册

柿本集二卷躬恒集二卷素性集一卷猿丸太夫集一卷家持集一卷業平集一卷兼輔集  
一卷敦忠集一卷公忠集一卷齋宮集一卷敏行集一卷宗子集一卷清正集一卷興風集  
一卷是則集一卷小大君集一卷

柿柿本人麻呂撰 躬凡河内躬恒撰 素釋素性撰 猿猿丸太夫撰 家大伴家持撰 業在原業平撰 兼藤原兼輔撰 敦

藤原敦忠撰 公源公忠撰 齋微子内親王撰 敏藤原敏行撰 宗源宗子撰 清藤原清正撰 興藤原興風撰 是坂上是

則撰 小三條院女藏人左近撰

五三九五

五册（公呂綴一册）

〔江戸前期〕柿本集・躬恒集寫、素性集以下刊 外寸「二六・八×一九・二糶」印記「松井藏書」（松井簡治）（單邊。  
無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・八×一六糶」柿本二〇丁躬恒二至四五丁。素性八丁猿丸九至一一丁  
家持一二至二五丁業平二六至二八丁。兼輔一六丁敦忠一七至二二丁公忠二三至二七丁。齋宮一一丁敏行一二至一四  
丁宗子一五至一六丁清正一七至二六丁。興風三丁是則四至七丁小大八至二七丁。墨筆朱筆藍筆の書き入れ・貼紙あり

### 新歌仙

萬治二年(一六五九)八月釋長圓寫 外寸「二五・五×一八・五糎」(假綴。一〇行。六丁。長圓氏識語「万治第二曆文  
月日沙門長圓寫之八十歳」)

五三九六  
一册

### 古葉畧類聚鈔 卷第八

明治四十二年(一九〇九)九月吉澤義則寫 外寸「二五・三×一七・五糎」 印記「吉澤文庫」(吉澤義則) (假綴。九行。  
漢字片假名。三四丁。吉澤氏識語「京都藤原氏所藏の原本を謄寫。墨を以て正誤添刪せるは原本のまゝを寫せるも  
の朱を以てせるは謄寫の際の誤脱を補正せるなり」)

五三九七  
一册

### 自讚類註

宗祇撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・二×一七・二糎」 印記「賓南」(戸川濱雄) (書名は書外題による。一三行。四二丁。朱  
筆の書き入れあり)

五三九八  
一册

### 自讚哥註

宗祇撰

〔明治期〕寫 外寸「二七・三×一九・五糎」 印記「寺田實圖書印」(書名は題簽による。一三行。四三丁)

五三九九  
一册

### 菅贈太政大臣歌集

菅原道真撰 仲田顯忠編

〔東京〕東宰府〔明治期〕刊 外寸「二二・六×一五・四糎」 印記「竹島文庫之印」(大和綴。單邊。無界。九行。  
内匡郭「一七・七×一・一・八糎」 六丁。奥付に製本所として「誠格堂」とある)

五四〇〇  
一册

### 菅贈太政大臣歌集

菅原道真詠 仲田顯忠編

〔東京〕東宰府〔江戸末〕刊 外寸「三三×一六・二糎」 印記「錦章」「諏」(無匡郭。九行。六丁)

五四〇一  
一册



### 新撰萬葉集二卷

大阪 毛利田庄太郎・吉田九左衛門・京 武村新兵衛 元祿九年（一六九六）三月刊 外寸「二七・二×一九・五糎」  
〔單邊。無界。八行二二字。白口。無魚尾。内匡郭「三・四×一四・六糎」 上三三丁下三二丁〕

五四〇二  
二册（合綴一册）

### 新撰萬葉集二卷

契沖注 河本公輔校

平安 文泉等 文化十三年（一八一六）九月再刻 外寸「二五・五×一八・二糎」 印記「東間郡窪田氏圖書記」（窪田畔夫）  
〔松門文庫所藏〕〔單邊。無界。八行二〇字。内匡郭「三・一×一四・六糎」 頭注付。上三三丁下三二丁。〕  
幸之倉和書目録 京師錦小路通室町西へ入北側 恵比須屋市右衛門（二丁）

五四〇三  
二册

### 新撰萬葉

〔昭和二十九年（一九五四）〕山岸徳平寫 外寸「二七・六×一九・六糎」 （書名は書外題による。一〇行。上一八丁半下六丁半。山岸氏識語「新撰万葉一册久曾神氏藏本也昨春借覽写了古写本也下卷無詩者云云」）

五四〇四  
一册

### 藤原義孝集

藤原義孝著

昭和十一年（一九三六）五月三好英二寫 外寸「二九・三×二二・八糎」 印記「三好文庫」 「月の屋」（墨書）（一〇行。一〇丁。三好氏識語「義孝集 東京文理科大学附属圖書館藏横山由清自筆並二校正、本集実方朝臣集ト合綴也」 朱筆の書き入れあり）

五四〇五  
一册

### 藤川百首注二卷三體和歌一卷

〔江戸前期〕寫 外寸「二五・八×一八・九糎」 （書名は書外題による。一三行。藤川二五丁半三體二丁半。奥書「寛永十年六月日 少休齋」 朱筆の書き入れあり）

五四〇六  
一册

### 幕朝年中行事歌合二卷

松平定信判 堀田正敦注 北村季文編

嘉永元年(一八四八)六月田内氏寫 外寸「二六・三×一八・六糎」(一一行。上三九丁下二五丁)

妙法院宮御園十二景拊春海繪歌一卷賀茂のうしを悼歌一卷論雅俗辨雪岡上人のもとへおくれる書一卷うたかたの日記一卷

妙村田春海著 う清水濱臣著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×一九・一糎」(書外題「妙法院法親王御園景勝雜詠附春海繪歌・賀茂のうしを悼る人々の歌・與雪園上人論雅俗辨書・うたかたの日記」 假綴。一一行。妙法一〇丁賀茂七丁論雅九丁うた八丁。「うたかたの日記」卷末識語「こは享和三年の夏清水濱臣の妻のうせける日記なりとて： 正路」 朱筆の書き入れあり)

名妓百首

〔明治期〕寫 外寸「二五・四×一七・六糎」 印記「松洲書屋伊達氏圖書之印」(仙台藩伊達家)「作並恭治寄贈(大正四年九月一日)」(二三行。三九丁。朱筆の書き入れあり)

卜傳先生百首

〔江戸末〕寫 外寸「横本一一・三×一六・二糎」(假綴。一八行。一四丁)

大学詠哥

室直清(鳩巢)著

〔昭和期〕寫 外寸「三・九×一六・九糎」(假綴。一〇行。六丁。山岸氏識語「大学詠哥一册直清自筆稿本と思はる直清の著述中に本書のあることを記したるものなし珍書なり」 朱刷野紙使用)

明治現存三十六歌撰

山田謙益編 竹本石亭畫

五四〇七  
一册

五四〇八  
一册

五四〇九  
一册

五四一〇  
一册

五四一一  
一册

五四一二

東京 金花堂須原屋佐助 明治十年(一八七七)六月刊 稻農屋藏版 外寸「二四・七×一七糎」(假綴。内匡郭「一八・三×一二・六糎」 單邊。無界。九行。繪入。一九丁)

### 萱草四卷

稻掛棟隆撰

〔江戸後期〕寫 關卷冬 外寸「横本一四・二×二三糎」(書外題「萱草 春夏秋」 假綴。二〇行。春八丁夏四丁半秋七丁半)

### 和歌六義抄

〔江戸後期〕寫 外寸「二〇・八×一五糎」(書名は書外題による。假綴。九行。一七丁。山岸氏識語「古今和歌六義抄」ト仮題ス作者未詳 姫路郊外古家書店ニ注文ノモノ也) 朱筆の書き入れあり

### 古今集三ヶ祕説

安永二年(一七七三)十一月寫 外寸「二・八×一五・五糎」 印記「无礙菴(今泉雄作)」「宗」(書外題「古今集三箇之祕説并哥之口傳」 九行。一八丁。朱筆識語「右古今三ヶ祕説より此説までの傳書ハ安永二巳年霜ふり月末の四日燈下に写し侍る」 千鐘坊罫紙使用)

### 古今相傳之次第

〔江戸前期〕寫 外寸「三・九×一六・四糎」 印記「正親町藏」「麗澤藏書」(正親町家) (書名は目次首による。題簽「古今傳授誓紙書」 一〇行。二二丁。卷末に「于時元祿十四辛巳年十二月十九日 宮村重明殿」とある。山岸氏識語「正親町伯家旧藏本也」)

### 麗景殿女御繪合一卷難後拾遺一卷

難源經信著

文化元年(一八〇四)八月・九月寫 外寸「二七×一八・五」 印記「白檮書屋」「楳園」「おほくち」 「橋本小金太」(墨書)

一册

五四一三

一册

五四一四

一册

五四一五

一册

五四一六

一册

五四一七

一册

(八行。麗景一六丁難後三四丁。奥書「享和三年春三月以契沖法師校本塙保己一藏本及本集對校了聊註所見 濱臣」  
識語「文化元年九月以清水濱臣藏本書寫一校了 正路」)

### 百人一首五箇大極秘切紙

文化二年(一八〇五)閏八月寫 外寸「三・四糎」(書外題「百人一首五歌」) 識語「右傳書は先師吐屑上人みつか  
ら筆し給へりし巻をもていにし七月相承し侍る…文化二年閏八月吉日 心種齋信孝(花押)」 朱筆の書き入れあり)

五四一八  
卷子本一卷

### 和歌秘藏録

享保六年(一七二二)寫 外寸「二四×一六・九糎」 印記「相□氏印」「越後國□□□之水野」等 (一一行。一八丁。識  
語「右一條當家之雖爲深秘依懇望書付者也猥不可傳之者也 亞槐」此一書令據心書写之十時享保六年辛丑仲秋日成  
之 升時)

五四一九  
一册

### 和歌秘決

延寶五年(一六七七)寫 外寸「二五・五×一八・二糎」 「琴子主」(墨書) (九行。二八丁。奥書「此一札細河幽齋秘書  
□□写也…信之今書寫畢 皆延寶第五丁巳初夏下旬」 朱筆の書き入れあり)

五四二〇  
一册

### 歌道秘藏録十三卷

明和七年(一七七〇)二月棹雅寫 外寸「二七・二×一八・九糎」 印記「梅之舍」「棹雅」等 (二三行。一二丁。識語「此  
書師傳一書也 明和七寅年二月吉日 棹雅」 朱筆の書き入れあり)

五四二一  
一册

### 和歌灌頂次第秘密書一卷悦目抄一卷

(江戸後期)寫 外寸「三・五×一六・八糎」 (二二行。和歌一六丁悦目四六丁)

五四二二  
一册

### 古今僻案集二卷

藤原定家著

〔江戸後期〕刊 外寸「二四・四×一七・七糎」 印記「武笑」 「田村千代子」(朱筆) (書名は題簽による。無匡郭。一〇行。乾三〇丁坤二三丁)

### 古今和歌集 存卷第十一至二十

紀友則等撰

〔江戸初期〕寫 外寸「二六・四×二〇・五糎」 (書外題「顯注蜜勘」) 一一行。一一卷一八丁一二卷八丁一三卷一四丁一四卷一六丁一五卷一五丁一六卷六丁一七卷一九丁一八卷一二丁一九卷一八丁二〇卷一六丁。識語「寛永六年己巳卯月十二日一校了 兼孝 吉信」

### 天神御詠歌 號瑠璃之壺 一卷源氏供養表白 一卷隱岐院百首和歌 一卷順德院御百首 一卷僻案集 一卷

天菅原道真撰 隱後鳥羽天皇撰 順德天皇撰 僻藤原定家著

〔江戸末〕寫 外寸「二七・五×二〇糎」 印記「靜軒文庫」(根岸靜軒) (書外題「誦道雜誌」) 一二行。天神五丁源氏三丁隱岐五丁順德一一丁僻案三六丁。識語「明治紀元龍集戊辰月維孟冬自在 松園主根岸松雄」

### 新撰帝説集下書

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・二×二〇・四糎」 印記「武田文庫」(下毛野古家館圖書印)「長春院」 (一一行。四四丁。識語「此一卷保元二年丁丑三月之頃依勅言：爲顯」)

### 六花集注

〔昭和期〕山岸德平寫 外寸「二七・三×一九・五糎」 (假綴。九行。六五丁。山岸氏識語「六花集注彰考館藏本轉写也 龍門文庫本者大永四年写本而卷末有正広等之歌四首云云 朱筆の書き入れあり」)

### 〔和歌無底抄〕

五四三

二册

五四二四

二册

五四二五

一册

五四二六

一册

五四二七

一册

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×二〇・七糎」 「園藏」〔墨書〕（書外題「一子傳」 一二行。八〇丁。附一子傳補修前  
ネガフィルム二枚寫眞五枚）

五四二八  
一册

### 永正日記 和歌懷紙短冊認様同會席次第口傳注之付題之心得詞之用捨等

〔江戸後期〕圓甫寫 外寸「二六・三×一九・二糎」〔假綴。一一行。五〇丁。識語「右之聞書者去ル永正十七年之夏：  
大永七池永清甫僧頭世之砌於旅宿隨分懇望ニ而写書畢：圓甫」 朱筆の書き入れあり）

五四二九  
一册

### 家長日記拔書

源家長著

〔江戸後期〕寫 外寸「二八・八×二二・一糎」 印記「實□」〔風早藏書第四六〇號〕 「風早家藏」〔墨書〕（書名は書外  
題による。一〇行。八丁。奥書「貞治三年八月廿三日書了 爲重也 羽林郎將藤判」 墨書朱筆の書き入れあり）

五四三〇  
一册

### 歌難抄

保田光則著

仙臺 保田孝太郎 明治三十二年（一八九九）六月活版 外寸「二三・二×一五糎」 （一四丁。「保田光則翁略傳」二丁  
「渚廼舎遺稿目録」三丁半。山岸氏識語「福井久藏氏旧藏書也題簽同氏筆也」）

五四三一  
一册

### 歌會始

坊城俊民著

東京 五月書房 昭和五十四年（一九七九）五月活版 外寸「一八・五×一三糎」 （名作シリーズ之一。七一丁）

五四三二  
一册

### 玉手篋二卷

文化六年（一八〇九）六月野村越右衛門寫 外寸「二六・八×二〇糎」 「野村藤八」〔墨書〕（七行。上二四丁下三二丁。  
見返に「文化六年己六月 主野村氏」とある）

五四三三  
一册

源氏都々逸

〔江戸後期〕刊 外寸「一八・三×一・六糎」(單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「一五・四×一〇・二糎」一〇丁)

色音論一名あつまめくり一卷諸國盆踊唱歌一卷

色徳永種久著 諸甫喜山景雄編

京都 甫喜山景雄 明治十六年(一八八三)五月活版 外寸「三・二×一五・四糎」 印記「阿部弘藏圖書之記」(我自刊我書之一。色音一五丁諸國一六丁)

家園漫吟

林衡(述齋)稿 林鐘燾編

文政十一年(一八二八)序刊 外寸「二・一×九・二糎」(左右雙邊。有界。八行一六字。内匡郭「九・六×七・三糎」四三丁。四三丁裏及び卷末に墨格あり)

棣軒詩鈔初集七卷二集六卷

林弘(伯道)著

安政七年(一八六〇)自序寫 外寸「横本一〇・五×一八・七糎」 「白井藏」(墨書) (一八行一三字。初集一卷一六丁二卷一七丁三卷五八丁四卷三二丁五卷三六丁六卷二二丁七卷二二丁。二集一卷二七丁二卷二七丁三卷一七丁四卷三〇丁五卷二〇丁六卷二二丁)

暢園詠物詩四卷

岡田宜生(新川・挺之)著 男岡田守常校

張府 永樂屋東四郎 寛政十年(一七九八)序刊 外寸「一五・八×一・四糎」(單邊。有界。八行一四字。内匡郭「一・一・三×八・四糎」 一卷五一丁二卷三四丁三卷三三丁四卷三五丁。「新川先生編輯書目 張府書肆永樂屋東四郎」

五四三四  
一册

五四三五  
一册

五四九三  
一册

五四九四  
二册

五四九五  
四册

一丁

### 柳北詩鈔三卷

成島惟弘(柳北)著 小野愿(湖山)校

東京 博文館 明治二十七年(一八九四)一月活版 外寸「一五・三×一・三」  
編。一卷二四頁二卷三六頁三卷五二頁。附「北遊吟草」二〇頁

五四九六  
一册

### 柳北全集

成島惟弘(柳北)著

東京 博文館 明治三十年(一八九七)七月活版 外寸「二二×一四・七」  
一。三三二頁

五四九七  
一册

### 幣箒集 寛政三四五〔年〕

寛政三年至寛政六年(一七九四)寫 外寸「二〇・七×一三」  
一卷一八丁二卷一〇丁三卷一〇丁。下象鼻に「鹿洞藏」とある印刷紙使用

五四九八  
一册

### 竹溪先生遺稿 〔卷上〕

大沼竹溪著 男大沼枕山編

東京 嶋屋平七等 (文久四年(一八六四)刊)明治期後印 下谷吟社藏 外寸「二二・九×一五・八」  
圖書記「田中藏書」(單邊。有界。一〇行二一字。内匡郭「一七・四×一二・二」) 二四丁。「發兌書目 東京湯島  
松住町四番地 萬青堂別所平藏版」四丁)

五四九九  
一册

### 西山拙齋先生文集

西山正(拙齋)著

〔昭和四十四年(一九六九)六月〕複寫 外寸「三二・二×一五・八」  
一〇行二〇字。底本「中野三敏氏所藏天明八年

五五〇〇  
一册



以前西山拙齋寫本」 山岸氏識語「西山拙齋先生文集寫本一冊中野氏藏本也」 書き入れあり

## 鳳岡存稿二卷

荒木寅三郎(鳳岡)著 長尾中校

京都 京都帝國大學内荒木前總長記念事業會 昭和五年(一九三〇)十一月活版 外寸「三・三×一三・七糎」(上三二丁下一四丁)

五五〇一

一冊

## 蘇洲詩存

福原燎著

東京 福原吉野 昭和七年(一九三二)三月活版 外寸「二六・二×一五・二糎」(七八丁。朱筆の書き入れあり)

五五〇二

一冊

## 梅所詩稿二卷

唐金興隆(梅所)著

〔昭和期〕複寫 外寸「二五・八×一八・二糎」(七行二〇字。上四〇丁下二九丁。底本「大阪府立圖書館所藏享保五年序豫章堂日新堂同刊本」 山岸氏識語「梅所詩稿上下二冊大阪府立圖書館藏本也…複写入手昭和五十一年五月廿五岸廼舍識」)

五五〇三

二冊

## 畫錦行

冢田虎(大峰・叔貌)著

文政四年(一八二二)三月自序刊 雄風館藏版 外寸「二六・三×一八・二糎」 印記「關場文庫」(關場不二彦)「李堂珍藏」(四周雙邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「一九・四×一三・八糎」 二〇丁。奥付に「製本尾州書林東壁堂」とある)

五五〇四

一冊

## 破草鞋

釋百拙元養著

享保六年(一七二二)跋安積覺寫 外寸「二七・八×二〇・二糎」(二〇行二〇字。一八丁。朱點・朱引あり)

五五〇五

一冊

### 強齋先生遺艸四卷

若林進居(強齋)著 岡直養校

東京 虎文齋 昭和十一年(一九三六)十二月活版 外寸「二七・八×一八・二」糎 (二卷一九丁二卷一四丁三卷二九丁四卷一九丁)

五五〇六  
二册

### 江宗辭海十卷

山田公章編

弘化三年(一八四六)六月寫 外寸「二六×一八・三」糎 (一〇行二〇字。一卷三〇丁二卷二四丁三卷三二丁四卷三一丁五卷四九丁六卷三三丁七卷二二丁八卷二〇丁九卷二七丁一〇卷一八丁。山岸氏識語「此本者天下孤本也貴重本也 毛利家儒者之集也」下象鼻に「惜陰樓藏」とある印刷野紙使用。)

五五〇七  
一〇册

### 諸名家詩鈔 時令聯語

〔明治期〕寫 外寸「二五・九×二一・一」糎 (書名は書外題による。八行。五〇丁。印刷野紙使用)

五五〇八  
一册

### 七曲吟社詩四卷

有馬則興(龍齋)、關三一編

〔東京〕 明治十二年(一八七九)八月跋石印本 鱸氏藏梓 外寸「二三・一×一三・九」糎 印記「義堂」(單邊。有界。九行二〇字。一卷一八丁二卷一八丁三卷一九丁四卷一九丁)

五五〇九  
二册

### 所見集三卷

〔明治期〕寫 外寸「二二・五×一三・五」糎 (書名は書外題による。大和綴。九行二五字。一卷二六丁二卷三六丁三卷二七丁。山岸氏識語「不知筆者所見集也好詩者歎又可爲木屑云云」朱筆の書き入れあり)

五五一〇  
三册

### 本朝百人一詩

鈴木義宗(松宇)選 林英吉(恆山)傳

東京 斯文館 大正十年(一九二二)二月活版 外寸「二四×二二・一糶」(四七丁)

### 近代先哲碑文集 第一集第二集

龜山聿三編

〔東京〕夢硯堂 昭和三十三年至三十九年(一九六四)石印本 外寸「二一・三×一五・一糶」(單邊。無界。一〇行。  
一集三七丁二集二九丁)

### 六義考

〔明治期〕寫 外寸「二四・二×一六・七糶」 印記「小笠原氏藏」 (九行。三六丁)

### 詩文大體

〔江戶後期〕刊 外寸「一五・七×一・一糶」 (單邊。無界。一〇行一四字。白口。無魚尾。内匡郭「一二・四×九・二糶」一九丁。山岸氏識語「詩文大體末欠」)

### 本朝文鑑錄

〔昭和期〕複寫 外寸「二五・八×一八・五糶」 (二〇行二〇字。底本「國立國會圖書館所藏岡崎桂一郎、土肥慶藏舊藏  
延寶八年序書林庄右衛門刊本」)

### 唐明詩軌七卷

原瑜(公瑤・雙柱)編

皇都 河南四郎兵衛・中川藤四郎・藤井孫兵衛 文化元年(二八〇四)五月刊 外寸「二五・九×一糶」 「太子堂式  
部卿」釋了泰(墨書) (單邊。有界。八行二〇字。注文雙行。内匡郭「一二・九×八・六糶」 漢字訓點付。一卷四〇  
丁二卷四四丁三卷四二丁四卷三七丁五卷三八丁六卷二二丁七卷三二丁)

五五二一

一册

五五二二

二册

五五二三

一册

五五二四

一册

五五二五

一册

五五二六

二册

### 唐明詩學聯錦大全

原聯編 鎌田禎(志庸・環齋)補訂

大坂 大野木市兵衛・柳原喜兵衛 京都 岡本嘉七 寛政十一年(一七九九)一月刊 外寸「横本七・九×一九・三糎」

「高田廉平」(墨書) (單邊。有界。一・二行九字。注文雙行。内匡郭「六×二四・五糎」 六四丁)

五五二七

一册

### 詩語國字解二卷

大江資衡(玄圃)述 男大江維寧・源通顯編

京都 鱗形屋新兵衛等 (安永六年三月刊)文化十四年(一八一七)三月重刊 外寸「一五・六×一〇・七糎」 (單邊。

有界。八行。内匡郭「二・二×八・五糎」 漢字片假名。上三七丁下四二丁。「詩學書目錄 京都堀川通高辻上ル

書肆植村藤右衛門藏板」(四丁)

五五二八

一册

### 詩語淵源二卷

多田頰(鳴鳳)著 釋隆戒校

大坂 敦賀屋彦七等 文化十年(一八一三)序刊 外寸「二五・八×二一糎」 (單邊。有界。八行一六字。注文雙行。

内匡郭「二・二×八・五糎」 漢字片假名。上二六丁下一九丁)

五五二九

一册

### 詩文押義要括集成一卷 文筆要括集成一卷

蝸窟散人著

〔京都〕 栗山字兵衛 元祿十四年(一七〇二)刊 外寸「二五・七×二〇・七糎」 (單邊。無界。一三行。白口。無魚尾。

内匡郭「二・二五×八・九糎」 漢字片假名。詩文一四丁文筆一五至二四丁)

五五二〇

一册

### 古詩學便覽

大槻誠之(東陽)編 男大槻篤郎校

東京 大槻東陽 明治十三年(一八八〇)三月刊 外寸「一五・六×一〇・四糎」 印記「都島」 (四周雙邊。有界。八

五五二一

一册

行二〇字。注文雙行。内匡郭「二・一×八・四糎」二六丁。奥付に賣弘書肆として「東京 槻廼家登盤・宮嶋儀三郎・三行社」の三書肆名あり

## 淳軒詩話

太田才次郎(淳軒)著

東京 野田文之助 昭和十四年(一九三九)一月活版 外寸「一八・二×一・一糎」(四七丁。奥付に發賣元として「東京 松雲堂書店」とある)

## 詩話正編一卷續編一卷

復古社友編

兵庫 油屋庄五郎等 天保三年(一八三二)刊 外寸「一八・三×一・三糎」(單邊。有界。七行一二字。内匡郭「二・九×九・二糎」漢字句點訓點付。正三三丁續三七丁。「復古社編定詩學三書 洗心堂藏版」半丁)

## 詩聖堂詩話

大窪行(詩佛)著

蔓延堂 寛政十一年(一七九九)刊 外寸「一七・九×一・九糎」印記「甫庵藏書(服部甫庵)「廣」「娛玩純藏」(左右雙邊。有界。八行一六字。内匡郭「三・六×八・八糎」漢字訓點付。三二丁。山岸氏識語「此書刊行卷一只一册而已矣日本詩話双書所收本脱余作詩話云々一条矣」)

## 梧窗詩話二卷

林瑜(孫坡・孚尹)著

〔江戸〕「萬笈堂英平吉」文化十年(一八一三)刊 外寸「一八・六×二・六糎」印記「百忌堂藏書印」(左右雙邊。有界。八行一八字。内匡郭「二・六×八・三糎」漢字訓點付。一卷一九丁二卷二四丁。「萬笈堂新鐫發行詩集類略目 江戸書林本石町十軒店 英平吉二丁、末の五行は墨格」)

五五二二  
一册

五五二三  
二册

五五二四  
一册

五五二五  
二册

### 栞窗詩話二卷

林瑜(孫坡・字尹)著

東京〔文化十年(一八三三)刊〕明治期後印 外寸「一八・五×二二・五糎」(左右雙邊。有界。八行一八字。内匡郭「二二・六×八・三糎」漢字訓點付。一卷一九丁二卷一四丁。奥付に發兌書肆として「東京小林新造から大坂柳原喜兵衛まで」全一二書肆名あり)

五五二六

一册

### 有餘樂堂詩法摘要

石橋雲來著

〔明治期〕活版 外寸「二〇・七×二三・九糎」(二〇二頁)

五五二七

一册

### 詩格類聚考 附 文体一覽 輓軌

須和文孝(無我有)著

因幡國今市村 須和文孝 明治十八年(一八八五)九月活版 外寸「二一・三×二四・四糎」(五五丁附錄九丁)

五五二八

一册

### 詩本草

柏木昶(如亭・永日)著

文政五年(一八二二)八月跋刊 外寸「二三×一三・九糎」(左右雙邊。有界。一〇行二一字。内匡郭「一五・四×一〇・六糎」漢字訓點付。一二丁。朱筆識語「柏木如亭卒文政己卯二年、壬午即是文政五年也此書初刊本太少所以水原氏再刊於近江國大津時万延元年也」寬識「山岸氏識語「嵯峨寬氏寄贈」)

五五二九

一册

### 初學文體略解

岡田有邦編

新潟 小林二郎 明治十八年(一八八五)十月活版 精華堂藏版 外寸「三二・八×一五・三糎」(三六丁)

五五三〇

一册

### 詩文製式二卷

堀正純(修安)著

皇都 五車樓菱屋藤井孫兵衛 弘化三年(一八四六)刊 外寸「三・二×一五・六糎」印記「瀧川氏圖書記」(瀧川龜太郎)「勢陽津城富岡藏書記」(單邊。無界。一一行。内匡郭「一八・二×二二・九糎」漢字片假名。上二丁下二四丁。「皇都書肆五車樓藏版略書目 京御幸町御池下ル 菱屋孫兵衛」七丁半)

### 詩學問津 存卷第一第四

長梅外(允文)著

東京 淺井重光 明治十四年二月・明治十五年(一八八二)三月活版 萬字堂藏板 外寸「二・九×一五・二糎」(一卷一九丁四卷二六丁。卷一與付に發兌書林として「東京和泉屋市兵衛から大阪岡島眞七まで」全六書肆名、卷四與付に「東京山中市兵衛から大阪岡島眞七まで」全九書肆名あり)

### 詩學問津 存卷第一

長梅外(允文)著

東京 淺井重光 明治十四年(一八八二)二月活版 萬字堂藏板 外寸「二・九×一五・二糎」(一九丁。與五五三二番卷一同版)

### 漁村文話一卷續一卷

海保元備(漁村)著

東京 嶋屋平七等 明治十一年(一八七八)二月刊 萬書堂版 外寸「三・八×一五・四糎」印記「東間郡窪田氏圖書記」(窪田畔夫)「松門文庫所藏」三上 (單邊。有界。一〇行二二字。注文雙行。内匡郭「一四・四×一〇・二糎」漢字片假名。三四丁續三五丁)

### 柳橋詩話二卷

加藤良白(善庵)著

天保七年(一八三六)序刊 富春館藏 關卷下 外寸「三・三×一六糎」(左右雙邊。有界。一〇行二〇字。注文雙行。

五五三二

二册

五五三二

二册

五五三三

一册

五五三四

二册(合綴一册)

五五三五

一册

内匡郭「一六・四×二二・八糎」漢字句點訓點頭注付。三九丁。表紙に「日本詩話雙書第六卷ニ收ム」と墨書あり

### 詩格集成

長山貫(樗園)著 鳴維新(魁堂)校

〔江戸後期〕刊 外寸「三・一×一五・二糎」印記「高崎」(左右雙邊。有界。一〇行二〇字。白口。雙魚尾。内匡

郭「一七・四×二二・二糎」二四丁。書き入れ・朱引き・朱點あり)

### 詩家推敲二卷

釋大典顯常著

平安 錢屋惣四郎等 寛政十一年(二七九九)刊 外寸「三三×一五・九糎」印記「慧薰」「長半院藏書」「龍澤氏圖書

印」「東洲藏書」「夏村□□藏書」(墨書) (單邊。無界。一行三三字。内匡郭「一七・二×二二・七糎」漢字片假名。

上四六丁下五一丁。「大典禪師著述目錄」一丁)

### 文海知津二卷

佐々晉(豊明)著

嘉永五年(一八五二)五月跋刊 生成堂藏梓 外寸「三三・四×一六・六糎」印記「房州白子石井」(單邊。無界。

一行三二字。注文雙行。内匡郭「二〇・一×一四・六糎」漢字訓點付。上二五丁下二九丁)

### 詩學事類二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・二×一六・五糎」印記「吉田氏所藏」「吉田氏圖書記」(吉田令世)「小林氏所藏印」(書名

は書外題による。一行二四字。注文小字雙行。上七四丁下一一四丁。朱筆の書き入れあり)

### 初學詩法

貝原篤信(益軒)編

〔延寶八年(一六八〇)刊〕後印 外寸「二六・五×一七・六糎」印記「河内茨田郡野口愛傍吟野書屋」(單邊。無界。

五五三六

一册

五五三七

二册

五五三八

一册

五五三九

二册

五五四〇

一册



一〇行二二字。注文雙行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・七×一四糎」五〇丁)

### 藝苑錄二卷

藤元鳳(繼文)著 黃咸編

京師 錢屋庄兵衛等 明和八年(一七七二)三月刊 外寸「二七×一七・八糎」(單邊。有界。一一行二〇字。内匡郭

「二〇・四×一四・八糎」漢字片假名。上三八丁下四四丁。「板行目錄 京都書林 寺町通三條上ル町北ノ角 菊屋

安兵衛」二丁)

五五四一

二册

### 易經二卷

後藤世鈞(芝山)著 男後藤師周孫後藤師邵同校

文化九年(一八一二)九月序刊 外寸「二五・五×一八・二糎」印記「讚岐儒學藤氏圖書」(後藤芝山) (改正音訓五經之

一。書名は卷尾による。單邊。有界。九行一七字。内匡郭「三二・二×一五・七糎」漢字訓點頭注付。乾「三丁坤五二丁)

五五四二

二册

### 皇極內篇發微

遊佐好生(木齋)著

武江 山田屋三四郎 享保二年(一七一七)刊 外寸「二七・五×一九・一糎」(凡例題「洪範全書發微」四周雙邊。

無界。八行一〇字。内匡郭「一九・一×一三・九糎」漢字句點訓點付。二二丁)

五五四三

一册

### 小學書欄外書

佐藤擔(一齋)稿

江都 渡邊峯允 [江戸後期]刊 外寸「三三・一×一六・三糎」印記「石田氏文庫」鈴木氏印」(愛日樓欄外書第一

帙。單邊。有界。一〇行二二字。白口。雙魚尾。内匡郭「一八・七×一三・五糎」五二丁。朱筆の圈點あり)

五五四五

一册

### 排釋錄

佐藤直方編

五五四六

京都 出雲寺松栢堂〔貞享三年(一六八六)壽文堂刊〕後印 外寸「二五・五×一八・五糎」(單邊。無界。九行一六字。白口。單魚尾。内匡郭「二・二×一六・六糎」 五二丁。「山崎闇齋先生門人編集略書目 御書物所京都三條通堺町 出雲寺松栢堂」半丁。山岸氏識語〔本書抄出朱子語類朱子文集也〕

### 正學指掌

尾藤孝肇(二洲・志尹)著

大坂 泉本八兵衛等 天明七年(一七八七)十一月刊 外寸「二六・三×一八・五糎」 印記「修竹園」綠□艸堂 (左右雙邊。有界。一〇行二四字。内匡郭「二〇・二×二三・二糎」 漢字片假名。四一丁)

### 非徂徠學

鱒維安(養齋)著

京師 植村藤三郎等 明和二年(一七六五)八月刊 外寸「二七・二×一九糎」 (左右雙邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「一九・八×一四・二糎」 漢字句點訓點付。三三丁。朱筆の書き入れあり)

### 理氣鄙言

櫻田質(虎門・仲文)著

嘉永元年(一八四八)寫 外寸「三三・五×一五・五糎」 (二一行。漢字片假名。二五丁。識語「嘉永改元戊申歲夏寫了 櫻田質字仲文通称周輔号虎門仙臺人敬義受」)

### 近世先哲叢談二卷

松村操編述

東京 巖々堂岩崎好正 明治十三年(一八八〇)十月刊 外寸「一八・六×二二・七糎」 (單邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「一四・四×一〇糎」 漢字句點訓點付。上四九丁下四五丁)

### 續近世先哲叢談二卷

一册

五五四七

一册

五五四八

一册

五五四九

一册

五五五〇①

二册

松村操編述

東京 巖々堂岩崎好正 明治十五年（一八八二）六月刊 外寸「一八・六×二二・七糎」（單邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「二四・一×九・九糎」 漢字句點訓點付。上五〇丁下四八丁）

### 物數稱謂

岡田挺之（新川）編

名古屋 豐田乘三郎（寛政八年一月自序尾張永樂堂刊）明治三十六年（一九〇三）十二月後印 外寸「二三・七×一六・七糎」（單邊。有界。六行一八字。注文雙行。内匡郭「一七・五×二二・六糎」 漢字訓點付。二五丁。書筒付）

### 隱元冠字考二卷

黃檗子廣良述

愛知縣猪高村 黃檗堂 昭和十七年（一九四二）二月活版 外寸「二四・五×一四・六糎」（上二五丁下三四丁）

### 點例二卷

貝原篤信（益軒）編

〔京都〕 柳枝軒茨城方道 〔元祿十六年（一七〇三）自序刊〕後印 外寸「一八・一×一一・九糎」 印記「山内所藏」〔熊本市上通一丁目河鳴書店〕（序文首）訓點新例 單邊。無界。九行一九字。白口。無魚尾。内匡郭「一三・八×八・五糎」 漢字片假名。上三八丁下一五丁）

### 三字經

明治三年（一八七〇）刊 鹿兒島藩藏版 外寸「二五・一×一七・九糎」 〔成田氏藏〕「此主西村銆吉」（墨書）（單邊。無界。四行六字。内匡郭「二〇・二×一三・七糎」 二三丁。一二丁裏に墨格あり）

### 魏武帝註孫子評說三卷

奥平神錫著

五五五〇②  
二册  
五五五二  
一册  
五五五三  
一册  
五五五四  
一册  
五五五五  
一册  
五五五六

慶應三年(一八六七)九月刊 薩州三峯香書屋奥平氏藏版 外寸「一三・二×九・二糎」印記「後洞館藏書」等(單邊。有界。八行一七字。注文雙行。内匡郭「二一・一×七糎」漢字句點訓點頭注付。上九丁中一〇至一九丁下二〇至三〇丁。奥付に弘所として「大坂書房 文淵堂敦賀屋爲七」とある)

一册

### 三王外記三卷續三王外記三卷浚王記附録一卷

三東武野史訊洋子著 續東武野史若無子著

五五五七

〔明治期〕寫 外寸「二四・一×一六・五糎」印記「下毛石井氏藏書記」(一〇行。三王四〇丁。續一卷二六丁二卷一四丁三卷二二丁半附録三丁半)

二册

### 增訂二十四孝詳解

〔光緒三年(一八七七)刊〕後印 泉州輔仁堂藏板 外寸「二二・七×一三・二糎」(封面「新增日記故事内附二十四孝」

五五五八

單邊。無界。一二行二六字。注文小字雙行。三二丁。上圖下文全相本)

一册(漢籍)

### 雅俗故事新編二卷

板井慶次郎編

五五五九

新潟縣長岡 目黒十郎 明治十八年(一八八五)十一月刊 外寸「二二・七×一五・五糎」印記「足立藏書」(四周雙邊。無界。九行。注文雙行。上五一丁下五二丁)

二册

### 學翼二卷

大江資衡(穉主)著 近藤正信(國寶)校 圓山應舉(仲選)訂

五五六〇

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正八年(一九一九)五月活版 外寸「一八・九×一二・五糎」(藝苑叢書之一。七九頁)

一册

### 松陰快談四卷

長野確(字血確・豊山)著

五五六一

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正八年(一九一九)六月活版 外寸「一八・九×二二・五糎」(藝苑叢書之一。八三頁)

### 讀書餘滴

鈴木由次郎(乾堂)著

武藏野 安閑窟 昭和三十八年(一九六三)三月影印 外寸「二一・七×一三・二糎」(二〇行二〇字。一三三丁)

### 策對

松木智彦著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・九×一六・六糎」 印記「夏目文庫」(二〇行。四九丁。山岸氏識語「策對一册昭和五十一年三月廿四日：求本書矣江戸時代對策例可參照者也」)

### 辨紫錄

小澤斑美著

〔明治期〕寫 外寸「二六・三×一八・二糎」(書名は書外題による。九行。四〇丁。下象鼻に「困學堂」とある)

### 良山堂茶話初編一卷二編一卷

阿部温(良山・縑洲)著

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正八年(一九一九)三月活版 外寸「一八・九×二二・四糎」 印記「波多野所藏」(藝苑叢書之一。初編三二頁二編三三至七八頁)

### 香亭雅談二卷

中根淑著

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正九年(一九二〇)六月活版 外寸「一八・三×二二・四糎」(藝苑叢書之一。上四〇頁下五七頁)

一册

五五六二

一册

五五六三

一册

五五六四

一册

五五六五

一册

五五六六

一册

花間笑語四卷

釋如意庵大進著

寶曆十二年(一七六二)七月釋無貧其阿寫 外寸「二・八×一五・二糎」 「村井源太郎主」(墨書) (一一行。一卷一〇丁二卷九丁三卷一二丁四卷一二丁半。底本「寶曆三年東都大坂屋平三郎刊本」)

五五六七

一册

一寸一筆一卷附録一卷

式亭三馬著

名古屋 文花堂 「江戸後期」刊 外寸「二・四・二×九・八糎」 (書名は目次首による。單邊。無界。五行。白口。無魚尾。内匡郭「一・二×七・五糎」 四八丁。附「借用中金子之事」等九丁)

五五六八

一册

自遣往來

武江 林鶴堂鱗形屋孫兵衛 寶永五年(一七〇八)刊 外寸「二・七・四×一・八・八糎」 (單邊。無界。六行。内匡郭「二・四×一・五・六糎」 二段本、上欄題「東都書翰之初」 一九丁)

五五六九

一册

紙譜

木村青竹編

辻川昭山 昭和八年(一九三三)複製 外寸「横本七・四×一・六・一糎」 (書外題「新撰紙譜」 單邊。無界。一六行。七五丁。底本「安永六年二月京都菱屋次兵衛等刊本」)

五五七〇

一册

夢合延壽袋大成

「江戸後期」刊 外寸「一・五・七×一・一・七糎」 (書名は巻尾題による。巻頭「安部清明八卦占」 單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「二・二・七×九・四糎」 八〇丁。書籍製本發兌として「京都 辻本仁兵衛・辻本儀兵衛・辻本九兵衛」の三書肆名あり)

五五七一

一册

萬物分類夢相手鑑

東都 藤岡屋慶次郎・藤岡屋彦太郎 弘化四年(一八四七)四月刊 外寸「一七・四×一一・七糎」(題簽「弘化新版ゆめはんじ」) 單邊。無界。二〇行。内匡郭「一五・三×一〇・三糎」(七丁) 一册 五五七二

### 夢占吉凶祕傳書

京 墨屋吉兵衛 嘉永五年(一八五二)刊 外寸「二二×二四・八糎」 「田邊家」(墨書) (題簽「新版ゆめあはせ」) 單邊。無界。二二行。内匡郭「六・六×一二・四糎」 繪入。八丁) 一册 五五七三

### 寶あはせ

東京 米山堂内稀書複製會 昭和五年(一九三〇)五月影印 外寸「一八・三×一三・二糎」 印記「北游亭」 (書名は卷末による。九行。一九丁。底本「天保元年十二月跋刊本」) 一册 五五七四

### 射覆必用

釋便道著 釋觀隆・顯照・法堂同校

大坂 淺野彌兵衛・江戸 北澤伊八・京都 野田藤八 享和三年(一八〇三)刊 外寸「一五・五×九・三糎」 (單邊。一册 五五七五

有界。五行。内匡郭「一二・七×六・五糎」 漢字片假名。三九丁附録一九丁半。「星文堂藏書目錄 大坂高麗橋一丁目 藤屋淺野彌兵衛」九丁半)

### 本朝黃白志

石希聰著

〔江戸後期〕寫 外寸「二四×一七・五糎」 (書名は序文首による。三七丁。奥書「癸卯晚夏予寓居江府勤思堂得青木

氏所輯金銀譜一册觀之未悉也余亦素有黃白摹寫諸品者今盡布列之更有所增補題曰本朝黃白志云 天明四年甲辰春又二月上浣 石希聰) 一册 五五七六

### 貨幣取調書

太政官會計局著

五五七七

〔東京〕 太政官會計局 慶應四年（一八六八）閏四月刊 外寸「二五・八×一七・六糎」 （書名は表紙による。單邊。無界。一〇行。七丁）

### 外山の春

佐野義行著

享和二年（一八〇二）七月三頼一寫 外寸「三三・九×一七・四糎」 印記「服部氏藏書印」「服部耕齋」（書名は書外題による。封面「戸山の春」 一一行。二三丁。奥書「此一帖ハ佐野肥前守義行著述のよし本書寛政五己年写」 識語「享和二戌秋七月横瀬貞昌ある方の藏書なるを乞得て見せしむ；おなし月なぬかの夜燈下に写し畢 三頼一」

### 厨の心得

石川縣第一女子師範學校編

金澤 益智館 明治十三年（一八八〇）三月刊 外寸「三二・二×一四・九糎」 （書名は目次首による。巻頭「久里やのこゝ路え」 四周雙邊。無界。一〇行。五七丁）

### 香座法

〔明治期〕寫 外寸「三三・一×一四・九糎」 （書名は書外題による。八行。一八丁。山岸氏識語「吉川家藏元亨釈書裏書中存十種香合可参照云云」）

### 米川十組香私記

叢香舎春龍著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六×一八・二糎」 （一〇行。一五丁）

### 茶席墨寶祖傳考

燈外編 藤井以正重編

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正八年（一九一九）一月活版 外寸「一八・八×二二・四糎」 印記「中山

一册

五五七八

一册

五五七九

一册

五五八〇

一册

五五八一

一册

五五八二

一册



氏藏書之記」(中山久四郎) (藝苑叢書之一。六四頁)

## 茶の式

寛政八年(一七九六)寫 外寸「二七・五×一九・八浬」(書名は書外題による。一九丁。奥書「右者三齋書雖爲祕事依懇望令相傳者也他見堅禁止之書也以如件 寶曆九己卯年初夏閑市菴一掌右帆高井又右衛門殿」識語「寛政丙辰季夏寫 洋々菴主人」)

## 雲烟所見略傳二卷

清宮秀堅(穎粟)編

東京 風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館 大正八年(一九一九)二月活版 外寸「一八・八×二二・四浬」(藝苑叢書之一。上三四頁下三五至八六頁)

## 扶桑名公畫譜

淺井不舊(時習齋)著

〔東京〕〔風俗繪卷圖書刊行會・吉川弘文館〕〔大正八年(一九一九)一月〕活版 外寸「一八・八×二二・四浬」(藝苑叢書之一。一三四頁)

## 印譜辨妄 辨妄餘言

福岡孝弟(水萍子)著

東京 國華社 明治三十二年(一八九九)五月活版 外寸「三三・二×一五・八浬」(三九丁附八丁)

## 日本繪畫小史

大村西崖著

東京 審美書院 明治四十三年(一九一〇)七月活版 外寸「二四・二×一六・二浬」〔大正元年十月五日羽田春野〕(墨書) (二八丁)

五五八三

一册

五五八四

一册

五五八五

一册

五五八六

一册

五五八七

一册

### 入木口傳抄

〔藤原行尹、福原行房述〕

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・五×一七・八糎」印記「渡邊藏」「渡邊兼爲（墨書）（書名は書外題による。五行。

三三丁。奥書「此一巻者青蓮院二品親王尊圓号大乘院宮後光嚴院御幼年之時被注進之祕書也」皆永正第十曆後秋下

澁天台山瓦礫前大僧正在判）

### 色紙ちらしかた

〔世尊寺行尹述〕

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・一×一七・七糎」印記「吉澤文庫（吉澤義則）（書名は書外題による。四行。一一丁。奥

書「右色紙散しかたハ世尊寺行尹卿の口傳也くハしく傳へ侍る穴貫 寛永十一季仲春基定」朱筆の書き入れあり）

### 藤原公任北山抄

藤原公任撰

東京 平凡社 昭和十年（一九三五）五月影印 外寸「二六×一八・七糎」（和様手本大成第十五卷。書名は題簽によ

る。五行。二〇頁）

### 春日潜庵遺墨集

春日潜庵筆 春日精之助編

京都 潜菴會 大正十四年（一九二五）四月影印 外寸「二二・三×一五・一糎」（書名は書外題による。一七枚）

### 増補古筆名葉集二卷

安政五年（一八五八）三月序刊 外寸「一六・三×八・七糎」（題簽「新撰古筆名葉集」 單邊。無界。八行。内匡郭

「二・九×六・九糎」上四五丁下三九丁）

### 昭和古筆名葉集二卷

五五八八

一册

五五八九

一册

五五九〇

一册

五五九一

一册

五五九二

一册

田中塊堂(砂六齋)編

京都 京都鳩居堂 昭和二十二年(一九四七)三月活版 外寸「二七・五×九・八糎」(上七六頁下七七至一四三頁)

附「補正古筆了伴先生得許可及上木 和漢書畫古筆鑑定家印譜」一枚

〔代氏〕傳家抄

文化十三年(一八一六)閏八月跋刊 外寸「三一・二×二二・一糎」(書名は題簽によるも冒頭三字不詳。無匡郭。一〇丁)

熊野馬溪遊草

日下部鳴鶴書

東京 日本書道教育學會 昭和三十七年(一九六二)十月影印 外寸「一八・九×八・五糎」(書名は表紙による。三行七字。二七折。底本「大正九年五月晚翠軒コロタイプ精印本」 別冊「熊野馬溪遊草譯文并解說」文鳳閣主著。八頁)

(唐京師至德觀法主)孟法師碑銘

(唐)岑文本撰 (唐)褚遂良書

東京 興文社 〔昭和九年六月拓本影印〕昭和十年(一九三五)五月後印 外寸「三〇・二×一四・九糎」(四行一〇字。一三丁。底本「貞觀十六年五月戊午萬文韶刻臨川李氏本」 附「褚遂良孟法師碑解說」芳賀剛太郎著。一四頁)

唐狄梁公碑 下卷

(宋)黃庭堅書

〔民國中〕拓本 外寸「三二・六×一七・五糎」 印記「北洞藏書」(書名は書外題による。絹布裝。四行一〇字。一二折)

御刻三希堂石渠寶笈法帖 第十三冊

(宋)黃庭堅書

上海 有正書局 〔民國初期拓本影印〕民國十四年(一九二五)二月重印 外寸「二六・四×一五・六糎」(題簽「三希堂

五五九三

一冊

五五九四

一冊

五五九五

折本一帖・別冊解說一冊

五六〇〇

一冊(漢籍)

五六〇一

折本一帖(漢籍)

五六〇二

一冊(漢籍)

黄山谷法書帖」四六丁)

### 草書習字帖二卷

顧新亞(梅盦)編

上海 文明書局 [光緒三十二年七月序影印]民國十七年(一九二八)三月重印 外寸「二五・八×一五・四糎」(單邊。無界。四行。上五〇丁下五一至九八丁)

五六〇三  
二册(漢籍)

### 徂徠先生墓碑

藤原忠統撰 源君嶽(鳥石)書

〔元文五年(一七四〇)八月跋刊] 拓本 外寸「二七・四×一六・五糎」 印記「桂氏藏書」(桂譽正) (三行五字。九折)

五六〇四  
折本一帖

### 中阿鉛經

一難寶郎書

東京 武田墨彩堂 昭和十三年(一九三八)五月影印 外寸「三〇・二×二二・五糎」(書名は題簽による。卷頭「晝度樹經第二竟中阿鉛七法品城喻經第三」 四行一七字。一二折。別册「天平寶字寫中阿鉛經解說」野本白雲述。四頁)

五六〇五  
折本一帖・別册解說一册

### 藥師寺擦銘

日下部勝皋釋

寛政六年(一七九四)三月序刊 文會堂藏 外寸「二七・一×一九・二糎」 印記「牽舟文庫」(森潤三郎)「樟陰山房」(岡本經邦)「去鋤瓜」(題簽「藥師寺擦銘釋」 單邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「一八・七×一四糎」 一〇丁。識語「本書ノ写本ハ靜嘉堂ニアリ」 附「維清原□□字拓本 昭和廿六年春夏之交東塔解体修理時拓寫者也」一枚。書き入れあり)

五六〇六  
一册

### 佛足石碑銘

寶曆二年(一七五二)跋刊 外寸「二六・二×一八・三糎」 印記「精姑堂藏」(書名は題簽による。四周雙邊。一部有界。

五六〇七

六行一·一字。内匡郭「三・七×一・六・一・糶」一八丁。附録「佛足石歌考」田村一雄著。一〇枚（油印）

## 上野三碑考

〔昭和期〕寫 外寸「二・六・七×一・八・八・糶」 印記「蓼溪書屋」（書名は書外題による。一〇行。五一丁。「天保七年十月序」あり）

## 古碑考

諸葛蝨（琴臺）編

寛政九年（一七七七）九月序寫 外寸「二・七・一×一・九・五・糶」 印記「古今圖書木村藏」（一五行。四二丁。附「諸葛琴臺」高濱二郎著「下野史學」第十三號拔刷）、「諸葛琴臺に關し疑を質す」塩谷誠一著（「下野史學」第十四號拔刷）

## 古碑釋文四輯

樋口勇夫著

東京 晚翠軒 大正十四年（一九二五）三月至五月活版 外寸「二・五・五×一・六・二・糶」（二輯三六丁二輯三六丁三輯三五丁四輯四二丁）

## 燕澤古文碑考一卷碑字考一卷

藤塚知明（鹽亭）著

仙臺 流輝軒本屋治右衛門 〔天明三年（一七八三）九月序刊〕後印 外寸「二・五・六×一・七・六・糶」 印記「伴氏之記」〔題簽「燕澤碑帖附考證」 左右雙邊。有界。九行一六字。内匡郭「一・九・三×一・三・糶」 燕澤一〇丁碑字四丁〕

## 燕澤古文碑考一卷碑字考一卷

藤塚知明（鹽亭）著

仙臺 流輝軒本屋治右衛門 天明三年（一七八三）九月序刊 外寸「二・八・八×一・九・八・糶」 印記「海限」「飛龍在于天見大人風祈」（與五六一一番同版）

一册・付録一册

五六〇八  
一册

五六〇九  
一册

五六一〇  
四册

五六一一  
一册

五六一二  
一册

多賀古城壺碑考

平信恕(弘齋)著

京六角御幸町 茨城多左衛門・江戸日本橋南二丁目 小川彦九郎〔江戸中期〕刊 外寸「二五・八×一八・二糎」印記「牽舟文庫」(森潤三郎) (題簽「壺碑考」) 單邊。無界。八行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・五×一四・四糎」(六丁)

五六一三  
一册

陸奥名碑略 詩哥古記引書

藤塚東郷、菅原陳之(曲溪)編

宮城縣鹽釜西町 前田屋茂吉 文化十四年(一八一七)序刊 外寸「二九・三×九・二糎」 印記「武嶋」(武嶋羽衣) (書名は封面による。題簽「名所圖繪」) 一五折

五六一四  
折本二帖

雙陸獨稽古

大原芳藏(菊雄)著

文化八年(一八一二)一月序刊 外寸「一七・六×二一・八糎」 (書名は封面による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・七×九・三糎」) 一二丁

五六一五  
一册

(當流妙手)雙陸錦囊抄

大原芳藏(菊雄)著

攝都 秋田屋大野木市兵衛等 文化八年(一八一二)一月刊 外寸「一七・九×一三・一糎」 (書名は序文首による。單邊。無界。七至一〇行。三四丁。内匡郭「一四・四×九・四糎」) 二五丁。「寶文堂藏版豫顯書目 大坂心齋橋通安堂寺町南江入西側 秋田屋大野木市兵衛」(二〇丁)

五六一六  
一册

御すごろくはん一式

黒漆塗九曜紋桐花唐草文、縦一八・五糎 横一二・一糎 高九・四糎。白駒二三箇黒駒一四箇、骰子二箇付。黒漆塗簡一箇 (品名は箱書による。九曜紋龜甲文錦袋納め、杉板製被せ箱入)

五六一七  
一箱

(傳行成筆)針切

昭和二十二年(一九四七)十月山岸徳平寫 外寸「二五×一六・五糎」(書名は書外題による。列帖裝。九行。一四枚。山岸氏識語「針切右断簡近來某家より出てたりと昭和廿三年九月廿二日飯島氏より聞きて書きつける」)

稱謂私言

尾藤二洲著

〔江戸末〕寫 外寸「三・二×一六・六糎」(一〇行二〇字。一九丁。底本「文化八年佐倉菱在跋刊本」下象鼻に「迂齋藏書」とある印刷罫紙使用)

枕詞増補詞艸小苑不分卷

平湯鞍、藤原熊在著

尾張 風月孫助等 (安永二年刊)享和四年(一八〇四)二月後印 外寸「一六×一〇・三糎」 印記「嬰」 「岩堀西光精舎 祐尊秀□」(墨書) (單邊。無界。九行。内匡郭「一三・五×七・一糎」 一册六四丁二册六五至一三二丁三册一三三至二〇三丁)

詞葉新雅初編不分卷

富士谷御杖(成壽・成元)論定 西村惟俊・藤木正名筆授

皇都 葛西市郎兵衛 寛政四年(一七九二)九月刊 外寸「一五・七×一・三糎」 (單邊。有界。八行。内匡郭「一二・四×八・二糎」 漢字片假名。一册五五丁二册五六至一〇六丁。「水玉堂藏板歌書連歌書目」二丁)

諸國海陸道中記

江都 奥村喜兵衛等 延享四年(一七四七)一月刊 外寸「横本一一・七×一六・五糎」 (書名は題簽による。卷頭「新板道中記」 單邊。無界。二〇行。内匡郭「九・三×一四・五糎」 六三丁)

東山道八ヶ國

五六一八  
一册

五六一九  
一册

五六二〇  
三册

五六二一  
二册

五六二二  
一册

〔江戸後期〕刊 外寸「横本二・三×一六・五糎」 印記「岩間辰治郎藏書之印」〔岩間辰次郎〕（單邊。無界。一五行。白口。無魚尾。内匡郭「九・四×一五・二糎」 三二丁）

五六・三  
一册

（對類音使字音濁語）假字便覽

大野廣城（樵園）編

江戸 須原屋佐助等 天保六年（一八三五）七月刊 外寸「横本八・五×一八・五糎」 印記「執行藏書」〔執行弘道〕（單邊。有界。二〇行二一字。内匡郭「六・二×一五・一糎」 六〇丁）

五六・四  
一册

越後順礼道しるべ

長岡 間霜次郎兵衛隱居到岸（印施） 享和二年（一八〇二）八月刊 外寸「横本一一・六×一六・三糎」 （書名は題簽による。單邊。無界。一二行。内匡郭「八・八×一四・一糎」 二二丁）

五六・五  
一册

假名文字遣

行阿（源知行）著

東都 高橋與惣治 寛政三年（一七九二）九月刊 外寸「一七・九×二二・四糎」 印記「植松氏記」〔植松茂岳等〕（無匡郭。八行。六一丁）

五六・六  
一册

堤中納言物語

昭和二十五年（一九五〇）四月山岸徳平寫 外寸「横本一三・三×一九・六糎」 （書名は書外題による。八行。上册八七丁下册一〇三丁。山岸氏識語「十編物語」堤中納言物語 十册前田子紅梅文庫本也（旧九条家藏本而弘文莊賈却云云）

五六・七  
二册

堤中納言物語

昭和十一年（一九三六）二月山岸氏家中寫 外寸「二六・二×一八・五糎」 （書名は書外題による。八行。一〇三丁。山岸氏識語「堤中納言」一册松井博士藏本也二月上流借覽之序於家中写者也）

五六・八  
一册



### 堤中納言物語

〔昭和十一年（一九三六）二月〕寫 外寸「二七・三×一八・五糎」 （書名は書外題による。九行。七六丁。山岸氏識語「堤中納言物語」一册松井博士藏本也今茲二月中浣借覽序書写者也原本大野広城自筆本也） 朱筆の書き入れあり

五六二九  
一册

### 堤中納言物語

〔昭和二十八年（一九五三）十一月〕山岸徳平寫 外寸「二七・四×一九・六糎」 （書名は書外題による。一〇行。六六丁。山岸氏識語「堤中納言物語」一册神宮文庫本也以山田忠雄氏轉写本影写者也）

五六三〇  
一册

### 堤中納言物語

昭和十一年（一九三六）一月片寄正道寫 外寸「二七・三×一九・八糎」 印記「片寄藏書」 （書名は書外題による。一二行。七一丁。片寄氏識語「堤中納言物語」一册以山岸先生御所藏神宮文庫影寫本書寫之功畢即一校畢本文者愚弟正道影写者也…正義識）

五六三一  
一册

### 堤中納言

昭和二十二年（一九四七）五月山岸徳平寫 外寸「二七・三×一九・四糎」 （書名は書外題による。一二行。七六丁。山岸氏識語「堤中納言物語」一卷慈延上人頭書神宮文庫本也…余之本爲人所借失（戦災焼失也）故更補給者也。右本片寄氏轉写焉困書借覽以再写者也）

五六三二  
一册

### 堤中納言物語

昭和二十八年（一九五三）十一月山岸徳平寫 原闕「ほとほとの懸想」 外寸「二七・三×一九・六糎」 （書名は書外題による。九行。九八丁。山岸氏識語「堤中納言物語」京大圖書館藏本也九册本ほとほとの懸想一册欠…昨秋高橋貞一氏藏写本借覽之際轉写者也）

五六三三  
一册

### 堤中納言物語

昭和十五年（一九四〇）四月寫 外寸「二七・六×一九・六糎」 （書名は書外題による。一〇行。五七丁。山岸氏識語「堤

五六三四

中納言物語一册長野圖書館藏本也」 墨筆朱筆の書き入れあり

### 堤中納言物語

昭和十一年(一九三三)二月寫 外寸「二六・二×一八・五糎」(書名は書外題による。一〇行。六〇丁。山岸氏識語「堤中納言物語」一册函崎文庫旧藏本也今在松井博士架上二月上浣借覽之序映写者也」 朱筆の書き入れあり)

五六三五

一册

### 堤中納言物語

昭和十七年(一九四二)六月寫 外寸「二七×一九糎」(書名は書外題による。一〇行。九二丁。山岸氏識語「堤中納言物語」十册廣島師範藏本而有栖川宮家御本与本書全同者也)

五六三六

一册

### 堤中納言物語

昭和三十年(一九五五)七月山岸氏家中寫 外寸「二六・九×一八・八糎」(書名は書外題による。九行。上册三九丁下册四七丁。山岸氏識語「堤中納言物語」二册以山田孝雄博士藏本書写焉件本岡本保孝旧藏本也昨冬依頼一見而今夏借覽云云昭子写了)

五六三七

二册

### 堤中納言物語

昭和十一年(一九三三)二月寫 外寸「二七・三×一八・五糎」(書名は書外題による。一〇行。七三丁。山岸氏識語「堤中納言物語」一册松井博士藏日尾荆山自筆本也荆山弱年□直磨云云)

五六三八

一册

### 堤中納言物語

慶應元年(一八六五)三月佐野久成寫 外寸「二七・三×一八・六糎」(書名は書外題による。一〇行。六七丁。奥書「此一卷は小山田与清翁水戸侯ニ献納せし本を後ニ同藩歌学所ニ下られてあり今是を志はし乞申て本文より朱書朱點縁點等一も違へず写し終る。慶應元年春三月水戸藩弘道館歌学所副教職佐野久成」 山岸氏識語「堤中納言物語」一册峯間翁旧藏本也余數次借藏本于峯間翁矣因翁遂爲余所寄贈云云 昭和十一年十月十五日)

五六三九

一册

## 堤中納言物語

〔大正期〕山岸徳平寫 外寸「二七・二×一八・八糎」(九行。上册三五丁下册二七丁。上卷末の山岸氏識語「堤中納言物語」二卷魯魚焉馬の誤字多くして讀みかたし。以善本可校合者也)「下卷」大正十年六月此書の筆者は清慎公家集と同人也何人の物せしか)

五六四〇  
二册

## 堤中納言物語

昭和二十八年(一九五三)十一月山岸氏家中寫 外寸「二六・八×一九・六糎」(書名は書外題による。八行。九五丁。山岸氏識語「堤中納言物語」二册英人薩道旧藏本也後爲上田萬年先生藏更轉爲日本大学圖書館藏本云云借覽于山田氏書写者也昭子写焉)

五六四一  
一册

## 堤中納言

天明七年(一七八七)八月稻縣大平寫 外寸「二六・五×一八・八糎」 印記「紫景文庫」(藤井乙男「清水泰藏書」)「清水君惠存 乙翁」(墨書) (書名は書外題による。一〇行。六五丁。奥書「天明七年丁未八月九日以宇治菊家兵部末偶本書寫畢 稻縣大平」 識語「藤井乙男号紫影淡路人第四高教授後京大教授乙翁即藤井先生也 春乃屋藏」)山岸氏識語「昭和四十四年十一月十九日清水泰氏未亡人より 岸廼舎」 朱筆の書き入れあり。附「小山多乎理舊藏堤中納言物語とその系統」王岐武治稿(「立命館文學」一九五五年八月號第一二三號拔刷)、山岸徳平宛京都市清水登勢筆書簡一通)

五六四二  
一册・拔刷一册

## 堤ものかたり

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一九・四糎」 印記「紫景文庫」(藤井乙男「平出氏書室記」)「平出鏗二郎」 「清水君惠存 乙翁」(墨書) (書名は書外題による。九行。上册三九丁下册四七丁。山岸氏識語「藤井先生旧藏本也爲清水泰君未亡人所贈云々記念之書也 昭和四十四年十一月廿三日記之」 朱筆の書き入れあり)

五六四三  
二册

## 煎茶早指南

柳下亭嵐翠著

大坂 青木嵩山堂〔享和二年(一八〇二)序刊〕明治期後印 外寸「二五・八×一八・二糎」(書名は題簽による。無  
匡郭。九行。二二丁)

五六四五

一册

### 良山堂茶話初編一卷二編一卷

阿部温(良山・練洲)著

大坂 河内屋儀助 文政七年至文政十一年(一八二八)刊 金龍閣・芙蓉館藏 外寸「二六・二×一七糎」印記「右隣  
亭」不求是解「大島氏圖書」(大島雅太郎) (左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一六・七×二二糎」漢字片假名。  
初編二二丁二編三七丁)

二册

五六四六

### 非物篇六卷

五井純禎(蘭洲)著 中井積善(竹山)・中井積徳校正

大坂 文海堂・賭春堂 天明四年(一七八四)刊 外寸「二七・七×一七・八糎」印記「寒濤」(封面「正編非物篇」  
四周雙邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「一九・三×一三・六糎」漢字句點訓點付。版心に「懷徳堂」とある。一卷  
三八丁二卷三二丁三卷三二丁四卷三二丁五卷三二丁六卷三二丁半附三三丁裏至四〇丁。「非物篇」二册正編也非徴二  
册續編也計四册) 朱點・朱引あり)

二册

五六四七

### 非徴八卷

中井積善(竹山)著 早辨之較

大坂 奥田彌助等 天明四年(一七八四)十二月刊 懷徳堂藏 外寸「二五・八×一八・二糎」印記「寒濤」(見返「續  
編非徴」四周雙邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「一九・七×一三・五糎」漢字句點訓點付。一卷五九丁二卷三二  
丁三卷三七丁四卷三九丁五卷二九丁六卷三二丁七卷二七丁八卷三七丁。山岸氏識語「續編非徴四册以与本書同版本  
刊行料紙杉原也跋在卷首。後刷也 以右版本校訂補脱字矣」)

二册

五六四八

### 〔源氏物語〕 桐つば・ははき木・うつ蟬・花のえむ

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・六×一八・五糎」(書名は書外題による。九行。桐壺三二丁帚木六九丁空蟬一四丁花宴一三丁。各帖の封面左肩の紙片に「連歌師宗珀法師」「連歌師玄仍法師」「耕閑齋兼載法師」「連歌師宗珀法師」とある。墨筆朱筆の書き入れあり)

五六四九  
四册

## 大日本細見道中圖鑑

友鳴松旭畫・書 富士谷東遊子校  
大阪 藤屋菊治郎等 〔江戸末〕刊 外寸「三七・二×一九五糎」(折疊「一八・六×九・一糎」)

五六五〇  
地圖一舖

## 近江國細見圖

山下重政作 山下重次・森孟忠校合  
浪花 大津屋嘉兵衛・村上伊兵衛 寛保二年(一七四二)九月刊 外寸「八二・七×一四〇・三糎」(折疊「二七・九×一八糎」)

五六五一  
地圖一舖

## 湖水浦廻り名所寺社便覽圖蹟

西川重武校合 徒然庵荑筆  
江戸 須原屋茂兵衛・京 舛屋勘兵衛・吉野屋仁兵衛 安政三年(一八五〇)二月刊 堅田浮御堂満月寺藏板 外寸「八八・五×一四一・五糎」(折疊「二五・五×一七・八糎」) (書外題「近江國湖水浦廻り名所寺社便覽圖蹟」)

五六五二  
地圖一舖

## 難波國之圖

〔江戸末〕寫 外寸「一〇一・二×一一七・二糎」(折疊「二五・三×一四・六糎」) 印記「小崎千虎圖書之記」(書外題「浪花古圖 鞆屋藏」)

五六五三  
地圖一舖

## 播磨國細見圖

山下重政作 谷村政行等同校  
攝城 村上伊兵衛 寛延二年(一七四九)十月刊 外寸「一一一・二×一三三・四糎」(折疊「二七・八×一八・三糎」)

五六五四  
地圖一舖

(増脩改正)攝州大阪地圖

岡田玉山元圖 吉田政章再寫 藤村直之訂正

浪速 赤松九兵衛 天保十五年(一八四四)八月再刊 外寸「一八三×一四五・六糎」(折疊「二八・五×一八・五糎」)

(新改正)攝津國名所舊跡細見大繪圖

蒨關牛校并畫圖

大阪 河内屋儀助・河内屋喜兵衛 天保七年(一八三六)三月刊 外寸「一一八・二×一三二・二糎」(折疊「二八・八×

一九・五糎」)

賀茂川沿岸圖

〔江戸末〕寫 外寸「二・七糎」 (書名は書外題による。彩色繪圖)

〔算木と筮竹一揃〕

算木六本、筮竹五十一本

新撰陰陽八卦并抄二卷

貞享三年(一六八六)跋刊 外寸「一九・二×一三・三糎」 〔荒俣邑右京坊〕寶藏院〕寶曆拾二年正月吉祥日〕羽黒山

南溪(以上墨書) (書名は目次首による。單邊。無界。一〇行。白口。單花口魚尾。内匡郭「二六・八×一一・九糎」

漢字片假名。上二九丁下二七丁。與五六六六番同梱)

新編易學小筌

村田玉樹編

東京 安田恒太郎 明治十九年(一八八六)六月銅版印 廣文堂藏版 外寸「一七・八×一一・三糎」 (書名は目次首

五六五五

地圖一鋪

五六五六

地圖一鋪

五六五七

卷子本一卷

五六六六

一箱

五六六七

一册

五六六八

一册

による。單邊。無界。一〇行。三八丁。奥付に東京發兌書肆として「高橋松之助・富田彦次郎・山元音四郎」の三書  
肆名あり。與五六六番同梱)

## 廣田社譌合

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・九×二〇糎」(書名は書外題による。一三行。三四丁。本奥書「承安二年十二月十七日  
加判了如令馳筆不能沈思後見難有耽依恐神慮也」)

## 中山道往來

江戸新右衛門町 糸庄 (江戸末)刊 外寸「二七・五×二一・六糎」(題簽「改正中山道往來」單邊。無界。五行。  
白口。無魚尾。内匡郭「二四・五×九・七糎」九丁)

## 宇治郡名勝誌二卷

矢部文載編

京都 福井源次郎 明治三十一年(一八九八)十二月活版 宇治郡藏梓 外寸「三二・一×一五・一糎」(上五五丁下  
四三丁)

## 霍小玉傳

(唐)蔣防撰

文化七年(一八一〇)跋刊 竹田莊藏版 外寸「一八・五×一一・五糎」印記「新保磐次」(封面「綉匣第八讀 風竹簾  
前讀霍小玉傳」單邊。有界。八行二〇字。内匡郭「一四・三×八・九糎」頭注付。一二丁。「綉匣第十讀目次」(半丁)

## 心覺

天保八年(一八三七)八月寫 外寸「横本一三・五×一九・八糎」印記「小寺藏書」「小寺昌藏」(墨書) (書名は書外  
題による。大和綴。七行。一三丁。朱筆の書き入れあり)

五六七〇  
一册

五六七二  
一册

五六七四  
一册

五六七五  
一册(漢籍)

五六七六  
一册

### 李嶠雜詠百廿首二卷

(唐)李嶠撰

紙屋平兵衛 延寶三年(一六七五)刊 闕卷上 外寸「三・六×一四・七糎」 印記「日進堂」(書名は目次首による。  
卷尾「李嶠雜詠集」 單邊。無界。八行一三字。白口。無魚尾。内匡郭「一七・六×一・一・八糎」 二〇丁)

五六七七

一册(漢籍)

### 聲字實相義開祕鈔二卷

釋空海撰

〔江戸初期〕刊 闕卷上 外寸「二七・一×一八・二糎」 印記「素友」「眞海宥戒所持」(單邊。無界。六行一六字。注  
文小字雙行。上下半黑口。雙花口魚尾。内匡郭「二・六×一五・三糎」 五三丁)

一册

五六七八

### さころも 卷第四

〔昭和期〕寫 外寸「二六・六×一八・九糎」(書名は書外題による。九行。一七〇丁)

一册

五六七九

### 山家心中集

〔昭和期〕景照 外寸「横本二二・六×一七・九糎」(二二行。四六枚。底本「内閣文庫所藏室町期寫本」 山岸氏識語「池  
底叢書本(第四七册)山家心中集 奥左ノ如シ 右一册者八幡式部卿昭乘法師以筆蹟本令書写畢寛文戊霜月下旬」)

五六八〇  
洋裝一册

### 喀喇沁右旗扎薩克親王貢桑諾爾佈之略史一卷 夔盦詩詞集一卷

若林持一編

〔昭和期〕複寫 外寸「二四×一四・五糎」(喀喇二八頁夔盦三三頁。底本「康徳五年序活版」)

五六八一  
一册

### 越俎弄筆

中井履軒著

昭和四十七年(一九七二)四月複寫 外寸「三三・四×一六・二糎」(書名は序文首による。九行。一八丁半附録一五

五六八二  
一册



丁半。山岸氏識語「越俎弄筆中井履軒自筆著羽倉敬尙氏藏本也借覽之序複写者也稀觀書云云」

### 遊女評判記集附録吉原細見繪圖四種

東京 八木書店 昭和四十八年（一九七三）九月複製（天理圖書館善本叢書第十一卷）  
内容 「繪入大畫圖」元祿二年刊（外寸七八・九×一〇五・六糎）、「武江新吉原町圖」寶永四年刊（外寸六二・八×七八糎）、「新改吉原細見花車」享保元年刊（外寸九七・八×七一・六糎）、「新吉原細見之圖」享保八年頃刊（外寸六五・四×一二・二糎）

### 大和物語

〔昭和十一年（一九三六）一月〕寫 外寸「二六・二×一八・五糎」（書名は書外題による。一一行。九八丁。山岸氏識語「大和物語一册御巫氏藏本也」）

### 竹取物語

享和三年（一八〇三）八月内林宗由寫 外寸「二七・五×一九・二糎」（書名は書外題による。一〇行。四三丁。内林氏識語「享和の三とせといふとしの八月藤田周藏の許由求め得てうつしぬ」朱筆の書き入れあり）

### 竹取翁物語二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・一×一七・二糎」印記「聽雨艸堂」（書外題「竹とり物語抄」）八行。上四六丁下三七丁。入江昌喜による朱注・奥書あり。附「竹取物語縁起あらまし」浪華藤原儀著。朱筆「二丁」

### たけとり物語二卷

花洛 長尾平兵衛 元祿五年（一六九二）十一月刊 外寸「二六・八×一七・七糎」東郷氏藏本「明治元戊辰於東京求之東郷敬忠藏本」（朱書）（題簽「繪入竹とり物語」）單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・七×一四・四糎」上二二丁下一八丁）

五六八三  
繪圖四鋪

五六八四  
一册

五六八五  
一册

五六八六  
二册

五六八七  
二册

### 新撰萬葉集二卷

塙保己一編

〔江戸末〕刊 外寸「二五・二×一七・五糎」 印記「物集文庫」(物集高見) (群書類従卷第二百八十四和歌部百廿九。無匡郭。一〇行二〇字。上二丁下二至四九丁)

### 〔源氏物語〕 ゑあはせ・松かせ・よこふえ

〔江戸中期〕寫 外寸「二・四×一七・三糎」 (書名は書外題による。列帖裝。一〇行。繪合二〇枚松風三枚横笛一九枚。書き入れ・貼紙あり)

### 曲亭馬琴旧宅地

瀧澤靜雄(邦行)筆

〔昭和期〕寫 外寸「三八・九×二七・一糎」 (附凡例「三三・九×三三糎」)

### 水無瀬三吟百韻

〔室町期〕寫 外寸「二七・五糎」 (書名は包紙による。巻頭「賦何人連歌」 巻尾に「宗祇卅四肖伯卅三宗長卅三」とある。紙高一六・五糎幅四九糎の料紙一〇枚貼り継ぎ。燕子花圖標紙。山岸氏識語「水無瀬三吟百韻」一卷十数年前求琳琅求之 昭和十五年春岸廼舎)

### 金澤本萬葉集 卷第二第四

東京 佐佐木信綱 大正十三年(一九二四)五月複製 外寸「二・四×一三・一糎」 (粘葉裝。七行。第二卷五八枚 第四卷二〇枚。別冊「金澤本萬葉集解説」佐佐木信綱識。八頁「金澤本萬葉集斷簡」九枚)

五六八八

一册

五六八九

三册

五六九〇

圖面一枚・凡例一枚

五六九一

卷子本一卷(貴重書庫室)

五六九二

一册・別冊解説一册

## 山岸文庫の調査を振り返って

実践女子学園は、令和元年五月に創立百二十周年を迎えました。この節目の年に向けて、安達と司書の大塚宏昌は、この四、五年、「山岸徳平文庫目録」三部作を完成させるために、原稿整理や校正に慌ただしい日々を過ごしてきました。そして、令和元年も涼風が立つ頃、漸く三作目の校正が終了し、今年度内に刊行されることがほぼ確実になりました。振り返って、今日までの目録化の簡単な経緯と二、三の感慨を述べてみます。

山岸徳平先生は、明治二十六年十一月二十五日、新潟県西蒲原郡（現・新潟市西蒲区）曾根村に、教員であった山岸友之助氏の長男として生まれ、教育の途に進まれました。東京文理科大学教授兼東京高等師範学校教授並びに学習院講師を経て本学教授となり、学長を二度も務められました。学生生活の傍ら、金栗四三の愛弟子として陸上競技界の発展に寄与し、百回以上に及ぶ富士登山も成し遂げています。

山岸先生の和歌、物語、説話及び日本漢詩文といった広範囲な研究分野を裏付ける旧蔵書は、昭和五十二年に一括して実践女子大学図書館の所蔵するところとなりました。

先生の優れた眼識による蒐書や父君から受け継がれた蔵書が散逸することなく本学「山岸文庫」として確立されるには、当時の三谷栄一図書館長の尽力と学園の理解もさることながら、東京教育大学をはじめとする関係者のお力添えが不可欠であったと聞き及んでおります。

私も本学図書館に奉職して間もない昭和五十年代初頭に、先生のマンションにお伺いして蔵書を箱詰めし、渋谷の大学キャンパスに運んだことを覚えています。その折に、先生は駆け出しの司書に対し、一つひとつの書物についての思い出をお話しくださいました。先生は、昭和六十二年五月二十二日に九十三歳で他界されましたが、当時は仮目録しかできておらず、生前に蔵書目録をご覧に入れる

ことは叶いませんでした。

山岸徳平文庫の目録化は、先ず、翠川文子氏の仕分けによって漢籍とされた書物群から開始されました。本学教授影山輝國氏、非常勤講師石川洋子氏及び短期大学非常勤講師（いずれも当時）の高橋良政氏が中心となり、ほかの研究者の参加もお願いして、平成元年から、詳細な書誌情報を所定の調査用紙に記入して目録の基となる原稿を作成する作業が行われました。その後、高橋氏により原稿の確認修正がなされ、漢籍目録は平成二年から五年まで四回に亘って「実践女子大学文芸資料研究所年報」に掲載されました。後にこの漢籍目録のデータは、京都大学が中心となって推進する「全国漢籍データベース―日本所蔵中文古籍データベース」に搭載されました。

次に、仏書や内外の研究者から刊行を望まれていた日本漢詩文の書物群の目録化にとりかかり、他機関の現役司書であった太田澄子（中央大学）、西田元子（国立国会図書館）、石井昭子（元東京家政学院大学）、田中都（社会福祉法人埼玉福祉会）、岩井直子（湯島聖堂斯文会）諸氏や本学図書館の司書たちが、寸暇を惜しんで調査用紙の記入を行いました。そして、原稿の作成は高橋氏が一手に引き受けられ、大関啓子図書館長（当時）の序文をいただいて「日本漢詩文・儒学」の部が平成二十九年三月に、「仏書・儒学補遺」の部が平成三十年三月に相次いで本学図書館から公刊されました。

しかし、何といっても山岸先生の蒐書の中核をなす八代集や紫式部集をはじめとする歌書、源氏物語をはじめとする物語や随筆関係書を含む貴重な国書三千八百点の目録化は、時間との闘いとなりました。先生の学殖や興味の及ぶ範囲は極めて多岐に亘っていますが、この度の目録化に当たっても、太田氏が中心になって調査用紙記入を担当し、膨大な書物群に挑んでいただきました。平成三十一年度末の目録刊行を目論んでいたため、そこから逆算して、電子媒体の原稿作成、書誌確認作業及びゲラ校正などに必要な時間を勘案すると、平成二十七年前半までに調査用紙記入が完成していかないと達成は厳しいということになりました。太田氏たちには、最後の一年は週に一度の割合で図書館にお出でいただくなど、ご無理をお願いいたしました。基礎作業や入稿に当たったの事前作業を含め、この膨大な書物群との格闘は数年に及びました。この間、このプロジェクトの中心にいた大塚は、作業の遅れ、特に入稿後に短期間で校正を終了できるか心配していましたが、漸く三度の校正も終了して目標達成が見えてきましたので、その心配も杞憂に終わるようです。

また、昭和五十四年に本学文学部に附置された文芸資料研究所においては、内外の研究者が山岸文庫の稀覯本を研究して、その成果を逐次、年報等で世に問うてきました。長年に亘る文芸資料研究所の研究成果も、この目録に反映されています。

最後になりましたが、入稿から一年足らずの納品期日を厳守していただき、煩雑な校正にも円滑に作業を進め、剩え時間の許す限り校正ミスの訂正にも対応していただいた株式会社柏崎インサツの皆様には、この場を借りて篤く御礼申し上げます。

目録の第三作目に当たる「国書」の部を学園創立百二十周年の年に上梓して、念願であった山岸文庫の全貌を明らかにできる運びとなり、感慨も一入のものがあります。完成した校正刷りを前に、司書の時代から山岸文庫の世界と細々とつながってきた私の人生を振り返り、実にたくさんの方々に教えを頂戴した学恩に深く感謝申し上げます次第です。

令和二年三月

学校法人実践女子学園 常勤監事 安達 勉



## 刊行を終えて

山岸徳平先生の約七千点に及ぶ膨大な蔵書は、昭和五十二年に本学図書館所蔵となり、山岸徳平文庫を形成しています。

山岸徳平文庫の目録は、平成二年から五年に「漢籍目録」を編刊した後、「日本漢詩文・儒学」の部を平成二十九年三月に、「仏書・儒学補遺」の部を平成三十年三月に刊行いたしました。今回、「国書」の部を二分冊で刊行する運びとなり、これにより漸く、山岸徳平文庫の全体像が明らかになりました。

「国書」の部に収録された貴重書の筆頭に、昭和四十五年に重要文化財に指定された『拾遺和歌集 寂恵本』が挙げられます。寂恵は、藤原為家、藤原為氏に師事した鎌倉期の歌人です。『拾遺和歌集 寂恵本』の原装複製版の山岸先生の解説によれば、片桐洋一先生の詳細な研究をもとに、現存する『拾遺和歌集』には、天福元年（一一三三）に藤原定家が書写した「天福本拾遺集」を祖本とする伝本系統（冷泉家流天福本系統、二條家流天福本系統）と、本文が若干異なる異本系統があり、『拾遺和歌集 寂恵本』はこの異本系統の北野本『拾遺和歌集』に近いものとされています。北野本は、昭和十年に重要美術品に指定されており、藤原定家の天福本系統と部分的に一致する箇所はあるものの、全般的には定家本と異なる本文を有しており、そのため、上巻（巻一至十）のみながら、『拾遺和歌集 寂恵本』は、鎌倉期の写本として重要な価値を有する一本です。

『源氏物語 河内本』は、内管に金泥で「為相卿筆 源氏物語 早蕨 宿木」と記され、その極札には「冷泉殿元祖為相」とあります。藤原定家の孫為相を祖とした冷泉家の証本相伝の青表紙本系統の源氏物語ではなく、源親行の証本相伝の河内本系統の源氏物語の写本の一本です。また『源氏物語 明融本』は、四十四冊中二十五冊の極札に「上冷泉殿為和卿御息明融」とあることから、「明融本」と呼ばれています。この「明融本」は、「胡蝶」の巻を除く九帖が池田亀鑑先生旧蔵本として、東海大学桃園文庫に所蔵されています。『源氏物語 耕雲本』は、南朝の歌人花山院長親（号耕雲）が各巻末に和歌一首を詠じて足利義持に献じたもので、

本学所蔵本は、江戸初期の写本といわれています。

『雫に濁る物語』は、当初『古物語断簡』として購入した資料を山岸先生が調査紹介し、小木喬先生の指摘を受けて『風葉和歌集』にいう「雫に濁る物語」に当たるものとして発見された写本で、現存する唯一の伝本といわれていましたが、最近もう一本が発見されました。また室町期写本の連歌集『水無瀬三吟百韻』、上田秋成自筆『不留佐登』など枚挙に遑がありません。

これらの貴重書群の詳細な調査は、本学芸芸資料研究所の紀要「年報」に逐次報告されています。このほか、当文庫本の特徴の一つは、山岸先生の識語にあります。巻末には、どこの書店でいつ購入したかが墨筆で記され、中には地方出張や会議等の帰途贖ったことまで記述されています。

また主に昭和初期から戦中戦後にかけて、ご家族や教え子の方々の協力も得て、各文庫や機関に所蔵されている古典籍を借り受け、薄様和紙に直接転写する「昭和新写」本も特徴に挙げられます。その所蔵者や所蔵機関、その本の傳本系統、書写を仲介した人、書写を依頼した人などに加え、その日の天候や感想なども日誌のように記述されており、山岸先生の几帳面な人柄が偲ばれます。国書の中で目録した二、三の例を紹介いたします。

異本方丈記識語「右一卷異本方丈記 東大文科大学國語研究室旧蔵本也 大正大震災之日東大齋舎盡燬于烏有而典籍擧為灰燼矣 明治四十四年十月下浣 長氏書写斯卷僅止原型者也 余借覽斯卷于松浦氏得閑一讀遂令家中少女影写者也 昭和四年夷則九、霖雨霽 後夜」(資料番号三四九五)

寛平御時后宮哥合識語「寛平御時后宮哥合一軸 以圖書寮本書写者也 原本定家流文字聊有之 内容亦可也 昭和八年五月廿日東京高師学生為余割半日之閑所書写矣感懷何堪乎」(資料番号三六二四)

秋風和歌集識語「秋風和歌集下巻 余得少閑夜閑僅書写雖然遲々不撓(略) 前途遙遠其間旅行関西又奉仕勤勞萬閱時日至十一月而未終乃依囑学生諸氏十一月下浣廿八廿九兩日之間逐書写殘葉之功了焉(学生の氏名、助手、副手の実名を記し、) 及余若十葉也書中筆跡即八手也(略) 昭和十六年十二月七日黄昏記之」(資料番号三六〇二)

狭衣四巻本の第二巻末識語「狭衣物語巻二 内閣文庫蔵本也囑教育大学々生諸子書写者也 昭和二十七年三月中浣」(資料番号三三二一)

増鏡(刊本) 識語「増鏡 流布本也 十九巻本ノ中第十五十六両巻ヲ繰返シテ古本ノ如ク十七巻に擬ス」(資料番号三四四九)



湖月抄 闕卷一至十一（京都村上勘左衛門等刊本）の「發端」の見返しには青蓮院本、三條西公条本と校合した旨が記され、また山岸先生の教え子であり、現在高名な国文学者の六名の方々が分担された校合（須磨の巻から総角の巻 昭和三十二年七月至三十六年七月）の識語が各巻に記されています。（資料番号三三〇五）

このような識語を読みながらの調査、目録編輯の時間は、調査を共にした私たちにとって有意義な時間であり、その機会を与えられたことは感謝に堪えません。

また、この文庫の仮目録を作成していただいた翠川文子、中島千丘の両先生にもこの場を借りて、お礼を申し上げます。

この度の国書の悉皆調査にも、漢籍研究会有志の方々に参加していただきました。研究会は一昨年その使命を終えましたが、関係各位の協力なしには、この目録を完成することができなかつたであろうと、篤く御礼申し上げる次第です。

書誌調査の協力者は、次の方々です。

・高橋良政（元日本大学法学部教授）、太田澄子（元中央大学図書館）、西田元子（元国立国会図書館）、石井昭子（元東京家政学院大学図書館）、田中都（社会福祉法人埼玉福祉会）、岩井直子（公益財団法人斯文会）、大村沙良（第一書房）

（以上 敬称略）

目録編輯

・実践女子学園 安達 勉、実践女子大学図書館 大塚宏昌

刊行にあたり、ご協力いただいた皆様にあらためて深く感謝申し上げます。

令和二年三月

（実践女子大学図書館 大塚宏昌記）





和歌問答……………	31	倭人傳……………	307
和哥八重垣……………	46	萱草……………	717
和歌詠方詞心傳集……………	36	倭名類聚鈔……………	149
和歌六義抄……………	717		
和漢音釋書言字考節用集……………	654		
和漢群玉故事……………	415		
和漢軍書要覽……………	386		
和漢軍談紀略考大成……………	385		
和漢研譜……………	175		
和漢孝子蒙求……………	582		
和漢故事談……………	415		
和漢故事文選……………	116		
蘇漢雜笈或問……………	407		
和漢三才事始問答……………	416		
倭漢詩歌合……………	493		
和漢拾葉……………	671		
和翰集要……………	681		
和漢草……………	190		
和漢草字辨……………	174		
和漢對照景德鎮陶錄……………	589		
和漢茶誌……………	590		
和漢帝王年表……………	303		
和漢年契……………	304		
和漢文操……………	104		
和漢分類諸家名數……………	389		
和漢名所詩詞合……………	58		
和漢名數……………	134		
和漢名物茶入肩衝……………	177		
和漢蒙求……………	581		
和漢兩泉睡覺風雅酒茶問答……………	598		
和漢連珠朗詠……………	671		
和漢朗詠集……………	615		
倭漢朗詠集……………	615		
倭漢朗詠抄……………	604		
倭玉篇……………	149		
或問珠……………	115		
老葉……………	550		
和訓押韻……………	150		
和訓考……………	150		
倭語連聲集……………	164		
和字解……………	130,131		
和字正濫鈔……………	140		
和字正濫要畧……………	132		
和紙談叢……………	589		
和字濫觴編……………	390		





野跡……………	603	ゆきみそれ……………	219
野跡秋萩帖……………	604	行宗集……………	513
夜窓鬼談……………	646	夢合延壽袋大成……………	736
耶蘓始末記……………	678	夢占吉凶祕傳書……………	737
八衢補遺……………	157	夢の浮橋……………	450
柳川畫譜……………	697	夢通路物語……………	438
やまかつら……………	670	ゆめ物かたり……………	125
山口流相法……………	596	百合大臣無縁退治……………	265
山下水……………	427	百合稚錦嶋……………	265
山路の露……………	239,438	ゆるし色の事……………	36
山路之露……………	423		
山田集……………	511	よ	
大和歌詞……………	31	謠曲……………	232
大和言の葉……………	9	謠曲叢書……………	231
大和詞祕注……………	31	用字喘……………	397
大和詩操……………	676	擁書漫筆……………	405
養徳錦顯文鈔……………	338	備字例……………	134
大和名所圖會……………	379	幼稚園唱歌集……………	694
やまと物語……………	250,251	幼童教訓蒙求……………	584
大和物語……………	250,251,420,755	謠府録……………	570
大倭物語……………	420	陽明文庫圖録……………	634,699
大和物語詳解……………	655	養老……………	610
大和物語別勘……………	420	横濱繁昌記……………	376
山中常盤……………	625	吉岡三女敵討……………	229
山梨縣地誌略……………	377	義經勳功圖會……………	126,254
山邊赤人集……………	496	義經物語……………	253
闇路堤挑燈……………	577	吉野御事書案……………	317
闇夜磔……………	32	芳野拾遺物語……………	660
夜話問問集……………	286	義正詠草……………	196
		義正記……………	196
ゆ		吉水全集……………	650
唯一神道名法要集……………	291	吉原細見繪圖……………	755
唯心房集……………	514	世繼物語……………	249
維摩講師研學豎義次第……………	364	淀川兩岸一覽……………	378
猶賢社文鈔……………	474	淀のわたり……………	214
幽齋道の記……………	709	淀屋辰五郎之傳……………	123
融通念佛縁起繪……………	618	米川十組香私記……………	738
有職袖中鈔……………	362	世の中善悪鑑……………	448
有職問答……………	358	世中百首繪鈔……………	64
遊名山記……………	381	よみかへりのさう紙……………	445
有餘樂堂詩法摘要……………	728	四方歌垣宗匠遺稿……………	204
遊里提燈……………	384	四方の薰り……………	592
ゆきかひふり……………	173	世々のみけし……………	629
幸隆類題和歌集……………	202	頼輔集……………	514





松蔭日記……………	105	みくるまのあと……………	679
松蔭の日記……………	105	水鑑……………	248
まつかせ……………	610	水鏡……………	250,659
松崎天神鎮座考……………	301	水鏡抄……………	248
松寫日記……………	107	水錦隅田曙……………	120
松島日記……………	469	道綱母集……………	503
松平外記刃傷之始末申渡之覺……………	707	道成集斷簡……………	505
松戸詠草……………	194	道済和歌之集……………	505
松の落葉……………	404	道の記……………	107
松のしをり……………	216	陸奥名碑略……………	744
松屋外集……………	412	道の枝折……………	536
松浦宮物語……………	433	道信朝臣集……………	504
眞名伊勢物語……………	244	光顕卿八十賀詩歌外……………	26
間合早學問……………	410	躬恒集……………	499,713
繼子草子……………	666	御堂關白記……………	343
萬延改正新鐫京橋南築地鐵炮洲繪圖……………	703	御堂關白集……………	501
漫吟集……………	193	水戸見聞實記……………	323
満仲……………	569	みなし栗……………	220
萬女詠草……………	196	水無瀬三吟註……………	548
萬代和歌集……………	23	水無瀬三吟百韻……………	756
萬葉集……………	9,476,477,478	水無瀬殿御法樂……………	27
萬葉集佳調……………	547	源重之集……………	505
萬葉集考……………	8	源藏人物語……………	440
萬葉拾穂抄……………	7	源道成集……………	510
萬葉集中柿本朝臣人麻呂歌……………	496	美濃乃家都登折添……………	19,20
萬葉集注拔書……………	712	宮河歌合……………	670
萬葉集長哥載短歌字之由事……………	40	都洲集……………	216,673
萬葉集別記……………	8	都のつと……………	191
萬葉集旁註……………	711	都名所圖會……………	379
萬葉集美夫君志……………	478	明惠上人歌集……………	518
萬葉集略解……………	7	妙音經……………	397
萬葉旋頭歌拔書……………	7	妙法院宮御園十二景……………	716
萬葉手鑑……………	478,612	名目鈔……………	133,362
萬葉二聖集……………	8	民間年中故事要言……………	368
萬葉百人一首……………	531	民間備荒錄……………	588
萬葉用字格……………	7	岷江入楚……………	178
萬葉和歌集校異……………	8	明代版本圖錄……………	698

み

御形宣旨集……………	511
御垣の小草……………	203
皇國辭解……………	401
皇國之言靈……………	141
御國八言口傳抄……………	52

む

夢庵戲歌集……………	206
むかしの狂句……………	559
麥の舎集……………	191
むくら……………	434
武藏鑑……………	321

法然傳繪詞畧	618	本朝黃白志	737
寶物集	279,452	本朝語園	414
寶物集拔書	452	本朝國語	103
簞篋口傳初心鈔	593	本朝國史目錄	699
簞篋抄	593	本朝三國志	320
簞篋内傳諺解大全	593	本朝人鑑	707
北越奇談	377	本朝神社考	298
北山抄	360	本朝世紀	313
北山抄紙背假名消息	680	本朝戰國策	320
北州考	566	本朝俗諺志	284
墨色傳	175	本朝俗說辨	408
墨水遊覽誌	373	本朝續文粹	286
北雪美談時代鏡	122,123	本朝遼史	330
北窓瑣談	110	本朝人相考	596
卜傳先生百首	716	本朝年代人物掌覽	329
北里十二時	663	本朝能書傳	614
慕景集	74,110	本朝百人一詩	724
法華經音義	134	本朝文鑑錄	725
暮春白河尚齒會和歌并序	200	本朝法家文書目錄	699
鋪疊起原之事	112	本朝蒙求	580
細川幽齋公聞書	542	本朝俚諺	392
細川幽齋道の記	109		
細川幽齋和哥祕事無名集	33	ま	
發句三代集	217	毎月抄	34,37
發句大槩	216	賣茶翁偈語	172
法華廿八品倭歌	536	毎年曆考見	586
發心集	280,452	前句選	558
法曹至要鈔	355	枕詞考	655
法曹類林	355	枕詞増補詞艸小苑	745
慕風愚吟集	523	枕慈童	569
慕風抄	529	枕草紙	92,461
堀江物語	444	枕草子	461,462,622
堀河院艶書合	34,710	枕草子春曙抄	92,93,462
堀川院百首和哥	67	枕草紙詳解	666
堀河院類聚百首鈔	67	磨光韻鏡	146
堀川右大臣頼宗公集	509	正盛公を悼ミ奉る詞	265
堀口藍園	349	ます鏡	248
母衣	568	増かゝみ	454
本宮山石御門祝詞	112	増鏡	455
本佐錄	574	磨撰筆記	365
本所深川繪圖	705	松尾物語	263
譽田宗廟縁起圖	616	松蔭中納言	438
本朝醫考	587	松陰中納言	438
本朝虞初新誌	416	松かけ日記	105
本朝孝子傳	331		

賦何衣連歌	212	平安通志	677
賦何路連歌	555	平家打聞	708
傳大納言殿母上集	503	平家公達草子	624
夫木和歌抄	20	平家納經	627
麓草分	115	平家物語	457,458
麓のちり	35	瓶史國字解	592
冬の日注解	215	平治物語	256,457,621
芙蓉記	376	平治物語繪詞	621
武用辨略	600	平治物語講義	660
不埒物語	447	丙辰紀行	710
振袖天神記	571	平仲物語	420,421
ふりわけ髪	33	幣箒集	722
ふりわけかみ	49	僻案愚點四十二首	68
布留鏡	612	僻案集	719
不留佐登	668	碧玉集	524
文安詩歌合	83	へらざ口	220
文意考	168	偏格詠例	36
分韻故事	401	辯慶茂廼雅多理	266
文會雜記	645	辨紫錄	735
文海知津	730	辨太宰氏和讀要領	395
文鑑千草の錦	668	辨玉霞二論	139
文机談	567	辨玉霞論	394
文久再鐫八丁堀靈岸嶋日本橋南之繪圖	704	辨内侍日記	101
文久雜話	407		
文教溫故	412	ほ	
文藝類纂	638	芳雲和歌集類題	526
豊後風土記	372	保延元年放生會記	364
文章歐冶	167	法音抄	229
文章撰格	168	方角吉凶九宮飛白法	586
文正草子	444	放下僧	569
ぶんしやう物語	444	ほう官物語	459
文政六年松平外記餘聞	323	方鏡	594
文筆要括集成	726	包結記	365
文武徒然艸	405	保建大記	325
文明一統記	711	保元物語	255,456,457
文明易然集	75	鳳岡存稿	723
文明詩歌合	75	寶治百首	65
文明餘誌田舎繁昌記	384	方丈記	463,464
文明論之概略	169	方丈記捷解	465
文祿四年霜月十二日懷舊之連歌	272	法帖之見方	173
		鳳笙譜	170
へ		訪書餘錄	634
平安紀行	110	鳳堂雜話集	664
平安人物誌	338	法然上人之語	463





範永朝臣集……………	508	梅所詩稿……………	723
法のえ……………	534	廢頽大津繪節……………	566
範宗集……………	518	誹風柳多留……………	227
は			
馬醫繪卷……………	626	俳文集……………	221
梅園奇賞……………	630	賣卜先生安樂傳授……………	113
梅園日記……………	413	賣卜先生糠俵……………	113
梅翁宗因發句集……………	216	俳林小傳……………	562
俳諧一葉集……………	217	端唄評釋……………	566
俳諧今者昔……………	225	馬鹿文集……………	563
俳諧兔の目……………	555	芳賀矢一先生……………	679
俳諧埋木……………	218	破吉利支丹……………	115
俳諧神樂笛……………	223	白詩卷……………	605
俳諧冠喰ちから瘤……………	557	白石先生遺文……………	640
俳諧歌論……………	33	幕朝年中行事歌合……………	715
俳諧古今抄……………	223	莫傳抄……………	32
誹諧御傘……………	227	幕末外國關係文書……………	706
俳諧古選……………	675	麥林集……………	218
誹諧根源集……………	225	函館游寓名士傳……………	350
俳諧寂菜……………	223	藐姑射祕言……………	663
俳諧寂菜員外……………	223	羽衣……………	569
俳諧新式廿五箇條知覺抄……………	224	はしかきふり……………	46
俳諧新選……………	675	はしへんけい……………	445
誹諧炭俵集……………	215	芭蕉翁口授……………	560
誹諧田植笠……………	557	芭蕉翁附合集……………	215
俳諧田莊のきり……………	218	芭蕉七部集……………	214
俳諧種卸増補三國人名牒……………	337	芭蕉文集……………	222
誹諧通俗志……………	226	長谷雄草子……………	621
俳諧七柏集……………	217	櫨紅葉……………	202
俳諧百首……………	223	破草鞋……………	723
俳諧深川集……………	219	鉢かつき……………	263
俳諧二見貝……………	226	鉢かつき物語……………	266
俳諧前句大全……………	558	八代集……………	24
誹諧名目抄……………	226	八代秀歌……………	34
俳諧よりする狐狸表現の史的觀察資料……………	677	八代集秀逸……………	35,487,522
俳諧和哥の浦……………	558	八代集てにをは……………	57
俳家奇人談……………	562	八部祓講釋……………	298
梅月遺影……………	474	八幡宮大菩薩御緣起……………	266
俳釋錄……………	731	八幡の御本地……………	268
賣春婦異名集……………	646	八鄰通聘攷……………	344
梅松明鑑……………	469	發音捷徑……………	142
梅松論……………	255	葉月物語……………	442
配所殘筆……………	61	伯家部類……………	649
		發字便蒙解……………	395
		八洲文藻……………	473
		八疇聲鈔……………	165

日本繪卷全集……………	616	日本名家史論鈔……………	326
日本繪畫小史……………	739	日本名畫譜……………	697
日本外史……………	305	日本名筆全史……………	611
日本外史古戰場概圖……………	679	日本蒙求續編……………	583
日本外史獨學……………	305	日本略史……………	306
日本外史年表……………	305	日本靈異記……………	278
日本樂道叢書……………	566	入撰集不入家集哥……………	506
日本鹿子……………	690	入道右大臣集……………	508
日本感靈錄……………	450	入道大納言資賢集……………	509
日本紀竟宴和歌……………	82,83	女房文翰式……………	366
日本紀私記……………	310	如願法師集……………	518,519
日本擬人名辭書……………	653	庭の訓抄……………	577
日本紀文字錯亂備考……………	311	任大臣大饗記等少々……………	363
日本紀倭歌畧註……………	82	仁和御集……………	496
日本金石年表……………	351	仁和寺御室御物實錄……………	633
日本虞初新志……………	350		
日本後紀……………	312	ぬ	
日本工業史對照圖……………	630	主ある詞……………	522
日本國見在書日錄……………	698		
日本國現報善惡靈異記……………	278,450	ね	
日本古今人物史……………	329	寢覺……………	432
日本古代文字考……………	390	根白草……………	220
日本釋名……………	391	鼠祠通夜譚……………	122
日本肖像畫圖錄……………	628	祢津松嶋軒記……………	600
日本書紀……………	307,308,309	年中行事……………	708
日本書紀私記……………	310	年中行事五十番和歌……………	89
日本書紀私見聞……………	310,311	年中御會和歌集……………	198
日本書紀神代……………	309	年中行事繪卷考……………	626
日本書紀神代講述鈔……………	289	念佛草紙……………	446
日本書紀神代卷……………	309		
日本書紀神代卷風葉集……………	346	の	
日本書紀撰者辨……………	311	能因哥枕……………	47
日本書紀通證……………	311	能因集……………	509
日本神國往來……………	692	能惠法師繪詞……………	620
日本神字考……………	390	能花傳書……………	571
日本政記……………	305	乃木將軍餘香……………	606
日本政記考證……………	306	埜槌……………	90
日本政記便蒙……………	306	信實朝臣家集……………	72
日本智囊……………	416	惟規集……………	508
日本橋北内神田兩國濱町明細繪圖……………	703	野宮……………	569
日本美術品ノ説……………	631	野守鏡……………	40
日本風土記……………	372	祝詞考……………	294
日本文典……………	394		
日本文典考證……………	400		
日本名家詳傳……………	350		

な

内大臣家哥合…………… 494  
 内大臣殿哥合…………… 494  
 直幹申文繪卷…………… 619  
 なほよしかたひの日記写…………… 103  
 長景集…………… 520  
 長崎古今學藝書畫博覽…………… 633  
 中島廣足集拾遺…………… 197  
 中山道往來…………… 753  
 中空の日記…………… 108  
 中務集…………… 521  
 中務親王三百首和歌…………… 67  
 中務内侍日記…………… 101  
 中臣祓考索…………… 297  
 中臣祓抄…………… 296  
 中臣祓松風鈔…………… 297  
 中臣祓抄本…………… 297  
 中臣祓囊櫛…………… 297  
 中臣祓要信解…………… 298  
 中臣宮處氏本系帳考證…………… 342  
 中院御百首…………… 63  
 中院前内府通茂公口傳…………… 57,62  
 中院内府通茂公口傳…………… 38  
 仲文集…………… 502  
 中御門大納言殿集…………… 520  
 中山觀音夢物語…………… 286  
 なくさ見草…………… 92  
 なくさめ草…………… 35  
 那智籠…………… 675  
 夏蔭帖…………… 609  
 浪花の梅…………… 566  
 難波國之圖…………… 751  
 奈萬之奈…………… 134  
 南無阿彌陀佛作善集…………… 681  
 雙樹落葉…………… 405  
 奈良花林院哥合…………… 492  
 奈良御集…………… 496  
 奈良之落葉…………… 478  
 檜の孺手…………… 399  
 檜葉和歌集…………… 488,489  
 檜葉和詞集…………… 488  
 成茂宿祢集…………… 522  
 濟繼集…………… 72

業平集…………… 713  
 鳴門中將物語…………… 261  
 鳴門中將物語考證…………… 437  
 南京遺文…………… 352  
 南京遺文附卷…………… 352  
 難後拾遺…………… 717  
 南山踏雲錄…………… 348  
 南狩錄…………… 315  
 男色狐敵討…………… 269  
 難太平記…………… 458  
 南北太平記抄…………… 254  
 南畝帖…………… 222  
 南嶺遺稿…………… 408

に

新潟富史…………… 377  
 新學異見…………… 51  
 新學異見辨…………… 51  
 鳩のうき巢…………… 529  
 錦木…………… 539  
 二四代集…………… 23,24  
 西丸御書院番松平外記刃傷之始末…………… 323  
 西山拙齋先生文集…………… 722  
 二十一代集才子傳…………… 346  
 廿一代撰集紀…………… 24  
 二十一代和哥集後談…………… 24  
 廿三問答…………… 270  
 二條家中興御誹諧之式…………… 219  
 二條家和歌故實…………… 541  
 二條家和歌傳書…………… 32  
 にせものかたり…………… 272  
 二川隨筆…………… 114  
 二中歴…………… 388  
 日用鄙事…………… 410  
 日用曆談…………… 585  
 日記哥…………… 506  
 日光山道志留邊…………… 373  
 日光大觀…………… 689  
 日中行事略解…………… 367  
 二人比丘尼…………… 127  
 二八明題和歌集…………… 196  
 二百拾番謠目錄…………… 570  
 日本逸史…………… 312  
 日本逸史考異…………… 312



東見記	402	藤葉和歌集	74,75
桃岡雜記	649	東籬紀行	105
東江先生書話	614	唐律御調	700
東行話説	106	當流會席作法	41
東西蒙求	584	當流雲のかけ橋	127
東山道八ヶ國	745	當流妙手雙陸錦囊抄	744
藤三位集	508	藤六集	491,501
童子教證註	578	答問雜稿	544
童子通	144	渡海記	706
道成寺縁起	618	時秋物語	264
頭書聚分韻略	148	時明朝臣集	505
頭書増補訓蒙圖彙	388	時明集	505
頭書増補聚分韻畧	147	ときまさ	123
頭書長曆	586	常磐津集	230
當時流行新撰ちへ袋	557	獨吟	570
當世模様本	629	讀三十首和詞	68
陶説	589	讀書餘滴	735
唐船	569	讀百首和歌	68
投扇興圖式	175	杜家立成雜書要略	602
投扇例	175	土佐日記	96,97,101,102,466
東大寺獻物帳	680	土佐につ記	96
東大寺要録	351	土佐日記抄	97
東台戰記	324	土佐日記創見	97,667
頭註後水尾院御集	673	土佐日記舟の直路	95
道中膝栗毛	117	杜氏徴古畫傳	631
唐狄梁公碑	741	としなみ艸	79
東都青山繪圖	701	敏行集	713
東都淺草繪圖	702	鳥取縣郷土誌	380
東都麻布之繪圖	701	渡天海上記	381
道統小傳	345	主殿集	503
東都小石川繪圖	703	友鏡底廻影	394
東都八大家戲文	665	外山の春	738
多武峰少將物語	261	土右記	344
たむの岑の少將	431	豊明繪草子	624
多武峰破裂記	300	とよのとし	606
道風繼色紙	603	虎屋製菓子録	598
同文通考	129	とりかへはや	260
東方朔傳置文	693	登里加閉伐也物語	260
東北院歌合	495	とりかへはや物語	433
道命法師集	508	砦艸	693
唐明詩學聯錦大全	726	とりのうた合	85
唐明詩軌	725	鳥物かたり	708
童蒙入學門	648	とはすかたり	468
童蒙道のおしへ	575	貪着物語	125
東臈子	403		



茶道早合點……………	590	珍書大觀吉利支丹叢書……………	643
茶の式……………	739	珍々文粹……………	665
中阿鉛經……………	742		
註解十八史略抄……………	684	つ	
中外抄……………	362	通語……………	325
畫錦行……………	723	通略延約辨……………	132
中古歌仙……………	491	月かけ……………	443
中古甲冑製作辨……………	602	月影帖……………	608
註釋東關紀行……………	667	月なみふみ合……………	159
註釋山上億良歌集……………	672	月臺……………	609
中將姫行狀記……………	273	槻乃落葉……………	476
忠臣藏人物評論……………	347	月詣倭歌集……………	201
忠臣再講釋……………	121	月詣和歌集補説……………	201
中尊寺經繪……………	627	筑紫紀行……………	107
中朝事實……………	325	筑紫大宰府神社舊天滿宮御略傳……………	301
中殿和歌會……………	685	蘿鬘……………	151
暢園詠物詩……………	721	土御門院御百首……………	72
長歌規則……………	545	土御門院御製百首……………	65
長歌軌範……………	546	土御門院百首御製……………	68
長歌軌範に就て管見……………	546	土御門殿東紀行……………	106
調鶴集……………	185	土御門内大臣日記……………	661
長歌詞珠衣……………	545	堤中納言……………	432,747,749
長歌撰格……………	545	堤中納言集……………	672
長慶天皇山中陵私考……………	340	堤中納言物語……………	746,747,748,749
長慶天皇ヲ皇代ニ列セラルル件ニ關シ樞密院ニ御 諮詢ノ議案及理由書……………	347	堤ものかたり……………	749
徵古圖錄……………	174	經衡集……………	510
長穠詠藻……………	60	經平大貳家歌合……………	494
長嘯物語……………	187	經正朝臣集……………	517
朝鮮信使登城御禮之次第……………	345	角筈之記……………	103
超大極祕古今内傳授切紙口訣條々……………	42	燕澤古文碑考……………	743
長短抄……………	553,554	津藩齋藤拙堂和歌集……………	528
朝敵辨……………	544	つぼすみれ……………	184
調度歌合……………	671	津守國基集……………	700
調法記……………	597	津守和歌集……………	488
長明記……………	470	露殿物語……………	625
朝野群載……………	361	つらつらふみ……………	574
朝陽閣集古……………	608	つらゆき……………	499
長樂寺文書……………	681	貫之集類題……………	69
勅撰集外歌仙……………	22,64	鶴芝集……………	219
勅點百首詠草……………	548	鶴のはやし……………	50
勅板集影……………	635	徒然要草……………	91
一寸一筆……………	736	つれづれ草……………	89,90
散艸……………	175	徒然草……………	89
知連抄……………	552	つれつれ種……………	465

瀧のしら玉	523	爲兼卿於佐渡詠詞	66
竹取翁物語解	233	爲兼卿和哥抄	487,540
竹取翁物語	755	爲兼卿和歌抄	540
たけとり物語	233,418,755	爲兼集	71
竹取もの語	233	爲信集	501
竹取物語	232,663,755	爲世卿和歌庭訓	540
竹取物語いささめ言	418	譚海	336
竹取物語考	655	丹鶴圖譜	687
竹取物語抄	233	丹鶴叢書	639
多氣部綾足家集拔萃	188	短歌行	215
大宰府天滿宮故實	301	短歌撰格	62
太上惠民甲庚祕籙	650	單騎要略被甲辨	365
田多民治集	513	談笑花間錄	560
忠峯集	499	斷絶諸家大概	342
忠岑集	499	團扇百人一首	64
橘爲仲朝臣集	700	談鋒資銳	404
立原翠軒與神保蘭室小行書七絶十首	696		
龍田詣	175		
龍の宮物語	348		
辰巳婦言	119		
田中氏藏書目錄	634		
田上集	512		
七夕の由來	441		
谷みつ	610		
玉あられ	138,139		
玉霞乃論呂比	140		
玉霞附論	139		
玉霞窓の小篠	138		
玉あられ論辨	139		
たまきはる	468		
手枕	238		
多満寸太禮	447		
玉つくり物語	443		
玉手篋	720		
玉緒繰分	152		
玉の緒末分櫛	153		
玉の緒變格辨	155		
瓊の光	529		
靈能眞柱	293		
たまむし乃物語	440		
たまも	443		
爲家集	71		
爲家集	71		
爲景詩集	75		
爲兼卿家集補遺	71		
		ち	
		千蔭翁かな帖	173
		親房卿被贈結城狀	317
		竹園抄	50
		竹溪先生遺稿	722
		千草の花	202
		筑前庄乃浦仙女物語	273
		竹林集聞書	549
		竹林抄	549
		竹林抄之註	549
		千々廼屋集	193
		ちとせの友	609
		ちどり夜話	561
		ちまたの石ふみ	393
		地名字音轉用例	390
		茶器辨玉集	591
		茶經	172
		茶經詳說序・茶經詳說附言	172
		茶式湖月抄	172
		茶事戲談	591
		茶事祕録	590
		茶人大系譜	591
		茶人系	591
		茶人系傳	591
		茶人言行録	591
		茶席墨寶祖傳考	738
		茶祖珠光傳	591



箋注倭名類聚抄……………	400	草書習字帖……………	742
善通寺寶物集……………	633	相宅小鑑……………	595
先哲遺墨集……………	608	雜誌集……………	283
先哲叢談……………	333,350	増註日中行事略解……………	685
先哲叢談後編……………	333	増訂喪儀略……………	293
先哲叢談續編……………	334	増訂二十四孝詳解……………	734
先哲叢談年表……………	334	増訂日本金石年表……………	351
先哲像傳……………	334,335	増訂平野集說……………	303
先哲傳記……………	334	増訂陽明世傳……………	682
仙洞三十六番調合……………	66	艸堂雜錄……………	644
善本影譜……………	635,636	僧服記……………	370
扇面……………	605	相法祕傳……………	596
扇面古寫經……………	627	増補改正飯田町駿河臺小川町繪圖……………	704
禪門徒然草……………	114	増補改正今井谷六本木赤坂繪圖……………	701
川柳語彙……………	677	増補改正麴町永田町外櫻田町繪圖……………	704
禪林瘡葉集……………	501	増補改正芝口南西久保愛宕下圖……………	702
		増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ツ谷繪圖……………	705
		増補下學集……………	149
		増補雅言集覽……………	654
		増補古言梯標註……………	141
		増補國華集……………	417
		増補古筆名葉集……………	740
		増補曆略註……………	585
		増補淨瑠璃祕曲抄……………	571
		増補大成正誤假名遣……………	389
		増補標註詞八衢……………	156
		増補卜筮盲筭……………	594
		澤海騷動大栄寺通夜物語……………	323
		草野集……………	199
		桑葉和歌抄……………	534
		曾我實記……………	275
		曾我二孝子傳……………	332
		曾我復讐記……………	317
		曾我復讐記大全……………	276
		曾我物語……………	274,275,276,277,460,461,660,700
		曾我物語繪卷……………	277
		曾我物語評判……………	276
		續宇津良衣……………	221
		續落くほものがた理……………	247
		續落くほものかたり……………	442
		續近世崎人傳……………	336
		續近世先哲叢談……………	732
		續近世叢語……………	332
		續源語類字抄……………	239
		續現存六帖……………	18
そ			
草庵集難注……………	79		
草菴和歌集……………	79		
草庵和歌集蒙求諺解……………	80		
草庵和歌集類題……………	61		
造伊勢二所太神宮寶基本記……………	291		
草縁集……………	198		
草偃和言……………	368		
桑家漢語抄……………	133		
插花道しるべ……………	592		
宗祇指南抄……………	553		
宗祇集……………	549		
宗祇終焉記……………	214		
宗祇草菴千句……………	549		
増基法師集……………	521		
宗祇法師連歌傳書……………	553		
箏曲大意抄……………	171		
壯計志……………	601		
創禊辨……………	710		
草訣辨遊……………	173		
裝劔奇賞……………	602		
藏山集……………	200		
草山和歌集……………	525		
増脩改正攝州大阪地圖……………	752		
増修續王代一覽……………	306		
贈從四位佐久良東雄大人遺言狀……………	606		
宗匠家御教諭……………	210		

せ

世阿彌真蹟能本七番……………	694	尺素往來……………	161
井蛙抄……………	44,64	釋奠誌……………	368
西園詞三徑……………	394	尺牘語式……………	167
正學指掌……………	732	尺牘寫式……………	167
靜嘉堂宋本書影……………	635	關の秋風……………	711
星拱和歌集……………	27	世諺叢談……………	652
靖獻遺言……………	573	世間母親容氣……………	127
靖獻遺言講義……………	574	雪花圖說前後……………	112
勢語臆談……………	240	石記……………	273
勢語臆斷……………	240	雪玉集……………	524
成語法……………	397,652	攝州有間溫湯記……………	379
姓氏辨……………	316	殺生石……………	569
靜勝軒詩序并銘……………	110	節序紀原……………	370
清少納言……………	92,93	攝津集……………	516
清少納言集……………	506	攝津名所圖會……………	379
清少納言旁註……………	462	說法因緣集……………	285
清少納言枕草子……………	461	說法用歌集……………	533
清少納言枕草紙……………	462	節用假字遣……………	398
清少納言枕草紙原稿……………	463	蟬小川……………	614
清少納言枕草紙裝束撮要抄……………	463	勢免天話艸……………	332
姓序考……………	340	世話字撰集……………	31
清愼公家集……………	73	世話千字文教訓繪抄……………	579
盛衰花輝物語……………	230	禪苑天皇紀……………	607
誠拙禪師歌集……………	535	仙覺律師奏狀……………	674
清談若綠……………	119	千家茶道之書……………	590
聖哲芳規……………	345	宣下抄……………	364
齊東俗談……………	392	先賢遺芳……………	608,681
西稗雜纂……………	584	仙源鈔……………	425
聖廟御詠……………	77,78,497	千五百番歌集……………	87
聖廟御詠合本……………	497	千載和歌集……………	25
聖廟御詠集……………	78	全齋讀例……………	652
聖廟御集……………	497	箋釋豐後風土記……………	372
政祕錄……………	356	先儒遺墨帖……………	607
聲文私言……………	221	撰集考異……………	538
清籟……………	645	撰集抄……………	278,279
清話抄……………	561	千句……………	207
世界物語……………	262	千字類合……………	654
赤縣太古傳……………	292	先代舊事本紀……………	290
赤縣太古傳成文……………	293	仙臺領外奥州名所聞書……………	531
赤城義臣傳……………	321	千題和歌集……………	76
赤水先生東奥紀行……………	106	先達加難詞……………	54
尺素往來……………	161	煎茶小述……………	171
		煎茶早指南……………	749
		箋註格致蒙求……………	582
		箋註桑華蒙求……………	584

新撰類聚往來……………	578	新野問答……………	369
新撰類林抄……………	612	新葉和歌集……………	486
新撰六帖題和歌……………	16,17		
新撰和歌集……………	75	す	
新撰和哥論語……………	270		
深窓祕抄……………	427,490	推古帝勅五憲法……………	355
新續著聞集……………	283,416	隨齋諧話……………	561
神代紀葦芽……………	290	水左記……………	344
神代紀髻華山蔭……………	289	寸松庵色昏……………	603
神代卷藻鹽草……………	289	隨身庭騎繪卷……………	626
新内裏小御所色紙和哥……………	197	水滴色葉類聚抄……………	427
新内裏清涼殿障子和歌……………	198	水天宮御利生記……………	302
新内裏中殿障子和歌……………	197	隨葉集……………	212
新題林和歌集……………	195	素謠花傳祕書……………	229
神檀實記……………	353	季經入道集……………	516
新勅撰和歌集……………	22,23,713	季通朝臣集……………	506
新勅撰和歌集抄……………	22	周防内侍家集……………	536
塵添壺囊鈔……………	133	管笠日記……………	110
神道學則日本魂……………	648	菅之集……………	527
神道五部書……………	291	菅麻呂家集……………	527
新なぞつくし……………	269	菅原贈太政大臣歌集……………	77,78,496
新二百韻……………	219	菅原道真公御神影……………	628
親王家略傳……………	342	杉のしつえ……………	526
神皇正統記……………	324,325,678	輔尹集……………	505
新橋雜記……………	384	資平集……………	523
新発見の資料に據る新待賢門院御陵墓攷……………	350	雙陸獨稽古……………	744
しん板げいしやどどいつ……………	124	崇徳院御影堂同詠二首和歌……………	68
新板紅白けんし物語……………	239	須磨日記……………	110
新板棚雛形……………	589	炭俵……………	214
深祕口傳集……………	56	住吉哥合……………	494,495
宸筆集……………	607	住吉社譚合……………	35
神風記……………	286	住吉神代記……………	647
神風知顯正義集……………	419	すみよし物語……………	261,262,435,436,661
眞福寺本將門記……………	316	住吉物かたり……………	435
神武權衡録……………	302	住吉物語……………	261,262,435,436,437,661
人物畧畫式……………	631	住吉物語通釋……………	661
新編易學小筌……………	752	住吉摸本年中行事繪卷……………	626
新編改算記……………	599	すみれ草……………	235
新編鎌倉志……………	374	すみれの露……………	187
新編纂圖本朝尊卑分脈系譜雜類要集……………	680	諏訪史料叢書……………	689
新篇塵劫記……………	599,600	駿墓雜話……………	105
新編俳諧文集……………	222	駿壹雜話註釋……………	644
新浦情話……………	689		
新名所繪合……………	88		
新明題和歌抄……………	195		



蜀山人自筆百首狂歌……………	221,676	新居帖……………	605
蜀山人判取帳……………	629	新居帖解……………	606
續日本紀……………	311	神君御祕章……………	329
續日本後紀纂詰……………	312	心敬作……………	552
諸家前太平記……………	320	心敬法師庭訓……………	213
諸家知譜拙記……………	342	塵劫記……………	598,599
所見集……………	724	塵功記……………	599
諸國海陸道中記……………	745	新校古今和歌六帖……………	17
諸國道中たび鏡……………	382	新語園……………	414
諸國盆踊唱歌……………	721	新古今七十二首祕歌口訣……………	62
諸國里人談……………	373	新古今集美濃の家都登……………	19
諸祭神略記……………	299	新古今和歌集……………	19,22,485,713
諸雜記……………	416	新刻看命一掌金和解……………	595
書札調法記……………	159	新刻訓點實語教畫抄……………	168
助字考證……………	397	神國決疑編……………	290
助字喘……………	397	神國決疑編考證……………	291
助辭喘……………	397,652	(日本)新國史……………	313
書史千字文……………	696	新國史……………	314
助辭本義一覽……………	166	新刻鄒魯故事……………	352
初心抄……………	208	新古事鏡……………	330
職官志……………	358	進國譚說……………	545
續紀歷朝詔詞解……………	353	真言曠石集……………	284
書法正傳……………	174	仁齋先生和歌集……………	191
諸名家戲文集……………	473	新山家集……………	219
諸名家詩鈔……………	724	清三家書論……………	695
書目答問……………	387	新三玉和歌集類題……………	189
書用辯明字引……………	579	神社考詳節……………	299
白川夜語……………	225	神社祭式……………	302
白雲日記……………	473	新從吾所好……………	474
志里うごと……………	112	心珠詠藻……………	525
史料……………	314	新鈔西清古鑒……………	632
詞林三知抄……………	552	神職寶鑑……………	302
詩話……………	727	深心院關白集……………	521
宸影光暉……………	628	新製大和眞名百花賦……………	102
新改正職原摘要……………	357	眞蹟臨本三種歌合……………	84
新改正攝津國名所舊跡細見大繪圖……………	752	新撰陰陽八卦并抄……………	752
心學捷徑大學評註……………	663	新撰小口合……………	565
心學道之話……………	576	新撰字鏡……………	149,395
新歌仙……………	713	新撰髓腦……………	32
新歌林良材集……………	47	新撰菟玖波集……………	212,548
人家和詞集……………	547	新撰菟玖波集……………	212,548
宸翰英華……………	696	新撰帝說集下書……………	719
宸翰集……………	607	新撰萬葉……………	715
心經和歌集……………	536	新撰萬葉集……………	7,715,756
新玉葉和歌集……………	75	新撰陸奥風土記……………	689

順徳院百首御製	65	樵談治要	711
稱謂私言	745	松竹梅女水滸傳	119
松陰快談	734	掌中群書一覽	385
蕉雨園集	194	正徹本徒然草	666
蕉翁二拾五箇條	225	唱導鈔	287
小學書欄外書	731	笑堂福聚	449
松下集	525	聖徳皇傳來秋野流相法括要	596
松下抄	524	聖徳太子五憲法	355
承久軍物語	256	聖徳太子御憲法玄惠註抄	354
承久記	256	淨土三經句題和歌	534
上宮聖徳法王帝説證註	327	淨土眞宗玉林和歌集	184
上宮太子	568	淨土百歌仙	534
將軍塚繪卷	622	淨土門和歌抄	533
松月露譚玉川日記	118	商賣往來繪字引	579
邵康節先生心易梅花數	593	紹巴三甫問答之事	209
衝口發	409	紹巴獨吟千句	551
常語藪	654	紹巴道乃記	471
匠材集	207	蕉風無格論	224
定西法師傳	700	請諷誦文	287
常山紀談之内抄出	254	樵夫問答	272
松山集	188	正保遺事	329
正三位物語	125,126	聖武天皇宸翰雜集	602
小四海堂叢書	642	將門記	315
疊辭訓解	148	將門記傳	346
聲字實相義開祕鈔	147,754	蕉門要領	225
成實論	653	少輔入道寂蓮法師百首	506
私用抄	553	承陽大師傘松道詠集	535
淨照房集	508	條里圖帳考	655
成尋阿闍梨母集	510	顛鶴抄	53
正信偈句題和歌	535	松隣夜話	700
小説字林	396	淨瑠璃姫	269
饒舌録	225	青蓮歌集	528
蕉窓雜話	587	昭和古筆名葉集	740
肖像三葉	632	書苑	610
消息案分	159	初學詩法	730
裝束拾要抄	369	初學日本文典	394
裝束抄	369	初學文體略解	728
裝束圖式	369	諸家兼法活花通	592
裝束着様	427	諸家人物誌	336
消息文乃かけはし	160	職原抄引事大全	358
消息文例	159	職原抄私抄	357
消息合	59	職原抄支流	357
上代衣服考	370	職原鈔辨疑私考	357
上大同類聚方表	587	續後撰和歌集	20
笑談阿房陀羅經	566	續五明題和歌集	201

詩本草	728	袖中抄	39
仕舞付百番	229	十二支もの語	263
島根縣管内出雲國地誌略	380	十二番歌合	83
しみのすみか物語	126	十番歌合	488,494,604
志ミのすみか物語	126	秋風和調集	486
紫明鈔	424	聚分韻畧	163
紫明抄	425	習文錄	644
下野國誌	373	秋夢集	505
寫岳文集	287	十問最祕抄	208,551
しやかの御本地	267,441	拾葉帖考證	548
釋迦の本地	441	修理大成萬寶番匠往來	160
釋書蒙求	580	種玉菴宗祇傳	328
酌并座中立ふるまい	365	種玉編次抄	426
釋日本書紀	310	宿曜經撮要	585
沙石集	281,282,453	宿陽經占眞傳	595
砂石集	453	綜藝種智院式并序	603
沙石集畧抄	283	從三位爲信集	501
石橋	569	酒史新編	588
釋教卅六人譚仙	28	首書源氏物語	180
釋教題林集	533	首書土佐日記纂註	95
射覆早合點	594	種生傳	328
射覆必用	737	述懷長歌	524
沙彌元可家集	72	述齋偶筆	412
沙彌蓮瑜集	520	出陣式次第	687
上海繁昌記	66	出版の旧例	699
拾遺愚草	70	酒吞童子	442
拾遺愚草抄出聞書	60	酒吞童子繪卷物考	442
拾遺抄物	18	酒吞童子記	442
拾遺風躰和歌集	18	酒巖童子退治記	268
拾遺和歌集	17,479,484,670,712	酒典童子物語	268
拾遺和歌抄	18	酒天童子物語	271
集外三十六歌仙	29	酒巖童子物語	442
拾花集	207	從二位顯氏集	520
秀歌之躰大略	55	酒餅論	664
秀歌之體大畧	75	入木口傳抄	740
蹴鞠湖水記	600	入木道聞書	613
拾玉新智惠海	417	入木祕書	173
拾玉和歌集	77	授幼難字訓	143
集古浪華帖	615	浚王記附錄	734
十五番歌合	59,84,493	淳軒詩話	727
十三朝紀聞	315	春樹顯祕抄	176
十七憲法和解	355	春樹顯祕增抄	165,176
十七條憲法	354	俊成九十賀	493
十々烈集	647	春雪解話	594
集成御系譜考	341	順徳院御百首	719

詩格類聚考	728	四條宮下野集	511
詞花懸露集	84,669	紫塵愚抄	426
詩家推敲	730	雫に濁る物語	433
詞華堂雜筆	422	詩聖堂詩話	727
鹿野武左衛門口傳はなし	270	史籍集覽	641
詞華和歌集	485	史籍年表	303
色音論	721	四節會御裝束圖	369
四季艸	364	師說奥儀	225
信貴山緣起	617	師說撰歌和哥集	192
式三番	568	志太物語	666
色紙ちらしかた	740	七曲吟社詩	724
式子内親王家集	69	七家和哥集	81
嶋羽搔	50	七體七百首	185
式部史生秋篠月清集	70	七武	330
四季物語	94	七部婆心錄	214
四季ものかたり	95	史徵墨寶考證	304,682
字鏡	395	執雅類草	544
地口畫譜	565	十訓抄	280
志くれ	441	實語教諺解	169
時雨物語	441	實語教證註	578
重家集	516	實踐和歌集	48
自警蒙求	582	十躰和歌	539
私刑類纂	646	悉曇字記	164,165
重之女集	505	悉曇連聲集	164
重之子法師集	505	十本あふき	444
重之娘集	508	耳底記	52
自遣往來	736	四天王寺極樂門漆繪壁畫	697
詩語淵源	726	慈道親王集	520
地獄草紙	619	兒讀古狀揃證註	580
四國靈場道乃朶	380	信濃奇談	377
詩語國字解	726	しのすたれ	196
自讃歌	75	忍寢物語	266
自讃歌十七首祕傳抄	33	芝三田二本榎高輪邊繪圖	704
自讃哥註	714	紙譜	736
自讃類註	714	事物原始備考	412
四時遊人必得書	401	紫文蟹之囀	240
四十二の物あらそひ	265	詩文押義要括集成	726
四十二のものあらそひ	265	紫文消息	233
四十二物諍	625	詩文抄本 易然集其他	167
四十二の物諍	661	紫文製錦	234
四條大納言新撰髓腦	34	詩文製式	728
四條大納言隆房卿家集	509	詩文大體	725
四條中納言集	509	詩文必要四聲解環	653
治承二年賀茂社歌合	492	四分律音義	653
四條宮歌合	491	至寶集	209



後水尾院法王和歌御集脱漏	60	取明寺殿より子息時宗へ庭訓の書	169
古文書時代鑑	682	齊明紀童謠辨	82
古文書集	612	齊明天皇紀童謠攷	546
古謠集	475	西遊紀行	107
古葉畧類聚鈔	714	西要抄	273,285
古來風躰抄	49	才和歌集	205
惟成弁集	504	榊葉日記	710
是則集	713	坂田更級十八公歌合	88
惟宗光吉集	520	嵯峨のしをり	64
金光明最勝王經註釋	603	嵯峨野之露	328
今昔狂歌叢話	563	嵯峨野物語	600
今昔物語	252	相模集異本	505
今昔物語集部類	452	嵯峨物語	440
言塵集	62	鷺	569
今人附合集	560	さき草	50
權僧正道我集	520	左京大夫顕輔集	74
權中納言敦忠集	500	左京大夫集	513
金毘羅大權現加護物語	449	作者部類	37
		策對	735
さ		佐久良東雄歌集	528
		佐久羅る物語	272
齋院歌合	491	櫻梅草子	625
歳華一枝	401	櫻狩	569
西行記	620	佐倉夢物語	274
西行四季物語	264	狭衣	258,259,430
西行上人歌集	514	さころも	430,657,754
西行上人談抄	39,515	狭衣哥よせ	672
西京傳新記	688	狭衣系圖	258,259
西行法師家集	81	狭衣下紐	258,259,430,431
西行物語	264,265,620	笹色猪口曆手	121
西行物語繪卷	620	篠屋集	527
齋宮集	713	篠屋集追加	527
齋宮女御集	502	さゝめこと	210,552
祭具圖式	293	私語集	213
西公談抄	39	さゝやき竹	441
西國巡禮細見大全	382	さし出の磯	138
歳時故事	367	貞敦親王詠 詠百首和歌	525
最勝王經音義	391	定頼家集	509
取勝四天王院障子名所和歌四十六首	198	雑詩よしこのふし	565
再昌草	524	雑字類編	144,399
歳中行事之内 賀茂祭	366	薩摩守忠度百首	66
在中將集	496	雑和集	114
在邇集	647	雑話筆記	402
催馬樂抄	82	里村昌程追善之連詞	211
催馬樂注祕抄	61	讃岐下水くらげ	471

後三年合戦繪詞……………	621	御代始鈔……………	362
後三年軍記……………	620	後太平記……………	318
古詩韻範……………	163	後太平記評判……………	318
古詩學便覽……………	726	古調考……………	544
古事記……………	307	古調梯……………	137
古事記傳追繼考附録……………	708	國歌八論……………	543
古事記和歌畧註……………	82	國基……………	648
古史言行頌……………	331	滑稽雜談……………	104,561
越路乃日記……………	110	後土御門天皇御即位之書……………	362
語辭喘……………	397,652	小坪規矩……………	588
古事談……………	280	木積集……………	527
故侍中左金吾家集……………	700	木積の余波……………	527
古史徵……………	292	古典聚目……………	385
古實刑罰傳記……………	356	古典保存會叢書……………	637
五十首和歌……………	65	古道學發端辨書……………	651
故實叢書……………	642	後鳥羽院御集……………	72
越部禪尼消息……………	31	後鳥羽院勅點和歌……………	76
故事辯解……………	393	言葉の緒環……………	151
後拾遺抄……………	539	詞通路……………	157
後拾遺和歌集……………	18	詞の葉打聽……………	153
五十七ヶ條……………	553	詞葉新雅……………	745
五十四番詩歌合……………	86	詞瓊綸……………	158
五十連音うち聽……………	165	詞玉緒延約……………	152
古狀揃繪抄……………	579	詞玉緒縫添……………	152
古書疑義舉例……………	386	詞の玉の緒よりつき……………	151,152
後進國譚說……………	545	詞捷徑……………	140
湖水浦廻り名所寺社便覽圖蹟……………	751	詞の屋ちくさ……………	153
後崇光院御詠……………	523	詞八衢……………	155,156
牛頭天王曆神辯……………	299	詞八衢補遺……………	156
御成敗式目……………	356	詞八衢補翼……………	156
五節句飭付口傳……………	707	琴腹……………	661
後撰集詞のつかね緒……………	19	諺艸……………	392
五戰圖解……………	601	後奈良院宸記 袁明抄……………	343
五戰圖解問答……………	601	後奈良天皇宸記(天聽集)……………	343
後撰武家百人一首……………	64	近衛定家光悅日月星……………	174
五戰要解……………	601	古碑考……………	743
後撰和歌集……………	21,479,484	古碑釋文……………	743
後撰和歌集新抄……………	21	古風三躰考……………	57
後撰和歌集標注……………	20	小文庫……………	218
梧窗詩話……………	727,728	御本日記續錄……………	385
五代簡要……………	538	御本日記附注……………	385
古代見聞考集……………	417	古本保元物語……………	659
後醍醐天皇御事蹟……………	348	小馬命婦集……………	507
五代帝王物語……………	455	小御門神社御由來記……………	701
小大君集……………	713	後水尾院御集……………	60

古今集三木三鳥考	542	國辭解	136,137,537
古今集序經緯文脉圖	484	國史纂論	326
古今集序存疑	542	國性爺合戰	231
古今集撰者家集	12	國朝佳節錄	367
古今集注	483	國朝諫諍錄	330
古今集童蒙抄	271	國風冠歌四季母艸	559
古今集乃内聞書	43	國文學名家肖像集	629
古今集眞名字解	11	國寶善財童子繪卷	619
古今序考	483	古訓抄	475
古今序註	9,42	古解吳呂裳	257
古今選	15	苔清水	194
古今相傳之次第	717	湖月鈔	178,179
古今傳授	42,541	湖月抄	178,182,183,428,429
古今傳受切紙口傳條々	541	湖月鈔發端	183
古今傳受祕歌之註	43	こけ衣	257,434
古今祕傳曲文	32	苔の衣	434
古今僻案集	718	五家讀方集	35
古今類句	30	五元集註	218
古今六帖傍註	486	古言清濁考	144
古今和歌集	10,11,13,14,15,16,23,30,271, 479,480,481,482,712,719	古言梯	140,141
古今和歌集	14	古言本音考	135
古今和歌集	14,480,712	御刻三希堂石渠寶笈法帖	741
古今倭歌集	479,480	古刻書跋	699
古今倭調集	481	古語拾遺	294,295
古今和歌集灌頂	42	古語拾遺句解	296
古今和歌集聞書	482	古語拾遺言餘鈔	296
古今和歌集抄	483	古語拾遺節解	296
古今和歌集序古格正文	484	小御所障子和歌	198
古今和歌集正義	9	心覺	753
古今和歌集相傳抄除祕密勘	43	心のたね	47
古今和歌集相傳抄祕密勘	542	心の種	51
古今和歌集相傳之密書	542	古今沿革地圖	691
古今和歌集遠鏡	12	古今假字遣	131
古今和歌集遠鏡補正	12	古今僞書考	387
古今和歌集祕抄	483	古今奇談繁野話	120
古今和歌集ひなことば	11	古今奇談英草紙	448
古今和歌集餘材抄	15	古今奇談莠句册	124
古今和歌集兩序鄙言	16	古今著聞集	280,281
古今和歌集兩度聞書	483	古今墨蹟鑒定便覽	171
古今和歌六帖	13,16	古今名物御前菓子圖式	597
國意考辨妄	648	古今名物御前菓子祕傳抄	597
國學入門	651	古今名物類聚	695
國郡全圖	373	古今連談集論	553
極彩色娘扇	231	古今和漢萬寶全書	172
		御傘十六箇口訣	560



こ

碁	568	校定今鏡證註	659
礫川牛込小日向繪圖	703	校定今鏡讀本	658
語彙指掌	155	校定大鏡	658
小稻半兵衛花筏月浮船	121	香亭雅談	735
語彙別記	151,393	校訂金葉和歌集	670
弘安源氏論議	239	校訂詞花和歌集	670
皇位繼承篇	341	校訂淨瑠璃物語評釋	663
甲越軍談	121	校定増鏡	659
甲越春秋	319	校定水鏡	659
後越碑銘集	352	高等論說記事簡牘文例	168
弘化奇話	473,645	皇都濫觴記	378
高賀三郎頼方傳記	268	紅梅千句	211
江關筆談	679	後篇古實今物語	116
後宮略解	359	校本土佐日記	102
皇極內篇發微	731	講本保元物語	660
從公儀被仰出御法度書留	681	孝明天皇御製	198
光孝字多兩帝記	314	高野參詣	569
好事彙	630	高野物語	569
好古小錄	630	甲陽軍鑑	601
好古日錄	630	黃葉和歌集	71
香座法	738	合類大因緣集	285
口嗜小史	405	合類大因緣要文	285
庚子道の記	109	語園	414
庚子道之記	109	古音複字	143
弘洲雨屋虫干集	474	五海道中細見獨案内	382
弘洲雨屋虫干集外篇	474	古學小傳	333
講習餘筆	403	語學新書	157,158
皇親譜略	680	古學先生和歌集	198
上野三碑考	743	語學摘要	165
校正十訓抄	657	古學道統圖	651
校正首書紫式部日記	98	黄金の花猫目かつら	122
校正譯注源氏物語評釋	235	粉河寺緣起	617
校正譯注源氏物語餘釋	235,236	古簡集影	638
江宗辭海	724	古京遺文	351
江帥集	512	古鏡圖	632
江談抄	361	古今切紙次第廿三ヶ條	40,42
校註異本方丈記	465	古今御傳受竟宴和哥御會	42
校註繪入竹取物語	654	古今三ヶ大事	43
校註土佐日記	96	古今三鳥傳	38
弘長百首	65	古今三木之傳	38
皇朝蒙求	583	古今集	604
上月記	317	古今習伊勢物語之口傳	36
		古今集切紙口傳	13
		古今集考異	542
		古今集三ヶ祕説	717

桂園翁三十六人集註	538	源氏物語	178,179,180,258,422,423,750,756
藝苑日涉	411	源氏物語歌合	492
藝苑錄	731	源氏物語歌繪	236
經解書目	386	源氏物語繪卷	623
經史摘語	400	源氏物語奧入	424
京城勝覽	378	源氏物語奧入註	656
慶長以來諸家著述目錄	632	源氏物語畫卷	623
瓊矛餘滴	583	源氏物語系圖	182,183
藝林蒙求	582	源氏物語講義	234
華嚴緣起	618	源氏物語語釋	235,236
解脫上人之語	463	源氏物語五十四帖和詞	237
月院社何凡傳	222	源氏物語古註	423
闕疑抄	241,242	源氏物語忍草	235
月卿雲客作歌合	85	源氏物語忍草	429
源威集	348	源氏物語抄	424,550
元可集	74	源氏物語抄寫本	423
元可法師集	521	源氏物語諸卷年立	180,182
源義辨引抄	181,182	源氏物語新釋	178
鉗狂人	651	源氏物語新釋總考	236,430
言元梯	141	源氏物語玉の小櫛	234,657
乾元哥合	88	源氏物語玉小櫛補遺	234
兼好自撰家集	522	源氏物語男女裝束抄	427
兼好自選家集	522	源氏物語之註解	427
兼好法師一代記	447	源氏物語引哥	423
兼好法師集	74	源氏物語飛毛鏡	239
源語梯	236	源氏物語評釋	235,236
源語祕訣	237	源氏物語表白	180,182,183
言語遊戲考	565	源氏物語不審抄	426
源三位頼政家集	57,58	源氏物語和歌	239
源三位頼政集	514	幻住庵記	214
源氏大繩	181	顯承述略	344
元治改正新增細見京繪圖大全	705	顯昭陳狀	54
源氏供養表白	719	原色法隆寺壁畫	632
源氏系圖	423	現存歌撰	200
源氏小鏡	181	原中最祕鈔	237,425
源氏古鈔	424	源註拾遺	236
源氏詞知	657	源平軍物語	230
源氏釋	424	源平盛衰記	256,257
源氏男女裝束抄	238,426	源平盛衰記圖會	257
源氏男女裝束抄後附	238	建保職人歌合	265
源氏爪印	423	建武年中行事註解	685
げむじつやおしろい	663	縣門遺稿	668
源氏都々逸	721	研林	175
源氏之註	427	鈴錄	601
源氏物あらそひ	429		

清水物語……………	266,446	空花和哥集……………	532
去來抄……………	675	草木のさうし……………	440
去來選集……………	217	愚雜俎……………	413
切昏口傳條々……………	43	日柳燕石……………	349
切紙口傳廿三ヶ條……………	41	草野物語……………	437
きりきりすの物語……………	440	草滿くら……………	108
桐火桶……………	55	公事根源集釋……………	367
切字四妙記……………	209	公事十二月……………	366
禁厭詞辨釋……………	133	舊事本紀玄義拔萃……………	647
金槐集……………	519	九條右丞相集……………	512
金槐和哥集……………	519	九條家故實……………	356
金槐和歌集……………	519,672	九條殿遺誠……………	572
金玉集……………	34	楠家傳七卷書……………	601
金句集……………	691	楠碑銘……………	710
金句集四種集成……………	692	くずばな……………	302
今古殘葉……………	642	句題百首……………	547
近古史談……………	706	句題和歌抄……………	203
近古史談字解……………	321	燭夜文庫……………	664
琴史……………	352	愚祕抄……………	39
近世偉人傳……………	335	久保之取蛇尾……………	403
近世歌人師弟一覽……………	203	熊谷道行……………	268
近世崎人傳……………	336	熊坂……………	569
近世三十六人撰……………	197	熊野御本地……………	440
近世儒林年表……………	345,346	熊野本地……………	625
近世人鏡錄……………	332	熊野馬溪遊草……………	741
近世先哲叢談……………	732	熊野本地……………	267
近世叢語……………	332	熊野道之間愚記……………	469
今代秀歌……………	34	雲隱說……………	182,183
近代秀歌……………	540	愚問賢註……………	54
近代正說碎玉話……………	117,321	愚問賢注六窓鈔……………	55
近代先哲碑文集……………	725	丘良傷之朋渥……………	398,399
近代著述目錄……………	386	藏山圖錄……………	633
公忠集……………	713	厨の心得……………	738
禁祕抄釋義……………	362	摺印補正……………	171
金鑑論……………	326	群書一覽和書部……………	385
近葉菅根集……………	200	群書類從……………	638
金葉和詞集……………	25,485	訓點復古……………	395
近葉和歌六帖……………	203	訓蒙要言故事……………	573
近來風躰……………	39	訓蒙用字格……………	148
禁裏御藏書目錄……………	698		
金鈴餘響……………	605		

け

<		慶安古筆手鑑……………	608
		啓運錄……………	324
空花和歌集……………	186	桂園一枝拾遺……………	203



神風記	177	甘雨亭叢書	639,641
紙漉重寶記	589	くわんがくゐん物語	270
かみつよのかたうた	190	願經四分律藏	653
神代小町	263	眼橋新話	384
神代正語	292	閑居草	411
冠吟言葉の種	556	閑居友	111,112,465
冠吟自詠博覽	558	菅家遺誠	572
冠句十萬集	227	菅家御集	79
冠句千代の壽	557	菅家金玉抄	497
冠句の葉	559	菅家御一代記	327
冠附青とくさ	555	菅家御詠歌并御連歌	498
冠附洗ひ米	555	菅家御詠集	77
冠附四季の花	557	勸化伍衰殿	303
冠附机の塵	557	菅家寔録	327
冠附浪華みやげ	558	菅家須磨記	469,710
賀茂川沿岸圖	752	菅家須磨記拙解草稿	709
鴨河集附録詠史歌	193	菅家世系録	649
賀茂のうしを悼歌	716	菅家傳	327
鴨之長嘯方丈之記	463	菅公家集	77
鴨長明海道記	93,94	菅公須磨の記	709
鴨長明方丈記	95,463,464	菅公傳	327
鴨長明方丈記之抄	94	菅公之御連歌	498
鴨長明方丈記流水抄	94	菅公略傳	328
かやくき物語	421	菅公瑠璃壺和歌	498
雅遊漫録	407	漢故事和歌集	204,531
唐鏡	456	漢故事和詞集	204
唐鑑	456	環齋記聞	324
雅樂堂好古雜誌	647	觀齋雜攷	413
烏丸前大納言光榮卿御口授	32	冠辭考	128
喀喇沁右旗扎薩克親王貢桑諾爾佈之略史	754	冠辭考續貂拔纓	129
唐物語	251,252,432	冠辭考拔纓	129
花柳事情	383	漢字三音考	143
歌林襍考	544	冠辭續貂	128
歌林雜話集	48	菅丞相御製作十二月往來	176
哥林集	540	官職俗談	358
調林拾葉集	21,26	官職通解	359,360
歌林良材集	48	冠辭例	150
苜蓿物語	440	勸心詠哥集	534
瓦礫雜考	412	關聖帝君寶話	650
河合社歌合	85	閑聖漫録	405
河藻集	489	觀世流内百番謠字引	570
河社	111	菅贈太政大臣歌集	77,714
官位俗訓	359	菅像辨	688
冠位通考	359	邯鄲	569
官位之次第	358	冠注大和物語	251

雅言假字格拾遺……………	130	敵討名鈕實録……………	104
雅言童諭……………	136	敵討矢橋乃歸帆……………	104
嘉元百首……………	65	かたはみ草……………	151
雅語音聲考……………	142	樂家録……………	568
雅語譯解……………	398	樂曲一覽……………	567
かさし抄……………	154	活語指掌……………	393
笠附小柴垣……………	556	活語指南……………	152
かさの記……………	675	活語指掌……………	155
華山法皇山陵私考……………	340	活語捷徑標幟……………	158
歌詞考……………	49	活語初乃栞……………	157
菓子圖攷……………	598	活版經籍考……………	699
橿園集……………	528	桂大納言家集……………	508
橿園隨筆……………	413	桂之落葉……………	477
菓子其外祕傳之覺……………	597	桂蔭……………	527
梶乃葉……………	187	かつらのはな……………	529
鹿島紀行……………	675	過庭紀談……………	408
歌集……………	71,522	過庭餘聞……………	409
家集切……………	488	花傳書……………	571
歌集斷簡……………	491	花傳抄……………	228,571
歌辭要解……………	47	歌道傳授……………	38
可笑記……………	113,449	哥道之六義……………	42
畫乘要略……………	631	歌道祕藏録……………	41,718
菓子話舩橋……………	596	カナカキ方丈記……………	378
火水天神御傳略縁記……………	299	假字考……………	129
春日大宮若宮御祭禮圖……………	300	假名考……………	131
春日驗記詞書……………	662	金澤遺文……………	635
春日權現驗記卷……………	615,616	金澤本萬葉集……………	756
春日社歌合……………	492	假名字抄……………	130
春日潛庵遺墨集……………	740	假名交文典……………	132
春日本萬葉集殘簡……………	637	假名文字遣……………	132,135,136,746
春日山……………	438	假字用格考……………	652
かせに紅葉……………	438	假字類纂……………	129,613
哥仙家集……………	28	歌難抄……………	720
歌仙家集……………	490	兼輔集……………	713
歌仙家集補……………	28	兼行集……………	509
歌仙中古三十六人傳……………	29	歌俳百人選……………	204
歌仙二葉抄……………	674	河伯井蛙文談……………	112
歌仙部類抄女房三十六人歌仙……………	674	貨幣取調書……………	737
雅俗故事新編……………	734	壁艸注……………	550
論雅俗辨雪岡上人のもとへおくれる書……………	716	鎌倉大草紙……………	318
歌題虛字詠格……………	536	鎌倉大草紙脱漏……………	318
かた絲……………	153	鎌倉史……………	315
嘉多糸……………	538	鎌倉將軍家譜……………	343
荷田大人創學校啓……………	652	鎌倉北條九代記……………	316
片假字……………	130	竈將軍勘略之卷……………	128



越後記大全……………	320	應舉名畫說……………	628
越後順礼道しるべ……………	746	黄金水大盡盃……………	120
越前々司平時廣集……………	520	奥州後三年記……………	255
越俎弄筆……………	754	應氏六帖……………	135
悦目抄……………	37,718	王代記……………	229
江戸往來……………	160	黄檗山聯額集……………	612
江戸今世醫家人名録……………	337	淡海名寄……………	532
江戸現在廣益諸家人名録……………	338	近江國細見圖……………	751
江戸櫻清水清玄……………	119	大井河行幸和歌考證……………	74
江戸諸家人名録……………	339	大石十八ヶ條……………	122
江戸當時諸家人名録……………	337	大江戶倭歌集……………	201
江戸紫眞實録……………	274	大江千里集……………	672
烏帽子折……………	665	大江匡房卿傳……………	346
繪本源氏物語……………	237	大江嘉言集……………	510
繪本實録菅公御一代記……………	119	大江山繪詞……………	271
繪本菅原實記……………	448	大鏡……………	249,454,658
繪本曾我物語……………	274,277	大藏流狂言舞物謠集……………	228
繪本鷹かがみ……………	170	大坂卯年圖……………	690
繪卷物詞書叢書……………	662	太田道灌隨筆……………	111
弇園摘芳……………	116	大ぬさ……………	54
煙花小筆……………	383	大ぬさ辨妄……………	544
延喜式……………	353,354	大祓詞天津菅麻……………	294
延喜式神祇……………	354	大祓詞後釋……………	294
延喜式祝詞正文……………	293	大祓執中抄……………	294
艶情笑史……………	352	大原千句……………	212
圓城寺餘光……………	698	大山道中膝栗毛……………	117
焉度篇……………	692	小笠原流躰方百ヶ條……………	365
袁中郎流插花圖會……………	592	興風集……………	202,500,713
延長記……………	314	おきく物語……………	263
遠嶋御歌合……………	85,87	翁草……………	417
遠嶋百首……………	68	隱岐院百首和歌……………	719
延徳校本異本方丈記……………	465	奥の橋……………	273
延徳抄……………	554	奥の細道……………	472
延寶元祿曾我物語……………	277	おくのほそ道……………	667
		御扨従被勤役心得……………	687
		小澤精菴稿本 越後郷土資料關係書・外交及海防 論關係書・漢籍註釋及文稿……………	682
お		をしまのとまや……………	472
おあむ物語……………	263	をたまき綱目……………	226
おあん物語……………	678	おちくほ……………	246,247
櫻陰腐談……………	413	おちくほ……………	247
奥羽一覽道中膝栗毛……………	118	於地久保草紙……………	439
櫻雲記……………	254	おちくほ物語……………	247,421
嚶々筆語……………	410	落くほ物語……………	421
扇合集……………	199	落くほもの語系圖傳……………	421
奥儀抄……………	45		



羽陰詩家小傳……………	350	梅かえ物語……………	449
右衛門督家歌合……………	35	浦のしほ貝……………	527
魚寄戯章……………	665	浦乃塩貝拾遺……………	184
右京集……………	517	瓜生判官事蹟……………	348
うけらがはな……………	184	雲烟所見略傳……………	739
宇治川兩岸一覽……………	378	雲圖鈔……………	366
宇治郡名勝誌……………	753	雲濱遺文……………	669
牛込市ヶ谷大久保繪圖……………	702		
宇治拾遺煎茶友……………	121	え	
宇治拾遺物語……………	252	永縁奈良房歌合……………	492
宇治大納言物語……………	250	詠歌一躰……………	34,54
宇治大納言物語異本……………	453	詠格部類……………	25
うすおもかげまぼろし日記……………	124	詠歌大概……………	34,75
うすこほり……………	88	詠哥大概……………	55
うすひき歌信抄……………	208	詠歌大概講談師說密註……………	34
太秦牛祭晝卷……………	300	詠哥眼目……………	52
薄雪物語……………	127	詠歌之大概……………	35
歌合……………	86,87,496	榮花物語……………	259,260
歌合三種……………	63	榮華物語系圖……………	260
歌合時代類聚目錄……………	675	榮華物語詳解……………	657
歌合序……………	491	詠経語和詞百首……………	190
謠國分……………	570	詠五十首和歌……………	63,66
右大臣吉備公傳纂釋……………	679	詠三十首和歌……………	68
右大臣師輔公記……………	343	詠三十首和歌兩吟……………	68
謠祕傳抄……………	570	永正日記……………	720
歌會始……………	720	詠千首和歌……………	60
うたかたの日記……………	716	詠百首……………	61
歌御會始拜觀私言……………	685	詠百首和歌……………	67,68,186,192
うたゝね……………	468	永平開山道元大和尚假名法語……………	401
歌廻大意……………	49	詠法華經序品和歌……………	68
哥乃口傳……………	37	詠法華經廿八品詞……………	536
歌袋……………	543	詠法華經廿八品和詞……………	535
歌よみのころえ……………	193	繪入伊勢物語……………	243
宇都保年立……………	422	繪入源氏小鏡……………	181
うつほ物語……………	245	繪入源氏物語……………	180
宇都保物語……………	246	易經……………	731
宇都保物語考……………	246	驛路の春……………	710
空穂物語新治……………	246,421	易然集……………	488
空物語玉琴……………	246	惠慶集……………	503
宇津保物語年立……………	245	畫口合種瓢……………	564
うつら衣……………	220,221	繪口合兩面鏡……………	565
宇津良衣……………	221	江差追分文句集……………	566
うづら衣評釋……………	676	繪師草子……………	623
産衣……………	211	繪圖俗農雜字……………	692
馬引圖……………	602		

伊勢參宮紀行	709	井上文雄翁家集	188
伊勢集	496,498,499	伊布伎廼屋歌集	189
伊勢ノもふて能記	103	伊吹山繪詞	662
伊勢名所歌合	627	異本十六夜日記	470
伊勢物語	242,243,244,418,419,655	異本伊勢物語	418
い勢物かた里	243	異本悦目抄	540
伊勢ものかた里	244	異本方丈記	464
伊勢物語愚見抄	243	今鏡	454
伊勢物語古意	244	今物語	264
伊勢物語考異	242	異名分類鈔	133
伊勢物語講義	655	醫林蒙求	581
伊勢物語集註	242	以呂波國分名所歌集	27
伊勢物語拾穂抄	241	伊呂波字引	398
伊勢物語髓腦	419	色葉字類抄	398
伊勢物語増抄	240	以呂波聲母傳	131
伊勢物語題號考	241	伊呂波問辨	130
伊勢物語知顯	419	色葉和難集目安	537
伊勢物語註	243	石清水物語	125
伊勢物語傍註	244	石女集髓腦	56
伊勢物語連哥	550	いはてしのふ	434
伊勢物語連歌	550	いわてしのふ	435
磯足蜘蛛の歌六十五首	112	岩屋能草紙	263
石上私淑言	543	いはやのさうし	263
磯乃洲崎	138	岩屋乃草子	439
市ヶ谷牛込繪圖	701	因果物語	272
一條攝政御集	502	韻鑑古義標註	146
一宮紀伊集	507	韻鏡奧理祕事頓悟集	147
一覽博識	386	韻鏡求源鈔	146
一休可笑記	126	韻鏡字子	145
一休諸國物語	446,663	韻鏡集解揀乳	145
一休はなし	446	韻鏡諸鈔大成	145
いつくしま	439	韻鏡祕事諸相傳頓悟集	147
いつくしま御幸の道の記	108	韻鏡問答	146
逸號年表	346	韻鏡問答鈔	146
一紙品定之灌頂	551	隱元冠字考	733
一村翁假字	606	隱土堀口藍園の尊王精神	349
逸題草稿	40	印譜辨妄	739
逸傳六種	700	殷富門院大輔集	517
稜威言別	476	陰陽雜記繪詞卷	271
稜威道別	289	陰陽方位便覽	594
一步抄	397		
一品經和哥懷紙	611		
絲のしらべ	116		
田舎莊子	103		
稻葉集題詠	194		
		う	
		宇以麻奈備	48
		うひ山ふみ	651

あ

赤染衛門集……………69,507  
 縣居雜錄……………400  
 秋月物語……………439  
 秋津嶋物語……………455  
 秋の初風……………533  
 秋の夜長物語……………264  
 秋山記行……………668  
 芥川草紙……………437  
 芥川草子……………443  
 明智討……………569  
 赤穂義士對話纂輯録……………322  
 赤穂義人録……………321  
 赤穂四十七士傳……………322  
 あこきのさうし……………439  
 朝顔日記……………231  
 安積良齋詳傳……………679  
 明日は雪……………212  
 あしの下根……………575  
 飛鳥井府三芳記……………709  
 飛鳥井雅有卿之記……………469  
 飛鳥川……………472  
 東遊風俗歌……………82  
 東歌……………12,190  
 あつまかがみ三代將軍……………270  
 吾妻鏡集解……………314  
 吾嬬紀行……………667  
 吾妻の記……………710  
 熱海記行……………107  
 熱田神宮踏歌……………475  
 敦忠集……………500,713  
 姉小路濟繼集……………524  
 阿佛吾妻くたり……………470  
 阿ふつの道の記……………470  
 あふら礮……………555  
 安倍野仲麿入唐記……………448  
 安部野仲麿入唐記……………449  
 海人のかる藻……………435  
 阿萬乃刈藻……………435  
 海人のくくつ……………111  
 海人手子良集……………34  
 雨夜物語だみことば……………237  
 阿彌陀之御本地……………267

天御中主神考……………290  
 天八衢……………290  
 鮎ン坊句集……………560  
 天降言……………189  
 文布……………192  
 あゆひ抄……………154  
 曠野集……………215  
 鴉鷺合戦物語……………708  
 栗田口別當入道集……………515  
 安永年間蒲原用水外書留……………356  
 安永六年正月廿四日和歌御會始……………190  
 安政再版東都番町大繪圖……………702  
 安政新刻隅田川向嶋繪圖……………704  
 安政文雅人名録……………338  
 安徳天皇潛幸遺蹟……………316  
 安樂寺安置天滿宮御自作御神像……………303

い

家隆卿御詠和哥……………518  
 家長日記……………540  
 家長日記拔書……………720  
 爲學玉箒……………576  
 位記宣旨……………364  
 伊京集……………398  
 郁芳門院安藝集……………512  
 不知夜記……………470  
 十六夜日記殘月抄……………100  
 いさよひの日記……………100  
 石井積翠軒文庫善本書目……………635  
 石井積翠軒文庫善本圖録……………635  
 石橋山根元記……………230  
 石山千句……………210  
 石山寺繪……………617  
 石山寺縁起……………273,617  
 石山芳躰……………698  
 遺塵和哥集……………488  
 和泉式部集……………507  
 和泉式部集異本……………506  
 和泉式部集續集……………507  
 和泉式部日記……………466  
 和泉式部物語……………101,467  
 出雲國造神壽後釋……………298  
 出雲風土記假字書……………371  
 伊勢公卿勅使神寶繪圖……………649

# 実践女子大学図書館 山岸徳平文庫目録

— 国 書 —

## 索 引

### 凡 例

- 1 この索引は五十音順の書名索引です。
- 2 角書（冠称）を省いた書名を採録しました。
- 3 叢書等の内容細目は採用しませんでした。
- 4 書名の読み方は『国書総目録』を参照しました。
- 5 読みの順番は、清音・半濁音・濁音とし、  
あ・か・さ……の見出しをつけました。
- 6 書名の後に表示した数字は目録本文の頁です。

実践女子大学図書館蔵 山岸徳平文庫目録

— 国 書 —

令和2年3月1日（非売品）

発行者 実践女子大学  
編集 実践女子大学図書館  
編集協力 安達 勉・大塚宏昌  
高橋良政・石井昭子・岩井直子  
太田澄子・田中 都・西田元子  
印刷所 (株)柏崎インサツ  
新潟県柏崎市西本町 1-6-1